

令和元年度

植物防疫年報

三重県病害虫防除所

三重県内で発生がみられた病害虫

ジャガイモクロバネキノコバエ幼虫

(病害虫発生予察特殊報第1号、

令和元年4月25日発表)



ツマジロクサヨトウ

(病害虫発生予察特殊報第2号、

令和元年9月6日発表)



ネギハモグリバエ別系統

(病害虫防除技術情報第3号、

令和元年11月15日発表)



ヨツモンカメノコハムシ

(病害虫防除技術情報第4号、

令和元年11月21日発表)



目 次

I	病虫害防除所の組織と業務	1
1.	病虫害防除所の業務内容	1
2.	病虫害防除所の組織図	1
II	病虫害防除員の設置及び活動状況	4
1.	病虫害防除員の配置	4
2.	病虫害防除員の活動状況	5
III	病虫害発生予察に関する業務	6
1.	病虫害発生予察の対象作物及び有害動植物	6
(1)	指定有害動植物名	6
(2)	指定外有害動植物名	7
2.	病虫害発生予察の調査圃場	8
(1)	県予察圃場	8
(2)	予察灯・トラップ	8
(3)	その他の調査圃場	8
(4)	ミバエ類等侵入警戒調査圃場	11
(5)	火傷病侵入警戒調査圃場	11
(6)	調査地点図	12
3.	作物別の病虫害発生状況	13
(1)	水稲	13
(2)	麦類	16
(3)	大豆	17
(4)	果樹	19
(5)	茶	24
(6)	野菜	26
(7)	全作物一覧	27
4.	病虫害の発生面積と防除面積	31
5.	発行された予察情報	34
(1)	発生予察情報の一覧	34
(2)	予報	35
(3)	特殊報	84
(4)	技術情報	87
IV	事業関係の試験成績	91
1.	診断対策	91
(1)	灰色かび病の薬剤感受性検定	91
(2)	ミカンハダニの薬剤感受性検定	94

V	農薬の指導に関する業務	96
1.	農薬危害防止対策	96
	(1) 農薬危害防止運動の実施	96
	(2) 農薬安全使用講習会の開催状況	96
	(3) ゴルフ場の調査点検実施状況	97
	(4) ゴルフ場におけるコガネムシ類発生状況	98
2.	無人航空機による空中散布の実施状況	101
VI	各種データ	102
1.	トラップ等データ	102
	(1) 予察灯	102
	(2) フェロモントラップ	115
	(3) ウメ輪紋ウイルス (PPV) に関する調査	118
	(4) ミバエ類等侵入警戒調査	119
	(5) 火傷病侵入警戒調査	120
2.	巡回等データ	121
	(1) 水稲	121
	(2) 麦類	132
	(3) 大豆	133
	(4) 果樹	135
	(5) 茶	157
	(6) 野菜	166
3.	気象データ	181
	(1) 気象概況	181
	(2) 旬別気象表	182
	(3) 気象グラフ	183

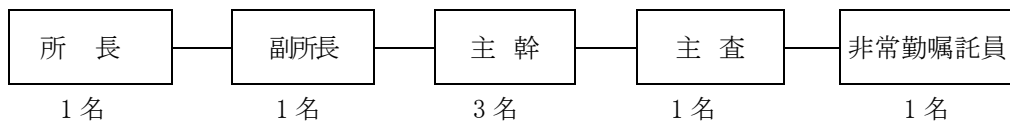
I 病虫害防除所の組織と業務

1. 病虫害防除所の業務内容

植物防疫法関係	発生予察業務	病虫害発生事業に関すること 病虫害発生予察情報の発行に関すること
	防除指導業務	病虫害防除の企画・調査・指導に関すること 病虫害防除員に関すること 航空防除に関すること
農薬取締法関係	農薬安全対策業務	農薬適正使用啓発・登録情報に関すること 農薬使用者・取扱者の指導・取締に関すること ゴルフ場の農薬安全使用指導等に関すること 農薬管理指導士に関すること

2. 病虫害防除所の組織図

(1) 事務の体制



発生予察従事職員

農業研究所 農産物安全安心研究課	1名
茶業研究室	1名
伊賀農業研究室	1名
紀南果樹研究室	1名

(2) 発生予察の体制

所外からの情報 → 病虫害防除所

ア. 調査依頼

発生予察従事職員

・農業研究所 4人

病虫害防除員

・市町 29人

・共済 7人

・広域 7人

予察灯調査委託

・県予察灯 2人

ア. 調査・研究

・県予察圃場

・地区予察圃場

・巡回調査圃場

・侵入警戒調査圃場

イ. 検討

・所内検討会

・三重県病虫害

発生予察警報

発令検討会等

イ. 情報検討

病虫害発生予察情報会議

・農産園芸課

・病虫害防除所

・中央・地域農業改良普及センター

・農業研究所

・農業共済組合・その他関係機関

ウ. 情報交換

植物防疫関係諸会議

・農林水産省関連

・日本植物防疫協会(JPP)関連

予察用の主な機器類 ()は導入年度

・予察灯 6台(H16、21、22、23、24、28)

・人工気象器 1台(H7)

・定温恒温器 1台(H30)

・光学顕微鏡 1台(S61)

・実体顕微鏡 1台(S61)

・乾燥器 1台(S61)

→ 情報の発信

ア. 情報提供先等

	県内					県外	
	農業者	防除員	農業団体	市町	県機関	国機関	他県
予報	AD E	AB	AB	A	A	AC	C
技術情報	E	AB	AB	A	A	AC	C
報告						AC	

イ. 情報の内容

予報:発生予報、注意報、警報、特殊報

技術情報:防除に関する情報

報告:現況報告、年次報告

ウ. 発信の方法

A:eメール、ファックス

B:郵送、運搬

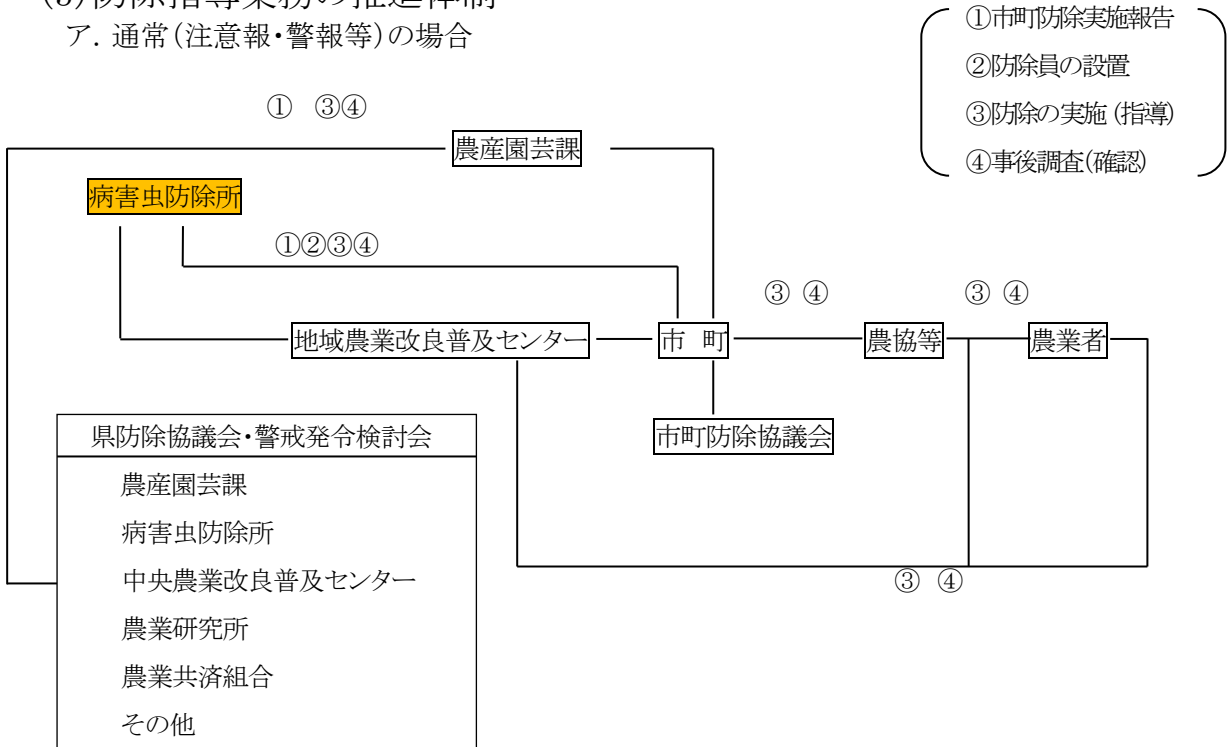
C:JPP-NET(植物防疫情報総合ネットワーク)および発生予察集計プログラム(農林水産省)

D:報道機関(農産園芸課・病虫害防除所)

E:ホームページ

(3) 防除指導業務の推進体制

ア. 通常(注意報・警報等)の場合

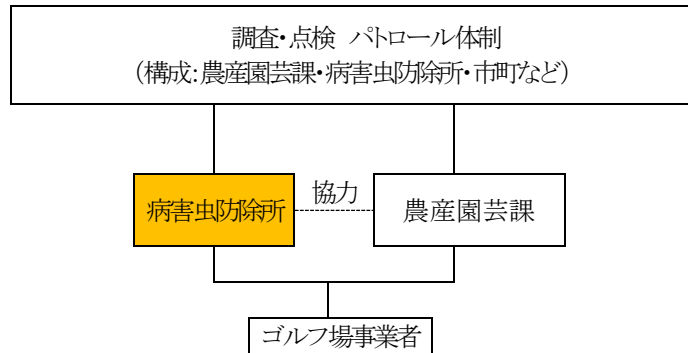


イ. 緊急(緊急防除・防除勧告)の場合

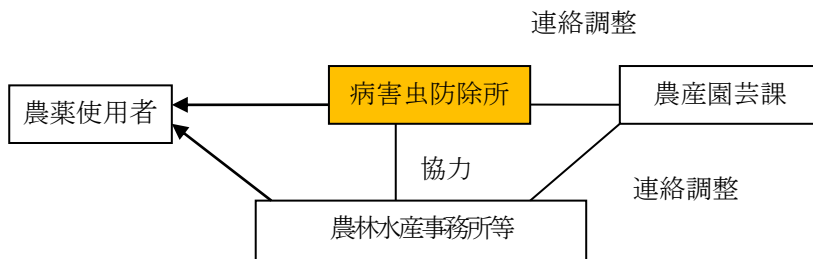
国から植物防疫法第17条による緊急防除(侵入病虫害など)や第30条による防除勧告(防除が未実施・不適切など)を受けた場合、農産物安全課は「三重県緊急防除対策会議」を組織し、速やかに防除を実施する。

(4) 農薬安全対策の推進

ア. ゴルフ場の農薬安全対策



イ. 農薬使用者の監視指導



Ⅱ 病虫害防除員の設置及び活動状況

1. 病虫害防除員の配置

(1) 配置状況(所属別地域別配置人数)

地区	市町	農業共済組合等	広域	合計
桑名	4	1	1	6
四日市鈴鹿	6	1	1	8
津	1	1	1	3
松阪	4	1	1	6
伊勢志摩	7	1	1	9
伊賀	2	1	1	4
紀州	5	1	1	7
合計	29	7	7	43

(2) 病虫害防除員所属

①市町関係(29名)

市町名	所属	市町名	所属
桑名市	農林水産課	伊勢市	農林水産課
いなべ市	農林振興課	玉城町	産業振興課
木曾岬町	産業課	南伊勢町	水産農林課
東員町	産業課	大紀町	農林課
四日市市	農水振興課	度会町	産業振興課
菰野町	観光産業課	鳥羽市	農水商工課
朝日町	産業建設課	志摩市	農林課
川越町	産業建設課	伊賀市	農林振興課
鈴鹿市	農林水産課	名張市	農林資源室
亀山市	産業振興課	尾鷲市	水産農林課
津市	農林水産政策課	紀北町	農林水産課
松阪市	農水振興課	熊野市	農業振興課
明和町	農水商工課	御浜町	農林水産課
多気町	農林商工課	紀宝町	産業建設課
大台町	産業課		

②農業共済組合(7名)

組合名
三重県農業共済組合 桑員支所
三重県農業共済組合 三泗鈴亀支所
三重県農業共済組合 津支所
三重県農業共済組合 松阪飯多支所
三重県農業共済組合 伊勢地域支所
三重県農業共済組合 伊賀名張支所
三重県農業共済組合 東紀州支所

③広域関係(7名)

担当地域名	氏名
桑員地域	水谷 重一
鈴亀地域	平野 三男
津市地域	鈴木 功
松阪飯多地域	小林 雅彦
伊勢地域	福井 敏
伊賀地域	谷口 雄
東紀州地域	菊山 竜二

2. 病虫害防除員の活動状況

(1) 主な活動内容

①防除指導

水稲等の共同・空中防除の打ち合わせや薬剤散布に必要なに応じて立ち会い、適切な広報活動及び防除指導を行った。また、病虫害防除所から発表された予報・注意報等の病虫害発生予察情報の広報を適宜行った。

②病虫害発生状況調査

管内の巡回調査を行い、水稲、麦、大豆、野菜等の病虫害発生状況の把握に努めた。また、広域病虫害防除員は担当地域の巡回調査で農家に対して聞き取り調査を行った。

③農薬安全使用指導

広報誌への掲載等を通じて農薬の適正使用の啓発に努めた。

④関係機関との打ち合わせ

共同防除、空中防除、防除暦作成等のため、JAや農業共済、農業改良普及センター等と適宜連携を図った。

⑤講習会・協議会

病虫害防除所が主催した植物防疫技術研修会等に参加し、最新の技術と情報の収集に努めた。

(2) 活動実績

(一人当たり平均、単位:時間)

防除指導	病虫害発生 状況調査	農薬安全 使用指導	関係機関との打 ち合わせ	講習会 協議会	その他	合計
13.3	34.4	1.1	6.0	7.3	3.1	64.9

Ⅲ 病害虫発生予察に関する業務

1. 病害虫発生予察の対象作物及び有害動植物

(1) 指定有害動植物名(植物防疫法 22 条) (延 108 種)

区分	作物名	対象病害虫名
普通作物	イネ	いもち病、紋枯病、稲こうじ病、縞葉枯病、ばか苗病、もみ枯細菌病、斑点米カメムシ類(アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、イネカメムシ、クモヘリカメムシ、トゲシラホシカメムシ、ホソハリカメムシ、ミナミアオカメムシ)、イネミズゾウムシ、ツマグロヨコバイ、セジロウンカ、トビイロウンカ、ヒメトビウンカ、ニカメイガ、コブノメイガ、フタオビコヤガ
	コムギ	うどんこ病、赤かび病
	ダイズ	アブラムシ類、ハスモンヨトウ、吸索性カメムシ類(アオクサカメムシ、イチモンジカメムシ、プチヒゲカメムシ、ホソヘリカメムシ、ミナミアオカメムシ)
果樹	カンキツ	そうか病、黒点病、かいよう病、ハダニ類(ミカンハダニ)、カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)、アブラムシ類(ミカンクロアブラムシ、ユキヤナギアブラムシ、ワタアブラムシ)
	カキ	炭疽病、カキノヘタムシガ、ハマキムシ類(チャハマキ、チャノコカクモンハマキ)、カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)、アザミウマ類(カキクダアザミウマ)、カイガラムシ類(クワコナカイガラムシ)
	ナシ	黒星病、シンクイムシ類(ナシヒメシンクイ)、ハマキムシ類(チャハマキ、チャノコカクモンハマキ)、ハダニ類(カンザワハダニ、ナミハダニ)、カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)、アブラムシ類(ナシノアブラムシ、ナシミドリオオアブラムシ、モモアカアブラムシ)
	ブドウ	べと病、晩腐病
茶	チャ	炭疽病、ハダニ類(カンザワハダニ)、ハマキムシ類(チャハマキ、チャノコカクモンハマキ)、チャノホソガ
野菜	トマト	疫病、灰色かび病、葉かび病、アブラムシ類(モモアカアブラムシ、ワタアブラムシ)、ハスモンヨトウ、コナジラミ類(オンシツコナジラミ、タバココナジラミ)、オオタバコガ
	ハクサイ	アブラムシ類(モモアカアブラムシ、ニセダイコンアブラムシ)、コナガ、ハスモンヨトウ、ヨトウガ、オオタバコガ
	キャベツ	黒腐病、菌核病、コナガ、アブラムシ類(モモアカアブラムシ、ニセダイコンアブラムシ、ダイコンアブラムシ)、ハスモンヨトウ、ヨトウガ、オオタバコガ
	ネギ	さび病、黒斑病、べと病、アブラムシ類(ネギアブラムシ)、アザミウマ類(ネギアザミウマ)、シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ
	イチゴ	灰色かび病、うどんこ病、炭疽病、アブラムシ類(ワタアブラムシ)、ハスモンヨトウ、アザミウマ類、ハダニ類(カンザワハダニ、ナミハダニ)、オオタバコガ

(2) 指定外有害動植物名(植物防疫法第 31 条) (延 65 種)

区 分	作物名	対 象 病 害 虫 名
普通作物	イ ネ	白葉枯病、苗立枯病、萎縮病、イネドロオイムシ、イネクロカメムシ、イチモンジセセリ、アワヨトウ、イナゴ類、イネシンガレセンチュウ、スクミリンゴカイ、イネゾウムシ、ササキリ類
	コ ム ギ	さび病、縞萎縮病、黒穂病、黒節病、ムギアカタマバエ、アブラムシ類
	ダ イ ズ	紫斑病、コガネムシ類(マメコガネ、ヒメコガネ、ドウガネブイブイ)、シロイチモジマダラメイガ
果 樹	カンキツ	褐色腐敗病、ヤノネカイガラムシ、チャノキイロアザミウマ、ミカンハモグリガ、アカマルカイガラムシ、ハマキムシ類(チャハマキ、チャノコカクモンハマキ)
	カ キ	うどんこ病
	ナ シ	赤星病、うどんこ病
	ブ ド ウ	黒とう病、チャノキイロアザミウマ、ハダニ類
	ウ メ	黒星病、かいよう病、アブラムシ類、ウメシロカイガラムシ
茶	チ ヤ	もち病、輪斑病、チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマ、ツマグロアオカスミカメ、クワシロカイガラムシ、ヨモギエダシヤク
野 菜	ト マ ト	黄化葉巻病、ハモグリバエ類、すすかび病、タバコガ類(オオタバコガを除く)
	ハクサイ	軟腐病、白斑病、べと病、モンシロチョウ、タバコガ類(オオタバコガを除く)
	キャベツ	根こぶ病、モンシロチョウ、タバコガ類(オオタバコガを除く)
	ネ ギ	黒斑病、ネギハモグリバエ、ネギコガ、ヨトウムシ類
	イ チ ゴ	萎黄病、コナジラミ類

2. 病虫害発生予察の調査圃場

農作物の栽培地帯における病虫害の発生及び被害を的確に予想し、その地帯の防除作業の実施に寄与するために、県予察圃場、地区予察圃場、巡回調査圃場、侵入調査圃場を設置し、調査を実施する。

(1) 県予察圃場 (3 地点 7 圃場)

作目	設置場所	設置数	備考
イネ	農業研究所	1	コシヒカリ
カンキツ	紀南果樹研究室	1	紀南果樹研究課担当
チャ	茶業・花植木研究室	1	茶業研究課担当
秋冬ハクサイ	農業研究所	1	
冬キャベツ、春キャベツ	〃	2	
ネギ	〃	1	

(2) 予察灯・トラップ (8 地点 22 箇所)

作目	設置場所	設置数	備考
予察灯	農業研究所	2	イネ、畑作物
	紀南果樹研究室	1	カンキツ
	伊賀農業研究室	1	イネ
	紀北町島原	1	イネ
	御浜町上野	1	イネ
フェロモントラップ	農業研究所	13	ニカメイガ(水田)、ハスモンヨトウ(畑)、コナガ(畑)、ネギコガ(畑)、チャノコカクモンハマキ(ナシ園)、チャハマキ(ナシ園)、ナシヒメシンクイ(ナシ園)、シロイチモジヨトウ(畑)、オオタバコガ(畑)、チャバネアオカメムシ、ヒメコガネ、マメコガネ、ドウガネブイブイ
	林業研究所	2	チャバネアオカメムシ(場内・山林内)
	多気町矢田	1	チャバネアオカメムシ

(3) その他の調査圃場 (地区予察圃場 41 地点 41 圃場、巡回圃場 140 地点 368 圃場) 地点数は重複有り

県予察圃場の他に、地区予察圃場と巡回調査圃場で調査を行っている。

地区予察圃場は、農作物の中心地帯に農作物の種類ごとに設置した。この圃場における調査は、その地帯における病虫害の発生状況を把握するとともに、病虫害の発生に関与する各種の条件がどのように影響したかを検討する資料を得るために行なう。

巡回調査圃場は、病虫害の発生が類似した地点ごとに任意に抽出した圃場、あるいは地帯区分せずに系統抽出等によって抽出した圃場について定量的観察を行うとともに、管内を巡回して定性的観察を行うために設置する。以下の表中で、地区予察圃場の地名は太字で示してある。

- ① イネ 59 地点 236 圃場(地区予察圃場 19 地点 19 圃場＝19 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 59 地点 217 圃場＝40 地点各 4 圃場＋地区予察圃場 19 地点併置の各 3 圃場)

地区	設置場所
桑名	いなべ市北勢町阿下喜 いなべ市大安町高柳、いなべ市藤原町川合、桑名市坂井、桑名市多度町小山、桑名市長島町平方、東員町瀬古泉、木曾岬町小林
四日市鈴鹿	菰野町竹成、亀山市山下町、四日市市下海老町、鈴鹿市矢橋町、鈴鹿市御菌町 四日市市高角町、四日市市山田町、四日市市水沢野田町、四日市市茂福、亀山市太森町、鈴鹿市石薬師町、鈴鹿市津賀町
津	津市安濃町草生、津市安東町、津市一志町井生 津市芸濃町北神山、津市雲出本郷町、津市大里窪田町、津市美里町家所、津市戸木町、津市白山町川口
松阪	松阪市美濃田町、多気町兄国、明和町坂本 松阪市嬉野下之庄町、松阪市藤之木町、松阪市清水町、松阪市西黒部町、多気町朝柄、明和町明星
伊勢志摩	伊勢市円座町、玉城町蚊野、志摩市磯部町下之郷 伊勢市上地町、伊勢市西豊浜町、伊勢市楠部町、伊勢市小俣町相合、度会町牧戸、鳥羽市松尾町、南伊勢町泉
伊賀	伊賀市大野木、伊賀市甲野 伊賀市羽根、伊賀市岡田、伊賀市中柘植、伊賀市馬田、名張市東田原
紀州	紀北町島原、熊野市飛鳥町 御浜町下市木、紀宝町大里

- ② 29 年産コムギ 9 地点 36 圃場(巡回調査圃場 9 地点 36 圃場＝9 地点各 4 圃場)

地区	設置場所	地区	設置場所
桑名	いなべ市大安町片樋	松阪	松阪市藤之木町、多気町兄国
四日市鈴鹿	菰野町池底、鈴鹿市下大久保町	伊勢志摩	伊勢市西豊浜町
津	津市殿村	伊賀	伊賀市西之澤、伊賀市畑村

- ③ ダイズ 8 地点 32 圃場(巡回調査圃場 8 地点 32 圃場＝8 地点各 4 圃場)

地区	設置場所	地区	設置場所
桑名	いなべ市大安町大井田	松阪	松阪市藤之木町、松阪市保津町
四日市鈴鹿	四日市市江村町、鈴鹿市下大久保町	伊賀	伊賀市木興町、伊賀市千戸
津	津市白山町川口		

- ④ カンキツ 12 地点 13 圃場(地区予察圃場 2 地点 2 圃場=2 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 10 地点 11 圃場=9 地点各 9 圃場+1 地点 2 圃場) 表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
桑名	桑名市多度町小山(1)	伊勢志摩	南伊勢町船越(1)、五ヶ所浦(1)、泉(1)
津	津市大里窪田町(1)	紀州	紀北町海野(1)、熊野市久生屋町(1)、御浜町下市木(1)・阿田和(1)・中立(1)、紀宝町大里(1)
松阪	多気町五桂(1)、松阪市小阿坂町(1)		

- ⑤ カキ 2 地点 4 圃場(地区予察圃場 2 地点 2 圃場=2 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 2 地点 2 圃場=地区予察圃場 2 地点併置の各 1 圃場) 表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
松阪	松阪市嬉野川北町(2)	伊勢志摩	玉城町蚊野(2)

- ⑥ ナシ 6 地点 7 圃場(地区予察圃場 3 地点 3 圃場=3 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 3 地点 4 圃場=2 地点各 1 圃場+1 地点 2 圃場) 表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
四日市鈴鹿	四日市市下海老町(1)	伊勢志摩	玉城町富岡(1)
津	津市久居小野辺町(1)、津市香良洲町(1)	伊賀	伊賀市羽根(2)
松阪	松阪市嬉野川北町(1)		

- ⑦ ブドウ 5 地点 8 圃場(地区予察圃場 2 地点 2 圃場=2 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 5 地点 6 圃場=2 地点各 1 圃場+1 地点 2 圃場+地区予察圃場 2 地点併置の各 1 圃場) 表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
津	津市久居明神町(1)	伊賀	伊賀市森寺(2)、伊賀市上之庄(2)、名張市下小波田(2)
伊勢志摩	玉城町勝田(1)		

- ⑧ ウメ 4 地点 4 圃場(巡回調査圃場 4 地点 4 圃場=4 地点各 1 圃場)

地区	設置場所	地区	設置場所
津	津市片田田中町	紀州	御浜町中立、紀宝町大里
伊勢志摩	南伊勢町五ヶ所浦		

- ⑨ チャ 6 地点 18 圃場(地区予察圃場 3 地点 3 圃場=3 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 6 地点 15 圃場=2 地点各 3 圃場+1 地点 2 圃場+地区予察圃場 3 地点併置の 7 圃場) 表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
四日市鈴鹿	四日市市水沢町(3)、鈴鹿市山本町(4)、亀山市太森町(3)	伊勢志摩	度会町棚橋(1)・牧戸(1)
松阪	大台町柝原(3) 松阪市飯南町粥見(3)		

⑩ 野菜 47 地点 53 圃場 (地区予察圃場 10 地点 10 圃場、巡回調査圃場 37 地点 43 圃場)

表中の(数字)は圃場数

野菜名	地区	設置場所	地区予察圃場	巡回調査圃場
冬春トマト	桑名 四日市鈴鹿 松阪 伊勢志摩	木曾岬町見入(1)、 木曾岬町源緑輪中 (1)、桑名市長島町(1) 四日市市貝家町(1) 松阪市嬉野一志町(1)、明和町佐田(1) 伊勢市小俣町相合(1)	1 地点 1 圃場	6 地点 6 圃場
冬ハクサイ	四日市鈴鹿 津 松阪	四日市市水沢町 (2)、四日市市下海老町(2)、 鈴鹿市国分町 (2) 津市一志町(2) 多気町丹生(1)、明和町志貴(1)	2 地点 2 圃場	6 地点 8 圃場
冬キャベツ	四日市鈴鹿 津 松阪 伊勢志摩	四日市市平尾町 (1)、四日市市下海老町(1)、四日市中野町(1)、 鈴鹿市国府町(2) 津市芸濃町椋本 (1)、津市北河路町(1)、津市久居野口町(1)、 津市新家町(1) 松阪市嬉野森本町(1) 玉城町岡出(1)	3 地点 3 圃場	11 地点 14 圃場
春キャベツ	四日市鈴鹿 津	四日市市下海老町(1)、四日市市赤水(1) 津市川方町 (2)、津市新家町(2)		
青ネギ	松阪 伊勢	松阪市柿木原町(1) 伊勢市東豊浜町 (1)、伊勢市小俣(2)	1 地点 1 圃場	2 地点 3 圃場
白ネギ	鈴鹿 松阪	鈴鹿市岸田町 (1)、鈴鹿市椿一宮町(1) 明和町佐田(1)、多気町東池上(1)	1 地点 1 圃場	3 地点 3 圃場
冬春イチゴ	津 松阪 伊勢志摩	津市芸濃町椋本(1)、津市雲出長常町(1) 松阪市藤之木町 (1)、松阪市曾原町(1)、松阪市嬉野権現前町(1)、 松阪市新開町(1) 玉城町勝田 (1)、玉城町岩出(1)、伊勢市小俣町相合(1)、 鳥羽市堅神町(1)、 志摩市磯部町栗木広 (1)	2 地点 2 圃場	9 地点 9 圃場

(4)ミバエ類等侵入警戒調査圃場(6 地点)

果樹等に多大の被害をもたらすミバエ類の侵入警戒のために誘引トラップを設置する(4~10 月)。

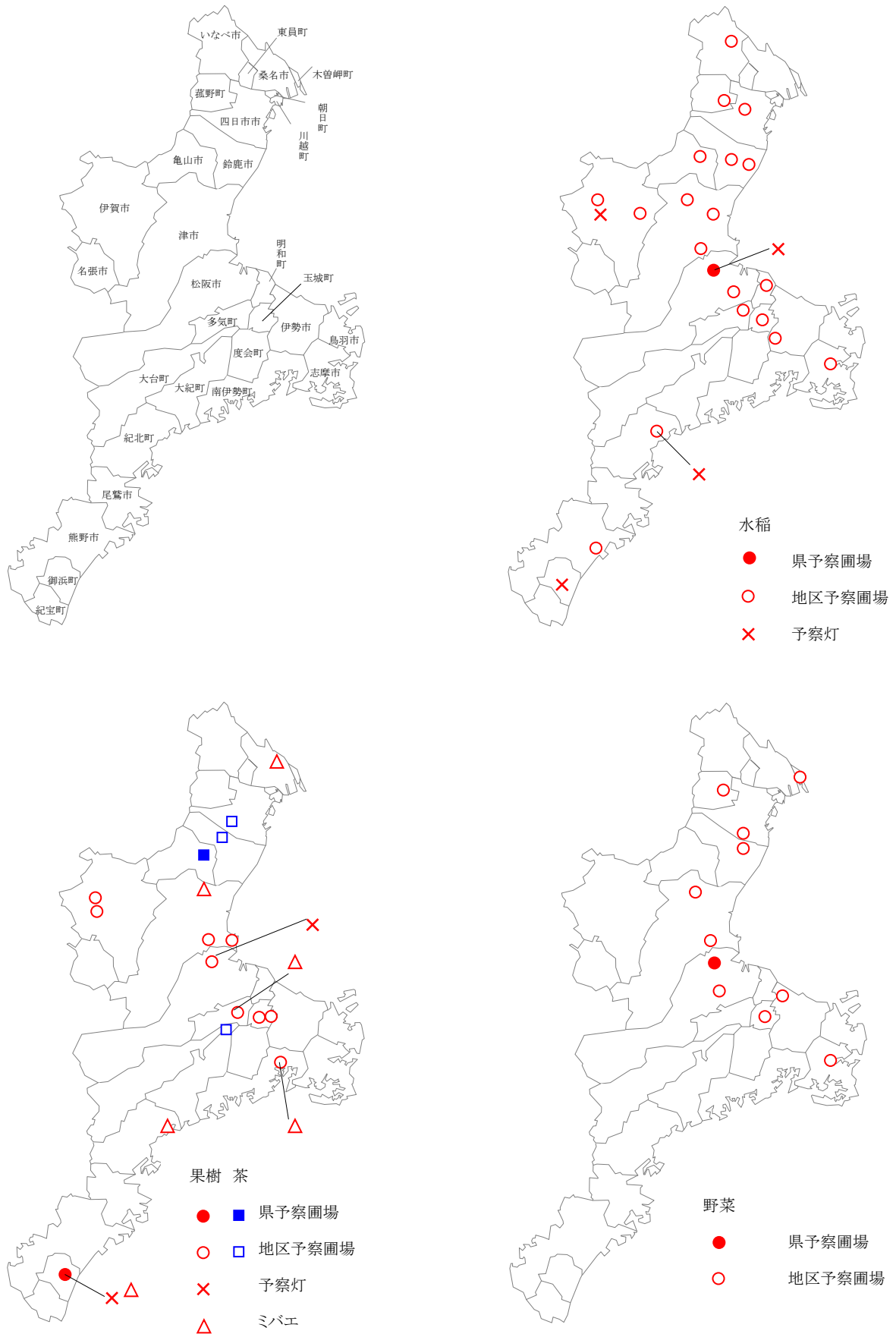
地区	設置場所	ウリミバエ・ミカンコミバエ種群 (ユーゲルア D8)	チチュウカイミバエ (メドフライコール)
桑名	桑名市多度町小山	○	○
津	津市大里窪田町	○	○
松阪	多気町五桂	○	○
伊勢志摩	南伊勢町船越	○	○
紀州	紀北町海野	○	○
	御浜町志原(紀南果樹研究室)	○	○

(5)火傷病侵入警戒調査圃場(7 地点)

寒冷地のリンゴ等に多大の被害をもたらす火傷病の侵入警戒のために巡回調査を実施する(4~9 月)。

調査樹	地区	設置場所
日本ナシ	四日市鈴鹿	四日市市下海老町
	津	津市久居小野辺町、津市香良洲町
	松阪	松阪市嬉野川北町
	伊勢	玉城町富岡
	伊賀	伊賀市羽根
カナメモチ	四日市鈴鹿	鈴鹿市高塚町

(6) 調査地点図



3. 作物別の病虫害発生状況

(1) 水稻

a 生育状況

(a) 育苗期

今回巡回調査を行った県内 20 育苗施設における、ばか苗病の発生状況について、発生施設率は 25%で、昨年(35%)より低く、発生箱率も 0.04%と昨年(0.3%)より低かった。その他の病虫害の発生も平年より少ない傾向であった。

生育は概ね順調に推移したが、夜温が確保できなかった施設では苗丈がやや短くなった。

(b) 移植～活着期

植え傷みにより生育が遅れた地域があったが、4月下旬は平均気温が高く、生育は回復した。

5月以降は晴れた日が多く、気温が平年より高めで推移した。このため、初期生育は平年並に確保され、草丈、茎数が多く推移した。

(c) 分けつ期

6月中旬まで、ほぼ平年並みの天候が続いたが、6月下旬から7月下旬まで、雨や曇りの日が多く、低温、低日照で推移した。そのため、中干しが不十分で、草丈が長く茎数は多く推移した。

(d) 幼穂形成期～出穂期

7月中旬の気温は平年より低く、降水量が多く日照時間が短かった。

(e) 登熟期

8月中旬の台風により、北勢から南勢地域の早期水稻で倒伏が多発した。また中南勢や伊賀地域の普通期水稻で斑点米カメムシによる吸汁により、収量低下した圃場が多かった。

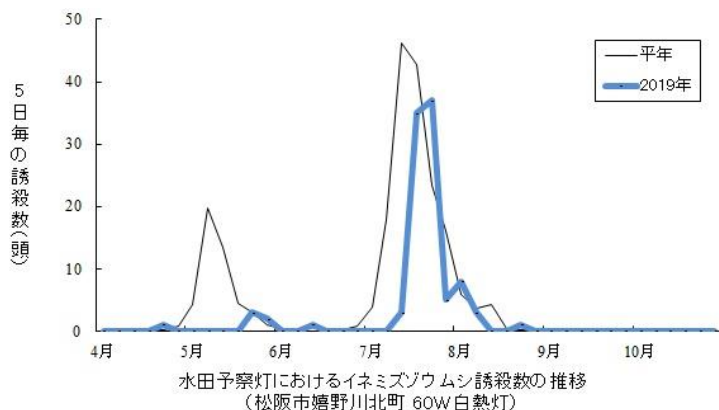
(f) 作柄

収量は 477kg/10a(昨年 499kg)、作況指数 95 のやや不良となった。コシヒカリの 1 等米比率は 19.9%と低かった。

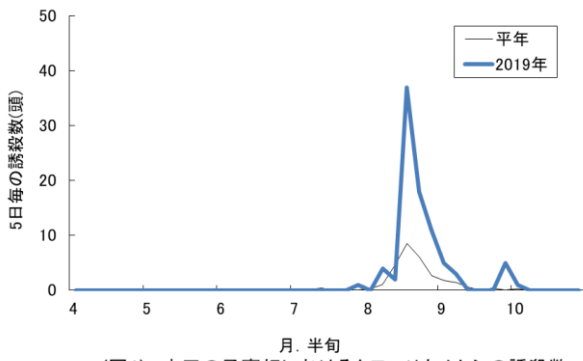
b 病虫害の発生状況

(a) 予察灯での誘殺状況(水田は 60 ワット白熱灯、畑地は 100 ワット水銀灯)

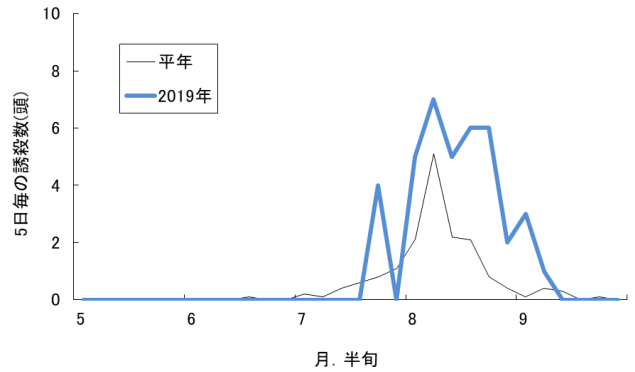
・イネミズゾウムシ



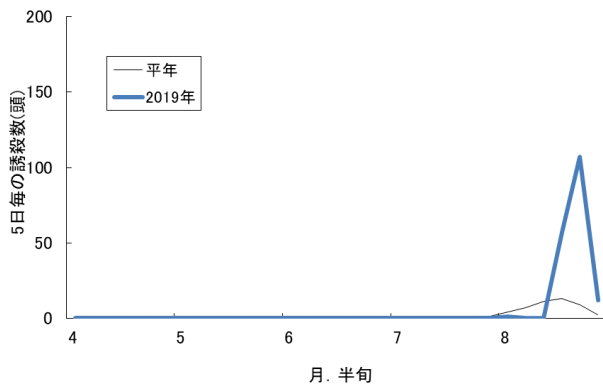
・クモヘリカメムシ



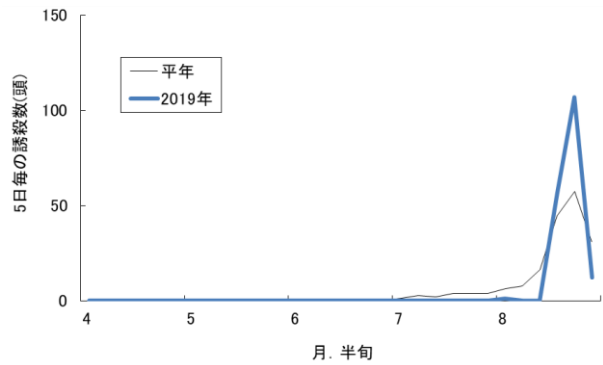
(図4) 水田の予察灯におけるクモヘリカメムシの誘殺数
(松阪市嬉野川北町 60W白熱灯)



(図5) 水田の予察灯におけるクモヘリカメムシの誘殺数
(伊賀市 60W白熱灯)

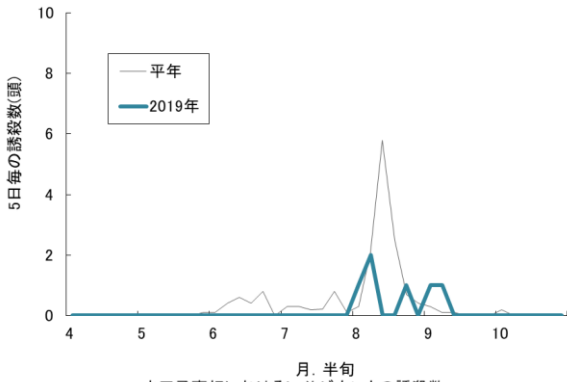


水田の予察灯におけるクモヘリカメムシの誘殺数
(紀北町 60W白熱灯)

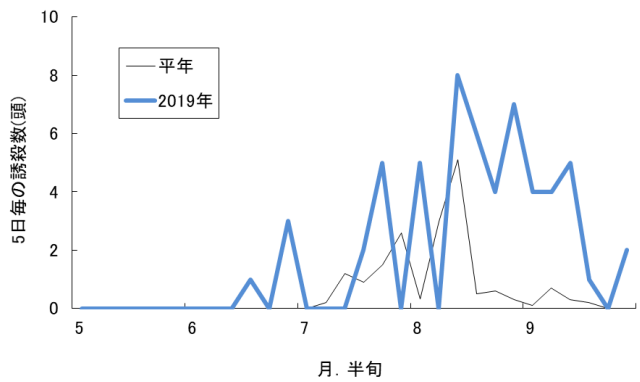


水田の予察灯におけるクモヘリカメムシの誘殺数
(御浜町 60W白熱灯)

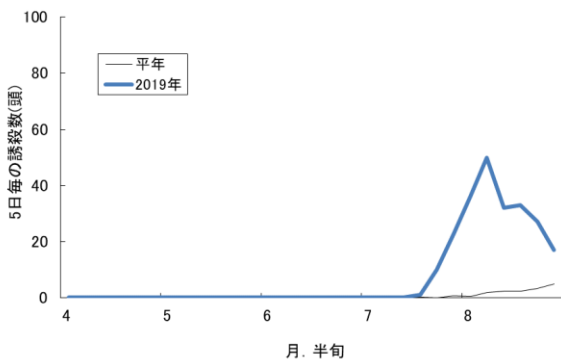
・ヒメビウンカ



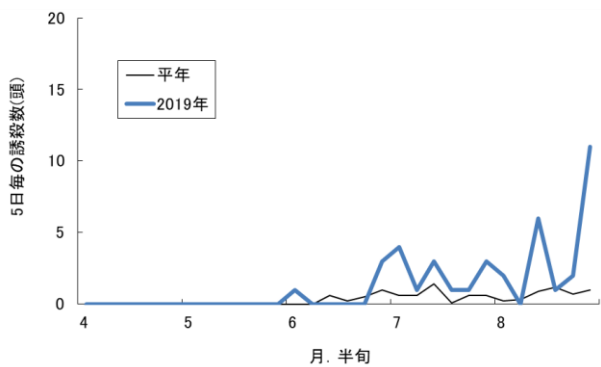
水田予察灯におけるヒメビウンカの誘殺数
(松阪市 60W白熱灯)



水田の予察灯におけるヒメビウンカの誘殺数
(伊賀市 60W白熱灯)

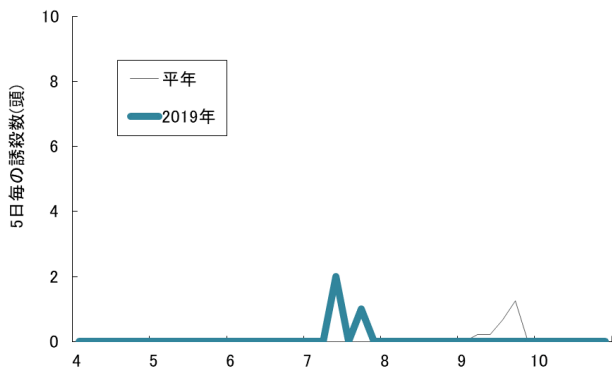


水田の予察灯におけるヒメビウンカの誘殺数
(紀北町 60W白熱灯)

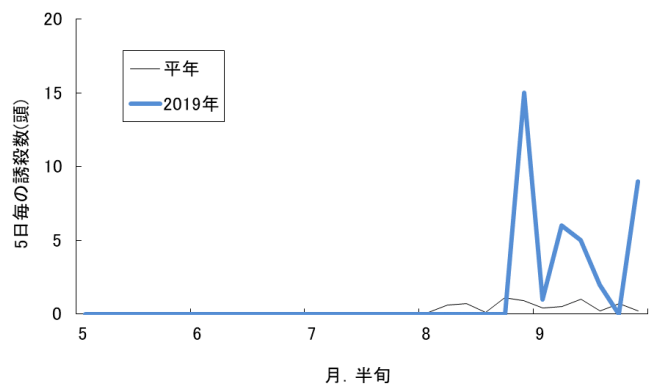


水田の予察灯におけるヒメビウンカの誘殺数
(御浜町 60W白熱灯)

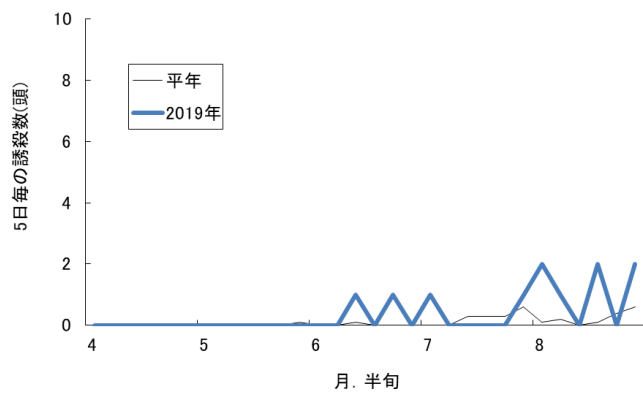
・トビロウソク



水田予察灯におけるトビロウソクの誘殺数
※平年は多発した平成10年以前の平均
(松阪市 60W白熱灯)



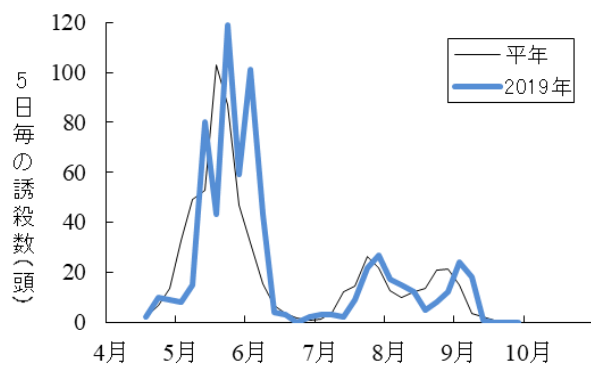
水田の予察灯におけるトビロウソクの誘殺数
(伊賀市 60W白熱灯)



水田予察灯におけるトビロウソクの誘殺数
(御浜町 60W白熱灯)

(b) フェロモントラップでの誘殺状況

・ニカメイガ



(2) 麦類(令和元年年産)

a 生育状況

(a) 播種期

10月が天候に恵まれたことで10月下旬から播種が始まり、地域によってはここ数年で最も早く播種作業が進んだ。11月も中旬までは天候に恵まれ、11月中に播種されたものは全体の80%程度となった。

(b) 生育期

出芽苗立ちは概ね良好となり、冬場の気温が高く推移したことで例年より生育がかなり早まった。3月の9・15日の低温により一部地域で凍霜害の影響が見られたが、全体では生育が良好な圃場が多くなり、収量が確保された。

(c) 出穂期

2月以降も高温気味で出穂はやや早くなった。

(d) 登熟期

成熟期は想定より早くなく、5月下旬から刈り取りが始まった。収穫時期には降雨がしばしば見られ、6月中旬以降まで刈り取り作業が行われた。

b 病害虫の発生状況

コムギ縮萎病は、耐病性品種の作付けが進められたため、県全体としての発生量は少なかった。

赤かび病については、開花期に若干降雨があったものの、発生量は少なく抑えられた。

(3) 大豆

a 生育状況

(a) 播種期

播種は6月下旬から梅雨による長雨があり事前耕起、除草等の作業が進まなかった。一部農家では梅雨の合間に播種できたが、多くは8月上旬播種であり、干ばつの影響で発芽が遅れた。

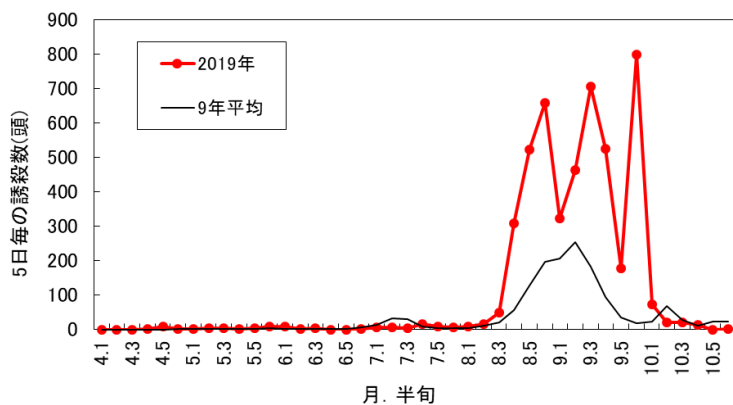
(b) 生育期

遅まきものはかなり草高が低くなったが、10月は8月下旬から9月の高温で生育はかなり進展し、8月上旬播種分についても草高はかなり確保された。

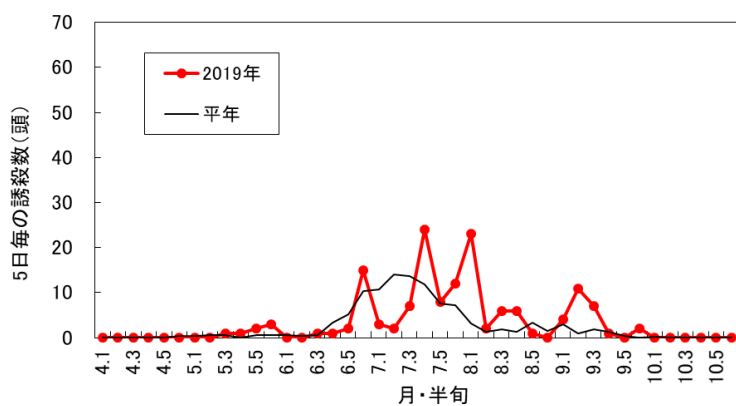
(c) 成熟期

10月中下旬は降水日が多く、日照時間も少なかったことから粒肥大が鈍く不稔莢も多く発生した。台風の影響は少なかったため病害が少なかったが、吸実性カメムシは多く見られた。11月下旬から収穫作業が始まり、小粒が多く、変形粒、腐敗粒が目立った。

b 病害虫の発生状況

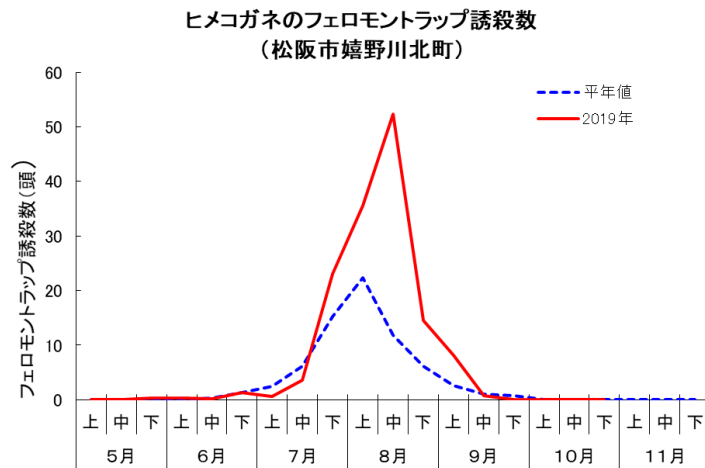


畑地の予察灯におけるミナミアオカメムシの誘殺数
(松阪市嬉野川北町 100W水銀灯)

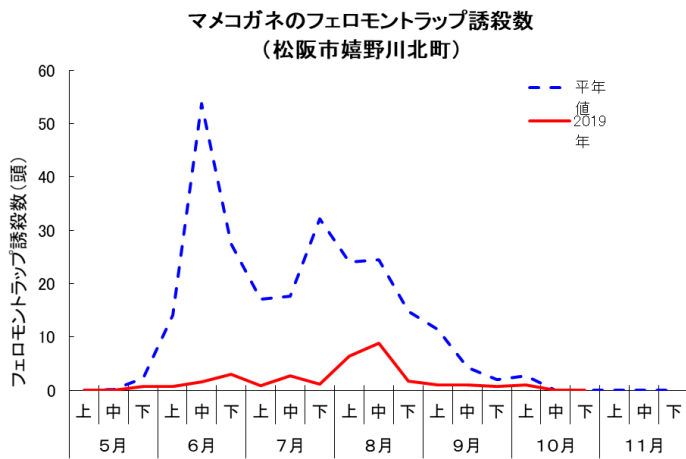


畑地の予察灯におけるイチモンジカメムシの誘殺数
(松阪市嬉野川北町 100W水銀灯)

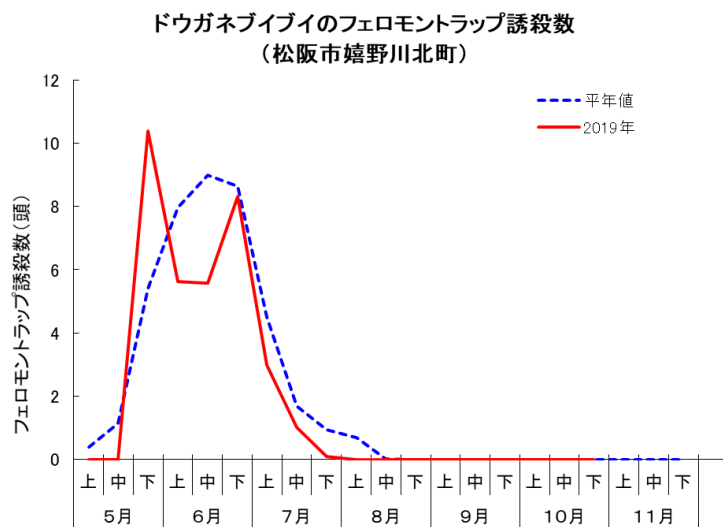
・ヒメコガネ



・マメコガネ



・ドウガネブイブイ



(4) 果樹

① 生育状況

ア カンキツ

- ・発芽期は、平年に比べて極早生温州では5日、早生温州では3日早かった。
- ・開花盛期は、平年に比べて極早生温州では3日、早生温州で2日早かった。
- ・着花量は、極早生温州は紀州地域ではやや多から並。早生温州は紀州・伊勢志摩地域で並、津以北で少。普通温州は松阪以北でやや少。バラツキが大きかった。
- ・果実発育は、横径が極早生温州は0.6mm 平年より小さく、早生温州は2.9mm 平年より大きかった。
- ・果実品質は、糖度については、平年に比べて極早生温州は1.0度低く、早生温州は1.5度低くなった。クエン酸については、平年に比べて極早生温州は0.09度低く、早生温州は0.16度低くなった。

イ ナシ(幸水)

- ・開花盛期は平年並みの4月15日だった。収穫盛期は平年より2日早く、8月17日であった。
- ・果実の成長は良好であり、収穫期における果実は平年より大きく肥大した。
- ・果実品質は平年と比較して果実糖度及び果実重は平年並みだった。

ウ カキ(前川次郎)

- ・開花盛期は平年より1日早い5月20日と平年並みであった。
- ・果実肥大は平年を上回る大きさに推移したものの、収穫期には平年並みとなった。
- ・収穫盛期は樹上での果皮色の進行が遅く平年より10日遅い、11月21日であった。
- ・果実品質は果実糖度、果実重ともに平年並みであった。

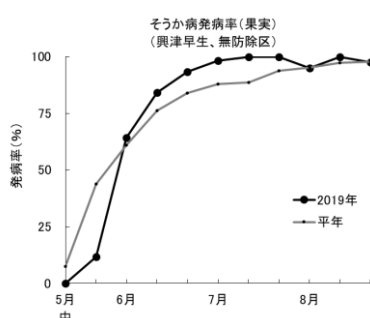
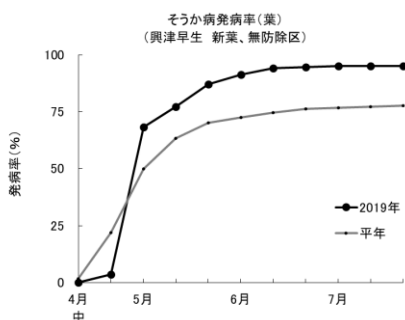
エ ブドウ(巨峰)

- ・春先の高温傾向により発芽直前まで生育は促進されていたが、4月上旬の低温により発芽期は露地栽培で平年より4日遅かった。開花盛期は3日遅かった。有核栽培の結実は良好であった。
- ・生育初期の日照時間は多かったが、梅雨の時期は平年と比べて降水量が多く、日照時間は少なかった。収穫期は露地栽培で平年より早くなった。果実品質は平年と比較して糖度、果粒重とも同程度であった。

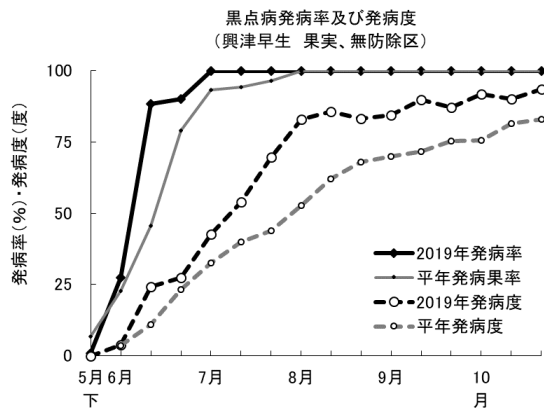
② 病害虫の発生状況

ア カンキツ(御浜町 紀南果樹研究室)

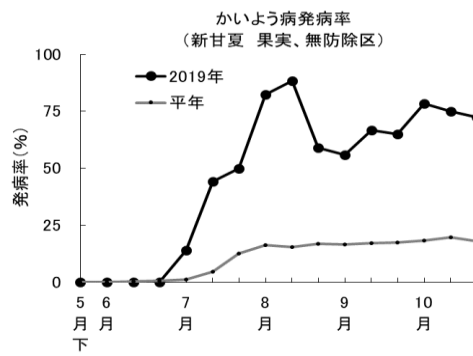
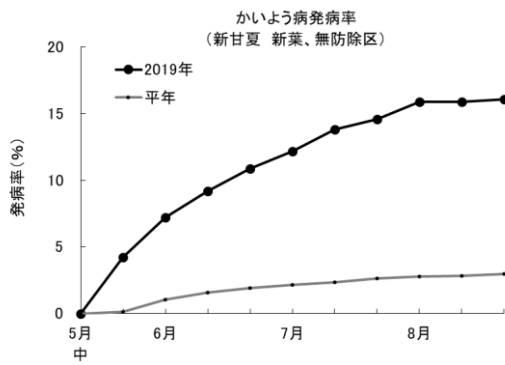
ア) そうか病



イ) 黒点病

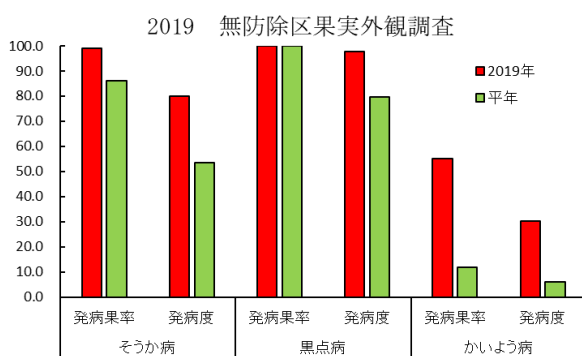


ウ) かいよう病

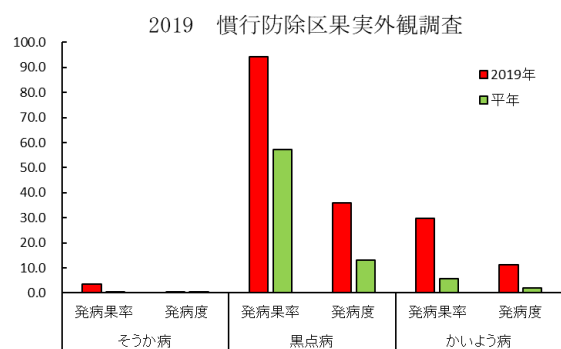


エ) 収穫果実(外観果実調査)

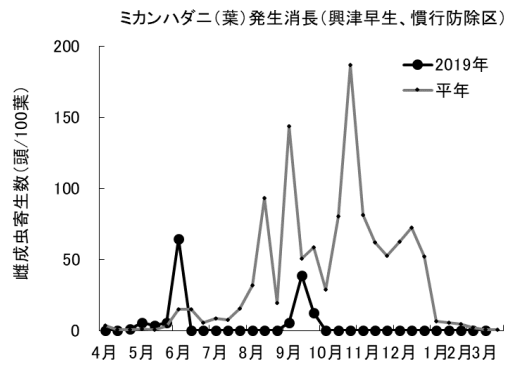
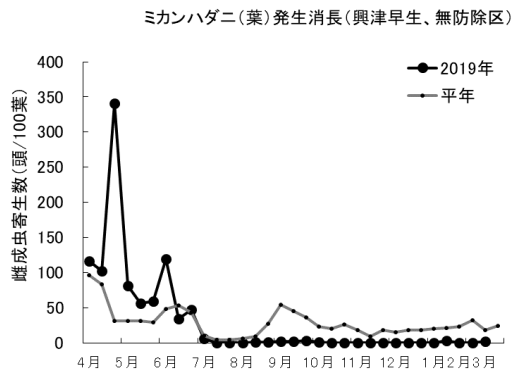
無防除区



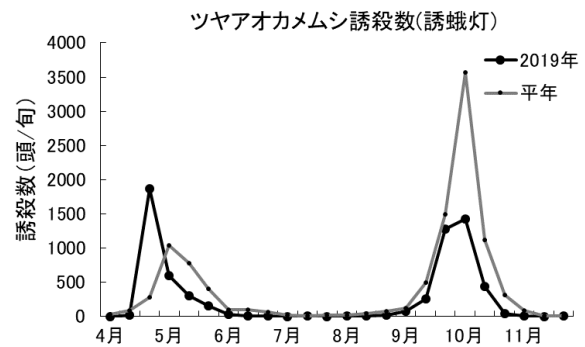
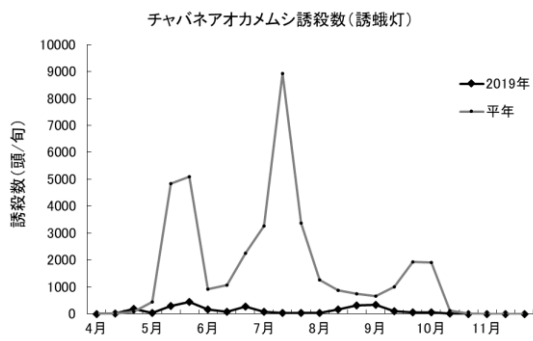
慣行防除区



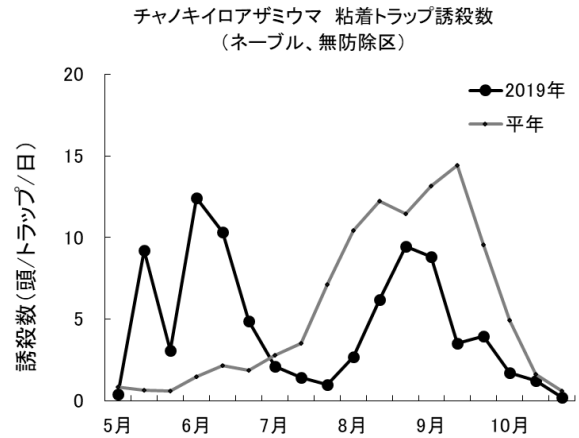
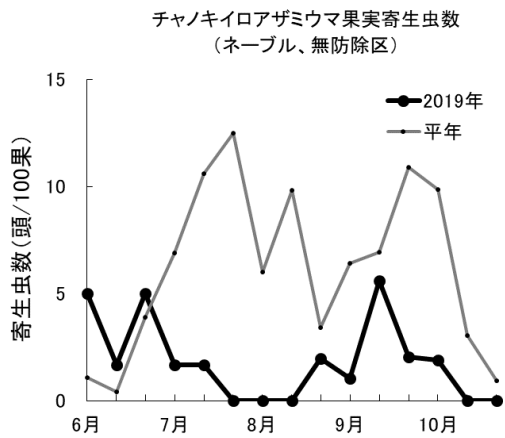
オ)ミカンハダニ



カ)カメムシ類の予察灯への飛来状況

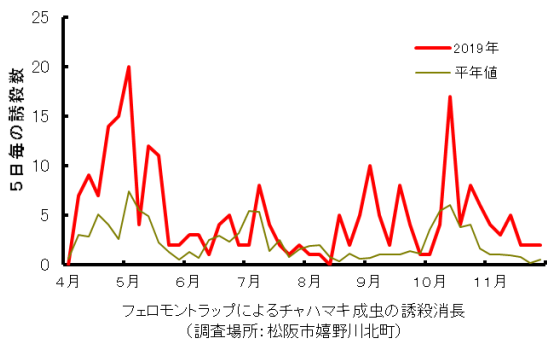
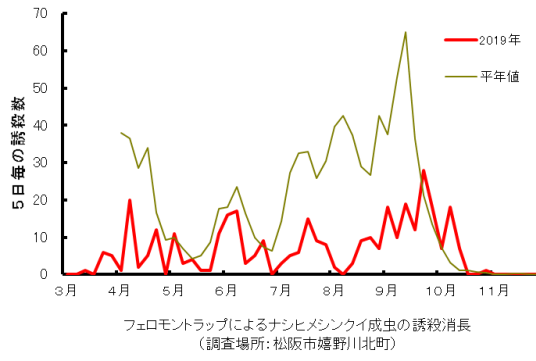
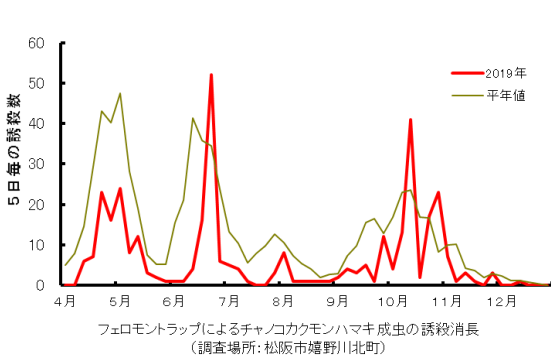


キ)チャノキイロアザミウマ

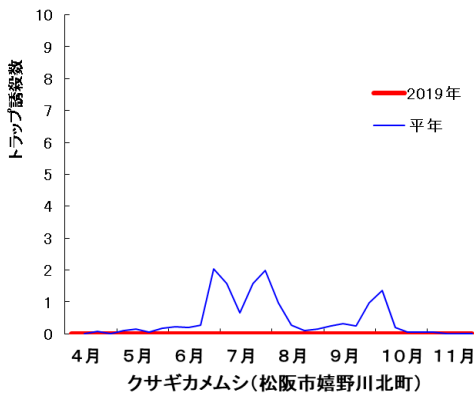
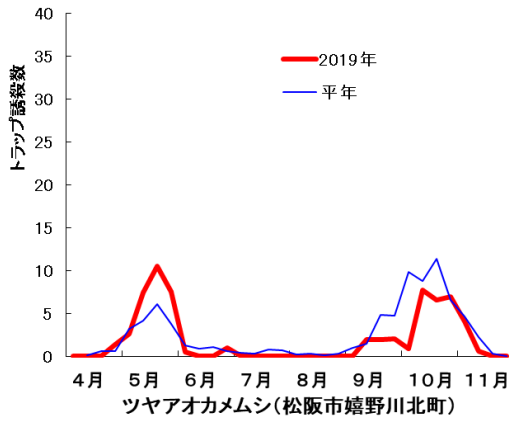
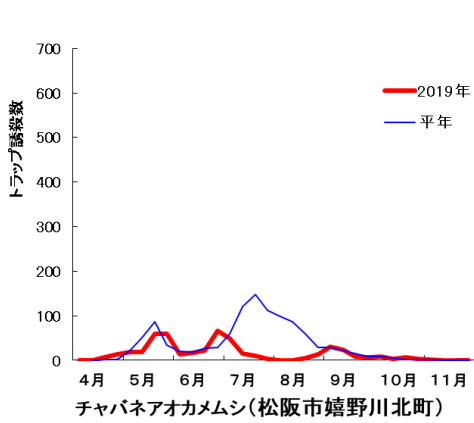


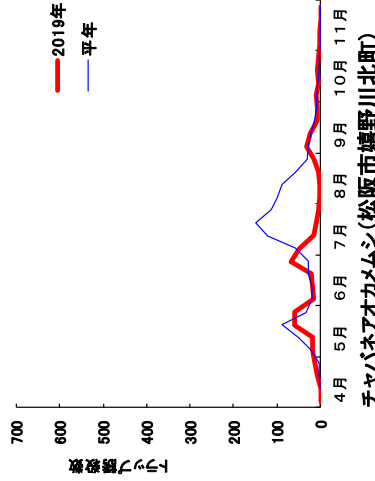
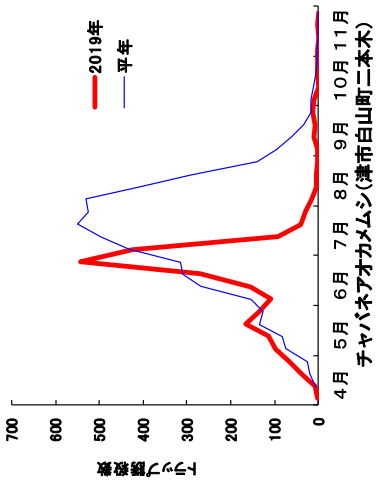
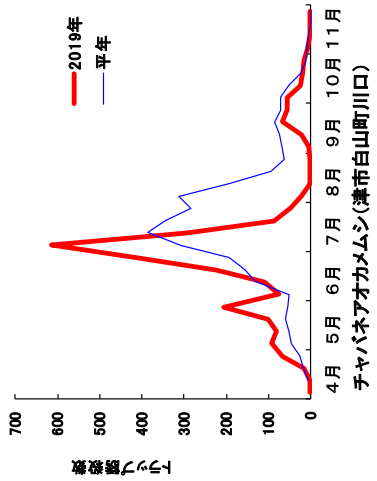
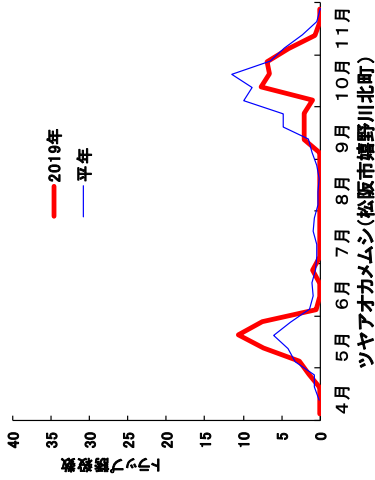
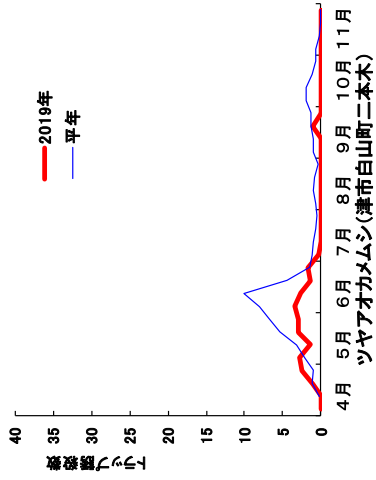
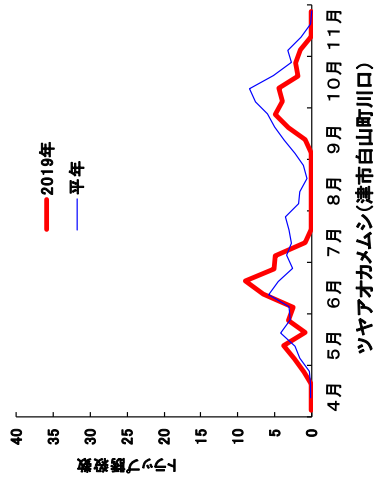
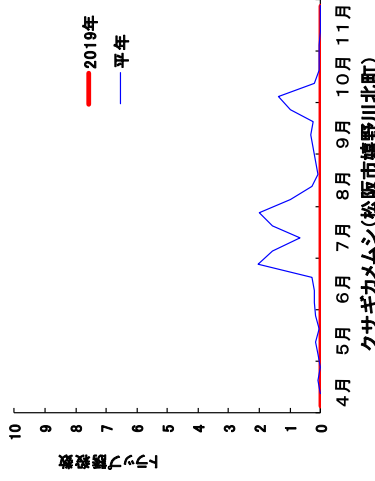
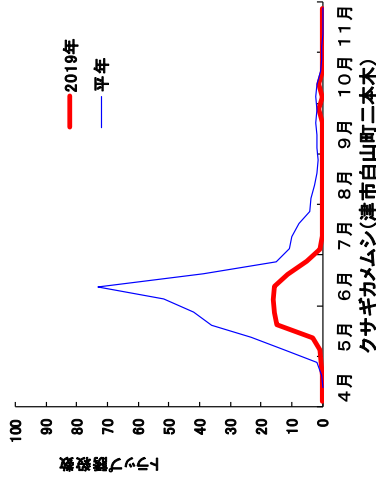
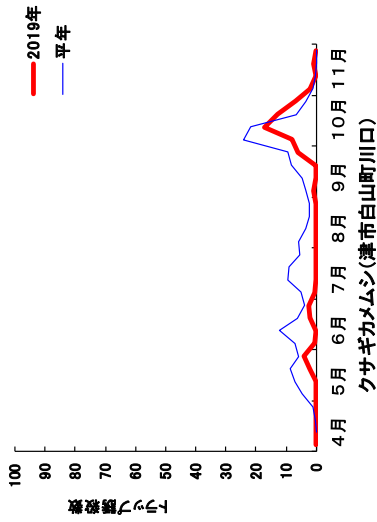
イ ナシ

ア) フェロモントラップでの誘殺状況(松阪市嬉野川北町 病害虫防除所)



イ) カメムシ類の予察灯への飛来状況(松阪市嬉野川北町 病害虫防除所)





(5) 茶

①生育状況

- ・ 一番茶の摘採時期は平年並みまたはやや遅。

(生育に関するデータ)

農水省 8月20日発表

一番茶摘採面積 2620ha(前年比 97%)、単収 477kg(前年比 91%)

農業研究所茶業・花植木研究室作況園

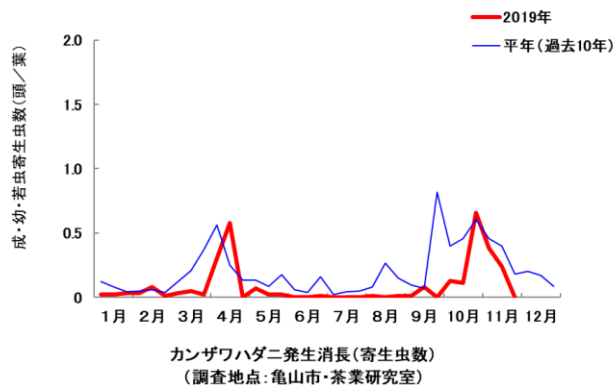
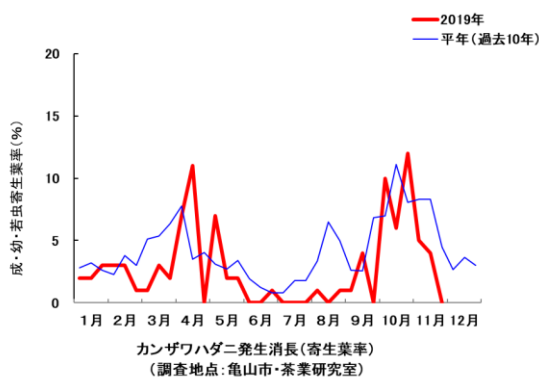
一番茶:摘採時期 5/6(平年 5/3)、単収 203kg 前年度中切り更新(平年 547kg)

二番茶:摘採時期 6/25(平年 6/27)、単収 312kg 前年度中切り更新(平年 618kg)

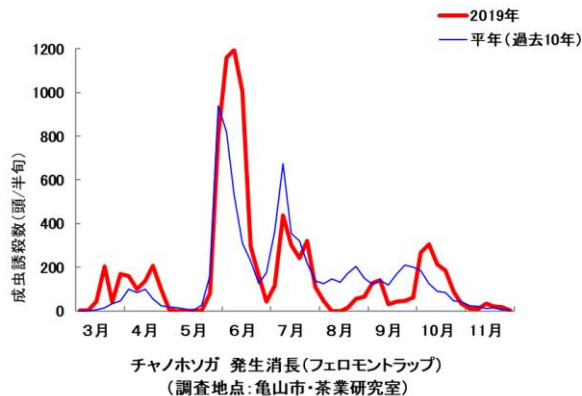
②病虫害発生状況

- ・ 炭疽病等の病害はやや少～平年並で推移した。
- ・ カンザワハダニは一ニ番茶摘採前後まで密度が高かったが、その後やや低く推移し、秋季に増加した。チャノコカクモンハマキとチャノホソガは概ね平年並であった。チャノホソガは6月に多い茶園が見られたが、二番茶後はやや少平～年並で推移した。その他の害虫について概ね平年並であった。

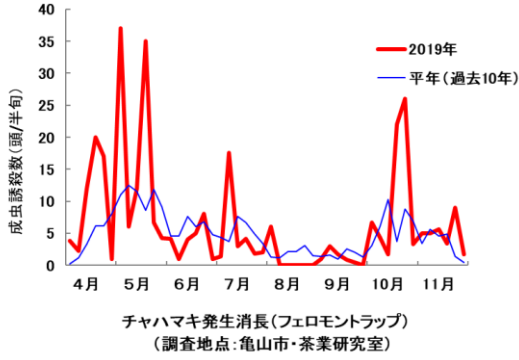
ア) カンザワハダニ



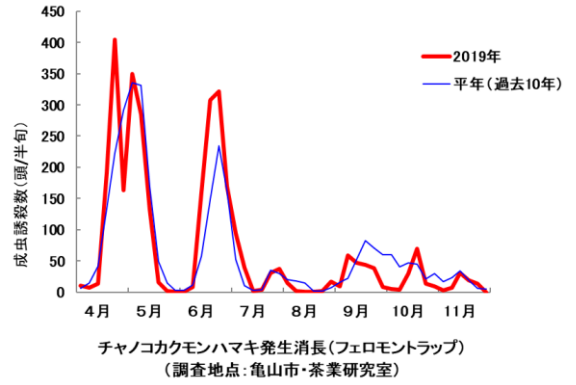
イ) チャノホソガ



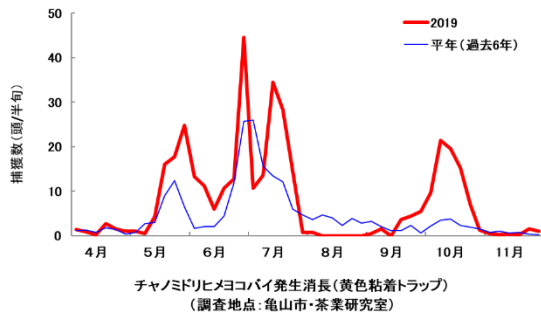
ウ) チャハマキ



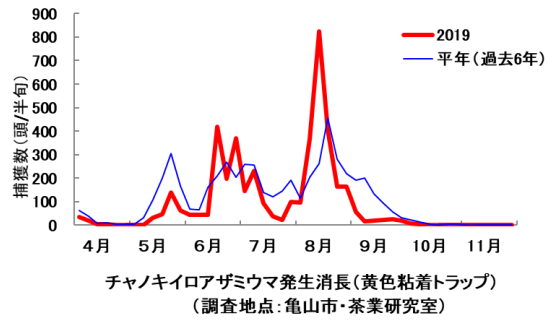
エ) チャノコカクモンハマキ



オ) チャノミドリヒメヨコバイ



カ) チャノキイロアザミウマ

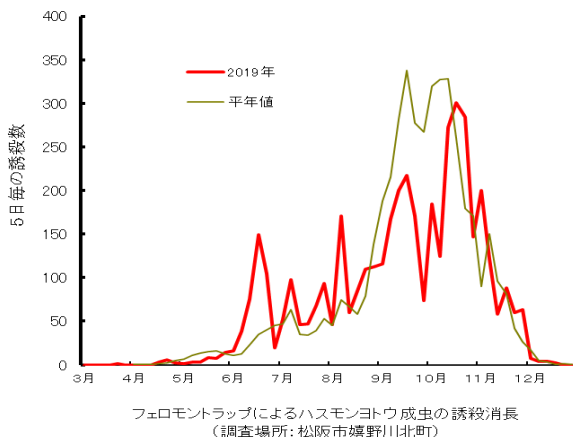
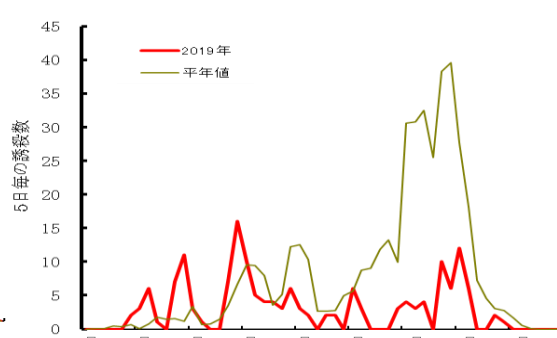
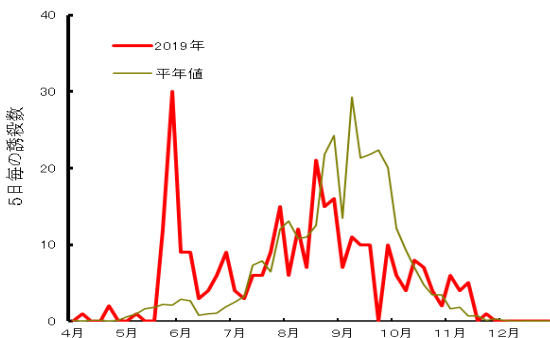
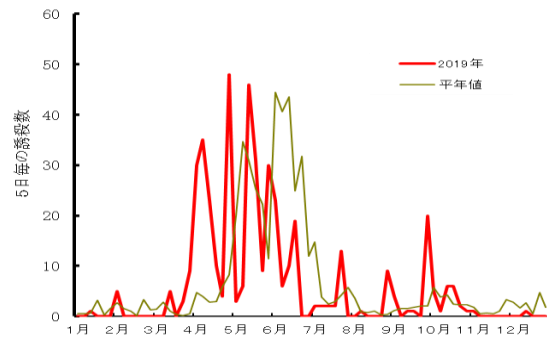
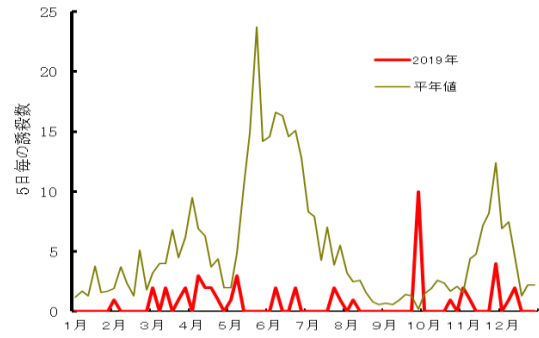


(6) 野菜

a 生育及び病害虫の発生状況

- ・トマトでは、特に北勢地域でタバココナジラミの発生により黄化葉巻病が多く見られた。
- ・キャベツ、ハクサイなどの露地野菜では、全般的に病害の発生は少なく経過したが、キャベツでは、畑地の一部ほ場で菌核病が多く発生したほ場が見られた。
- ・ハクサイでは、特に土壌が湿地気味のところで軟腐病の発生が見られた。
- ・ネギでは、ネギハモグリバエの被害で、葉の白化が著しい被害が見られ、ネギハモグリバエの別系統の発生を確認した。これにより特殊報第3号の発表を行った。
- ・イチゴでは、台風の影響による炭そ病が多く発生した。ハダニ類は園地によつての差が大きく、発生量は天敵などの定着に左右されているとみられる。アザミウマ類については少ない傾向であった。灰色かび病は一部園地で果実を中心に確認されたが、うどんこ病は全体的に発生は少なかった。

b フェロモントラップ



(7) 全作物一覧

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
イネ(早期)	葉いもち	6月中旬～8月上旬	平年：並 前年：－	育苗期間中および置き苗での発生なし。7月上旬の発生面積、発病程度ともに平年並であった。	感染好適条件は6月上旬から7月上旬に出現し、中山間や谷地田で発生したが、それ以上に蔓延しなかった。また、箱施用や本田防除が行われたこと、前年の穂いもちの発生がやや少なく感染源の持ち込みが少なかったこと、感染好適条件出現が少なかったこと等の要因で発生が抑えられた。	箱施用、本田防除が行われた。病害虫防除技術情報第5号(7月12日発表)による注意喚起を行った。
	穂いもち	7月下旬～8月下旬	平年：並 前年：－	発生面積、発病率ともに平年並であった。	穂いもちの発生が少なかったが、出穂期に降雨が多かったため、発生圃場が散見された。	本田防除が行われた。
	紋枯病	7月～8月	平年：並 前年：－	7月上旬の発生は少なかったが、8月上旬は発生は場率がやや高く、発病株率、発病度は平年並みであった。発生は場内で水平進展は見られたが、垂直進展は少なかった。	発生時期は高温で推移したが、平年に比べ水稲の茎数少なく、多発条件とはならなかった。	被害の恐れのある圃場では本田防除が行われ、実害は出なかった。
	斑点米カメムシ類	6月～9月	平年：やや多 前年：－	6月上旬頃から7月には発生がやや少なかったが、8月以降多く発生した。また、斑点米カメムシ類全体では、期間を通して平年並の発生量だった。	7月下旬から8月上旬の降雨が少なく推移したため、活動及び増殖に好適となり、発生量がやや多くなったと考えられる。	被害の恐れのある圃場では本田防除が行われた。
	イネミズゾウムシ	5月～6月	平年：少 前年：－	移殖後の5～6月における越冬世代成虫の発生量、8月上旬における第一世代成虫の発生量ともに平年より少であった。	昨年夏の越冬成虫量は平年並、第一世代の発生量はやや少であった。近年の過度な高温によって発生密度が抑制されたと思われる。	被害の恐れのある圃場では箱施用が行われ、実害は出なかった。
	ツマグロヨコバイ	6月～9月	平年：並 前年：－	発生量は平年並であったが、ほ場、地域、時期による差が大きかった。	発生密度が平年並であったことについての要因は不明である。	本種を対象とした防除は行われていないが、箱施用等により被害が発生しない程度に抑制されていると思われる。
	セジロウンカ	6月～9月	平年：少 前年：－	発生量は平年より少なかった。	7月中旬まで予察灯への飛来がなかった。	本種を対象とした防除は行われなかった。
	トビイロウンカ	7月～9月	平年：やや多 前年：－	6月第3半旬以降、予察灯により飛来を確認した。また、発生箇所は少なかったものの、トビイロウンカによる評価れ症状が発生した。	本年は飛来性害虫の飛来がやや多かった。	本種を対象とした防除は行われなかった。
	ヒメトビウンカ	6月～9月	平年：やや多 前年：－	発生面積・発生量は平年よりやや多かった。	梅雨期に降雨が少なく、その後も高温少雨で推移したため、活動及び増殖に好適となり、発生量がやや多くなったと思われる。	本種を対象とした防除は行われていない。実害はほとんどなかったと考えられる。
	ニカメイガ	6月～8月	平年：並 前年：－	近年増加傾向にあったが、本年は越冬世代、第一世代ともに発生量はやや少なかった。	近年増加傾向であったのが、本年度の発生量がやや少となった原因は不明である。フェロモントラップの誘殺数は、越冬世代では平年並、第一世代ではやや少であった。	例年被害の出る地域では、必要に応じて防除が行われた。
	コブノメイガ	7月～9月	平年：少 前年：－	7月第4半旬に、繭と第1世代成虫を確認した。発生圃場における被害率は3.3%で、次の世代による被害が懸念された。	これまで飛来量が少なく、本田での発生量は少なかった。近年、普通期水稲の栽培面積が増加しているため、対策を検討する必要がある。	本種を対象とした防除事例は少ないが、病害虫防除技術情報第7号(7月26日発表)による注意喚起を行った。
	白葉枯病	8月	平年：並 前年：－	早期栽培水稲のうち、収穫期の遅いほ場で発生を確認した。	8月の台風(強風を伴う降雨)により感染したと考えられる。	本病害を対象とした防除は行われなかった。
	もみ枯細菌病(細菌性苗腐敗症)	4月中旬～5月上旬、8月	平年：並 前年：－	発生量は平年より少なかった。	健全な種子が供給されるようになり、また、育苗施設の環境も良くなったため、近年発生は少ない。	種子消毒で防除を行った。
	苗立枯病	4月中旬～5月上旬	平年：並 前年：－	育苗期間中の発生量は全体としては平年並に少なかった。	育苗期間中に夜温が低かったり、日中高温となったりした施設では苗の生育が不良となり、発病が誘発された可能性がある。	種子消毒及び育苗箱散布を行った。
	ばか苗病	4月中旬～5月上旬、7月	平年：並 前年：－	育苗期間中の発生量は平年並に少なかったが、本田で発生した圃場が散見された。	種子消毒の不備により発生したと考えられるが、発生箇所は少ない。	種子消毒で防除した。育苗期間中も防除、適正管理の指導が行われている。採種圃および周辺圃場でも対策が徹底された。
	織葉枯病	平年：－	平年：並 前年：－	発生は確認されていない。	例年、発生は確認されていない。	本病害を対象とした防除は行われていない。
	萎縮病	平年：－	平年：並 前年：－	発生は確認されていない。	例年、発生は確認されていない。	本病害を対象とした防除は行われていない。
	イネドロオイムシ	5月中旬～7月上旬	平年：やや少 前年：－	発生量は少なかった。例年、実害は少ない。	発生が散見されたが、収量減につながる被害はなかった。	本種の防除を目的とした防除は行われなかった。
	イネクロカメムシ	5月中旬～9月	平年：少 前年：－	発生量は少なかったが、一部地域では6月上旬頃から発生が確認された。	近年の一時期、被害が多発したがことがあったが、本年は発生量が少なかった。原因は不明である。	本種を対象とした防除は行われなかった。実害はなかった。
	イチモンジセセリ	7月～8月	平年：少 前年：－	発生量は平年より少なかった。	数年に1度、発生の少ない年があり、変動の範囲内であると思われる。	本種を対象とした防除は行われていない。
アワヨトウ	7月～8月	平年：少 前年：－	7～8月の発生はほとんどなかった。	近年増加傾向にあったが、発生量は減少に転じた。原因は不明である。	本種を対象とした防除は行われていない。	
フタオビコヤガ	7月～8月	平年：並 前年：－	6～8月の発生量は少なかった。	数年に1度、発生の少ない年があり、変動の範囲内であると思われる。	本種を対象とした防除は行われていない。実害はなかった。	
イナゴ類	6月～9月	平年：並 前年：－	圃場、地域による差が大きかったが、7～8月の発生量は平年並であった。8月以降、葉の食害が目立つ圃場が見られた。	近年増加傾向にある。	本種を対象とした防除は行われていない。実害は少なかったと思われる。	
イネシガラセンチュウ	平年：－	平年：並 前年：－	発生はほとんど確認されなかった。	種子更新・種子消毒が行われており、例年発生量は少ない。	種子消毒で防除した。	
小麦	うどんこ病	4月～5月	平年：並 前年：－	発生はほとんど確認されなかった。	近年ほとんど発生を確認しておらず、発生量は平年並に少ない状況であった。	本病を主目的とした防除は行われていない。
	赤かび病	5月～6月	平年：やや少 前年：－	発生量はやや少なかった。	4月5月の感染好適日に降雨が少なかった。	開花期の葉剤防除が行われた。
	さび病類	4月～6月上旬	平年：並 前年：並	発生はほとんど確認されなかった。	近年ほとんど発生を確認しておらず、発生量は平年並に少ない状況であった。	本病を主目的とした防除は行われていない。
	縞萎縮病	4月～5月	平年：やや少 前年：並	発生はほとんど確認されなかった。	耐病性品種の作付が増えた。	耐病性品種・播種時期・施肥管理など耕種的に対応した。
	黒穂病類	5月～6月	平年：並 前年：並	発生はほとんど確認されなかった。	種子更新により、健全な種子が使用されているため、ほとんど発生はなかった。	本病を主目的とした防除は行われていない。
	ムギアカタマバエ	5月～6月	平年：並 前年：並	発生はほとんど確認されなかった。	連作圃場では発生があった、わずかである。	連作回避で防除した圃場が多かった。

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
	アブラムシ類	4月～6月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	5月上旬の発生量は平年より少なかった。	例年の発生変動の範囲内である。	本種を主目的とした防除は行われていない。
大豆	アブラムシ類	8月～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	発生量は平年よりやや少なく推移した。	例年の発生変動の範囲内である。	本種を主目的とした防除は行われていない。
	ハスモンヨトウ	8月～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	8月～9月の発生量が平年より少なかった。	飛来数は平年並みであったが、発生量は少なかった。	集団化された圃場では、発生量に応じて無人ヘリまたは乗用散布機で防除が行われた。
	吸蜜性カメムシ類	8月～10月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	各地で発生が確認された。	近年ミナミアオカメムシが分布拡大し、発生量が増加した。早期水稻の収穫に伴ってダイズへの飛来が集中した。	集団化された圃場では、発生量に応じて無人ヘリまたは乗用散布機で防除が行われた。
	紫斑病		平年：やや少 前年：並	紫斑粒の発生量はやや少なかった。	種子消毒の実施が指導された。	健全種子の使用、種子消毒が行われた。集団化された圃場では、無人ヘリまたは乗用散布機で防除が行われた。
	コガネムシ類	8月～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	圃場での発生は確認されたが、平年並に少なく推移した。	フェロモントラップの状況から本年の発生量は、平年並に少なかったと思われる。	本種を主目的とした防除は行われていない。
	シロイチモジマダラメイガ		平年：やや少 前年：並	食害による被害粒の発生量はやや少なかった。	例年の発生変動の範囲内である。	本種を主目的とした防除は行われていない。
かんきつ	そうか病	春葉 4～7月 平年：並 前年：早 果実 5～9月 平年：やや早 前年：並	平年：並 前年：並	春葉での初発は4月22日(平年4月15日)と遅く、果実では5月19日(平年5月17日)とやや遅かった。発生量は、期間を通してほぼ平年並で推移した。	5月中旬～6月上旬の降水量は平年並～やや多かったが、防除が的確に行われ、発生が抑制された。	イミベンコナゾール剤、ジチアノン剤等による発芽期防除が実施されている。
	黒点病	果実 5月～ 平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	果実での初発は5月下旬と平年並(県予察圃)。一般圃場では概ね適切に防除できており、発生は平年並に推移した。	5月中旬～6月上旬の降水量は平年並～やや多かったが、防除が的確に行われ、発生が抑制された。	初期感染時期から降水量に応じてマンゼブ剤、マンネブ剤、ポリカーバメート剤等による防除が実施された。
	かいよう病	春葉 5～9月 平年：やや遅 前年：やや遅 果実 6～9月 平年：遅い 前年：遅い	平年：やや多 前年：やや少	温州みかんでの発生量は期間を通じて平年並に少なかった。中晩柑での発生量は平年並であったが、防除の差が局所的に発生が見られる圃場があった。	中晩柑では銅剤による防除の実施により数年前から発生が抑制されていることが期間全体で発生が抑えられた大きな要因と考えられる。	中晩柑類では定期的な銅剤による防除が実施された。また、降雨の前後には銅剤等による防除が実施された。
	ミカンハダニ	4月～ 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや少	6月中旬頃までは発生量が全体的に平年よりやや多かったが、7月以降はやや少なく推移した。	7月以降の降水量が多かったため、ハダニの発生量の増加は抑えられた。	マシン油乳剤を主体とした防除が実施されているが、多発時にはアセキノシル剤、シフルメトフェン剤、シエノピラフェン・ピリダベン剤等による防除が実施された。
	ハマキムシ類	5月～ 平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	防除が的確に行われ、発生が抑制された。	アラニカルブ剤等による防除が実施された。
	褐色腐敗病	8月～ 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生は平年並に少ない。	8月は比較的雨少だったため、平年並に少なく推移した。	マンゼブ剤、シアゾファミド剤等で防除が実施された。
	ヤノネカイガラムシ	第1世代 4～7月 第2世代 7～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	近年、全般的に発生量自体が少ないが、防除の差によるものか、局所的に発生が確認される圃場もあった。	マシン油乳剤、DMTP剤等による防除が実施された。
	チャノキイロアザミウマ	5月～ 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	5月～6月に局所的に多発している圃場が確認された。	防除が的確に行われ、発生が抑制された。	ネオニコチノイド剤、クロルフェナビル剤等による防除が実施された。
	アブラムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	期間を通じて平年並に推移した。	発生が増える6月中旬までの降水量が平年並～やや多かったため、アブラムシの増加は抑えられた。	幼木を中心に、アセタミプリド剤、チアメトキサム剤による防除が実施された。
	ミカンハモグリガ	5～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや少	夏秋梢の発生が多い圃場で局所的に発生が確認された。	夏秋梢の発生自体が少なかったため、発生が多い圃場に集中して被害が確認された。	幼木を中心に、アセタミプリド剤、チアメトキサム剤による防除が実施された。
アカマルカイガラムシ	第1世代 5～6月 第2世代 7～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	紀州地域に限定して発生しており、近年増加傾向。発生ピークは6月下旬。	天候により防除が徹底できなかった圃場で取りこぼしがあり、春先はいくらか発生を確認。	マシン油剤、DMTP剤、プロフェンジン剤、ネオニコチノイド剤等による防除が実施された。	
かき	カキノヘタムシガ	7月～ 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	期間を通じて平年並に少なく推移した。	例年発生は確認されているが防除により概ね抑えている。	ネオニコチノイド剤、アラニカルブ剤、プロチオホス剤等による防除が実施された。
	ハマキムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	例年発生は少ない。	IGR剤、フェンプロバトリン剤等による防除が実施された。
	炭疽病	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	例年発生は少ない。	マンゼブ剤、イミノクタジン剤等による防除が実施された。
	うどんこ病	5月～ 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	6月頃から発生は確認されたが、期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	梅雨明け後の防除により発生が抑制された。	石灰硫黄合剤、テブコナゾール剤、イミノクタジン剤等による防除が実施された。
	カキクダアザミウマ	5月～ 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	近年、典型的な被害の発生は、ほとんど見られない。発生密度そのものが低いと考えられる。	本害虫を対象とした防除は通常実施されていない。
	フジコナガイガラムシ	6月～ 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	適期の薬剤防除により発生が抑制された。	ジノテフラン剤、DMTP剤、プロチオホス剤等による防除が実施された。
なし	黒星病	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	発生量は全体的にやや少なく推移した。圃場間の差が大きい。防除のタイミングと前年の落葉処理等による圃場ごとの菌密度の差が原因と考えられる。	前年の落葉処理が不徹底だった圃場においては発生が増えたと考えられる。	発病初期には罹病部の除去が行われた。また、ストロビリン系剤、DMI剤、ジチアノン剤等による防除が実施された。
	ナシヒメシクイ	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	チャノココカクモンハマキのフェロモントラップ(松阪市)では平年並みの発生動向であった。一般圃場での発生量は平年並に少なく推移した。	一般圃場ではバラツキはあるものの薬剤防除によって発生が抑制された。	ネオニコチノイド剤、チオジカルブ剤等による防除が実施された。一部では地域でまとまって、交信攪乱剤の設置が行われた。
	ハマキムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	チャノココカクモンハマキのフェロモントラップ(松阪市)では平年並みの発生動向であった。一般圃場での発生量は平年並に少なく推移した。	一般圃場ではバラツキはあるものの薬剤防除によって概ね発生が抑制された。	ネオニコチノイド剤、MEP剤等による防除が実施された。地域でまとまって、交信攪乱剤の設置が行われた。
	ハダニ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	期間を通じて発生は少なく推移した。	降雨と防除により抑制されたと考えられる。	エトキサゾール剤、ピフェナゼート剤、ミルベメクチン剤等による防除が実施された。

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
	赤星病	4～6月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	期間を通じて発生は少なく推移した。	近年、典型的な被害の発生は、放任園地以外ではほとんど見られず、発生密度そのものが低いと考えられる。	DMI剤、マンゼブ剤等による防除が実施された。
	うどんこ病	5～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生は平年並に推移した。	適期の薬剤防除などにより多発に至らなかったと考えられる。	イミノクタジン剤、EBI剤等による防除が実施された。
	輪紋病	5～8月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	例年発生は少なく、病原菌密度そのものが低いと考えられる。	DMI剤等の散布や休眠期のチオファネートメチルペースト剤塗布による防除が実施された。
	アブラムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量はやや少なく推移した。	的確な防除により、発生が抑制された。	ネオニコチノイド剤等による防除が実施された。
	クワコナガイガラムシ	5～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	初期の発生が少なく、梅雨明け後に適期防除ができた。	DMTP剤、ピリフルキナゾン剤等による防除が実施された。
	ぶどう	べと病	6～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量はやや少なく推移した。	適期防除により発生は抑制された。
ハマキムシ類		4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	適期の薬剤防除などにより多発に至らなかったと考えられる。	ダイアジン剤等による防除が実施された。
晚腐病		6～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生量は平年並で推移した。	適期防除により発生は抑制された。	アゾキシストロビン剤、マンゼブ剤等による防除が実施された。
黒とう病		4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	発生密度そのものが低いと考えられる。	イミベンコナゾール剤、ベノミル剤、トリフルミゾール剤、マンゼブ剤等による防除が実施された。
チャノキイロアザミウマ		5～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	初期の発生が少なく、適期の薬剤防除により発生が抑制された。	アセフェート剤、ベルメトリン剤等による防除が実施された。
クワコナガイガラムシ		4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並	期間を通じて発生量は平年並に少なく推移した。	初期の発生が少なく、適期の薬剤防除により発生が抑制された。	DMTP剤、ダイアジン剤による防除が実施された。
果樹共通	カメムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	6月下旬に発生量は一時的に増えたがすぐ収束し、それ以降はやや少なく推移した。秋下旬にツヤアオカメムシが断続的に増加したが、すぐに収束した。	越冬量は少なく、新成虫の果樹園への飛来は一時的に増加したものの少なく推移した。秋下旬にツヤアオカメムシが一時的に増加し、すぐに収束した。	飛来が確認された園地では、ネオニコチノイド剤、合成ピレスロイド剤、MEP剤等による防除が実施された。
茶	炭疽病	4月～10月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	期間を通じて発生量はやや少なく推移した。	摘採残葉における発病葉等の感染源が少なく、整枝も励行されたためと考えられる。	デブコナゾール剤等による防除が行われた。
	カンザワハダニ	4月～10月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや多	4月～6月に多発の園地が見られたが、7月以降は全体的に少発生傾向で推移した。秋季には再び発生量が増加した。	4月は越冬ハダニの影響で発生が多く、その後も増加したが、8月以降は適度な降雨があり発生が抑えられた。秋季に気温低下とともに発生量が増加に転じたと考えられる。	エトキサゾール剤、ミルベメクチン剤、シクルメトフェン剤等による防除が行われた。
	チャノココクモンハマキ	4月～10月 平年：やや早 前年：並	平年：並 前年：並	期間を通し、発生量はほぼ平年並であった。	越冬世代から飛来数は平年並で推移し、適期防除により平年並の発生量になったと考えられる。	エマメクチン安息香酸塩剤等による防除が行われた。
	チャハマキ	4月～10月 平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや多	発生量はほぼ平年並に推移した。	4月～5月に飛来数はやや多かったが、その後平年並で推移した。ココクモンハマキと比較して近年飛来数が少ない。	エマメクチン安息香酸塩剤等による防除が行われた。
	もち病	4月～10月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて平年並に少なく推移した。	各茶期摘採後の整枝の励行が近年の少発生の要因と考えられる。	デブコナゾール剤等による防除が行われた。
	輪斑病	4月～10月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	期間を通じてやや少なく推移した。	夏季の深い整枝期に特段発生を助長する要因はなかったと考えられる。	アゾキシストロビン剤等による防除が行われた。
	チャノホソガ	4月～10月 平年：並 前年：やや遅	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量はほぼ平年並で推移した。	越冬世代から飛来数は平年並で推移したと考えられる。	ミルベメクチン剤等による防除が行われた。
	チャノミドリヒメヨコバイ	4月～10月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	7月と9月～10月に発生量がやや多であったが、その他の月はやや少～平年並で推移した。	4月から10月にかけて気温が高かったが、慣行防除により発生が抑えられたと考えられる。	ピリフルキナゾン剤、トルフェンピラド剤等による防除が行われた。
	チャノキイロアザミウマ	4月～10月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	やや少～平年並で推移した。	慣行防除により発生が抑えられたと考えられる。	ピリフルキナゾン剤等による防除が行われた。
	ツマグロアオカシカメ	4月～10月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて平年並に少なく推移した。	隣接に雑草が多い圃場に発生がみられた。	ピリフルキナゾン剤、トルフェンピラド剤等による防除が行われた。
	クワシロカイガラムシ	第1世代(5月) 平年：並 前年：遅 第2世代(7月) 平年：やや早 前年：やや遅	平年：並 前年：並	第1世代幼虫孵化最盛期は5月第4半旬と平年並、第2世代幼虫は7月第4半旬とやや早であった。発生量はやや少～平年並であったが、秋季に発生量がやや多に増加した。	第1世代は、被覆時期のため通常は防除が実施されない。新規薬剤による冬季防除が近年高い効果を示している。	ピリプロキシフェン剤による冬季防除、ピリフルキナゾン剤やプロフェンジェン剤等による幼虫孵化期を中心とした防除が行われた。
ヨモギエダシヤク	6月～10月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	平年並で推移した。	多発要因はなく、平年並に少ない発生であった。	ルフェスロン剤等による防除が行われた。	
冬春トマト	疫病	4月～5月 10月～3月	平年：並 前年：並 平年：並 前年：並	全般的に平年並に少なかった。	例年、ほとんど発生は見られない。	発生圃場では薬剤による防除がなされた。
	灰色かび病	4～6月 10月～3月	平年：やや少 前年：並 平年：やや少 前年：やや少	4～5月の発生は、やや少発生であった。冬期間も目立った発生はなく、やや少で推移した。	換気等によるハウス内環境の改善などがなされた。	薬剤耐性菌発生に配慮した防除がなされた。
	アブラムシ類	4月～6月 9月～3月	平年：並 前年：並 平年：並 前年：並	期間を通じて発生は平年並に少なかった。	例年ほとんど発生は見られない。	コナジラミ類の侵入を阻止する防虫ネットの設置や薬剤防除により、同時防除された。
	ハスモンヨトウ	9月～10月	平年：やや少 前年：やや少	トマト施設内における発生は、期間を通じて発生量は平年並みに少ない状況であった。	防虫ネットの設置により侵入を防いでいる。	発生圃場では薬剤による防除がなされた。発生の多い圃場ではフェロモントラップを設置している圃場もある。
	葉かび病	4月～6月 10月～3月	平年：やや少 前年：やや少 平年：やや少 前年：やや少	発生は一部圃場での発生にとどまり、発生に広がりが認められなかった。期間を通じての発生はやや少であった。	近年、葉かび病抵抗性品種の導入が進んでいるため、発生は少ない状況である。しかし、葉かび病の防除圧が減っているため、逆にすかび病の発生は増加している。	発生圃場では薬剤による防除がなされた。抵抗性品種導入圃場では、抵抗性を打破する新レースの出現に注意する必要がある。
	黄化葉巻病	4月～6月 9月～3月	平年：やや多 前年：やや多 平年：やや多 前年：やや多	主にコナジラミ類の防除が徹底していない圃場で発生量がやや多となっている。	一部圃場ではコナジラミの侵入防止用の防虫ネットの老朽化などにより、侵入が認められている。	防虫ネットの設置や発病株の除去の徹底を指導している。
ハモグリバエ類	4月～6月 9月～3月	平年：やや少 前年：やや少 平年：やや少 前年：やや少	期間を通じて発生量はやや少なかった。	防虫ネットの設置により侵入を防いでいるため、多発する圃場は少なくなっている。	発生圃場では薬剤による防除が行われた。	

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
	コナジラミ類	4月～6月 9月～3月	平年：やや多 前年：やや多 平年：やや多 前年：やや多	一部ほ場ではやや多の発生となっている。	防虫ネットの設置により侵入を防いでいるが防虫ネットの老朽化などにより、侵入が認められている圃地がある。	薬剤による防除が行われている。
	オオタバコガ	9月～11月	平年：少 前年：少	オオタバコガのフェロモントラップ（松阪市嬉野川北町）による誘殺数調査によると、全期間（4月～12月末）のオオタバコガの誘殺数は158頭（平年：428頭）と平年の半数以下の誘殺数である。	侵入を阻止するネットの設置により回避を図っている。	薬剤による防除がなされた。
秋冬ハクサイ	アブラムシ類	9月～11月	平年：やや少 前年：やや少	一般圃場における発生はやや少なかった。	育苗期および定植時の防除により、発生は抑制された。	育苗期の灌注処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	コナガ	9月～12月	平年：少 前年：やや少	ほとんど発生が見られない。全体的に発生は少なかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。近年、秋の発生量は少ない傾向である。	育苗期の灌注処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	ハスモンヨトウ	9月～11月	平年：やや少 前年：並	フェロモントラップ（松阪市嬉野川北町）誘殺数は、9月から11月までで、2,849頭が誘殺された。平年3,637頭で、やや少であった。	育苗期および定植時の防除により、発生は抑制された。	育苗期灌注処理などの薬剤による防除が行われた。
	軟腐病	9月～11月	平年：平年並 前年：やや多	降雨があって排水が停滞するような一部ほ場で発生している。	水田裏作での栽培でほ場が湿地傾向にあるほ場で発生が認められている。	薬剤による防除がなされた。
	白斑病	9月～12月	平年：やや少 前年：やや少	発生は平年同様少なかった。近年発生は少ない傾向である。	防除により発生は抑えられた。	薬剤による防除がなされた。
	べと病	9月～12月	平年：並 前年：並	発生は平年並に少なかった。	例年ほとんど発生は見られない。	薬剤による防除がなされた。
	ヨトウガ	9月～11月	平年：やや少 前年：やや少	発生はやや少であった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌注処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
冬キャベツ	モンシロチョウ	9月～11月	平年：やや少 前年：やや少	本年はほ場での飛翔があまり見られなかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌注処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	黒腐病	10月～12月	平年：やや少 前年：やや少	10月中旬以降、台風の影響がなかったため、発生量はやや少であった。	初期防除により発生は抑制された。	薬剤による防除がなされた。
	菌核病	11月～12月	平年：平年並 前年：やや少	ほ場により、発生の有無に差があり、連作ほ場で発生が多い。	畑地圃場で発生する傾向となっている。	被害株の早期撤去などが行われた。
	コナガ	9月～12月	平年：少 前年：やや少	フェロモントラップによると4月～12月までの誘殺数は41頭（平年321頭）と少なく、ほ場での発生量も少なかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。近年、秋の発生量は少ない傾向である。	育苗期の灌注処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	アブラムシ類	9月～11月	平年：やや少 前年：やや少	発生はほとんど見られず、やや少なかった。	育苗期および定植時の防除により、発生は抑制された。	育苗期に薬剤による防除が行われた。
	ハスモンヨトウ	9月～11月	平年：やや少 前年：並	フェロモントラップ（松阪市嬉野川北町）誘殺数は、9月から11月までで、2,849頭が誘殺された。平年3,637頭で、やや少であった。	育苗期および定植時の防除が実施されたこと等により、発生は抑制された。	育苗期に薬剤による防除が行われた。
	根こぶ病	11月～2月	平年：並 前年：並	目立った発生は確認されなかった。	例年発生は少なく、畑地圃場の一部で発生が認められる程度である。	発生圃場では定植前に薬剤による防除が行われた。
春キャベツ	モンシロチョウ	9月～11月	平年：やや少 前年：やや少	本年はほ場での飛翔があまり見られなかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌注処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	ヨトウガ	9月～11月	平年：並 前年：並	発生は平年並であった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌注処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	菌核病	4月～5月 3月	平年：並 前年：並 平年：やや少 前年：並	発生は平年並の発生量であった。	前年の発生ほ場への作付けを行ったほ場で発生が認められている。	被害株の早期撤去などが行われた。
	根こぶ病	4月～5月	平年：並 前年：並	全体的に発生は平年並であった。	例年発生は少なく、畑地圃場の一部で発生が確認される程度である。	定植前の薬剤による防除、発病株の除去等が行われた。
	コナガ	4月～5月 12月～3月	平年：やや少 前年：並 平年：やや少 前年：並	一部圃場で発生が見られたが、全体的に発生は平年並に少なかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌注処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	モンシロチョウ	9月～11月	平年：やや少 前年：やや少	本年はほ場での飛翔があまり見られなかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌注処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	アブラムシ類	9月～11月	平年：やや少 前年：やや少	発生はほとんど見られず、平年よりやや少なかった。	育苗期および定植時の防除により、発生は抑制された。	育苗期灌注処理などの薬剤による防除が行われた。
秋冬ネギ	さび病	4月～5月 10月～3月	平年：やや少 前年：やや少 平年：やや少 前年：やや少	発生は平年並に少なかった。近年発生量は少ない傾向にある。	防除により発生は抑制された。	薬剤による防除が行われた。
	アブラムシ類	5月～11月	平年：並 前年：並	期間を通じて発生は平年並に少なかった。	例年ほとんど発生は見られない。	薬剤による防除が行われた。
	黒斑病	6月～11月	平年：並 前年：並	発生は平年並である。	防除により発生は抑制された。	薬剤による防除が行われた。
	ネギハモグリバエ	5月～11月	平年：多 前年：多	ネギハモグリバエは発生量、被害量が多く、防除困難なほ場が多かった。国の同定により別系統の発生が確認された。	ネギハモグリバエは長年のネギの産地では期間を通じて発生が見られており、年々発生量、被害量が多くなってきている。	特殊報第3号発表。(R1.11.15)。薬剤による防除が行われた。
	ネギアザミウマ	5月～11月	平年：やや少 前年：やや多	例年、発生が多いがハモグリバエなどの防除により、発生はやや少なかった。	防除により発生は抑制された。近年発生が多い傾向である。	薬剤による防除が行われた。
	ネギコガ	8月～12月	平年：並 前年：並	フェロモントラップによると8月～12月の誘殺数は59頭（平年60,2頭）と平年並であった。ほ場での発生は平年並に少なかった。	例年、ほ場ではほとんど発生は見られない。	発生圃場では薬剤による防除が行われた。
	シロイチモジヨトウ	8月～12月	平年：やや少 前年：並	シロイチモジヨトウのフェロモントラップ（松阪市嬉野川北町）による誘殺数調査によると、8月から12月の誘殺数は172頭（平年：267頭）とやや少なかった。	防除により発生は抑制された。近年発生が多い傾向がある。	薬剤による防除が行われた。
冬春イチゴ	灰色かび病	4月 12月～3月	平年：並 前年：並 平年：やや多 前年：やや多	4月の発生は並であった。12月以降は一部圃地で果実での発病果が多くなった。	防除の遅れなどによりいったん多発生すると防除困難となり、発生が多くなった。	薬剤による防除、発病部位の除去などが行われた。
	アブラムシ類	6月～3月	平年：並 前年：やや多	期間を通じて発生量は平年並であった。	防除効果が高い薬剤が普及し、多発する圃場は減少している。	薬剤による防除が行われた。
	ハスモンヨトウ	9月～11月	平年：平年並 前年：やや少	フェロモントラップ（松阪市嬉野川北町）誘殺数は、9月から11月までで、2,849頭が誘殺された。平年3,637頭に対してやや少なかった。	育苗期および定植時の防除が実施されたこと等により、発生は抑制された。	育苗期に薬剤による防除が行われた。
	うどんこ病	6月～3月	平年：少 前年：やや少	苗床、本圃での発生は、ともに少なく推移した。	防除により発生は抑制された。	薬剤による防除がなされた。
	炭疽病	6月～11月	平年：やや多 前年：並	台風10号以降、発病が増加し、発生量はやや多かった。	主力品種は罹病性の‘章姫’であるが、近年は県育成の抵抗性品種‘かおり野’の導入が進んでいる。	薬剤による予防防除、発病を軽減する育苗方法の導入（雨よけ育苗、底面給水等）、抵抗性品種（かおり野）の導入、発病株の除去等が行われた。
	アザミウマ類	4月 3月	平年：やや少 前年：やや少 平年：やや少 前年：やや少	発生は平年よりやや少なかった。	密度上昇による被害拡大がないよう、早期発見に努めている。	薬剤による防除が行われた。
	ハダニ類	6月～3月	平年：並 前年：やや少	ほ場間差が大きく、管理方法の差がそのまま発生量の差となって表れており、発生の二極化がみられている。	ほ場による差が大きく、定植時に少ない状況であることが重要であるとみられる。	薬剤による防除がなされた。薬剤感受性の低下を防ぐため、天敵資材（カブリダニ）や気門封鎖剤を組み合わせた防除を実施している。

4. 病害虫の発生面積と防除面積

農作物名	作付面積 Ha	病害虫名	程 度 別 発 生 面 積 ha					防除面積 ha	
			甚	多	中	少	計	実面積	延面積
イネ (早期水稲)	25555	葉いもち				325	325	8791	8791
		穂いもち				108	108	9941	12873
		紋枯病				8320	8320	9941	12873
		イネミズゾウムシ				8668	8668	7590	7590
		セジロウンカ				441	441	7596	10862
		トビイロウンカ					0	7596	10862
		ヒメトビウンカ					0	7596	10862
		ツマグロヨコバイ				10937	10937	7596	10862
		ニカメイチュウ第1世代				217	217	161	161
		ニカメイチュウ第2世代				3790	3790	0	0
		斑点米カメムシ類			1299	10396	11695	11730	15131
		コブノメイガ				3465	3465	0	0
		苗立枯病					0	25555	25555
		ばか苗病				325	325	25555	25555
		籾枯細菌病							
		籾枯細菌病(種子消毒)					0	25555	25555
		縮葉枯病					0	0	0
		白葉枯病				325	325	25555	25555
		萎縮病					0	0	0
		イネシンガレセンチュウ							
		イネシンガレセンチュウ(種子消毒)					0	25555	25555
		イネドロオイムシ				217	217	0	0
		イネクロカメムシ				3082	3082	126	126
フタオビコヤガ				2166	2166	0	0		
イチモンジセセリ				650	650	0	0		
アワヨトウ					0	0	0		
イネ (普通期 水稲)	1345	葉いもち				17	17	463	463
		穂いもち				252	252	523	678
		紋枯病				757	757	523	678
		イネミズゾウムシ				456	456	399	399
		セジロウンカ					0	400	572
		トビイロウンカ					0	400	572
		ヒメトビウンカ					0	400	572
		ツマグロヨコバイ				841	841	400	572
		ニカメイチュウ第1世代				11	11	8	8
		ニカメイチュウ第2世代					0	0	0
		斑点米カメムシ類			288	480	768	637	796
		コブノメイガ				182	182	0	0
		苗立枯病					0	1345	1345
		ばか苗病					0	1345	1345
		もみ枯細菌病					0	0	0
		もみ枯細菌病(種子消毒)					0	1345	1345
		縮葉枯病					0	0	0
		白葉枯病					0	0	0
		萎縮病					0	0	0
		イネシンガレセンチュウ					0	0	0
		イネシンガレセンチュウ(種子消毒)					0	1345	1345
		イネドロオイムシ				11	11	0	0
		イネクロカメムシ				160	160	7	7
フタオビコヤガ				114	114	0	0		
イチモンジセセリ				34	34	0	0		
アワヨトウ					0	0	0		
コムギ 30年産	6320	さび病類					0	0	
		うどんこ病					0	0	
		赤かび病				1404	1404	6320	6320

農作物名	作付面積 ha	病害虫名	程 度 別 発 生 面 積 ha					防除面積 ha	
			甚	多	中	少	計	実面積	延面積
(コムギ続き)		黒穂病類					0	0	0
		縞萎縮病					0	0	0
		アブラムシ類				351	351	0	0
		ムギアカタマバエ					0	0	0
ダイズ	4290	ハスモンヨトウ				268	268	3192	3192
		吸害性カメムシ類			1609	536	2145	1197	1197
		紫斑病					0	3990	3990
		アブラムシ類					0	0	0
		コガネムシ類				670	670	0	0
		シロイチモジマダラメイガ				14	14	0	0
カンキツ	1624	そうか病			7	237	244	1,462	2,923
		黒点病		10	325	1,180	1,515	1,462	6,943
		かいよう病			8	284	292	1,462	3,654
		ヤノネカイガラムシ				49	49	1,462	2,558
		ミカンハダニ		1	239	328	568	1,462	4,750
		カメムシ類				162	162	1,462	1,462
		チャノキイロアザミウマ			2	729	731	1,462	5,846
		ミカンハモグリガ			5	190	195	1,462	1,462
		アブラムシ類				195	195	1,462	1,462
ナシ	155	黒星病			1	45	46	147	1,950
		赤星病				23	23	147	515
		うどんこ病				39	39	147	166
		輪紋病				11	11	147	884
		ハダニ類				25	25	147	442
		カメムシ類			4	19	23	147	147
カキ	432	炭疽病				17	17	302	1,285
		うどんこ病				26	26	302	1,588
		カキノヘタムシガ				22	22	302	680
		カメムシ類		1	14	28	43	302	302
ブドウ	118	べと病			2	32	34	112	897
		黒とう病				15	15	112	785
		チャノキイロアザミウマ				7	7	112	411
		晩腐病			1	29	30	112	524
チャ	2620	炭疽病			63	566	629	2280	5472
		もち病				131	131	1415	2123
		輪斑病			8	411	419	2358	2620
		チャノコカクモンハマキ			118	1061	1179	2298	4137
		チャハマキ				655	655	1572	2044
		チャノホソガ			14	1401	1415	2206	4505
		チャノミドリヒメヨコバイ			19	1553	1572	2206	4505
		カンザワハダニ		13	58	1239	1310	2280	6974
		チャノキイロアザミウマ		15	149	1329	1493	2298	7814
		ツマグロアオカスミカメ				603	603	1834	1834
		クワシロカイガラムシ		5	127	1492	1624	2096	2934
ヨモギエダシヤク			2	522	524	1310	1572		
冬春トマト	63	疫病				2	2	10	10
		灰色かび病			2	30	32	63	375
		アブラムシ類				1	1	1	1
秋冬ハクサイ	177	軟腐病			2	15	17	82	92
		白斑病				2	2	156	156
		べと病				3	3	157	157
		アブラムシ類			1	32	33	117	221
		ヨトウガ				24	24	150	201
		コナガ				4	4	120	156
冬キャベツ	231	黒腐病				1	1	218	251
		菌核病		1	4	14	19	133	151
		モンシロチョウ				17	17	50	64
		コナガ				9	9	218	264

農作物名	作付面積 ha	病害虫名	程 度 別 発 生 面 積 ha					防除面積 ha	
			甚	多	中	少	計	実面積	延面積
(冬キャベツ続き)		ヨトウガ				24	24	133	264
		ハスモンヨトウ				21	21	199	199
春キャベツ	146	菌核病			9	23	32	43	52
		モンシロチョウ				4	4	23	35
		コナガ				6	6	123	210
秋冬ネギ	163	さび病				6	6	36	52
		黒斑病			1	9	10	152	217
		アブラムシ類				1	1	1	1
		ネギハモグリバエ		9	51	101	161	163	495
		ネギアザミウマ				45	45	163	495
		ネギコガ				3	3	6	6
冬春イチゴ	74	灰色かび病			2	37	39	74	305
		うどんこ病				9	9	74	102
		アブラムシ類				14	14	74	225
		ハダニ類		1	4	15	19	74	220
		ハスモンヨトウ				3	3	74	85

5. 発行された予察情報

(1) 発生予察情報の一覧

発生予報	第1号 4月25日	第2号 5月23日	第3号 6月20日	第4号 7月19日	第5号 8月22日	第6号 10月24日	第7号 3月19日
------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	---------------	--------------

	病害虫名	対象作物
特殊報第1号 平成31年4月25日	ジャガイモクロバネキノコバエ	ネギ
特殊報第2号 令和元年9月6日	ツマジロクサヨトウ	ソルガム
特殊報第3号 令和元年11月15日	ネギハモグリバエ 別系統	ネギ
特殊報第4号 令和元年11月21日	ヨツモンカメノコハムシ	サツマイモ

	病害虫名	対象作物
技術情報第1号 令和元年5月13日	クワシロカイガラムシ	チャ
技術情報第2号 令和元年6月5日	カンザワハダニ	チャ
技術情報第3号 令和元年6月7日	スクミリンゴガイ	水稲
技術情報第4号 令和元年7月5日	クワシロカイガラムシ第2世代幼虫	チャ
技術情報第5号 令和元年7月12日	いもち病	イネ
技術情報第6号 令和元年7月26日	クビアカツヤカミキリ	ウメ、モモ、カキ、サクラ等
技術情報第7号 令和元年7月26日	コブノメイガ	普通期水稲 (9月下旬～10月収穫予定)
技術情報第8号 令和元年9月20日	トビイロウンカ	普通期水稲 (9月下旬～10月収穫予定)
技術情報第9号 令和元年10月18日	クワシロカイガラムシ	チャ
技術情報第10号 令和2年1月22日	スクミリンゴガイ	水稲

(2) 予報

防 除 第 8 号
平成 31 年 4 月 25 日

各 位

三重県病害虫防除所長

目 次

ページ

1. 向こう1か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	6
4. 予察項目の見方	10
5. 気象のデータ	11
6. おしらせ	13

平成 31 年度病害虫発生予報第 1 号

このことについて、下記のとおり発表します。

1. 向こう1か月の予報と対策

1) 作物

イネでは、イネミズゾウムシの発生時期は**平年並**、発生量は**少**と予想されます。

コムギでは、赤かび病の発生量は**平年並**と予想されます。

2) 果樹

カンキツでは、そうか病、かいよう病、ミカンハダニの発生量は**平年並**と予想されます。

ナシでは、黒星病、赤星病、ハダニ類、アブラムシ類の発生量は**平年並**と予想されます。

果樹共通では、果樹カメムシ類の発生量は**やや少**と予想されます。

3) 茶

チャでは、カンザワハダニの発生量は**やや多**と予想されます。多発状況であれば摘採前日数に注意して防除してください。チャノキイロアザミウマ、クワシロカイガラムシの発生量は**平年並**と予想されます。チャノホソガ、チャノココクモンハマキの発生量は**やや少**と予想されます。

4) 野菜

イチゴでは、ハダニ類の発生は**平年並**と予想されます。

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530

TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568

ホームページ <http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

1

三重県病害虫防除所

2. 作物別の状況

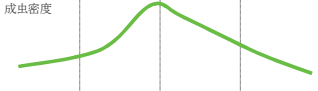
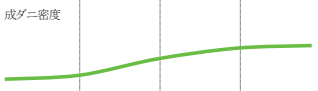
作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項		
			平年比	平年比		程度	平年比	発生消長の一例				
								4月	5月			
						下旬	中旬	下旬				
イネ	イネミズゾウムシ	—	平年並	少	小	低					1) 近年、発生量が少ないので移植後、発生の状況に応じて防除してください。 2) 常発圃場では、箱施用剤による予防を行ってください。	
コムギ	赤かび病	—	平年並	小	普通					1) 病害虫防除技術情報第 12 号(平成 31 年 3 月 20 日発表)。 2) 開花期から乳熟期にかけて感染するので、開花最盛期が防除適期です。開花前の薬剤散布は防除効果が劣ります。 3) 出穂および開花状況を把握し、適期防除を行ってください。 4) 曇雨天が続くと被害は増加するので天候の推移に注意し、曇天または降雨が続く場合は追加防除を行ってください。		
カンキツ	そうか病	—	平年並	小	低					1) 発芽期の防除を実施することで、その後の発生を抑えることができます。 2) 新葉に病斑が見られる圃場では、その後果実へ感染しますので、幼果期の防除を計画してください。		
	かいよう病	—	温州 平年並	温州 小	温州 低					1) 越冬病斑が見られる圃場では、新葉や幼果へと感染していくので、初期の予防散布がポイントです。 2) 越冬病斑が多い圃場では、伝染源となる発病葉及び発病枝は除去し、圃場外で処分してください。 3) 3~4月に防除を実施していない圃場では、5月に防除を実施してください。		
	ミカンハダニ	—	平年並	中	普通					1) 冬期にマシン油乳剤を散布していない圃場では、新梢伸長期に急増することがあるので注意してください。 2) 発生量は圃場によるばらつきがあるので、発生状況をよく観察してください。 3) 成虫が1葉当たり0.5~1.0頭になったら防除を計画してください。		

2

気象のデータ 三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						4月		5月		
						下旬	上旬	中旬	下旬	
ナシ	黒星病	—	平年並	小	普通	発病密度				1) 昨年の発生が多かった圃場では、天気予報の降雨の情報に注意し、防除適期を逃さないようにしてください。 2) 発病が確認されたら追加防除を行ってください。
	赤星病	—	平年並	小	普通	ビャクシン類の冬胎子発芽			ナシの発病	1) カイツカイブキ等の枝葉に生成された病原菌が飛散して、ナシに感染します。 2) 病原菌は雨滴によって飛散し、主に降雨中に感染します。
	ハダニ類	—	平年並	小	普通	成ダニ密度				1) 発生が見られる圃場では、低密度のうちに防除してください。
	アブラムシ類	—	平年並	小	普通	ナシノアブラムシ	ナシミドリオオアブラムシ		ワタアブラムシ ユキヤナギアブラムシ	1) 初期の寄生を見つけることが重要です。 2) 寄生葉付近はアリが活発に活動していることがあるので、発見の目安になります。
果樹共通	カメムシ類	—	やや少	小	低	トラップ誘殺数	ツキアオカメムシ	チャバネアオカメムシ		1) 本年は越冬量がやや少なく、初夏までの圃場への飛来はやや少ないと考えられます。 2) 山林に近い圃場や過去に多数飛来があった圃場では、飛来に注意してください。 3) 果樹カメムシ類は、4月はウメ、5月はナシ、ビワ、モモに飛来します。 4) 防除は圃場及び圃場周辺(街灯への夜間飛来など)への果樹カメムシ類の飛来を確認して行ってください。 5) 一旦飛来すると連続して飛来することが多いので、防除実施後も注意してください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
						4月		5月		
						下旬	上旬	中旬	下旬	
チャ	カンザワハダニ	—	やや多	中	普通	成ダニ密度				1) 一番茶摘採後圃場を確認して、多発状況であれば摘採前日数に注意して防除してください。 2) 葉裏に生息していますので、葉裏に十分かかる様に薬剤をていねいに散布してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けてください。 4) 天敵への影響が小さい薬剤を選択してください。
	チャノホソガ	—	やや少	小	普通	成虫密度				1) 新芽に産卵します。若齢幼虫の多発が認められた圃場では防除しましょう。 2) 病害虫防除所のホームページにフェロモントラップ誘殺状況を掲載していますので参考にしてください。
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	小	低	成虫密度				1) 新芽の葉柄基部や未展開葉の内側などを吸汁加害します。 2) 新芽の伸長と共に発生量が増加します。
	クワシロカイガラムシ	—	平年並	中	普通				第1世代成虫密度	1) 4月15日現在の有効積算温度による予測式では、孵化最盛日は5月23日で平年(亀山10年平年値 5月20日)よりやや遅く、防除適期は5月第5~6半旬頃と予想されます。なお、今後の温度変化により防除適期は変化しますので、ご注意ください。 2) 天敵保護のために、天敵への影響が小さい薬剤を選択してください。 3) 孵化時期に散水により枝幹を濡らすことで歩行型幼虫の固着を防ぐ効果があります。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量		要防除 圃場率 平年比	発生活長の一例				防除の注意事項
			平年比	程度		4月		5月		
						下旬	中旬	下旬	中旬	
チャ	チャノコカクモンハマキ	—	やや少	小	低					1) 幼虫は孵化数日後に葉を2~3枚綴るようになるので、葉が効きにくくなります。孵化直後の若齢幼虫を対象に防除してください。 2) 例年、越冬世代成虫の発生最盛期は5月第2半旬です。この7~15日後の幼虫孵化期(5月中下旬頃)が防除適期です。 3) 病害虫防除所のホームページにフェロモントラップ誘殺状況を掲載しているので参考してください。
イチゴ	ハダニ類	—	平年並	中	普通					1) 圃場によって発生にばらつきがあります。こまめに圃場を観察し、発生状況を確認してください。 2) 薬液がかかりやすくなるよう、不要な下葉を除去し、葉裏にもかかるよう丁寧に散布してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいため、同一系統薬剤の連用は避けてください。 4) 薬剤散布の際は、収穫前日数と総使用回数を遵守するとともに、天敵やミツバチに対する影響も十分考慮して、薬剤の選択を行ってください。

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	イネミズゾウムシ	平年並	少	要因 1) 1か月予報(4月18日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (発生時期-) 2) 予察灯(4月第1半旬~第3半旬)では、未飛来(平年5月1日初飛来)と平年並 (発生時期±) 3) 予察灯(昨年7月第1半旬~9月第2半旬)では、誘殺数は99頭(平年161.0頭)と少 (-) 4) 巡回調査圃場(昨年8月)では、発生圃場率1.3%(平年11.0%)と少、払い落ち虫数は0頭(平年0.2頭)と少 (-) 考察: 予察灯における飛来状況から、発生時期は平年並と考えられます。また、昨年の予察灯及び巡回調査結果から越冬成虫の予想発生量は少と考えられます。
コムギ	赤かび病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(4月18日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (+) 2) 作況試験田(11月14日播種・品種あやひかり・松阪市)では、出穂期は4月7日(平年4月10日)とやや早 (-) 3) 一般圃場では、出穂期がやや早い状況 (-) 考察: 今後の気象条件、作況試験田および一般圃場の状況から、予想発生量は平年並と考えます。
カンキツ	そうか病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(4月18日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (+) 2) 巡回調査圃場(4月第1~2週)では、旧葉発病度0(平年0.003)と平年並 (±) 3) 一般圃場での発生量は少~平年並(概してやや少) (-) 考察: 今後の気象条件、巡回調査結果および一般圃場の発生状況から、予想発生量は平年並と考えます。
	かいよう病	—	温州 平年並 中晩柑 平年並	要因 1) 1か月予報(4月18日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (+) 2) 巡回調査圃場(4月第1~2週)では、温州みかんでは旧葉発病度0(平年0.04)と平年並、中晩柑類では旧葉発病度4.4(平年3.8)と平年並 (±) 3) 一般圃場での発生量は少~平年並(概してやや少) (-) 考察: 今後の気象条件、巡回調査結果および一般圃場の発生状況から、予想発生量は温州みかん、中晩柑類ともに平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	ミカンハダニ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月18日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃(4月中旬)では、100葉当り雌成虫寄生頭数は、無防除区 102.2頭(平年 83.0頭)とやや多、慣行防除区 0.0頭(平年 0.4頭)と平年並に少 (±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(4月第1~2週)では、寄生葉率 3.5%(平年 5.5%)と少、寄生虫数/葉は 0.20頭(平年 0.25頭)とやや少 (-)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少~やや多(概して平年並) (±)</p> <p>考察: 今後の気象条件、県予察圃、巡回調査結果および一般圃場の発生状況から、予想発生量は温州みかん、中晩柑類ともに平年並と考えます。</p>
ナシ	黒星病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月18日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(4月第1~2週)では、発病芽率 0%(平年 0%)と平年並に少 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量はやや少 (-)</p> <p>考察: 今後の気象条件と巡回調査結果から、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	赤星病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月18日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(4月第1~2週)では、発病芽率 0%(6年平均 0%)と平年並に少の傾向 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並に少 (±)</p> <p>考察: 巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	ハダニ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月18日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(4月第1~2週)では、寄生葉率 0%(6年平均 0%)と平年並に少の傾向 (±)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	アブラムシ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月18日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(4月第1~2週)では、寄生枝率 0%(8年平均 0.2%)と平年並に少の傾向 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量はやや少 (-)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
果樹共通	カメムシ類	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(御浜町4月1日~10日)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ 0.0頭(平年 5.0頭)と少、ツヤアオカメムシ 0.0頭(平年 30.7頭)と少 (-)</p> <p>2) 予察灯(畑・松阪市4月第1半旬~第3半旬)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ 0頭(平年 0頭)、ツヤアオカメムシ 0頭(平年 0頭)といずれも平年並 (±)</p> <p>3) 県予察圃フェロモントラップ(御浜町4月1日~10日)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は 1.0頭(平年 2.1頭)とやや少、ツヤアオカメムシ 1.0頭(平年 0.5頭)とやや多 (±)</p> <p>4) フェロモントラップ(4月2週)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は山地(津市白山町川口) 0.3頭(平年 5.9頭)と少、中間地(津市白山町二本木) 0.67頭(平年 4.8頭)と少、平坦地(松阪市嬉野川北町) 0頭(平年 0.1頭)と平年並 (-)</p> <p>5) 昨年度のフェロモントラップ(平成30年10月1日~11月30日)ではチャバネアオカメムシ誘殺数は山地(津市白山町川口) 241.0頭(平年 152.3頭)とやや多い傾向、中間地(津市白山町二本木) 69.0頭(平年 45.8頭)とやや多い傾向、平坦地(松阪市嬉野川北町) 52.0頭(平年 15.4頭)と多 (+)</p> <p>6) チャバネアオカメムシの越冬量は、0.8頭/地点(平年 5.2頭)と少、クサガカメムシの越冬量は、14.3頭/地点(平年 56.6頭)と少 (-)</p> <p>7) 巡回調査圃場(4月第1~2週)では、カンキツ圃場への飛来は未確認 (-)</p> <p>考察: 昨年度秋以降の越冬世代の発生量はやや少と考えられ、越冬量も少ないことから、今後の圃場への飛来数の予想発生量はやや少と考えます。</p>
チャ	カンザワハダニ	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月18日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃(4月中旬)では、寄生葉率 11.0%(平年 3.5%)と多、寄生頭数 0.58頭/葉(平年 0.25頭/葉)と多 (+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(4月第2週)では、発生圃場率 66.7%(平年 38.3%)と多、寄生葉率 5.9%(平年 4.4%)とやや多、寄生頭数 0.61頭/葉(平年 0.17頭/葉)と多 (+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少 (-)</p> <p>考察: 今後の気象条件、県予察圃、巡回調査結果および一般圃場の発生状況から、予想発生量はやや多と考えます。</p>
	チャノホソガ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月18日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃では、萌芽日は4月5日(平年4月7日)と平年並、初飛来は3月1日(平年3月20日)と早、フェロモントラップ(3月第4半旬~4月第3半旬)では誘殺数 811.2頭(平年 372.8頭)と多 (+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(4月第2週)では、新芽への産卵は未確認 (-)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少 (-)</p> <p>考察: 一般圃場の状況を重視して、予想発生量はやや少と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	要因 1) 1か月予報(4月18日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (+) 2) 県予察圃(4月第1～第3半旬)では、黄色粘着トラップ捕殺数 61.3 頭(6年平均 73.2 頭)と平年並の傾向 (±) 3) 巡回調査圃場(4月第2週)では、叩き落とし虫数 0.1 頭(平年 1.8 頭)と少 (-) 4) 一般圃場では、発生は未確認 (-) 考察: 今後の気象状況、巡回調査圃場の状況を重視して、予想発生量は平年並と考えます。
	クワシロカイガラムシ	—	平年並	要因 1) 1か月予報(4月18日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (+) 2) 巡回調査圃場(4月第2週)では、雌成虫寄生株率 4.3%(平年 13.4%)と少 (-) 3) 一般圃場では、発生量は平年並 (±) 考察: 一般圃場の状況を重視して、予想発生量は平年並と考えます。
	チャノコカクモンハマキ	—	やや少	要因 1) 1か月予報(4月18日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (+) 2) 県予察圃フェロモントラップ(4月第1～第3半旬)では、誘殺数 32.0 頭(平年 62.8 頭)とやや少 (-) 3) 巡回調査圃場(4月第2週)では、ハマキムシ類巻葉数 0.3 枚/m ² (平年 0.4 枚/m ²)とやや少 (-) 4) 一般圃場では、ハマキムシ類の発生量はやや少 (-) 考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
イチゴ	ハダニ類	—	平年並	要因 1) 1か月予報(4月18日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (+) 2) 巡回調査圃場(4月第2週)では、寄生株率 5.2%(平年 14.6%)と少、寄生程度 3.2%(平年 7.8%)と少 (-) 3) 一般圃場では、発生量はやや少～やや多(概して平年並) (±) 考察: 巡回調査圃場と一般圃場の状況から全体としての発生量はやや少と考えられるが、気象要因による増加を考慮して予想発生量は平年並と考えます。

4. 予察項目の見方

1) 「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比): 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6
評価	早		やや早				平年並				やや遅		遅

発生量(平年比): 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並	やや多	多	

発生量(程度): 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい」「平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率(平年比): 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例: 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項: 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2) 「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

(±): 平年並の要因

(+): 発生量増加または発生時期遅延の要因

(-): 発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

東海地方1か月予報(平成31年4月18日 名古屋地方気象台発表)

暖かい空気に覆われやすく、向こう1か月の気温は平年並か高い見込みです。

特に、期間の前半は気温がかなり高くなる可能性があります。

天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

1週目 4月20日～ 26日	期間のはじめは高気圧に覆われて晴れる日が多いですが、その後は気圧の谷や湿った空気の影響で曇りの日が多いでしょう。	津の降水日数・晴れ日数の平年値 2.0日・4.3日
2週目 4月27日～ 5月3日	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	同 2.1日・4.2日
3～4週目 5月4日～ 17日	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	同 4.8日・7.7日

東海地方週間天気予報(平成31年4月22日16時31分 名古屋地方気象台発表)

予報期間 4月23日～4月29日

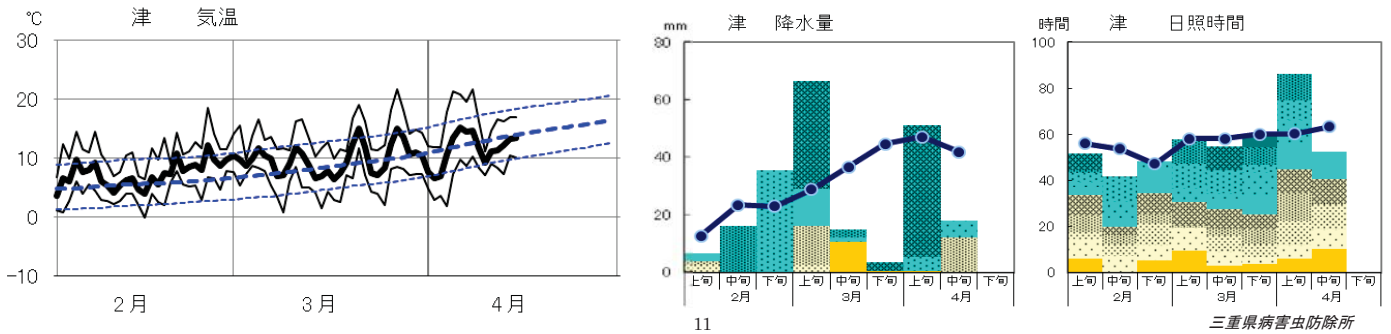
向こう一週間は、高気圧に覆われて晴れる日もありますが、低気圧や前線の影響で雨や曇りとなる日が多いでしょう。

最高気温は、期間の前半は平年並か平年より高いですが、後半は平年並か平年より低いでしょう。

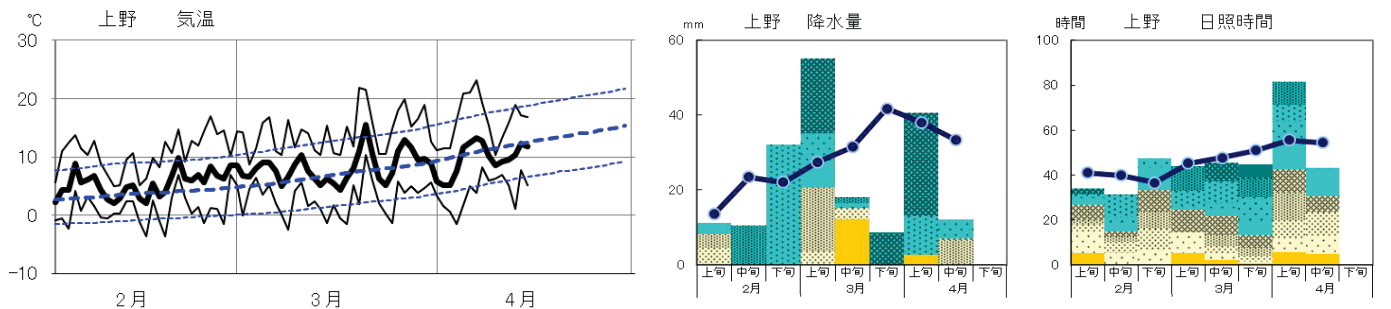
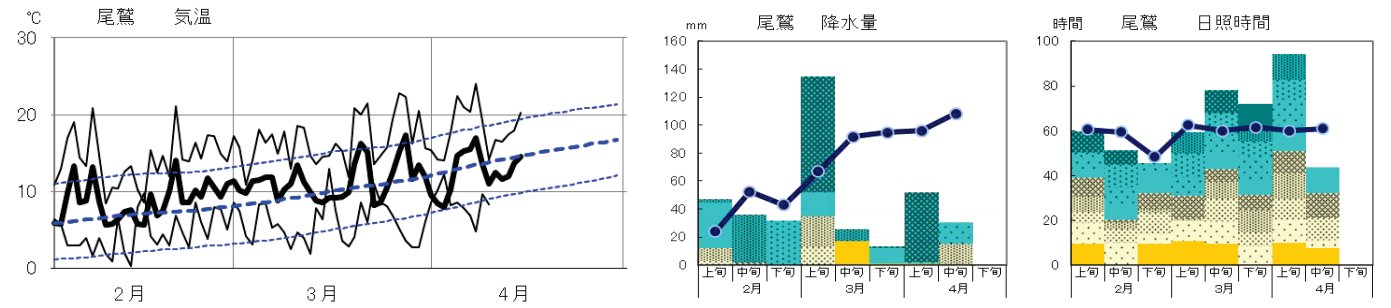
最低気温は、期間のはじめは平年よりかなり高く、その後は平年並か平年より低いでしょう。

降水量は、平年並か平年より少ない見込みです。

気象の日別推移(気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/ctrn/index.php> から作成) (4月17日まで)



三重県病害虫防除所



凡例
 — 平均
 — 最高
 — 最低
 - - - 平年平均
 - - - 平年最高
 - - - 平年最低

凡例
 ■ 31日
 ■ 旬10日目
 ■ 旬9日目
 ■ 旬8日目
 ■ 旬7日目
 ■ 旬6日目
 ■ 旬5日目
 ■ 旬4日目
 ■ 旬3日目
 ■ 旬2日目
 ■ 旬1日目
 ■ 旬平年値

凡例
 ■ 31日
 ■ 旬10日目
 ■ 旬9日目
 ■ 旬8日目
 ■ 旬7日目
 ■ 旬6日目
 ■ 旬5日目
 ■ 旬4日目
 ■ 旬3日目
 ■ 旬2日目
 ■ 旬1日目
 ■ 旬平年値

三重県病害虫防除所

6. おしらせ (前回と異なる項目には **NEW** の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のない・非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

第1回 4月25日(今回)	第2回 5月23日(木)
第3回 6月20日(木)	第4回 7月19日(金)
第5回 8月22日(木)	第6回 10月24日(木)
第7回 3月19日(木)	

3) 利用方法

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書 **NEW**

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000827661.pdf>

5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

13

三重県病害虫防除所

防 除 第 12 号
令和元年 5 月 23 日
各 位
三重県病害虫防除所長

令和元年度病害虫発生予報第 2 号

このことについて、下記のとおり発表します。

1. 向こう 1 か月の予報と対策

1) 作物

イネでは、葉いもちの発生時期は平年並、発生量は平年並と予想されます。イネクロカメムシの発生量は少、イネミズゾウムシの発生時期は平年並、発生量は少と予想されます。

2) 果樹

カンキツでは、ミカンハダニの発生量はやや多と予想されます。発生が認められる場合は速やかに防除を実施してください。そうか病、かいよう病(温州みかん・中晩柑)、黒点病、チャノキイロアザミウマの発生量は平年並と予想されます。

ナシでは、黒星病、ハダニ類の発生量は平年並と予想されます。

ブドウでは、べと病の発生量は平年並と予想されます。

果樹共通では、カメムシ類の発生量は平年並と予想されます。

3) 茶

チャでは、カンザワハダニの発生量はやや多と予想されます。発生量の多い茶園では薬剤が葉裏に十分かかるよう散布してください。炭疽病、もち病、チャノミドリヒメコバエの発生量は平年並、チャノソノガ、チャノキイロアザミウマの発生量はやや少と予想されます。

4) 野菜

イチゴでは、炭疽病の発生量は平年並と予想されます。うどんこ病の発生量はやや少と予想されます。

ネギでは、ネギコガの発生量はやや少と予想されます。

野菜共通では、コナガの発生量はやや少と予想されます。

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530
TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568
ホームペ <http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.h>

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項	
			発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				
							5月	6月			
発生時期	発生量	要防除圃場率	下旬	月上旬	中旬	下旬					
イネ	葉いもち	—	平年並	小	普通	置苗で発生	—	—	—	1) 補植用置き苗は発生源となるので、速やかに除去し、枯死させてください。 2) 本田粒剤による予防は、初発前に行ってください。 3) いもち病発生予測支援システム(プラスタム)において、感染好適条件の現れた7~10日後に初発が予測されます。 4) プラスタムの最新情報は、病害虫防除所ホームページで随時更新しています。	
	イネクロカメムシ	—	少	小	低	成虫誘殺数	—	—	被害量	1) 常発地で薬剤散布する場合は、越冬成虫の発生量がピークになる6月下旬に実施してください。	
	イネミズゾウムシ	—	少	小	低	成虫誘殺数	—	—	—	1) 株当たり0.5頭以上の成虫が発生していれば、防除してください。	
カンキツ	そうか病	—	平年並	小	普通	葉・枝	—	—	果実	1) 梅雨明けまで幼果に感染します。 2) 6月以降は新芽や幼果の病斑から二次感染するので、予防散布が重要です。	
	黒点病	—	平年並	小	普通	発病密度	—	—	—	1) 生理落果盛期～後期に予防散布を実施してください。 2) 上記薬剤散布後、積算で200mm以上の降雨があったら次の防除を実施してください。 3) 枯枝が伝染源です。梅雨時期の枯枝発生に注意し、樹冠内や圃場内の枯枝を除去して下さい。	

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項	
			発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				
							5月	6月			
発生時期	発生量	要防除圃場率	下旬	月上旬	中旬	下旬					
カンキツ	かいよう病	—	温州平年並 中晩柑平年並	温州小 中晩柑中	温州低 中晩柑普通	発病密度	—	—	—	1) 旧葉で越冬病斑が見られる圃場では、感染を助長する降雨等の気象条件に注意し、ボルドー剤による予防防除を実施してください。 2) 越冬病斑が見られない圃場でも、本病に弱い品種(カラ、セミノールなど)では、幼果への感染防止対策として予防散布を実施してください。 3) 中晩柑類では、梅雨期頃から10月中下旬頃まで果実への感染が起きます。	
	ミカンハダニ	—	やや多	中	普通	雌ダニ密度	—	—	—	1) 梅雨期は薬剤散布のタイミングが取りにくい時期です。マシン油乳剤等を有効に利用する散布を計画して下さい。 2) 発生密度が高い圃場では、散布ムラのないように十分に薬剤散布してください。 3) 薬剤抵抗性発達を回避するため、同一系統薬剤使用は年1回としてください。	
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	小	普通	成虫密度	—	—	—	1) 例年被害の多い圃場では6月上旬～中旬に防除し、その後は30日間隔を目安に次回の防除を行ってください。	
ナシ	黒星病	—	平年並	小	普通	発病密度	—	—	—	1) 圃場内をよく観察し、発病が認められる場合は速やかに防除を実施してください。 2) 発病葉は発見次第取り除き、圃場外へ持ち出して処分してください。 3) 薬剤耐性菌を生ずる恐れがあるため同一系統薬剤の連用を避けてください。	
	ハダニ類	—	平年並	小	普通	雌ダニ密度	—	—	—	1) 防除の目安は成虫の1葉当り寄生頭数が1頭以上の時です。 2) 薬剤抵抗性発達を回避するため、同一系統薬剤使用は年1回としてください。	

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量		要防除 圃場率 平年比	発生活長の一例				防除の注意事項
			平年比	程度		5月		6月		
						下旬	下旬	中旬	下旬	
ブドウ	べと病	—	平年並	小	普通					<ol style="list-style-type: none"> 1) 雨が連続と急激に発生が広がります。降雨が予想される時は、早めに予防散布を行ってください。 2) 葉裏をよく観察し、病斑を認めたら直ちに防除を実施してください。 3) 被害葉、被害果穂は発見次第取り除き、圃場外に持ち出し処分してください。
果樹共通	カメムシ類	—	平年並	中	普通					<ol style="list-style-type: none"> 1) 降雨がなく気温の高い夜に飛来が多いので、夜間の街灯に注意したり、圃場を見回るなどして、早期発見に努めてください。 2) 山林に近い圃場では特に注意が必要です。 3) 薬剤散布はカメムシ類の飛来を確認してから実施してください。 4) 夕刻から活発に飛翔するので朝夕の薬剤散布が効果的です。 5) 合成ピレスロイド系の薬剤を連続して散布すると、ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多くなる傾向があるので注意してください。
チャ	炭疽病	—	平年並	小	普通					<ol style="list-style-type: none"> 1) 気温が25℃前後で降雨時間が長く湿潤であると多発します。 2) 6月上中旬頃の気象によっては感染が助長されるので注意してください。 3) 旧葉に病斑葉が多いところでは注意してください。 4) 開葉初期に防除してください。
	もち病	—	平年並	小	低					<ol style="list-style-type: none"> 1) 気温が低い(15～22℃)と多発します。 2) 山間地など日陰になりやすいところでは、降雨により感染が多くなります。 3) 萌芽期が防除適期です。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量		要防除 圃場率 平年比	発生活長の一例				防除の注意事項
			平年比	程度		5月		6月		
						下旬	下旬	中旬	下旬	
チャ	カンザワハダニ	—	やや多	中	普通					<ol style="list-style-type: none"> 1) 世代交代が早く、急増することがあるので、発生密度の低い時期に防除してください。 2) 葉裏に生息していますので丁寧に散布してください。 3) 天敵への影響の小さい薬剤を選択してください。 4) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けてください。
	チャノホソガ	—	やや少	小	普通					<ol style="list-style-type: none"> 1) 防除適期は孵化直後の潜葉期(幼虫による絵描き状態)です。 2) 成虫の飛来状況と新芽への産卵状況(水滴状の卵)に注意してください。 3) 成虫の飛来状況は、病害虫防除所のホームページを参考にしてください。
	チャノミドリヒメコバイ	—	平年並	小	普通					<ol style="list-style-type: none"> 1) 成虫で越冬し、新芽の伸長とともに発生が増加します。 2) 新芽を加害し、先端から褐変して落葉することもあります。 3) 二番茶の萌芽期～開葉初期に防除してください。
	チャノキイロアザミウマ	—	やや少	小	低					<ol style="list-style-type: none"> 1) 成虫で越冬し、新芽の葉の組織内に産卵し、加害します。 2) 二番茶の萌芽前～開葉初期に防除してください。
イチゴ	うどんこ病	—	やや少	中	普通					<ol style="list-style-type: none"> 1) 今後1か月は感染しやすい時期です。圃場をよく観察し、早期発見に努め、発病葉は適切に処分してください。 2) 育苗圃で発生が多いと本圃でも多発するため、親株の時期から薬剤防除を徹底し、健全苗を育成してください。特にハウスで発生が多くなることがあるので注意して下さい。 3) 薬剤耐性菌を生ずる恐れがあるため、同一系統薬剤の連用は避けてください。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量		要防除 圃場率 平年比	発生活消長の一例				防除の注意事項
			平年比	程度		5月		6月		
						下旬	上旬	中旬	下旬	
イチゴ	炭疽病		平年並	中	普通					1) 高温・多湿条件で発生しやすいため、今後の梅雨・高温期にかけては注意が必要です。 2) 薬剤による予防防除を徹底してください。 3) 罹病株は感染源となります。見つけ次第速やかに除去し、圃場外に持ち出して処分してください。 4) 水滴の跳ね返りによって病原菌が広がります。灌水時は、跳ね返った水滴が茎葉に当たらないよう注意してください。
ネギ	ネギコガ		やや少	小	普通					1) 春から秋にかけて4~5回発生します。 2) 幼虫が葉の内部に潜り、表皮を残して食害するため、潜入防止のための早期防除が重要です。
野菜共通	コナガ		やや少	小	普通					1) 近年、大きな被害は見られませんが、繁殖力が旺盛なアブラナ科野菜の重要害虫です。 2) 中・高齢幼虫は殺虫効果が低くなるので、若齢のうちに防除してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統薬剤の連用は避けてください。

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	葉いもち	平年並	平年並	要因 1) 1か月予報(5月16日発表)によると、期間の前半の天気は数日の周期で変わり、後半は平年と同様に曇りや雨の日が多い予想(発生時期±、発生量±) 2) 巡回調査圃場(5月第2週)では、置き苗での発生率0%(平年0%)、本田での発生圃場率0%(平年0%)と、平年並に少(±) 3) 一般圃場では、発生量は無で平年並(±) 考察: 今後の気象条件から予想発生時期は平年並、今後の気象条件、巡回調査結果、一般圃場での発生状況から予想発生量は平年並と考えます。
	イネクロカメムシ	—	少	要因 1) 予察灯(松阪市・昨年8月第2半旬~10月第6半旬)では、誘殺数は水田位置4頭(平年25.8頭)と少、畑位置147頭(平年768.9頭)と少(—) 考察: 予察灯の状況から越冬成虫数は少ないと考えられるため、予想発生量は少と考えます。
	イネミズゾウムシ	平年並	少	要因 1) 予察灯(畑・松阪市:4月第1半旬~5月第3半旬)では、越冬成虫の最盛日は5月12日(6年平均5月12日)と平年並の傾向。誘殺数は2頭(6年平均102.7頭)と少ない傾向(発生時期±、発生量—) 2) 巡回調査圃場(5月第2週)では、発生圃場率33.9%(平年55.5%)と少、被害株率8.2%(平年20.7%)と少、株当たり虫数0.02頭(平年0.04頭)と少(—) 3) 一般圃場での発生量は無~やや少(概して少)(—) 考察: 予察灯の状況から幼虫の予想発生時期は平年並、巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量は少と考えます。
カンキツ	そうか病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(5月16日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想(+) 2) 県予察圃(5月15日、無防除)では、新葉発病率77.2%(平年63.3%)とやや多、発病果率0.0%(平年7.4%)と少(±) 3) 巡回調査圃場(5月第2週)では、旧葉発病度0.03(平年0.02)とやや多(+) 4) 一般圃場では、発生量は少(—) 考察: 一般圃場の発生状況を重視して、現状の発生量は少と考えられますが、今後の気象条件を考慮して予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	黒点病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(5月16日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想(+)</p> <p>2) 県予察圃(無防除区)では、昨年10月上旬の果実発病度は100.0(平年100.0)で平年並(±)</p> <p>3) 巡回調査圃場では、昨年10月上旬の果実発病度1.75(平年14.8)と少(-)</p> <p>4) 感染源となる枯枝は平年並(±)</p> <p>考察: 平年と比べて大きな増減の要因はなく、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	かいよう病	—	温州 平年並 中晩柑 平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(5月16日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想(+)</p> <p>2) 県予察圃(5月中旬、新甘夏、無防除)では、新葉発病率0.0%(平年0.0%)と平年並(±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(5月第2週)では、旧葉発病度は温州みかんでは0%(平年0.02%)と平年並に少、中晩柑類では1.4%(平年2.5%)と平年並の傾向(±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並(±)</p> <p>考察: 温州みかんでは、現状の発生量は平年並に少と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。中晩柑類では、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	ミカンハダニ	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(5月16日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想(+)</p> <p>2) 県予察圃(5月15日)では、100葉当り寄生頭数は、無防除区81.1頭(平年31.1頭)と多、慣行防除区5.6頭(平年1.1頭)と多(+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(5月第2週)では、旧葉寄生率1.1%(平年8.3%)とやや少の傾向、寄生頭数0.05頭/葉(平年0.78頭/葉)と平年並みの傾向(±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや多(+)</p> <p>考察: 一般圃場の発生状況を重視して、現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。</p>
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(5月16日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想(+)</p> <p>2) 県予察圃における5月上旬の黄色粘着トワップ誘殺数0.4頭/日(平年値0.9頭/日)とやや少(-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少~平年並(概してやや少)(-)</p> <p>考察: 一般圃場の発生状況を重視して、現状の発生量はやや少と考えられますが、今後の気象条件を考慮し予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
ナシ	黒星病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(5月16日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(5月第2週)では、発病率0.3%(平年0.4%)とやや少(-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量はやや少(-)</p> <p>考察: 巡回調査圃場および一般圃場の発生状況を重視して現状の発生量はやや少と考えられますが、今後の気象条件を考慮し予想発生量は平年並と考えます。</p>
	ハダニ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(5月16日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(5月第2週)では、寄生率0%(平年0.04%)と平年並に少(±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少(-)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並に少と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
ブドウ	べと病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(5月16日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(5月第2週)では、発病率は0%(平年0%)と平年並に少(±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少(-)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並に少と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
果樹共通	カメムシ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(御浜町・5月1日~10日)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ31.0頭(平年452.9頭)と少、ツヤアオカメムシ595.0頭(平年1038.5頭)と少(-)</p> <p>2) 予察灯(畑・松阪市:5月第1半旬~第2半旬)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ6頭(平年59.5頭)と少、ツヤアオカメムシ0頭(平年6.4頭)と少(-)</p> <p>3) フェロモントラップ(5月第2週)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は、山地(津市白山町川口)で72.8頭(平年50.1頭)と多、中間地(津市白山町二本木)で88.5頭(平年81.7頭)と平年並、平地地(松阪市嬉野川北町)で16.3頭(平年50.5頭)とやや少(±)</p> <p>4) フェロモントラップ(5月第2週)では、ツヤアオカメムシ誘殺数は、山地(津市白山町川口)で3.8頭(平年2.3頭)やや多、中間地(津市白山町二本木)で0.8頭(平年3.1頭)と少、平地地(松阪市嬉野川北町)で6.0頭(平年4.2頭)とやや多(±)</p> <p>5) 巡回調査圃場(5月第2週、カンキツ圃場)では、叩き落とし虫数0.08頭(平年0.2頭)とやや少(-)</p> <p>6) 一般圃場では、発生量はやや多(+)</p> <p>考察: 現状の発生量は、地域による差が見られるものの平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	炭疽病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(5月16日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想(+) 2) 県予察圃(一番茶期)では、発生は未確認(±) 3) 巡回調査圃場(5月第2週)では、新葉発病葉数0葉/m ² (平年0.13葉/m ²)と少(-) 考察: 現状の発生量は平年並みと考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	もち病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(5月16日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想(-) 2) 県予察圃(一番茶期)では、発生は未確認(±) 3) 巡回調査圃場(5月第2週)では、新葉発病枚数0枚(平年0枚)と平年並に少(±) 考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	カンザワハダニ	—	やや多	要因 1) 1か月予報(5月16日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想(+) 2) 県予察圃(5月中旬)では、寄生率率2.0%(平年2.7%)と平年並の傾向、寄生頭数0.02頭/葉(平年0.08頭/葉)と平年並の傾向(±) 3) 巡回調査圃場(5月第2週)では、発生圃場率64.3%(平年34.3%)と多、寄生率率6.6%(平年3.9%)と多、寄生頭数0.15頭/葉(平年0.09頭/葉)と多(+) 4) 一般圃場では、発生量は平年並(±) 考察: 県予察圃、一般圃場を重視し現状の発生量は平年並と考えられ、今後の気象条件を考慮し予想発生量はやや多と考えます。
	チャノホソガ	—	やや少	要因 1) 1か月予報(5月16日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想(+) 2) 県予察圃(4月第4半旬~5月第3半旬)では、フェロモントラップ誘殺数315頭(平年120.2頭)と多(+) 3) 巡回調査圃場(5月第2週)では、巻葉数0.14枚/m ² (8年平均0.68枚/m ²)と少の傾向(-) 4) 一般圃場では、発生量は少(-) 考察: 巡回調査圃場、一般圃場を重視し現状の発生量は少と考えられ、今後の気象条件を考慮し予想発生量はやや少と考えます。
	チャノミドリヒメヨコバイ	—	平年並	要因 1) 1か月予報(5月16日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想(+) 2) 県予察圃(4月第4半旬~5月第3半旬)では、黄色粘着トラップ捕殺数11.0頭(6年平均9.9頭)と平年並の傾向(±) 3) 巡回調査圃場(5月第2週)では、叩き落とし虫数0.4頭(平年0.9頭)と少(-) 4) 一般圃場では、発生量はやや少(-) 考察: 一般圃場を重視し現状の発生量はやや少と考えられ、今後の気象条件を考慮し予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	チャノキイロアザミウマ	—	やや少	要因 1) 1か月予報(5月16日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想(+) 2) 県予察圃(4月第4半旬~5月第3半旬)では、黄色粘着トラップ捕殺数40.5頭(6年平均165.3頭)と少の傾向(-) 3) 巡回調査圃場(5月第2週)では、叩き落とし虫数0.07頭(平年2.2頭)と少(-) 4) 一般圃場では、発生量は少(-) 考察: 現状の発生量は少と考えられ、今後の気象条件を考慮し予想発生量はやや少と考えます。
イチゴ	うどんこ病	—	やや少	要因 1) 1か月予報(5月16日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想(±) 2) 一般圃場では、発生量は無~少(概して少)(-) 考察: 現状の発生量は少と考えられ、気象条件を考慮し予想発生量はやや少と考えます。
	炭疽病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(5月16日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想(±) 2) 一般圃場では、発生量は平年並に少(±) 考察: 現状の発生量は平年並に少と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
ネギ	ネギコガ	—	やや少	要因 1) 1か月予報(5月16日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想(±) 2) 県予察圃フェロモントラップ(4月第5半旬~5月第4半旬)では、誘殺数138頭(平年125.1頭)と平年並(±) 3) 巡回調査圃場(5月第2週)では、被害率率0%(平年0.02%)と平年並(±) 4) 一般圃場では、発生量は無(-) 考察: 圃場での発生量とフェロモントラップの誘殺数から、予想発生量はやや少と考えます。
野菜共通	コナガ	—	やや少	要因 1) 1か月予報(5月16日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並の予想(±) 2) 県予察圃フェロモントラップ(4月第5半旬~5月第4半旬)では、誘殺数5頭(平年38.7頭)と少(-) 3) 一般圃場では、発生量は少~平年並(概してやや少)(-) 考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。

4. 予察項目の見方

1)「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比)： 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早	やや早	平年並					やや遅	遅					

発生量(平年比)： 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

	平年値					
度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並	やや多	多	

発生量(程度)： 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率(平年比)： 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例： 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項： 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2)「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

- (±)：平年並の要因
- (+)：発生量増加または発生時期遅延の要因
- (-)：発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

東海地方1か月予報(令和元年5月16日 名古屋地方気象台発表)

期間の前半は、天気は数日の周期で変わります。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率60%です。週別の気温は、1週目は、高い確率70%です。2週目は、高い確率50%です。3~4週目は、高い確率50%です。

1週目 5月18日~24日	気圧の谷や湿った空気の影響で曇りの日が多く、期間の中頃は雨の降る日が多いでしょう。	津の降水日数・晴れ日数の平年値 2.2日・4.0日
2週目 5月25日~31日	高気圧と低気圧が交互に通過して、天気は数日の周期で変わる見込みです。	同 2.0日・4.2日
3~4週目 6月1日~14日	低気圧や前線の影響を受けやすく、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。	同 4.3日・7.2日

東海地方週間天気予報(令和元年5月20日16時31分 名古屋地方気象台発表)

予報期間 5月21日から5月27日まで

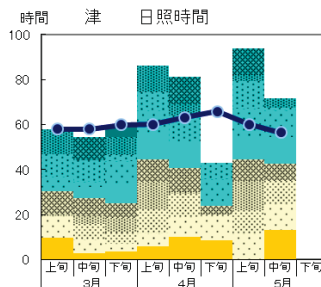
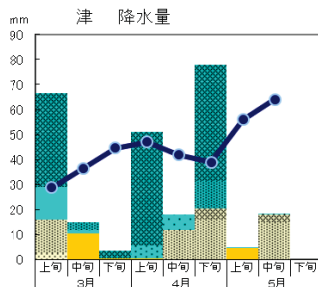
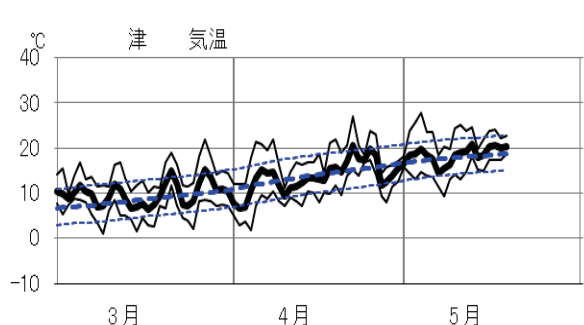
向こう一週間は、期間のはじめと終わりは、前線や湿った空気の影響で曇りや雨となりますが、中頃は高気圧に覆われて晴れるでしょう。21日は前線の活動の程度によっては、大雨となるおそれがあり、海上はしける所がある見込みです。

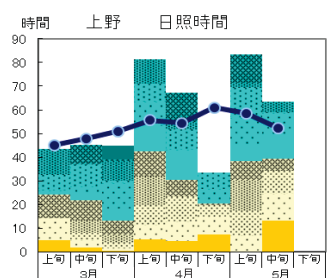
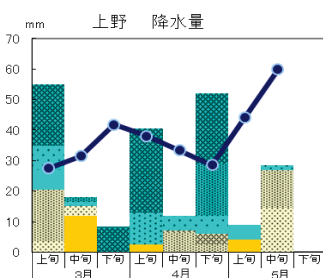
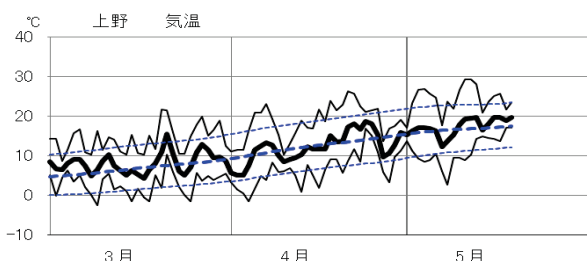
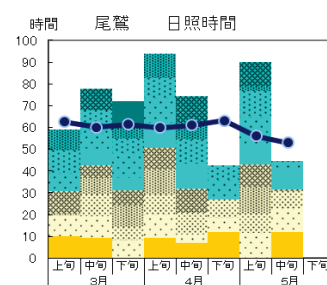
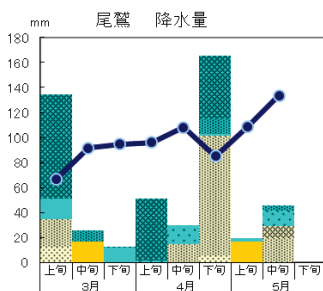
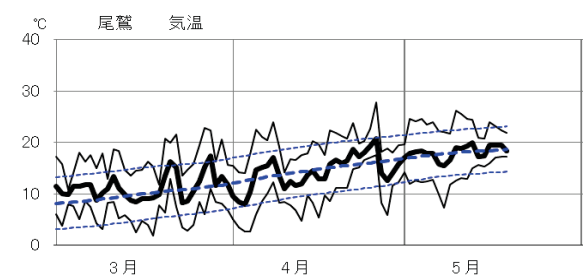
最高気温は、平年より高く、平年よりかなり高い所もあるでしょう。

最低気温は、期間のはじめと終わりは平年より高く、中頃は平年並の見込みです。

降水量は、平年より多く、かなり多くなる所もあるでしょう。

気象の日別推移(気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/ctrn/index.php> から作成) (5月19日まで)





凡例
 — 平均
 — 最高
 — 最低
 - - - 年平均
 - - - 年最高
 - - - 年最低

凡例
 ■ 31日
 ■ 旬10日目
 ■ 旬9日目
 ■ 旬8日目
 ■ 旬7日目
 ■ 旬6日目
 ■ 旬5日目
 ■ 旬4日目
 ■ 旬3日目
 ■ 旬2日目
 ■ 旬1日目
 ■ 旬平年値

凡例
 ■ 31日
 ■ 旬10日目
 ■ 旬9日目
 ■ 旬8日目
 ■ 旬7日目
 ■ 旬6日目
 ■ 旬5日目
 ■ 旬4日目
 ■ 旬3日目
 ■ 旬2日目
 ■ 旬1日目
 ■ 旬平年値

14

三重県病害虫防除所

6. おしらせ (前回と異なる項目には NEW の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- | | |
|------------------|------------------|
| 第1回 4月25日(木)(済み) | 第2回 5月23日(木)(今回) |
| 第3回 6月20日(木) | 第4回 7月19日(木) |
| 第5回 8月22日(木) | 第6回 10月24日(木) |
| 第7回 3月19日(木) | |

3) 利用方法

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000835764.pdf>

5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

各位

三重県病害虫防除所長

目次

ページ

1. 向こう1か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	8
4. 予察項目の見方	15
5. 気象のデータ	16
6. おしらせ	18

令和元年度病害虫発生予報第3号

このことについて、下記のとおり発表します。

1. 向こう1か月の予報と対策

1) 作物

イネでは、葉いもちは**やや多**、穂いもちの発生時期は**平年並**、発生量は**やや多**と予想されます。圃場を見回り、早期発見、早期防除に努めてください。

紋枯病の発生時期および発生量は**平年並**、白葉枯病の発生量は**平年並**と予想されます。

斑点米カメムシ類は**やや少**、イネクロカメムシは**少**、ツマグロヨコバイは**平年並**と予想されます。セジロウンカの発生時期および発生量は**平年並**と予想されます。

2) 果樹

カンキツでは、ミカンハダニの発生量は**やや多**と予想されます。発生が認められる場合は速やかに防除を実施してください。そうか病、黒点病、かいよう病(中晩柑)、チャノキイロアザミウマの発生量は**平年並**と予想されます。かいよう病(温州みかん)の発生量は**少**と予想されます。

ナシでは、ハダニ類の発生量は**平年並**、黒星病の発生量は**やや少**と予想されます。

ブドウでは、べと病の発生量は**平年並**と予想されます。

果樹共通では、果樹カメムシ類の発生量は**平年並**と予想されます。

3) 茶

チャでは、カンザワハダニ、チャノホソガの発生量は**やや多**と予想されます。薬剤が十分かかるよう丁寧に散布してください。チャノミドリヒメヨコバイ、クワシロカイガラムシ、チャノコカクモンハマキの発生量は**平年並**と予想されます。クワシロカイガラムシの発生時期は**やや早**と予想されます。防除時期にご注意ください。炭疽病、チャノキイロアザミウマの発生量は**やや少**と予想されます。

4) 野菜

イチゴでは、炭疽病の発生量は**平年並**と予想されます。うどんこ病、ハダニ類は**やや少**と予想されます。

ネギ共通では、ネギコガの発生量は**やや少**と予想されます。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

1

三重県病害虫防除所

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項		
			平年比	平年比		程度	平年比	発生時期				
								6月	7月			
						下旬	中旬	下旬				
イネ	葉いもち	—	やや多	中	普通	発病密度				1) 圃場を見回り、早期発見、早期防除に努めてください。 2) 補植用置き苗は発生源となるので、速やかに取り除いてください。 3) 感染適温は24℃で、葉身の「ぬれ」時間が長いほど感染量が多くなります。 4) 雨天が続いた場合、天気予報を参考にしながら、雨の合間を見計らって防除をしてください。		
	穂いもち	平年並	やや多	中	普通	発病密度				1) 上位葉の葉いもち病斑が伝染源となります。 2) 圃場および周辺圃場での葉いもちの発生状況に注意してください。 3) 薬剤散布は出穂始めから穂揃い期に予防的に行ってください。		
	紋枯病	平年並	平年並	小	普通	発病密度				1) 幼穂形成期頃(穂肥時期)から発生が目立つようになります。 2) 水面に近い茎から茎へ感染します。薬剤散布によって病斑の上位葉への進展を阻止してください。		
	白葉枯病	—	平年並	小	低	発病密度				1) 深水、冠水、台風によって感染や発病が助長されます。 2) 常発地では台風直後に薬剤散布をしましょう。予防的な薬剤散布が効果的です。 3) 「みえのゆめ」は耐病性の弱い品種なので注意してください。		
	斑点米カメムシ類	—	やや少	小	普通	アカヒゲホソドリ リカスミカメ	アカスシカ スミカメ			1) 畦畔などのイネ科雑草で増殖します。草刈りをこまめに行い、イネ科雑草の穂がつかないように管理してください。 2) 水田内で雑草が多発すると、水田への侵入を助長するため、早めに除去しましょう。 3) 出穂2~3週間前と出穂期の2回除草が効果的です。出穂2~3週間前の1回除草だけでは、水稻の出穂期に、再び畦畔のイネ科雑草の穂がでてカメムシが本田に飛来します。		

2

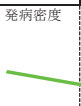
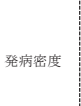
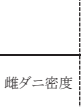

三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項	
			発生時期	発生量		要防除圃場率	6月		7月		
							発生時期	発生量	発生時期		発生量
イネ	イネクロカメムシ	—	少	小	低	被害量	誘殺数			1) 常発地で薬剤散布する場合は、越冬成虫の発生量がピークとなる6月下旬に実施してください。 2) 日中は株元に潜んでいるので、夕方や曇天の日に薬剤散布を行うと効果的です。	
	ツマグロヨコバイ	—	平年並	中	低	成虫密度				1) 萎縮病を媒介しますが、本県での発生は少ないとされています。 2) 当面、防除が必要な密度には達しないと思われます。	
	セジロウムカ	平年並	平年並	小	低	成虫密度				1) 例年、6月末から7月にかけて海外から飛来します。九州以北では越冬できないとされています。 2) 被害の発生は局所的であることが多いです。 3) 防除不要な年が多いですが、多発時は発生予測情報に従い防除してください。	
カンキツ	そうか病	—	平年並	小	普通	枝・葉	果実			1) 常発圃場や昨年多発した圃場、幼木園、高接ぎ更新圃場の温州みかんでは、発生に注意してください。 2) 果実への感染は梅雨末期頃までと言われています。	
	黒点病	—	平年並	小	普通	発病密度				1) 枯枝が伝染源です。梅雨時期の枯枝発生に注意し、樹冠内や圃場内の枯枝を除去してください。 2) 薬剤散布は前回の散布後に積算降水量が200~300mmに達した時を目安に実施してください。	

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項	
			発生時期	発生量		要防除圃場率	6月		7月		
							発生時期	発生量	発生時期		発生量
カンキツ	かいよう病	—	温州少 中晩柑平年並	温州小 中晩柑中	温州低 中晩柑普通	発病密度				1) 降雨があると急速に感染が広がるので、発生圃場では雨の合間に防除してください。 2) 発病枝葉、果実は、見つけ次第剪除し処分してください。 3) 幼木や高接樹ではミカンハモグリガの被害部に発病しやすいので、ミカンハモグリガの防除を実施してください。 4) 中晩柑類では、梅雨期頃から10月中下旬頃まで果実への感染が起きます。	
	ミカンハダニ	—	やや多	大	高	ダニ密度				1) 発生密度が高くなると防除が困難になります。1葉当りの雌成虫発生数が0.5~1.0頭程度を目安に防除してください。 2) 薬剤は葉裏にもかかるように散布してください。 3) 同一系統薬剤の連用は避けてください。	
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	中	普通	成虫密度				1) 寄生果率10%を目安に防除してください。 2) 7月になり果実肥大が進むと果頂部で加害します。 3) 圃場周辺のイヌマキ・サンゴジュ等が発生源となります。	
ナシ	黒星病	—	やや少	小	普通	発病密度				1) 発病果及び発病葉は除去して、圃場外に持ち出し処分してください。 2) 発病が確認される圃場では、すみやかに防除を計画してください。 3) 薬剤散布を実施するときは薬剤をていねいに散布し、同一系統薬剤の連用を避けてください。	
	ハダニ類	—	平年並	中	普通	ダニ密度				1) 1葉当り寄生数が1~2頭で防除を実施してください。 2) 7~8月に密度が高くなります。徒長枝での発生にも注意してください。 3) 同一系統薬剤の連用は避けてください。	

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項
			発生量	程度		6月		7月		
						発生量	程度	下旬	中旬	
ブドウ	べと病	—	平年並	小	普通					1) 降雨が連続すると病徴が急速に進展するので、葉裏に病斑を認めたら直ちに薬剤を散布してください。 2) 降雨の合間に防除を計画してください。 3) 被害葉及び被害落葉は感染源となるので圃場外に持ち出して処分してください。 4) 同一系統薬剤の連用を避けてください。
果樹共通	カメムシ類	—	平年並	中	普通					1) 7月後半以降で飛来数が増加する可能性がありますので注意が必要です。 2) ナシ(無袋栽培)、カキでまとまった飛来を確認したら、防除を実施してください。 3) 中山間地や以前多発したことがある地域では、圃場への飛来に注意してください。
チャ	炭疽病	—	やや少	小	普通					1) 旧葉の病斑が感染源です。新葉の展葉までに毛茸の脱落部分から感染します。 2) 新芽の1葉期前後に感染し易く、潜伏期間の15~20日を経て発病します。 3) 二番茶摘採後に整剪枝を行うことによって、発生が抑制できます。
	カンザワハダニ	—	やや多	中	普通					1) 病害虫防除技術情報第2号(6月5日発表)。 2) 葉裏に産卵するので、丁寧に散布してください。 3) 天敵が増加する時期なので、天敵に影響が少ない薬剤を選択してください。 4) 薬剤抵抗性が発達しやすいので同一系統の薬剤の連用は避けてください。
	チャノホソガ	—	やや多	小	普通					1) 年間6~7世代発生します。 2) 防除適期は孵化直後の潜葉期(絵描き状態)です。 3) ハマキムシ類の間接暴露による薬剤抵抗性の発達を避けるため、ジアシルヒドラジン系 IGR 剤(虫18)、ジアミド剤(虫28)の使用回数は最大年1回までとしてください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項
			発生量	程度		6月		7月		
						発生量	程度	下旬	中旬	
チャ	チャノミドリヒメヨコバイ	—	平年並	小	普通					1) 年間5~8回発生し、新芽を加害します。葉先が褐変し、ひどくなると落葉します。 2) 萌芽期~開葉初期に防除してください。
	チャノキイロアザミウマ	—	やや少	中	普通					1) 年間7~8回発生し、新芽を加害します。萌芽初期に芽の芯から加害し、条痕となります。 2) 萌芽期~開葉初期に防除してください。
	クワシロカイガラムシ	やや早	平年並	小	普通					1) 病害虫防除技術情報第1号(5月13日発表) 2) 年3回発生します。孵化最盛期の2~5日後が防除適期です。 3) 有効積算温度による発生活長予測式では、第2世代幼虫の孵化最盛期は平年より早いと予測されます。 4) 歩行型幼虫の発生状況をルーペ等で実際に確認して防除してください。 5) 孵化開始から2週間程度の断続的な散水により孵化抑制及び孵化幼虫の生存率を低下できます。 6) 天敵に影響の少ない薬剤を選択してください。
	チャノコカクモンハマキ	—	平年並	小	普通					1) 年間4世代発生します。防除適期は誘殺ピークの7~10日後です。 2) 病害虫防除所ホームページにフェロモントラップの誘殺状況を掲載していますので参考にしてください。 3) 交信かく乱剤をまとまった面積に実施することにより、次世代以降の密度を下げるができます。 4) 薬剤抵抗性の発達を防ぐためジアシルヒドラジン系 IGR 剤(虫18)、ジアミド剤(虫28)の使用回数は最大年1回までとしてください。
病害虫名	発生	発生量	要防除	発生活長の一例				防除の注意事項		

物名	時期			圃場率	圃場率				備考	
	年平均比	年平均比	程度		年平均比	6月		7月		
						下旬	中旬	下旬		中旬
イチゴ	うどんこ病	-	やや少	中	普通				1) 育苗期の防除を徹底してください。 2) 薬剤防除は予防散布に努めます。葉裏から発生しやすいので、葉液が葉裏に十分かかるよう丁寧に散布してください。 3) 発病を認めたときは、集中的に散布して感染拡大を防いでください。	
	炭疽病	-	平年並	中	普通				1) 病原菌は高温多湿条件を好み、梅雨時期以降に発生が多くなるため、十分な注意が必要です。 2) 病原菌(孢子)を含む水の跳ね返りで感染が拡大します。頭上灌水は避け、株を濡らさないようにしてください。 3) 発病株は感染源となるため、周辺株を含めて直ちに除去し、処分してください。 4) 薬剤防除は、葉液が株元まで十分かかるよう丁寧に散布してください。	
	ハダニ類	-	やや少	小	普通				1) 作物残渣から歩行によって移動します。葉かき後の残渣は圃場外に持ち出し、速やかに処分してください。 2) 多発すると防除が困難になります。早期発見に努め、発生初期に防除を行ってください。 3) 散布は葉裏を中心に丁寧に行ってください。 4) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統薬剤の連用は避けてください。	
ネギ共通	ネギコガ	-	青ネギ やや少 白ネギ やや少	小	普通				1) 春から秋にかけて4~5回発生します。 2) 幼虫は葉の内部に潜り、表皮を残して食害します。潜入防止のため、発生初期から防除を行うことが重要です。	

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	葉いもち	-	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月13日発表)によると、気温は低く、平年並に曇りや雨の日が多い予想 (+)</p> <p>2) プラスタム(6月17日現在)によると、感染好適条件は6月3日から14日にかけて県内の広範囲で出現 (+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、本田における発生圃場率0%(平年0%)と平年並に少 (±)</p> <p>4) 巡回調査圃場(6月6日)および広域病害虫防除員調査圃場(6月4日)では、置き苗での発生を確認 (+)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量は無で、平年並に少 (±)</p> <p>考察: プラスタムによる判定結果および今後の気象条件を重視して、予想発生量はやや多と考えます。</p>
	穂いもち	平年並	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月13日発表)によると、気温は低く、平年並に曇りや雨の日が多い予想 (+)</p> <p>2) 農業研究所作況試験田(4月24日移植コシヒカリ、移植50日目)によると、葉齢の進展は平年並 (発生時期±)</p> <p>3) 一般圃場では、生育はやや遅~平年並で、概して平年並 (発生時期±)</p> <p>4) 葉いもち発生量はやや多の予想 (+)</p> <p>考察: 水稲の生育状況を考慮して予想発生時期は平年並、葉いもちの予想発生量を重視して、予想発生量はやや多と考えます。</p>
	紋枯病	平年並	平年並	<p>要因</p> <p>1) 農業研究所作況試験田(4月24日移植コシヒカリ、移植50日目)によると、葉齢の進展は平年並、茎数は平年並 (発生時期±、発生量±)</p> <p>2) 昨年8月の巡回調査圃場では、発生圃場率28.4%(平年29.3%)と平年並、発病度は1.7(平年1.8)と、平年並 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、生育はやや遅~平年並、茎数はやや少~平年並で、概して平年並 (発生時期±、発生量±)</p> <p>考察: 水稲の生育状況を考慮して予想発生時期は平年並、同様に水稲の生育状況と感染源となる越冬菌核量を考慮して、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	白葉枯病	-	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月13日発表)によると、気温は低く、平年並に曇りや雨の日が多い予想 (+)</p> <p>2) 県内では4月以降、激しい風を伴う大雨はなし (-)</p> <p>考察: これまでのところ、激しい風雨による冠水の機会は少ないため、予想発生量は平年並に少と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	斑点米カメムシ類	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 水田位置予察灯(4月第1半旬～6月第2半旬)では、誘殺数はアサスジカスミカメ21頭(平年11.1頭)と多、アカヒゲホソドリカスミカメ19頭(平年23.2頭)と平年並(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、畦畔イネ科雑草すくい取りによる発生地点率は、ホソハリカメムシで4.2%(平年8.3%)と少、クモヘリカメムシで0%(平年0%)と平年並に少、シラホシカメムシ類で0.8%(平年3.9%)と少、アサスジカスミカメで44.1%(平年40.6%)と多、アカヒゲホソドリカスミカメで4.2%(平年10.9%)と少(—)</p> <p>3) 2)の調査で捕獲した成幼虫数は、ホソハリカメムシで0.05頭(平年0.14頭)と少、クモヘリカメムシで0頭(平年0頭)と平年並に少、シラホシカメムシ類で0.01頭(平年0.07頭)と少、アサスジカスミカメ2.9頭(平年2.4頭)と多、アカヒゲホソドリカスミカメで0.04頭(平年0.28頭)と少(—)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査結果から、予想発生量はやや少と考えます。</p>
	イネクロカメムシ	—	少	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(4月第1半旬～6月第2半旬)では、誘殺数は水田位置13頭(平年6.1頭)と多、畑位置90頭(平年103.8頭)とやや少(±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発生圃場率0%(平年2.7%)と少、25株当たり成虫数0頭(平年0.01頭)と少(—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無(—)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量は少と考えます。</p>
	ツマグロヨコバイ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(4月第1半旬～6月第2半旬)では、誘殺数は松阪市・水田位置0頭(平年0.5頭)と少、紀北町0頭(平年0頭)、御浜町0頭(平年0頭)、伊賀市(5月第1半旬～6月第2半旬)0頭(平年0頭)は平年並に少、松阪市・畑位置4頭(平年48.1頭)と少(—)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、払い落とし成幼虫数0.21頭(平年0.14頭)と多(+)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無(±)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	セジロウンカ	平年並	平年並	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(松阪市、紀北町、御浜町、伊賀市)では6月14日現在、未飛来(松阪市・平年初飛来7月12日、昨年初飛来8月21日)(発生時期±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、払い落とし成虫数は0頭(平年0.002頭)と平年並に少(±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無(±)</p> <p>考察: これまでの飛来状況から発生時期は平年並、現在の飛来状況から当面は密度が大きく上昇することはないと予想されるため、予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	そうか病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月13日発表)によると、気温は低く、平年並に曇りや雨の日が多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃(6月上旬、無防除)では、春葉発病率78.5%(平年72.7%)と平年並の傾向、発病果率71.7%(平年64.8%)と平年並の傾向(±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、春葉発病度0.03(平年0.02)と平年並(±)</p> <p>4) 一般圃場のうち、紀州地域では発生量は平年並、それ以外では少(概してやや少)(—)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	黒点病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月13日発表)によると、気温は低く、平年並に曇りや雨の日が多い予想(+)</p> <p>2) 県予察圃(6月上旬、無防除)では、果実発病率27.5%(平年22.7%)とやや多(+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、春葉発病度0(平年1.3)とやや少の傾向(—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少～やや少(概してやや少)(—)</p> <p>5) 感染源となる枯枝量は平年並(±)</p> <p>考察: 巡回調査結果と一般圃場の発生状況を重視して、現状の発生量はやや少と考えられますが、今後の気象条件を考慮し、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	かいよう病	—	温州少 中晩柑 平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月13日発表)によると、気温は低く、平年並に曇りや雨の日が多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃(6月上旬、新甘夏、無防除)では、春葉発病率7.2%(平年1.1%)と多、発病果率0%(平年0.2%)とやや少(±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、春葉発病率は温州みかんでは0%(平年0.1%)と少、中晩柑では3.3%(平年3.4%)と平年並(±)</p> <p>4) 中晩柑類の一般圃場での発生量はやや少～平年並(概して平年並)(±)</p> <p>考察: 温州みかんでは、現状の発生量は少と考えられ、引き続き予想発生量は少と考えます。中晩柑類では、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	ミカンハダニ	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月13日発表)によると、気温は低く、平年並に曇りや雨の日が多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃(6月上旬)では、寄生頭数は無防除区120.0頭/100葉(平年48.3頭/100葉)と多、慣行防除区64.4頭/100葉(平年15.0頭/100葉)と多(+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では春葉寄生率4.2%(平年9.8%)と少、寄生頭数0.10頭/葉(平年0.41頭/葉)と平年並の傾向(—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや多(+)</p> <p>考察: 一般圃場の発生状況を重視して、現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月13日発表)によると、気温は低く、平年並に曇りや雨の日が多い予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃黄色粘着トラップ(6月上旬、無防除)では、誘殺数 12.5 頭/日(平年 1.5 頭/日)と多 (+)</p> <p>3) 県予察圃(6月上旬、無防除)では、寄生虫数 5.0 頭/100 果(平年 1.1 頭/100 果)と多 (+)</p> <p>4) 巡回調査圃場(6月第2週)では、被害果率 0%(平年 0.5%)と平年並の傾向 (±)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 巡回調査結果および一般圃場の発生状況を重視して、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
ナシ	黒星病	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月13日発表)によると、気温は低く、平年並に曇りや雨の日が多い予想 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発病率 0.3%(平年 2.0%)と少 (—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量はやや少 (—)</p> <p>考察: 一般圃場の状況を重視して現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	ハダニ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月13日発表)によると、気温は低く、平年並に曇りや雨の日が多い予想 (—)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、寄生率 0.3%(平年 0.05%)と多、寄生頭数 0.003 頭/葉(平年 0.0005 頭/葉)と平年並 (+)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量はやや少 (—)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
ブドウ	べと病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月13日発表)によると、気温は低く、平年並に曇りや雨の日が多い予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発病率 0%(平年 0.05%)と平年並に少 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量はやや少 (—)</p> <p>考察: 一般圃場の状況を重視して現状の発生量はやや少と考えられますが、今後の気象条件を考慮し、予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
果樹共通	カメムシ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(御浜町6月上旬)では、誘殺数はツヤアオカメムシ 152 頭(平年 104.3 頭)とやや多、チャバネアオカメムシは 446 頭(平年 926.5 頭)とやや少 (±)</p> <p>2) 予察灯(畑・松阪市:6月第2半旬)では、誘殺数はツヤアオカメムシ 6.0 頭(平年 40.2 頭)と少、チャバネアオカメムシ 17.0 頭(平年 119.3 頭)と少 (—)</p> <p>3) フェロモントラップ(6月第1週)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は、平坦地(松阪市嬉野川北町)で 5.0 頭(平年 20.5 頭)と少、中間地(津市白山町二本木)で 36.0 頭(平年 153.5 頭)と少、山地(津市白山町川口)で 35.3 頭(平年 52.4 頭)と平年並の傾向 (±)</p> <p>4) 巡回調査圃場(6月第2週、カンキツ圃場)では、叩き落としたり見取り調査による飛来は 0 頭(平年 0.07 頭)と平年並の傾向 (±)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
チャ	炭疽病	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月13日発表)によると、気温は低く、平年並に曇りや雨の日が多い予想 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発生圃場率 11.1%(平年 10.0%)と平年並、発病葉数 0.1 枚/m²(平年 0.2 枚/m²)とやや少 (—)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや少、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	カンザワハダニ	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月13日発表)によると、気温は低く、平年並に曇りや雨の日が多い予想 (—)</p> <p>2) 県予察圃(6月上旬)では、寄生頭数 0 頭/葉(平年 0.06 頭/葉)と少、寄生率 0%(平年 2.0%)と少 (—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発生圃場率 88.9%(平年 36.8%)と多、寄生率 11.1%(平年 3.6%)と多、寄生頭数 0.36 頭/葉(平年 0.07 頭/葉)と多 (+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや多 (+)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。</p>
	チャノホソガ	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月13日発表)によると、気温は低く、平年並に曇りや雨の日が多い予想 (—)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ(5月第3半旬~6月第2半旬)では、誘殺数 3,242 頭(平年 2,478 頭)とやや多 (+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、巻葉数 0.28 枚/m²(平年 0.22 枚/m²)とやや多 (+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや多 (+)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	チャノミドリヒメヨコバイ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月13日発表)によると、気温は低く、平年並に曇りや雨の日が多い予想 (—)</p> <p>2) 県予察圃黄色粘着トラップ(5月第3半旬～6月第2半旬)では、捕殺数87.3頭(6年平均34.7頭)と多の傾向 (+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、叩き落とし虫数1.6頭(平年2.0頭)とやや少 (—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 一般圃場の状況を重視して現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	チャノキイロアザミウマ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月13日発表)によると、気温は低く、平年並に曇りや雨の日が多い予想 (—)</p> <p>2) 県予察圃黄色粘着トラップ(5月第3半旬～6月第2半旬)では、捕殺数374頭(6年平均917頭)と少の傾向 (—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、叩き落とし虫数1.7頭(平年9.7頭)と少 (—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少 (—)</p> <p>考察: 一般圃場の状況を重視して現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	クワシロカイガラムシ	やや早	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月13日発表)によると、気温は低く、平年並に曇りや雨の日が多い予想 (—)</p> <p>2) 有効積算温度による予測式では、第2世代幼虫孵化最盛日は7月19日頃(平年7月23日頃) (発生時期—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、雌寄生株率1.4%(平年6.8%)と少、雄繭発生株率1.1%(平年8.0%)と少 (—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 一般圃場の状況を重視して現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。予想発生時期はやや早と考えます。</p>
	チャノコカクモンハマキ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月13日発表)によると、気温は低く、平年並に曇りや雨の日が多い予想 (—)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ(5月第3半旬～6月第2半旬)では、誘殺数159頭(平年248頭)と平年並の傾向 (±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、ハマキムシ類巻葉数0.44枚/m²(平年0.60枚/m²)とやや少 (—)</p> <p>4) 一般圃場では、ハマキムシ類の発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 現状の発生状況は一般圃場の状況を重視して平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
イチゴ	うどんこ病		やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月13日発表)によると、気温は低く、平年並に曇りや雨の日が多い予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発病株率0.4%(平年6.2%)と少 (—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少～平年並(概して少) (—)</p> <p>考察: 現状の発生量は少と考えられ、今後の気象条件を考慮して予想発生量はやや少と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イチゴ	炭疽病		平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月13日発表)によると、気温は低く、平年並に曇りや雨の日が多い予想 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発病株率0%(平年0%)と平年並に少 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無～少(概して少) (—)</p> <p>考察: 現状の発生量は、平年並に少と考えられ、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	ハダニ類		やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月13日発表)によると、気温は低く、平年並に曇りや雨の日が多い予想 (—)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、寄生株率5.2%(平年7.6%)と平年並 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量はやや少 (—)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
青ネギ	ネギコガ		やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月13日発表)によると、気温は低く、平年並に曇りや雨の日が多い予想 (—)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ(5月第3半旬～6月第2半旬)では、誘殺数は145頭(平年175.1頭)とやや少 (—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、被害率0%(平年0.3%)と平年並に少 (±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は無～平年並(概してやや少) (—)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
白ネギ	ネギコガ		やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月13日発表)によると、気温は低く、平年並に曇りや雨の日が多い予想 (—)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ(5月第3半旬～6月第2半旬)では、誘殺数は145頭(平年175.1頭)とやや少 (—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、被害率0%(前年3.3%)と少の傾向 (—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は無 (—)</p> <p>考察: 現状の発生量は少と考えられ、フェロモントラップの誘殺数を考慮して予想発生量はやや少と考えます。</p>

4. 予察項目の見方

1) 「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比)： 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早		やや早				平年並				やや遅			遅

発生量(平年比)： 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

	平年値 ↓					
度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並	やや多	多	

発生量(程度)： 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率(平年比)： 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例： 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項： 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2) 「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

- (±)：平年並の要因
- (+)：発生量増加または発生時期遅延の要因
- (-)：発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

東海地方1か月予報(令和元年6月13日 名古屋地方気象台発表)

寒気の影響で、向こう1か月の気温は低いでしょう。

平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

1週目 6月15日～21日	高気圧に覆われて晴れる日もありますが、低気圧や湿った空気の影響で雲が広がりやすく、期間のはじめと終わりは雨の降る日があるでしょう。	津の降水日数・晴れ日数の平年値 3.1日・2.7日
2週 6月22日～28日	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。	同 3.2日・2.4日
3～4週目 6月29日～7月12日	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。	同 5.7日・5.6日

東海地方週間天気予報

(令和元年6月18日10時31分 名古屋地方気象台発表)

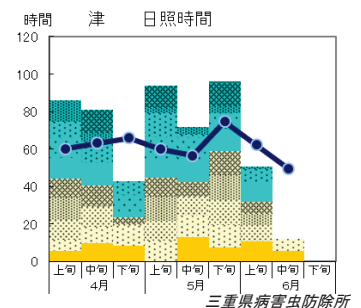
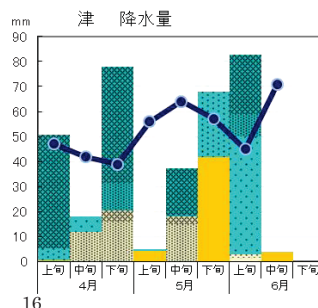
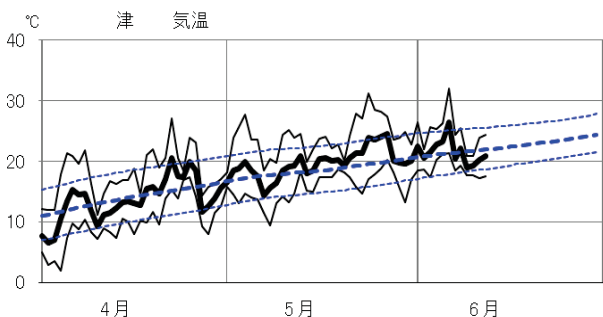
予報期間 6月19日～6月25日

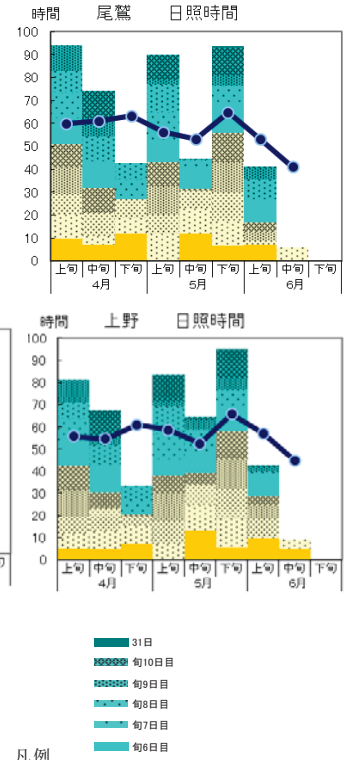
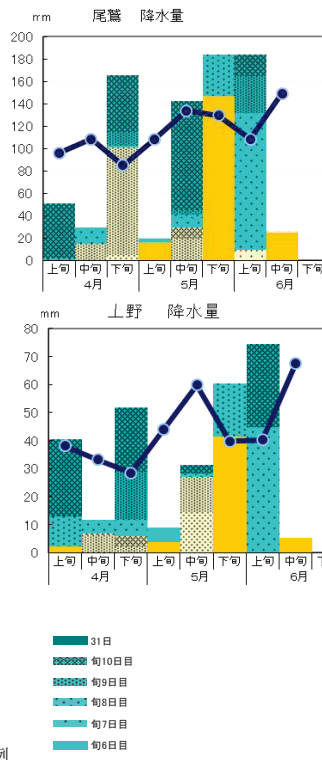
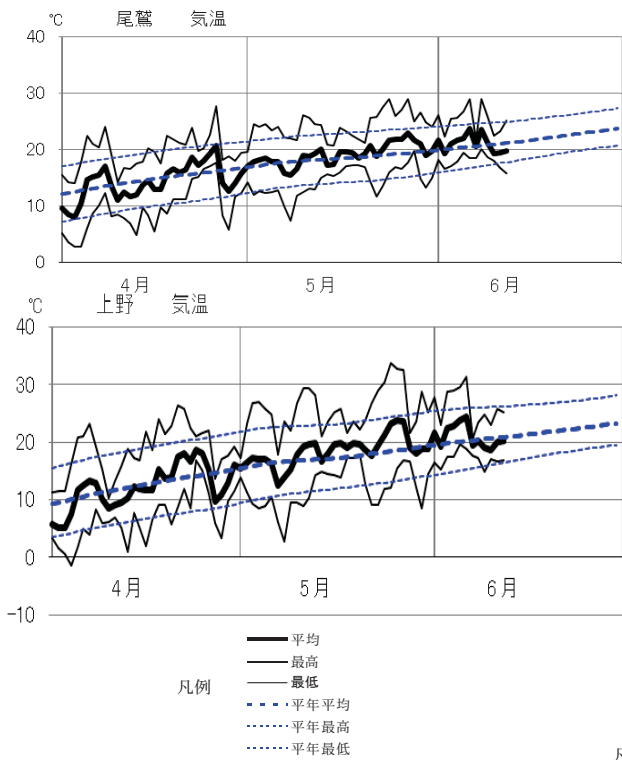
向こう一週間は、前線や湿った空気の影響で雲が広がりやすく、期間の中頃に雨の降る日があるでしょう。

最高気温、最低気温ともに、平年並か平年より高い見込みです。

降水量は、平年並か平年より少ないでしょう。

気象の日別推移(気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/ctrn/index.php> から作成) (6月12日まで)





6. おしらせ (前回と異なる項目には NEW の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生しないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- | | |
|------------------|------------------|
| 第1回 4月25日(木)(済み) | 第2回 5月23日(木)(済み) |
| 第3回 6月20日(木)(今回) | 第4回 7月19日(金) |
| 第5回 8月22日(木) | 第6回 10月24日(木) |
| 第7回 3月19日(木) | |

3) 利用方法

全部または一部をコピーして閲覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000835764.pdf>

5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

各位

三重県病害虫防除所長

目次

ページ

1. 向こう1か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	7
4. 予察項目の見方	13
5. 気象のデータ	14
6. お知らせ	16

令和元年度病害虫発生予報第4号

このことについて、下記のとおり発表します。

1. 向こう1か月の予報と対策

1) 作物

イネでは、穂いもち、白葉枯病、斑点米カメムシ類、トビイロウンカの発生量は平年並と予想されます。紋枯病、イネクロカメムシの発生量はやや少と予想されます。ツマグロコバエ、セジロウンカの発生量は少と予想されます。

ダイズでは、ハスモンヨトウの発生量はやや多と予想されます。今後の発生状況に注意してください。紫斑病、コガネムシ類、吸実性カメムシ類の発生量はやや少と予想されます。

2) 果樹

カンキツでは、かいよう病(温州、中晩柑)、黒点病、ミカンハダニ、チャノキイロアザミウマの発生量は平年並と予想されます。

果樹共通では、カメムシ類の発生量は平年並と予想されます。

3) 茶

チャでは、チャノミドリヒメコバエの発生量はやや多と予想されます。今後の発生状況に注意してください。カンザワハダニ、チャノキイロアザミウマ、チャノコカクモンハマキの発生量は平年並と予想されます。炭疽病の発生量はやや少と予想されます。

4) 野菜

イチゴの炭疽病は、やや少と予想されます。

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町530
TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568
ホームページ <http://www.pref.mie.lg.jp/bvogai/hp/index.h>

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

1

三重県病害虫防除所

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項
			平年比	程度		7月		8月		
						下旬	中旬	下旬	中旬	
イネ	穂いもち	—	平年並	中	普通					1) いもち病の発生好適条件が続いています。病害虫防除技術情報第5号(7月12日発表)を参照してください。 2) 葉いもちが上位葉で発生している圃場では、感染の恐れがあります。発生状況に注意してください。 3) これから出穂期となる圃場において、薬剤散布する場合は、出穂始めから穂揃い期に実施してください。 3) 特に作期のおそい圃場や、いもち病に弱い品種は、適期防除を徹底してください。
	紋枯病	—	やや少	中	低					1) 高温多湿条件で発病が助長されます。 2) 多肥、過繁茂の圃場では発生しやすくなります。 3) 薬剤散布は出穂7~10日前に実施してください。
	白葉枯病	—	平年並	小	低					1) 常発地では、台風や集中豪雨の遭遇直後に薬剤散布してください。 2) 「みえのゆめ」は耐病性の弱い品種なので注意が必要です。
	斑点米カメムシ類	—	平年並	中	普通					1) 薬剤散布は穂揃い期に実施してください。広域での一斉防除が効果的です。 2) 中山間など山沿いの地域では、穂揃い期防除の7~10日後に2回目の防除をしてください。 3) 平坦地域においても、防除後に発生が確認された場合は、2回目の防除を実施してください。 4) 周囲よりも出穂の早い水田および遅い水田では、被害が集中するので防除を徹底してください。
	イネクロカメムシ	—	やや少	小	低					1) 発生圃場では、今後出すくみ穂や白穂被害が目立つようになります。 2) 常発地で薬剤散布する場合は、株元までかかるように行ってください。

2

三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項	
			発生量	程度		7月	8月				
						7月	8月	8月	8月		
発生量	程度	発生量	発生量	発生量	発生量	発生量	発生量				
イネ	ツマグロヨコバイ	—	少	小	低	成虫密度					1) 9月上旬までに収穫する圃場では、実害はほとんどありません。
	セジロウンカ	—	少	小	低	成虫密度					1) 本年は県内で多飛来がありません。
	トビロウンカ	—	平年並	小	低	成虫密度					1) 本年は県内で多飛来がありません。
ダイズ	紫斑病	—	やや少	小	普通	発病密度					1) これから播種する圃場では、種子消毒を徹底してください。 2) 莢が形成され始めたら、薬剤散布をしてください。
	コガネムシ類	—	やや少	中	普通	成虫密度					1) 通常は防除の必要はありませんが、多発する場合は加害初期に防除してください。 2) ヒメコガネとドウガネブイブイは夜行性の種のため、夕方に薬剤散布すると効果的です。
	ハスモンヨトウ	—	やや多	中	普通	被害量					1) 白変葉を目印に早期発見に努め、若齢幼虫期に防除して下さい。 2) 発生量が急増することがありますので、防除所ホームページにおいて、フェロモントラップでの誘殺状況に注意してください。

3

三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項	
			発生量	程度		7月	8月				
						7月	8月	8月	8月		
発生量	程度	発生量	発生量	発生量	発生量	発生量	発生量				
ダイズ	吸実性カメムシ類	—	やや少	小	普通			開花 ↓			1) 近年、ミナミアオカメムシによる被害粒の多発や、青立ち症状が増加しています。 2) 薬剤散布は、9月中旬(開花 20 日後・莢伸長期)と 10 月上旬(開花 40 日後・子実肥大中期)の 2 回散布が効果的です。 3) 遅くとも、9 月下旬(開花 30 日後・子実肥大初期)までに 1 回目の薬剤散布をしてください。 4) 移動性が高いため、広域一斉防除が効果的です。 5) エチプロロール剤およびジノテフラン剤は、ミナミアオカメムシの殺虫効果が高いことが確認されています。
カンキツ	黒点病	—	平年並	小	普通	発病密度					1) 薬剤散布を定期的実施し、8 月下旬まで感染防止に努めてください。 2) 梅雨明け後は感染源となる枯枝が増加するので、切除に努めてください。 3) 薬剤散布後、積算で 200mm 以上の降雨があれば 2 回目の防除を実施してください。
	かいよう病	—	温州平年並 中晩柑平年並	温州小 中晩柑中	温州低 中晩柑普通	発病密度					1) 果実・夏枝に病斑が見られる圃場では、発病した枝・葉・果実を除去し、薬剤防除を行ってください。 2) 防風対策に努め、台風の影響が予想される場合には、直前に防除してください。 3) 高接樹や幼木については、ミカンハモグリガの防除も徹底してください。
	ミカンハダニ	—	平年並	中	普通	成ダニ密度					1) 1 葉当たりの雌成虫寄生数が 0.5~1.0 頭程度を目安に防除してください。 2) 高温により活動が停滞する時期ですが、圃場での発生状況をよく確認し、多発している場合は防除してください。 3) 薬剤散布は葉裏にかかるよう、丁寧に散布してください。 4) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統の薬剤の連用を避けてください。

4

三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項
			発生時期	発生量		7月		8月		
						発生時期	発生量	下旬	中旬	
カンキツ	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	中	普通					1) 寄生果率 10% になった時を防除の目安にしてください。 2) 7 月以降は寄生部位が果頂部に移ります。
果樹共通	カメムシ類	—	平年並	中	普通					1) 圃場内を観察し、飛来が認められたら防除を実施してください。 2) 圃場(特にナシ、カキ)によっては局所的に飛来してることがあります。過去に発生が多かった圃場周辺では注意してください。 3) ナシ、ブドウの有袋栽培では、袋と果実が密着すると袋の上から加害されることがあります。
チャ	炭疽病	—	やや少	小	普通					1) 感染源は旧葉、感染するのは新芽の上位葉で、新芽生育期に降雨が続くと発生が多くなります。 2) 防除時期は 1～2 葉展開期です。 3) 整枝による病斑葉の刈り落としも防除効果があります。ただし、葉層の確保充実も考慮してください。 4) 耐性菌が出現しやすいため同一系統の薬剤の連用は避けてください。
	カンザワハダニ	—	平年並	小	普通					1) 発生が少なければ防除の必要はありません。 2) 抵抗性の発達を避けるため、同一系統の薬剤の連用は避けてください。
	チャノミドリヒメヨコバイ	—	やや多	中	普通					1) 新芽の先が褐変し、ひどいときは芽が硬化し発育が停止します。 2) 晴天が続くと発生が多くなります。 3) 新芽の開葉初期に防除してください。 4) 一斉防除が効果的です。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項
			発生時期	発生量		7月		8月		
						発生時期	発生量	下旬	中旬	
チャ	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	中	普通					1) 萌芽期に加害されると芽の成長が止まり、褐変枯死する場合があります。 2) 晴天が続くと発生が多くなります。 3) 新芽の萌芽～開葉初期に防除してください。 4) 一斉防除が効果的です。
	チャノコカクモンハマキ	—	平年並	小	普通					1) 第 2 世代成虫発生時期は、平年並と予想されます。 2) 若齢幼虫期に防除してください。防除適期は成虫発生ピークから 7 日～10 日後頃です。 3) 病害虫防除所ホームページにフェロモントラップ誘殺状況を掲載していますので参考にしてください。
イチゴ	炭疽病	—	やや少	小	普通					1) 発病株は感染源となるため、周辺株も含めて速やかに除去し、圃場外に持ち出して適切に処分してください。 2) 薬剤による予防防除を徹底してください。降雨、台風等の前後は特に重点的に防除してください。 3) 耐性菌が出現しやすいため同一系統薬剤の連用は避けてください。 4) 病原菌を含む水滴の跳ね返りによって感染が拡大します。水滴が跳ね返らないよう、丁寧に灌水を行ってください。

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	穂いもち	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月11日発表)によると、気温は平年並、降水量は期間の前半は曇りや雨の日が多く平年並の予想(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(7月第1週)では、穂いもちの発生圃場率1.3%(平年15.0%)と少、発病度0.02(平年1.64)と少、発病株における上位葉への進展率0%(平年4.2%)と少(—)</p> <p>3) 一般圃場では、穂いもちの発生量は少～やや多(概して平年並)。(±)</p> <p>考察: 今後の気象条件、巡回調査結果から、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	紋枯病	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月11日発表)によると、気温は平年並、降水量は期間の前半は曇りや雨の日が多く平年並の予想(±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(7月第1週)では、発生圃場率0%(平年5.6%)と少、発病株率0%(平年0.5%)と少(—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無～少(概して無)(—)</p> <p>考察: 今後の気象条件、巡回及び一般圃場調査結果から、予想発生量はやや少と考えます</p>
	白葉枯病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 巡回調査圃場(7月第1週)では、発生圃場率0%(平年0%)と平年並に少(±)</p> <p>2) 一般圃場では、発生量は無(—)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並に少と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	斑点米カメムシ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月11日発表)によると、気温は平年並、降水量は期間の前半は曇りや雨の日が多く平年並の予想(±)</p> <p>2) 予察灯(松阪市・6月第1半旬～6月第6半旬)では、誘殺数はアカスジカメムシ50頭(平年55.2頭)と平年並、アカヒゲホソドリカメムシ31頭(平年75.6頭)と少、クモヘリカメムシ0頭(平年0.2頭)と少(—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(7月第1週)では、畦畔イネ科雑草すくい取りによる、アカスジカメムシの発生地点率43.1%(平年35.1%)と多、すくい取り成虫数4.1頭(平年3.9頭)と平年並、アカヒゲホソドリカメムシの発生地点率15.5%(平年9.2%)と多、すくい取り成虫数0.3頭(平年0.3頭)と平年並、ホソハリカメムシの発生地点率7.8%(平年21.1%)と少、すくい取り成虫数0.2頭(平年0.5頭)と少、クモヘリカメムシ発生地点率3.4%(平年6.9%)と少、すくい取り成虫数0.3頭(平年0.5頭)と少、シラホシカメムシ類の発生地点率3.4%(平年10.5%)と少、すくい取り成虫数0.03頭(平年0.15頭)と少(—)</p> <p>4) 広域病害虫防除員調査(7月1日～7日)では、ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、シラホシカメムシ類のすくい取り成虫数がそれぞれ、0.59頭(平年0.44頭)と多、0.92頭(平年0.47頭)と多、0.07頭(平年0.08頭)と平年並(+)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量は少～やや多(概して平年並)(±)</p> <p>考察: 巡回調査、一般圃場調査、広域防除員調査結果から、現状の発生量及び予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	イネクロカメムシ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(松阪市・4月第1半旬～6月第6半旬)では、誘殺数は水田位置15頭(平年10.0頭)と多、畑位置99頭(平年204.2頭)と少(±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(7月第1週)では、発生圃場率11.9%(平年18.3%)と少、被害株率0.5%(平年2.2%)と少(—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少～やや少(概して少)(—)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量はやや少と考えます。</p>
	ツマグロヨコバイ	—	少	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(6月第1半旬～6月第6半旬)では、誘殺数は松阪市・水田位置0頭(平年2.3頭)と少、松阪市・畑位置581頭(平年2,165頭)と少、伊賀市5頭(平年19.4頭)とやや少、紀北町6頭(平年3.3頭)と多、御浜町1頭(平年4.0頭)と少(—)</p> <p>2) 巡回調査圃場(7月第1週)では、発生圃場率21.6%(平年26.0%)とやや少、払い落とし成虫数0.4頭(平年1.3頭)と少(—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は概して少(—)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量は少と考えます。</p>
	セジロウンカ	—	少	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(5月第1半旬～6月第6半旬)では、誘殺数は松阪市・水田位置0頭(平年1.0頭)と少、松阪市・畑位置0頭(平年11.1頭)と少、伊賀市1頭(平年1.2頭)と平年並、紀北町0頭(平年4.0頭)と少、御浜町7頭(平年24.2頭)とやや少(—)</p> <p>2) 巡回調査圃場(7月第1週)では、紀州地域では、発生圃場率6.3%(平年14.4%)と少、払い落とし成虫数0.06頭(平年0.25頭)と少、県全体では、発生圃場率0.4%(平年2.6%)と少、払い落とし成虫数0.004頭(平年0.04頭)と少(—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少(—)</p> <p>4) 九州地方において7月上旬までの飛来が、平年並の報告事例がある。(±)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況、他県の飛来状況から、予想発生量は少と考えます。</p>
	トビイロウンカ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(5月第1半旬～6月第6半旬)では、松阪市・水田位置、松阪市・畑位置、伊賀市、紀北町において0頭(平年0頭)と平年並に少、御浜町では2頭(平年0.1頭)と多(平年7月上旬まで未飛来)(±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(7月第1週)では、発生圃場率0.42%(平年0.03%)と多、払い落とし成虫数0.01頭(平年0.0006頭)と多(+)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無～少(概して無)(—)</p> <p>4) 九州地方において、7月上旬までに多飛来の報告事例がある。(±)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
ダイズ	紫斑病	—	やや少	要因 1) 1か月予報(7月11日発表)によると、気温は平年並、降水量は期間の前半は曇りや雨の日が多く平年並の予想 (+) 2) 巡回調査圃場(昨年11月)では、紫斑粒の発生率0.12%(平年0.42%)と少 (-) 考察: 今後の気象条件、昨年の紫斑粒発生状況から、予想発生量はやや少と考えます。
	コガネムシ類	—	やや少	要因 1) 予察灯(松阪市・4月第1半旬~7月第1半旬)では、誘殺数はドウガネブイブイ105頭(平年135.0頭)と少、ヒメコガネ14頭(平年28.2頭)と少 (-) 2) 県予察圃フェロモントラップ(5月上旬~7月上旬)では、誘殺数はマメコガネ7頭(平年114.8頭)と少、ドウガネブイブイ33頭(平年37.1頭)と平年並、ヒメコガネ3頭(平年4.2頭)とやや少 (-) 考察: フェロモントラップの誘殺状況を重視して、予想発生量はやや少と考えます。
	ハスモンヨトウ	—	やや多	要因 1) 1か月予報(7月11日発表)によると、気温は平年並、降水量は期間の前半は曇りや雨の日が多く平年並の予想 (-) 2) 県予察圃フェロモントラップ(6月第3半旬~7月第2半旬)では、誘殺数は498頭(平年254.0頭)と多 (+) 考察: 今後の気象条件、フェロモントラップの誘殺状況から、予想発生量はやや多と考えます。
	吸実性カメムシ類	—	やや少	要因 1) 予察灯(松阪市・6月第2半旬~7月第1半旬)では、誘殺数はイチモンジカメムシ22頭(平年30.4頭)とやや少、ミナミアオカメムシ水田位置7頭(8年平均3.6頭)と多の傾向、畑位置15頭(平年26.6頭)と少、クサギカメムシ0頭(平年41.6頭)と少 (-) 考察: 予察灯の誘殺状況から、予想発生量はやや少と考えます。
カンキツ	黒点病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(7月11日発表)によると、平年に比べ気温は平年並、降水量は平年並の予想 (±) 2) 県予察圃(7月上旬)では、果実発病率100.0(平年93.3)と平年並 (±) 3) 巡回調査圃場(7月第1週)では、果実発病度0(平年1.2)と平年並の傾向 (±) 4) 一般圃場では、発生量はやや少~平年並(概して平年並) (±) 5) 感染源となる枯枝は平年並 (±) 考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	かいよう病	—	温州 平年並 中晩柑 平年並	要因 1) 1か月予報(7月11日発表)によると、平年に比べ気温は平年並、降水量は平年並の予想 (±) 2) 県予察圃(7月上旬、新甘夏)では、発病率12.2%(平年2.2%)と多、発病率0.1%(平年1.3%)と少 (±) 3) 巡回調査圃場(7月第1週)では、温州みかんは発病率0%(平年0.2%)と平年並の傾向、発病率0%(平年0.09%)と平年並、中晩柑は発病率5.3%(平年8.6%)と少、発病率0%(平年2.7%)と少 (温州土、中晩柑-) 4) 一般圃場では、発生量はやや少~平年並 (概して平年並) (±) 考察: 現状の発生量は温州みかん、中晩柑ともに平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	ミカンハダニ	—	平年並	要因 1) 1か月予報(7月11日発表)によると、平年に比べ気温は平年並、降水量は平年並の予想 (±) 2) 県予察圃(7月上旬)では、100葉当り寄生頭数は無防除区で6.7頭(平年10.1頭)とやや少、慣行防除区で0.0頭(平年8.3頭)と少 (-) 3) 巡回調査圃場(7月第1週)では、新葉における寄生率2.8%(平年8.6%)と少、寄生頭数0.05頭/葉(平年0.3頭/葉)とやや少の傾向 (-) 4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±) 考察: 一般圃場の発生状況を重視して、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	要因 1) 県予察圃黄色粘着トラップ(7月上旬)では、誘殺数4.2頭/日(平年2.5頭/日)とやや多の傾向 (+) 2) 県予察圃(7月上旬)では、100果当り寄生虫数1.7頭(平年6.9頭)と少 (-) 3) 巡回調査圃場(7月第1週)では、被害率0%(平年1.0%)と少 (-) 4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±) 考察: 一般圃場での発生状況を重視して、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
果樹 共通	カメムシ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(御浜町:6月21日～6月30日)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ 281.0 頭(平年 3,278.5 頭)と少、ツヤアオカメムシ 13 頭(平年 67.2 頭)とやや少 (—)</p> <p>2) 予察灯(畑・松阪市:6月第3半旬～7月第2半旬)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ 231 頭(平年 819.9 頭)と少、ツヤアオカメムシ 61 頭(平年 444.2 頭)と少、クサギカメムシ 0 頭(平年 73.0 頭)と少 (—)</p> <p>3) フェロモントラップ(6月第2週～7月第1週)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は山地(津市白山町川口)で 1372.0 頭(平年 785.5 頭)と多、中間地(津市白山町二本木)で 1,390.5 頭(平年 1,329.2 頭)と平年並、平坦地(松阪市嬉野川北町)で 153.0 頭(平年 133.8 頭)と平年並 (+)</p> <p>4) 巡回調査圃場(7月第1週)では、カンキツ圃場での叩き落とし虫数 0 頭(平年 0.03 頭)と平年並に少、カキ圃場での被害果率 0%(平年 0.8%)と平年並に少 (±)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	炭疽病	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月11日発表)によると、気温は平年並、降水量は期間の前半は曇りや雨の日が多く平年並の予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃では、二番茶期の病葉数 0 枚/m²(平年 0.5 枚/m²)と少 (—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(7月第1週)では、発病葉数 0.1 枚/m²(平年 1.3 枚/m²)と少 (—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少 (—)</p> <p>考察: 現状の発生量は少と考えられ、今後の気象状況を考慮して予想発生量はやや少と考えます。</p>
	カンザワハダニ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月11日発表)によると、平年に比べ気温は平年並、降水量は平年並の予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃(6月中旬～7月上旬)では、寄生葉率 1.0%(平年 2.9%)と少、寄生頭数 0.01 頭/葉(平年 0.22 頭/葉)と少 (—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(7月第1週)では、寄生葉率 0.6%(平年 1.1%)とやや少、寄生頭数 0.01 頭/葉(平年 0.07 頭/葉)とやや少、発生圃場率 17.6%(平年 12.7%)とやや多 (±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや多 (+)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
チャノミドリヒメコバエ	—	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月11日発表)によると、平年に比べ気温は平年並、降水量は平年並の予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃黄色粘着トラップ(6月第2半旬～7月第1半旬)では、捕殺数 96.0 頭(6年平均 72.3 頭)とやや多の傾向 (+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(7月第1週)では、叩き落とし虫数 3.5 頭(平年 2.1 頭)と多 (+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は多 (+)</p> <p>考察: 現状の発生量は県予察圃の発生量を重視してやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月11日発表)によると、平年に比べ気温は平年並、降水量は平年並の予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃黄色粘着トラップ(6月第2半旬～7月第1半旬)では、捕殺数 1,222 頭(6年平均 1,169 頭)と平年並の傾向 (±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(7月第1週)では、叩き落とし虫数 0.3 頭(平年 16.0 頭)と少 (—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	チャノコカクモンハマキ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月11日発表)によると、平年に比べ気温は平年並、降水量は平年並の予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ(6月第2半旬～7月第1半旬)では、誘殺数 1,060 頭(平年 666 頭)と多 (+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(7月第1週)では、ハマキムシ類巻葉数 0.24 枚/m²(平年 0.13 枚/m²)とやや多 (+)</p> <p>4) 一般圃場では、ハマキムシ類の発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 現状の発生量は一般圃場の発生量を重視して平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
イチゴ	炭疽病	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月11日発表)によると、平年に比べ気温は平年並、降水量は平年並の予想 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(7月第1週、親株)では、発病株率 0%(平年 0.1%)と平年並の傾向 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少～やや少 (概してやや少) (—)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>

4. 予察項目の見方

1) 「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比)： 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早	やや早		平年並				やや遅		遅				

発生量(平年比)： 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

	平年値 ↓					
度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並	やや多	多	

発生量(程度)： 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率(平年比)： 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例： 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項： 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2) 「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

- (±)：平年並の要因
- (+)：発生量増加または発生時期遅延の要因
- (-)：発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

東海地方1か月予報(令和元年7月11日 名古屋地方気象台発表)

期間のはじめを中心に前線や湿った空気の影響を受けやすく、向こう1か月の日照時間は平年並か少ないでしょう。

向こう1か月の気温はほぼ平年並ですが、期間のはじめは冷たい空気に覆われるため、1週目の気温は低い見込みです。

1週目 7月13日～19日	前線や湿った空気の影響で、雨や曇りとなるでしょう。	津の降水日数・晴れ日数の平年値 2.7日・3.4日
2週目 7月20日～26日	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	同 2.3日・4.2日
3～4週目 7月27日～8月9日	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	同 3.9日・9.4日

東海地方週間天気予報(令和元年7月17日10時33分 名古屋地方気象台発表)

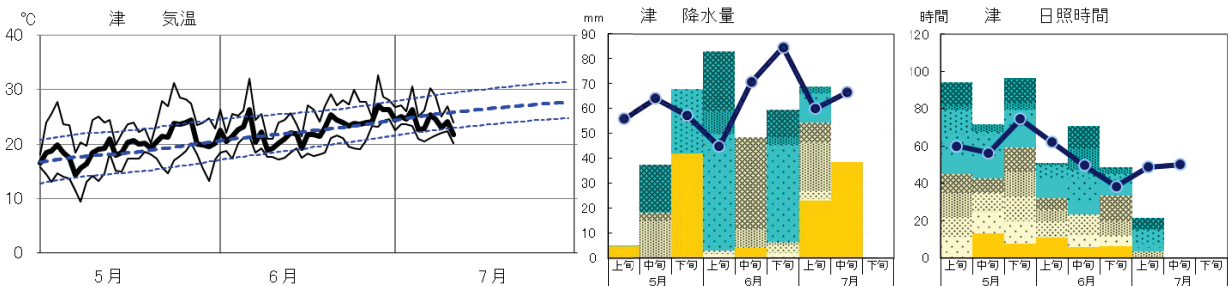
予報期間 7月18日～7月24日

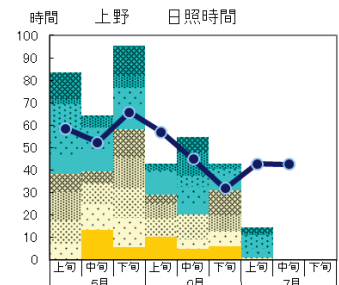
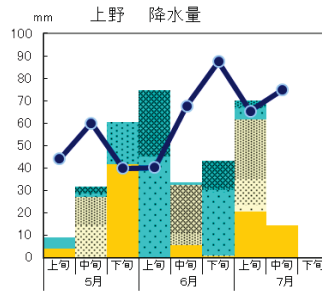
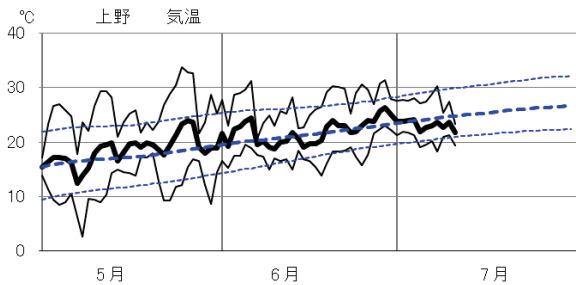
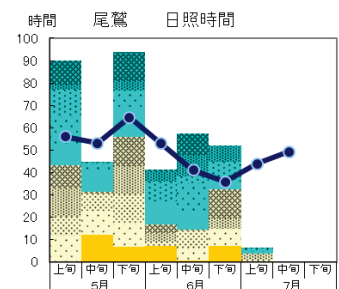
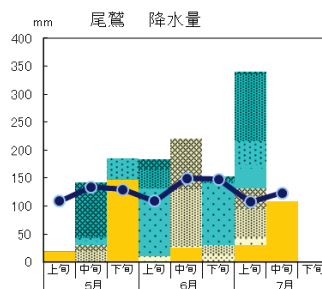
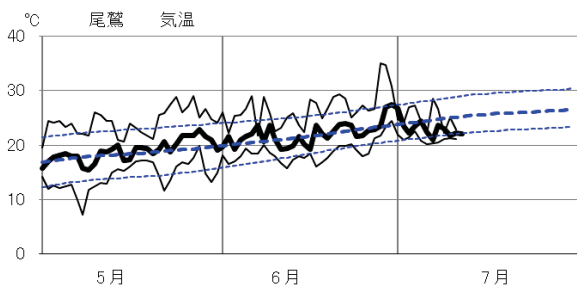
向こう一週間は、前線や湿った空気の影響で曇りや雨となるでしょう。また、19日から20日は、前線の活動の程度によっては大雨となるおそれがあります。

最高気温は、おおむね平年より低く、期間のはじめはかなり低い所がある見込みです。最低気温は、おおむね平年並ですが、期間の前半は平年より低い所があるでしょう。

降水量は、平年より多く、かなり多い所がある見込みです。

気象の日別推移(気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/ctrn/index.php> から作成) (7月11日まで)





凡例
 — 平均
 — 最高
 — 最低
 - - - 年平均
 - - - 年最高
 - - - 年最低

凡例
 ■ 31日
 ■ 旬10日目
 ■ 旬9日目
 ■ 旬8日目
 ■ 旬7日目
 ■ 旬6日目
 ■ 旬5日目
 ■ 旬4日目
 ■ 旬3日目
 ■ 旬2日目
 ■ 旬1日目
 ■ 旬平均値

凡例
 ■ 31日
 ■ 旬10日目
 ■ 旬9日目
 ■ 旬8日目
 ■ 旬7日目
 ■ 旬6日目
 ■ 旬5日目
 ■ 旬4日目
 ■ 旬3日目
 ■ 旬2日目
 ■ 旬1日目
 ■ 旬平均値

15

農病害虫防除所

6. おしらせ (前回と異なる項目には NEW の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- | | |
|------------------|------------------|
| 第1回 4月25日(木)(済み) | 第2回 5月23日(木)(済み) |
| 第3回 6月20日(木)(済み) | 第4回 7月19日(金)(今回) |
| 第5回 8月22日(木) | 第6回 10月24日(木) |
| 第7回 3月19日(木) | |

3) 利用方法

全部または一部をコピーして閲覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000835764.pdf>

5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

各 位

三重県病害虫防除所長

令和元年度病害虫発生予報第 5 号

1. 向こう 1 か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	6
4. 予察項目の見方	11
5. 気象のデータ	12
6. おしらせ	14

このことについて、下記のとおり発表します。

1. 向こう 1 か月の予報と対策

1) 作物

イネ(普通期)では、斑点米カメムシ類の発生量は**やや多**と予想されます。周辺圃場の収穫状況に注意しながら、薬剤散布を行ってください。トビイロウンカの発生量は**平年並**と予想されます。ツマグロヨコバイの発生量は**少**と予想されます。

ダイズでは、ハスモンヨトウの発生量は**やや多**と予想されます。早期発見、早期防除に努めてください。吸実性カメムシ類の発生量は**平年並**と予想されます。

2) 果樹

カンキツでは、黒点病、かいよう病(温州、中晩柑)、チャノキイロアザミウマの発生量は**平年並**と予想されます。ミカンハダニの発生量は**やや少**と予想されます。

果樹共通では、カメムシ類の発生量は**やや少**と予想されます。

3) 茶

チャでは、炭疽病の発生量は**平年並**と予想されます。カンザワハダニ、チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマの発生量は**やや少**と予想されます。チャノホソガの発生時期は**早**、発生量は**やや少**と予想されます。クワシロカイガラムシの発生時期は**やや早**、発生量は**やや少**と予想されます。

4) 野菜

イチゴでは、炭疽病の発生量は**やや多**と予想されます。ほ場をよく観察し、早期発見、早期除去に努めて下さい。

ネギでは、シロイチモジヨトウの発生量は**平年並**と予想されます。

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530
TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568
ホームページ <http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.h>

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

1

三重県病害虫防除所

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項		
			平年比	平年比		程度	平年比	8月				
								下旬	中旬		下旬	下旬
イネ(普通期)	斑点米カメムシ類	—	やや多	中	普通	被害量					1) 周辺で収穫作業がある時は圃場への侵入に注意し、穂揃い期に薬剤散布を実施してください。 2) 防除後も侵入が確認される場合は、穂揃い期防除の 7~10 日後に 2 回目の防除をしてください。 3) 薬剤散布する場合は、周辺圃場の収穫状況を考慮してください。	
	ツマグロヨコバイ	—	少	小	低	成虫密度					1) 発生量が少ないので、実害は少ないと思われます。	
	トビイロウンカ	—	平年並	小	低	成虫密度					1) 多飛来が確認されていないので、防除の必要はありません。	
ダイズ	ハスモンヨトウ	—	やや多	中	普通	被害量					1) 一部の圃場では、既に発生が確認されています。圃場を見回り、白変葉を目印として、早期発見、早期防除に努めてください。 2) 薬剤散布は若齢幼虫期に行ってください。	

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
			発生量	程度		8月	9月			
						発生量	下旬	中旬	下旬	
ダイズ	吸実性カメムシ類	—	平年並	中	普通	成虫密度		1) 近年、ミナミアオカメムシによる被害粒の多発や、青立ち症状が増加しています。 2) 薬剤散布は、9月中旬(開花20日後・莢伸長期)と10月上旬(開花40日後・子実肥大中期)の2回散布が効果的です。 3) 1回散布の場合は、9月下旬頃(開花30日後・子実肥大初期)に散布してください。 4) 移動性が高いため、広域一斉防除が効果的です。 5) エチプロール剤およびジノテフラン剤は、ミナミアオカメムシの殺虫効果が高いことが確認されています。		
カンキツ	黒点病	—	平年並	中	普通	発病密度		1) 乾燥が続くと樹勢の衰弱により枯枝が増加します。感染源となる枯枝の除去に努めてください。 2) 9月は後期感染の時期なので、果実への感染防止に努めてください。		
	かいよう病	—	温州平年並 中晩柑平年並	温州小 中晩柑中	温州低 中晩柑普通	発病密度		1) 発病した夏秋梢や果実等の除去に努めてください。 2) 防風対策を行うとともに、台風の接近が予想される場合は防除をしてください。 3) ミカンハモグリガの被害痕から菌が侵入しやすいため、高接樹や幼木はミカンハモグリガの防除も実施してください。		
	ミカンハダニ	—	やや少	中	普通	ダニ密度		1) 秋になって急増することがあるので、発生状況をよく観察してください。 2) 1葉当たりの雌成虫寄生数が0.5~1.0頭程度を目安に防除してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用を避けてください。		
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	中	普通	成虫密度		1) この時期の被害発生部位は果頂部で、果実肥大が緩慢になり被害が判りにくくなるため、丁寧な観察が必要です。 2) イヌマキ、サンゴジュ等の防風垣に隣接した樹で、被害が多くなることがあります。		

3

三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
			発生量	程度		8月	9月			
						発生量	下旬	中旬	下旬	
果樹共通	カメムシ類	—	やや少	小	低	チャバネアオカメムシ ツヤアオカメムシ		1) 例年飛来が多く見られる圃場では、圃場内の観察をきめ細かく行ってください。 2) 大雨、強風などの後に、急に圃場へ多数飛来することがあります。カンキツやカキ圃場等では、発生状況に十分に注意してください。 3) ナシ、ブドウの有袋栽培では、袋と果実が密着すると、袋の上から加害されることがあるので注意してください。		
チャ	炭疽病	—	平年並	小	普通	発病		1) 防除時期は秋芽1~2葉開葉期です。 2) 三番茶期から秋番茶期にかけて増加します。 3) 降雨が続くと感染しやすくなります。降雨の前は予防剤で、降雨の後は治療剤で防除してください。 4) 治療剤(EBI剤など)は耐性菌が出現しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けてください。		
	カンザワハダニ	—	やや少	小	普通	ダニ密度		1) 薬剤がかかりにくい葉裏に生息しています。 2) 寄生率が高い場合は丁寧に薬剤散布してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けてください。		
	チャノソガ(第4世代幼虫)	早	やや少	小	普通	成虫誘殺数		1) 新芽開葉初期の孵化幼虫(潜葉期、絵描き状態)を対象に防除してください。 2) 本年の発生時期は、平年より早くなっていますので注意してください。病害虫防除所のホームページにフェロモントラップによる誘殺状況を掲載していますので参考にしてください。 3) ハマキムシ類の間接暴露による薬剤抵抗性の発達を避けるため、ジアシルヒドラジン系 IGR 剤(虫 18)、ジアミド剤(虫 28)の使用回数は最大年1回までとしましょう。		
	チャノミドリヒメコバエ	—	やや少	小	普通	成虫誘殺数		1) 新芽の先が褐変し、ひどいときは芽が硬化し生育停止します。 2) 晴天が続くと発生が多くなります。 3) 秋芽の開葉初期に防除してください。一斉防除が効果的です。		

4

三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量		要防除 圃場率 平年比	発生消長の一例				防除の注意事項
			平年比	程度		8月		9月		
						下旬	中旬	下旬	中旬	
チャ	チャノキイロアザミウマ	—	やや少	小	普通					1) 萌芽期に加害されると芽の成長が止まり、褐変枯死する場合があります。 2) 晴天が続くと発生が多くなります。 3) 秋芽の萌芽期～開葉初期に防除してください。一斉防除が効果的です。
	クワシロカイガラムシ	やや早	やや少	小	普通					1) 病害虫防除技術情報第4号(7月5日発表) 2) 有効積算温度による予測式では第3世代幼虫孵化最盛日はやや早(予測日は予報根拠を参照)と予想されます。 3) 防除適期は孵化最盛日から2～4日後頃です。 4) この時期はばらつきが大きくなるため圃場で幼虫の孵化を確認してから防除してください。 5) 天敵に影響の少ない薬剤を選択してください。
イチゴ	炭疽病	—	やや多	中	普通					1) 発病株は感染源となるため、周辺株も含めて速やかに除去し、圃場外に持ち出して適切に処分してください。 2) 病原菌を含む水滴の跳ね返りによって感染が拡大します。水滴が跳ね返らないよう丁寧に灌水を行ってください。 3) 薬剤による予防防除を徹底してください。葉かき作業後や降雨、台風等の前後は特に重点的に防除してください。 4) 薬剤耐性菌を生ずる恐れがあるため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
ネギ	シロイチモジヨトウ	—	平年並	中	普通					1) 幼虫の発生は8～10月に多くなります。 2) 幼虫は老齢になるに従って薬剤の効果が低下します。早期発見に努め、若齢のうちに防除してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けてください。

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ(普通期)	斑点米カメムシ類	—	やや多	要因 1) 予察灯(8月第1半旬～第3半旬・松阪市)では、クモヘリカメムシ誘殺数は水田位置で6頭(平年6.0頭)と平年並、畑位置で79頭(平年76.0頭)と平年並、ミナミアオカメムシ誘殺数は水田位置で12頭(9年平均8.8頭)とやや多の傾向、畑位置で74頭(平年28.6頭)と多(+) 2) 巡回調査圃場(8月第1週)では、斑点米カメムシ類の発生圃場率45.8%(平年43.5%)とやや多、すくい取り虫数0.9頭(平年1.8頭)と少(±) 3) 一般圃場では、発生量は少～やや多(概して平年並)(±) 考察: 予察灯の誘殺数を重視して、予想発生量はやや多と考えます。
	ツマグロヨコバイ	—	少	要因 1) 予察灯(7月第3半旬～8月第2半旬・松阪市)では、誘殺数は水田位置で3頭(平年3.4頭)とやや少、畑位置で855頭(平年2,545頭)と少(-) 2) 巡回調査圃場(8月第1週)では、発生圃場率42.8%(平年37.2%)と多、払い落とし成幼虫数3.3頭(平年4.3頭)と少、すくい取り成幼虫数9.3頭(平年15.3頭)と少(±) 3) 一般圃場では、発生量は無～少(概して少)(-) 考察: 予察灯、巡回調査結果および一般圃場の発生状況から、予想発生量は少と考えます。
	トビイロウンカ	—	平年並	要因 1) 予察灯(5月第1半旬～8月第3半旬・松阪市)では、水田位置で3頭(平年0.2頭)と多(+) 2) 巡回調査圃場(8月第1週)では、発生圃場率0%(平年0.1%)とやや少、払い落とし成虫数0頭(平年0.001頭)とやや少(-) 3) 一般圃場では、発生量は無～少(概して無)(±) 考察: 現状の発生量は平年並に少と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
ダイズ	ハスモンヨトウ	—	やや多	要因 1) フェロモントラップ(7月第2半旬～8月第1半旬)では、松阪市嬉野川北町で441頭(平年270.0頭)とやや多の傾向(+) 2) 巡回調査圃場(8月第1週)では、葉食害度0(平年0.17)と少、1a当り白変か所数0か所(平年0.45か所)と少(-) 3) 一般圃場では、播種が遅れており発生量は無(±) 考察: フェロモントラップの状況から、予想発生量はやや多と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
ダイズ	吸実性カメムシ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(7月第3半旬～8月第2半旬・松阪市)では、誘殺数はミナミアオカメムシ水田位置 21 頭(9年平均 7.9 頭)と多の傾向、畑位置 52 頭(平年 55.7 頭)と平年並、イチモンジカメムシ 37 頭(平年 44.8 頭)と平年並、ホンヘリカメムシ 4 頭(平年 39.6 頭)と少 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(8月第1週)では、25 株当り寄生虫数 0 頭(平年 0.004 頭)とやや少 (—)</p> <p>3) 水稲巡回調査圃場(8月第1週)では、ミナミアオカメムシ発生圃場率 0.8%(9年平均 1.8%)と少の傾向、すくい取り虫数 0.01 頭(9年平均 0.04 頭)と少の傾向 (—)</p> <p>4) 一般圃場では、播種が遅れており発生量は、無～少(概して無) (±)</p> <p>考察: 予察灯の状況を重視して現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
カンキツ	黒点病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月15日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃(8月上旬、無防除)では、果実発病率 100.0(平年 99.9)と平年並 (±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週)では、果実発病度 0.7(平年 4.1)と少 (—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少～平年並(概して平年並) (±)</p> <p>5) 感染源となる枯枝の量は平年並 (±)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	かいよう病	—	温州 平年並 中晩柑 平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月15日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃(8月上旬、新甘夏、無防除)では、発病率 15.9%(平年 2.8%)と多、発病率率 82.5%(平年 16.4%)と多(±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週)のうち、温州みかんでは春葉発病度 0.06(平年 0.04)とやや多、果実発病度 0.0(平年 0.006)と平年並に少 (±)</p> <p>4) 巡回調査圃場(8月第1週)のうち、中晩柑では春葉発病度 2.5(平年 3.3)とやや少、果実発病度 1.5(平年 3.9)と平年並の傾向 (±)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量はやや少～やや多(概して平年並) (±)</p> <p>考察: 現状の発生量は、温州みかん、中晩柑類ともに平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	ミカンハダニ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月15日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃(8月上旬)では、100 葉当り寄生頭数は慣行防除区で 0.0 頭(平年 32.0 頭)と少 (—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週)では、春葉における寄生率 1.2%(平年 6.4%)と少、寄生虫数 0.02 頭/葉(平年 0.3 頭/葉)と少 (—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少 (—)</p> <p>考察: 現在の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月15日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃黄色粘着トラップ(7月下旬)では、誘殺数 1.0 頭/日(平年 7.1 頭)と少 (—)</p> <p>3) 県予察圃(8月上旬、無防除)では、100 果当り寄生虫数 0.0 頭(平年 6.0 頭)と少 (—)</p> <p>4) 巡回調査圃場(8月第1週)では、被害率 0.8%(平年 1.0%)と平年並の傾向 (±)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 一般圃場の状況を重視して現在の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
果樹共通	カメムシ類	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月15日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (±)</p> <p>2) 予察灯(御浜町:7月下旬)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ 30 頭(平年 3,393 頭)と少、ツヤアオカメムシ 1 頭(平年 18.7 頭)と少 (—)</p> <p>3) 予察灯(松阪市:7月第3半旬～8月第2半旬)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ 129 頭(平年 1,136.5 頭)と少、ツヤアオカメムシ 6 頭(平年 94.8 頭)と少 (—)</p> <p>4) フェロモントラップ(7月第3週～8月第2週)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は山地(津市白山町川口)で 156.8 頭(平年 1,136.9 頭)と少、中間地(津市白山町二本木)で 87.0 頭(平年 2,013.3 頭)と少、平坦地(松阪市嬉野川北町)で 14.8 頭(平年 445.1 頭)と少 (—)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量は少 (—)</p> <p>考察: 現在の発生量は少と考えられますが、今後の気象条件を考慮して、予想発生量はやや少と考えます。</p>
チャ	炭疽病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月15日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃では、二番茶期の病葉数 0 枚/m²(9年平均 0.5 枚/m²)と少の傾向 (—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週)では、発病率 0.1 枚/m²(平年 1.3 枚/m²)と少 (—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 一般圃場の結果を重視して現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	カンザワハダニ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月15日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想(±)</p> <p>2) 県予察圃(8月上旬)では、寄生葉率1.0%(平年3.4%)と少、寄生頭数0.01頭/葉(平年0.08頭/葉)と少(—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週)では、寄生葉率0.1%(平年1.2%)と少、寄生頭数0.001頭/葉(平年0.019頭/葉)と少(—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少(—)</p> <p>考察: 現状の発生量は一般圃場の状況を重視してやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	チャノホソガ (第4世代幼虫)	早	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月15日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想(±)</p> <p>2) 県予察圃では、第2世代成虫のフェロモントラップ誘殺ピークは7月第2半旬(平年7月第3.6半旬)と早(発生時期—)</p> <p>3) 県予察圃フェロモントラップ(7月第3半旬~8月第2半旬)では、誘殺数1,018頭(平年1,302.9頭)とやや少(—)</p> <p>4) 巡回調査圃場(8月第1週)では、巻葉数0.61枚/m²(平年0.70枚/m²)と平年並(±)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量は少(—)</p> <p>考察: 発生時期は早、現状の発生量は県予察圃の状況を重視してやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	チャノミドリヒメヨコバイ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月15日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想(+)</p> <p>2) 県予察圃黄色粘着トラップ(7月第3半旬~8月第2半旬)では、捕殺数78.8頭(6年平均44.6頭)と多の傾向(+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週)では、叩き落とし虫数1.1頭(平年1.3頭)とやや少(—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少(—)</p> <p>考察: 現状の発生量は巡回調査圃場、一般圃場の状況を重視してやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	チャノキイロアザミウマ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月15日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想(+)</p> <p>2) 県予察圃黄色粘着トラップ(7月第3半旬~8月第2半旬)では、捕殺数722頭(6年平均916.2頭)とやや少の傾向(—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週)では、叩き落とし虫数3.8頭(平年7.0頭)と少(—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少(—)</p> <p>考察: 現状の発生量は巡回調査圃場、一般圃場の状況を重視してやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	クワシロカイガラムシ	やや早	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月15日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想(±)</p> <p>2) 有効積算温度による発生消長予測式では、亀山市における第3世代幼虫孵化最盛予測日は9月12日(平年9月15日)とやや早(発生時期—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週)では、雄繭寄生株率2.9%(平年5.4%)と少、雌成虫寄生株率2.8%(平年7.5%)と少(—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少(—)</p> <p>考察: 発生消長予測式から、予想発生時期はやや早と考えます。現状の発生量は一般圃場の状況を重視してやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
イチゴ	炭疽病	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月15日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(8月第1週、育苗床)では、発病株率0%(平年0.6%)と少(—)</p> <p>3) 一般圃場では、平年並~やや多(概してやや多)(+)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。</p>
ネギ	シロイチモジヨトウ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月15日発表)によると、気温は高く、降水量は平年並の予想(+)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ(松阪市:7月第4半旬~8月第3半旬)では、誘殺数は55頭(平年61.3頭)と平年並(±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週)では、青ネギの被害株率0%(平年0.7%)と少(—)</p> <p>4) 一般圃場では、無~やや多(概して平年並)(±)</p> <p>考察: フェロモントラップの誘殺状況から、予想発生量は平年並と考えます。</p>

4. 予察項目の見方

1) 「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比)： 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早	やや早	平年並					やや遅	遅					

発生量(平年比)： 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

	平年値					
度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並	やや多	多	

発生量(程度)： 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率(平年比)： 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例： 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項： 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2) 「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

- (±)：平年並の要因
- (+)：発生量増加または発生時期遅延の要因
- (-)：発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

東海地方1か月予報(令和元年8月15日名古屋地方気象台発表)

暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。特に期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

太平洋高気圧に覆われやすく、向こう1か月の日照時間は、平年並が多い見込みです。

1週目 8月17日～23日	高気圧に覆われて晴れる日もありますが、湿った空気の影響で雲が広がりやすく、雨の降る日もあるでしょう。	津の降水日数・晴れ日数の平年値 2.0日・4.7日
2週目 8月24日～30日	太平洋高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。	同 1.9日・4.5日
3～4週目 8月31日～9月13日	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	同 4.5日・8.2日

東海地方週間天気予報(令和元年8月19日10時36分名古屋地方気象台発表)

予報期間 8月20日～8月26日

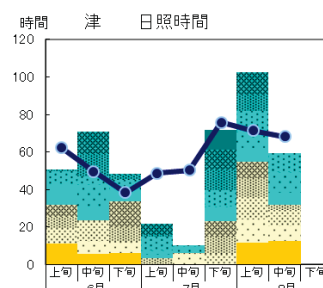
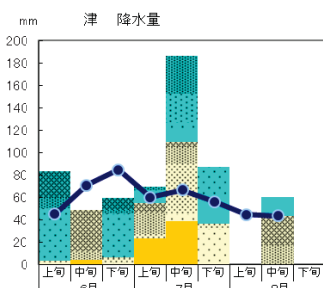
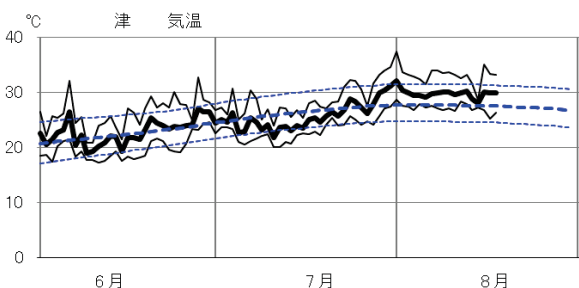
向こう一週間は、気圧の谷や湿った空気の影響で雨や曇りの日が多いでしょう。

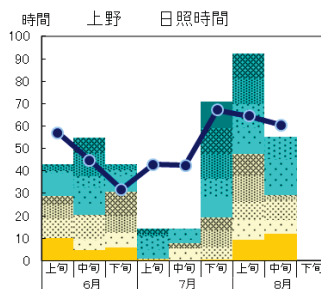
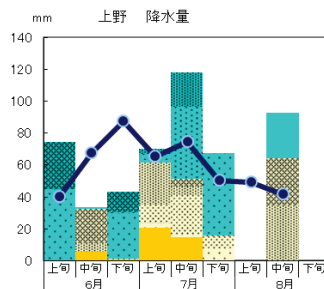
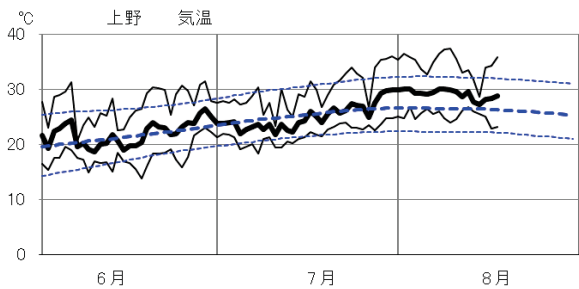
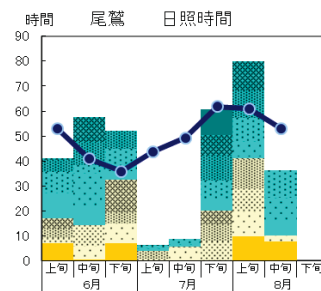
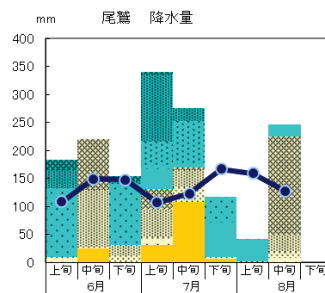
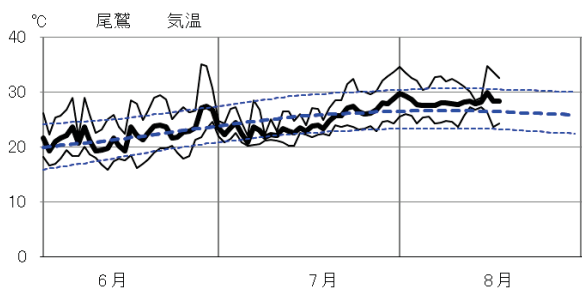
最高気温は、平年並か平年より低いですが、期間のはじめは平年より高い所もある見込みです。

最低気温は、平年並か平年より高いでしょう。

降水量は、平年より多い見込みです。

気象の日別推移(気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/ctrn/index.php> から作成) (8月9日まで)





凡例
 — 平均
 — 最高
 — 最低
 - - - 平年平均
 - - - 平年最高
 - - - 平年最低

凡例
 ■ 31日
 ■ 10日
 ■ 9日
 ■ 8日
 ■ 7日
 ■ 6日
 ■ 5日
 ■ 4日
 ■ 3日
 ■ 2日
 ■ 1日
 ■ 平年値

凡例
 ■ 31日
 ■ 10日
 ■ 9日
 ■ 8日
 ■ 7日
 ■ 6日
 ■ 5日
 ■ 4日
 ■ 3日
 ■ 2日
 ■ 1日
 ■ 平年値

13

6. おしらせ (前回と異なる項目には NEW の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- 第1回 4月25日(木) (済み) 第2回 5月23日(木) (済み)
- 第3回 6月20日(木) (済み) 第4回 7月19日(金) (済み)
- 第5回 8月22日(木) (今回) 第6回 10月24日(木)
- 第7回 3月19日(木)

3) 利用方法

全部または一部をコピーして閲覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000835764.pdf>

5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

14

三重県病害虫防除所

各 位

三重県病害虫防除所長

目 次

	ページ
1. 向こう1か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	5
4. 予察項目の見方	8
5. 気象のデータ	9
6. おしらせ	11

令和元年度病害虫発生予報第6号

このことについて、下記のとおり発表します。

1. 向こう1か月の予報と対策

1) 果樹

カンキツでは、ミカンハダニの発生量は平年並と予想されます。

ネギでは、シロイチモジヨトウの発生量は平年並と予想されます。ネギコガの発生量はやや少と予想されます。

野菜共通では、コナガ、ハスモンヨトウの発生量はやや少と予想されず。

2) 茶

チャでは、カンザワハダニの発生量はやや多と予想されます。ほ場を観察して多発状況であれば防除を計画してください。

3) 野菜

トマトでは、疫病の発生量は平年並と予想されます。

イチゴでは、炭疽病の発生量はやや多と予想されます。発病株は早めには場外へ持ち出し処分して下さい。ハダニ類の発生量は平年並と予想されます。うどんこ病の発生量はやや少と予想されます。

ハクサイでは、白斑病の発生量はやや少と予想されます。

キャベツでは、黒腐病の発生量は平年並と予想されます。

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530
TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568
ホームページ <http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.h>

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項		
			平年比	平年比		程度	平年比	11月				
								下旬	中旬		下旬	下旬
カンキツ	ミカンハダニ	—	平年並	中	普通	成ダニ密度					1) 1葉当りのハダニ成虫数が、0.5～1.0頭程度を目安に防除してください。 2) 中晩柑類で袋かけをする品種では、作業前に必ず発生状況を確認し、必要に応じて防除を行ってください。 3) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。	
チャ	カンザワハダニ	—	やや多	中	普通	成ダニ密度					1) 薬剤がかかりにくい葉裏に生息しているので、丁寧に薬剤散布してください。 2) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。	
トマト	疫病	—	平年並	小	普通	発病密度					1) 病徴の進展が非常に早いので、初発生を確認した場合には集中的に薬剤散布をしてください。 2) 20℃ぐらいの温度で多湿条件の時に発生が多くなります。 3) 病原菌は被害植物の残渣とともに土に残り、伝染源となります。発病株は圃場外に持ち出し処分してください。	
イチゴ	うどんこ病	—	やや少	小	普通	発病密度					1) ビニールの被覆後、発生が増加します。 2) 予防防除に重点をおいて薬剤散布をしてください。 3) 発病を認めたときは、葉裏に葉液がかかるよう、下葉を除去して丁寧に防除してください。	
	炭疽病	—	やや多	中	普通	発病密度					1) 感染した苗は、本圃定植後に発病します。 2) 発病株は除去し、圃場外へ持ち出して適切に処分してください。	

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項	
			発生量	程度		10月	11月				
						発生量	下旬	上旬	中旬		下旬
イチゴ	ハダニ類	—	平年並	小	普通	成ダニ密度					<ol style="list-style-type: none"> 天敵を利用する場合は、発生密度の低いうちに導入し、農薬は天敵への影響を考慮して使用してください。 薬剤防除では、発生を確認したら、できるだけ早期に防除してください。 薬剤をかかりやすくするため下葉を除去し、葉裏までしっかりと散布してください。 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
	ハクサイ	白斑病	—	やや少	小	低	発病密度				<ol style="list-style-type: none"> 秋から初冬にかけて、雨が多いと多発する傾向があります。 肥料切れすると発病を助長します。 発病初期の薬剤防除を徹底してください。
キャベツ	黒腐病	—	平年並	小	普通	発病密度					<ol style="list-style-type: none"> 土壌中の病原菌が雨滴で葉に飛散し、感染します。大雨後や特に冠水したときは、速やかに薬剤防除をしてください。 発病株は翌年の伝染源となるので、圃場外に持ち出して処分してください。
ネギ	ネギコガ	—	やや少	小	普通	幼虫密度					<ol style="list-style-type: none"> 幼虫が葉の内部に潜るので、潜入防止のため、発生初期から防除をしてください。
	シロイチモジヨトウ	—	平年並	中	普通	幼虫密度					<ol style="list-style-type: none"> 若齢幼虫から葉の内部に侵入し、内側から表皮を残して食害します。 老齢幼虫ほど薬剤の効果が劣るので、若齢幼虫のうちに防除してください。 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項	
			発生量	程度		10月	11月				
						発生量	下旬	上旬	中旬		下旬
野菜共通	コナガ	—	やや少	小	低	幼虫密度					<ol style="list-style-type: none"> 冬でも生育を続けて加害します。 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
	ハスモンヨトウ	—	やや少	中	普通	幼虫密度					<ol style="list-style-type: none"> 老齢幼虫は防除効果が劣るので、若齢幼虫のうちに防除を行ってください。 新芽部を食害されると、生育や収量への影響が大きいため、適期防除に努めてください。 施設ではハウスのパイプや換気口周辺などの資材にも産卵するので、注意してください。

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	ミカンハダニ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月17日発表)によると、気温は平年より高く、降水量は多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃(10月中旬)では、100葉当り寄生頭数は無防除区0.0頭(平年23.6頭)と少、慣行防除区0.0頭(平年28.8頭)と少(—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(10月第1週)では、寄生率率5.4%(平年4.5%)と平年並の傾向、寄生頭数0.26頭/葉(平年0.12頭/葉)とやや多の傾向(+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少(—)</p> <p>考察:現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
チャ	カンザワハダニ	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月17日発表)によると、気温は平年より高く、降水量は多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃(10月中旬)では、寄生率率6.0%(平年11.1%)とやや少、寄生頭数0.11頭/m²(平年0.46頭/m²)と少(—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(10月第2週)では、寄生率率3.4%(平年1.5%)とやや多の傾向、寄生頭数0.07頭/葉(平年0.03頭/葉)とやや多の傾向(+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少(—)</p> <p>考察:巡回調査圃場の発生状況を重視して現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。</p>
トマト	疫病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 巡回調査圃場(10月第1週)では、発病株率0%(平年0%)と平年並に少(±)</p> <p>2) 一般圃場では、発生量は平年並に少(±)</p> <p>考察:現状の発生量は平年並に少ないと考えられ、大きな増加要因がないので、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
イチゴ	うどんこ病	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月17日発表)によると、気温は平年より高く、降水量は多い予想(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(10月第1週)では、発病株率0%(平年0.2%)と少(—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無〜少(—)</p> <p>考察:現状の発生量は少と考えられ、気象条件を考慮して予想発生量はやや少と考えます。</p>
	炭疽病	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月17日発表)によると、気温は平年より高く、降水量は多い予想(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(10月第1週)では、発病株率0%(平年0.3%)と少(—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並〜やや多(概してやや多)(+)</p> <p>考察:一般ほ場での発生量を重視し、予想発生量はやや多と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イチゴ	ハダニ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月17日発表)によると、気温は平年より高く、降水量は多い予想(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(10月第1週)では、寄生率率8.4%(平年5.2%)とやや多の傾向、寄生程度3.5(平年1.7)とやや多の傾向(+)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量はやや少〜平年並(概して平年並)(±)</p> <p>考察:一般ほ場の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
ハクサイ	白斑病	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月17日発表)によると、気温は平年より高く、降水量は多い予想(±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(10月第1週)では、発病株率0%(平年1.8%)、発病程度0(平年0.5)と少(—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無〜やや少(概してやや少)(—)</p> <p>考察:現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
キャベツ	黒腐病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月17日発表)によると、気温は平年より高く、降水量は多い予想(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(10月第1週)では、発病株率0%(平年0.4%)、発病程度0(平年0.1)と少(—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少〜やや少(概してやや少)(—)</p> <p>考察:現状の発生量はやや少と考えられるが、気象条件を考慮して予想発生量は平年並と考えます。</p>
ネギ	ネギコガ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月17日発表)によると、気温は平年より高く、降水量は多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ(10月第1半旬〜10月第3半旬)では、誘殺数12頭(平年13.8頭)と平年並(±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(10月第1週)では、被害率率0%(平年0.2%)とやや少(—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は無〜やや少(概してやや少)(—)</p> <p>考察:現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	シロイチモジヨトウ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月17日発表)によると、気温は平年より高く、降水量は多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ(10月第1半旬〜10月第3半旬)では、誘殺数18頭(平年28.4頭)とやや少(—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(10月第2週)では、被害率率4.5%(平年5.6%)とやや少(—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少〜やや多(概して平年並)(±)</p> <p>考察:現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
野菜 共通	コナガ	—	やや少	要因 1) 1か月予報(10月17日発表)によると、気温は平年より高く、降水量は多い予想 (±) 2) 県予察圃フェロモントラップ(10月第1半旬～10月第3半旬)では、誘殺数0頭(平年6.0頭)と少 (－) 3) 巡回調査圃場(10月第1週)では、ハクサイの寄生株率0%(平年1.1%)と少、キャベツの寄生株率0%(平年1.3%)と少 (－) 4) 一般圃場では、発生量は少～やや少(概してやや少) (－) 考察:現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
	ハスモンヨトウ	—	やや少	要因 1) 1か月予報(10月17日発表)によると、気温は平年より高く、降水量は多い予想 (±) 2) 県予察圃フェロモントラップ(10月第1半旬～10月第3半旬)では、誘殺数581頭(平年975.6頭)と少 (－) 3) 巡回調査圃場(10月第1週)では、イチゴの寄生株率0.5%(平年2.1%)とやや少の傾向、ハクサイの寄生株率0%(平年0.6%)と少、キャベツの寄生株率0.7%(平年3.9%)と少 (－) 4) 一般圃場では、発生量は無～平年並(概してやや少) (－) 考察:現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。

4. 予察項目の見方

1) 「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比): 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6
評価	早	やや早		平年並				やや遅		遅			

発生量(平年比): 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

	平年値 ↓					
度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並		やや多	多

発生量(程度): 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい」「平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率(平年比): 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例: 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項: 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2) 「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

(±): 平年並の要因

(+): 発生量増加または発生時期遅延の要因

(-): 発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

東海地方1か月予報(令和元年10月17日 名古屋地方気象台発表)

暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高く、期間の前半はかなり高くなる見込みです。

湿った空気の影響を受けやすいため、向こう1か月の降水量は多く、日照時間は少ないでしょう。

1週目 10月19日～ 25日	低気圧や前線の影響で雲が広がりやすく、期間の中頃にかけて雨の降る日があるでしょう。	津の降水日数・晴れ日数の 平年値 1.7日・4.3日
2週目 10月26日～ 11月1日	天気は数日の周期で変わりますが、湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。	同 1.6日・4.3日
3～4週目 11月2日～ 15日	天気は数日の周期で変わるでしょう。	同 3.0日・8.8日

東海地方週間天気予報(令和元年10月21日10時31分 名古屋地方気象台発表)

予報期間 10月22日～10月28日

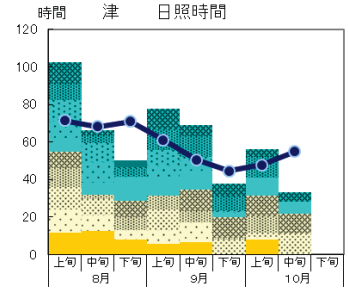
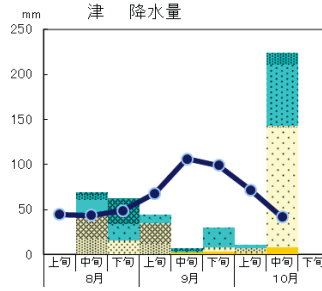
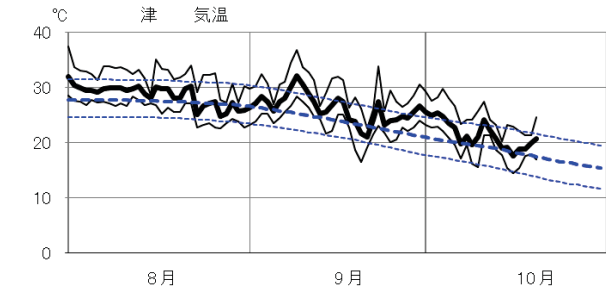
向こう一週間は、低気圧や湿った空気の影響で雲が広がりやすく、期間の中頃にかけて雨の降る日があるでしょう。なお、22日は、台風第20号から変わる温帯低気圧の影響により大雨となるでしょう。また、海上では大しけとなるおそれがあります。

最高気温は、平年より高く、かなり高い日もあるでしょう。

最低気温は、平年よりかなり高い見込みです。

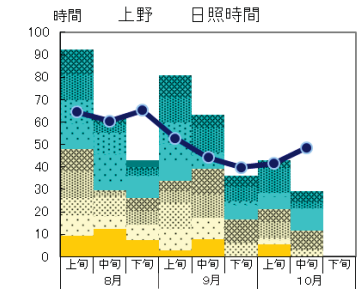
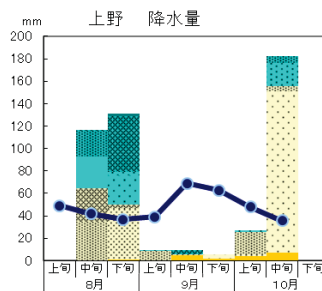
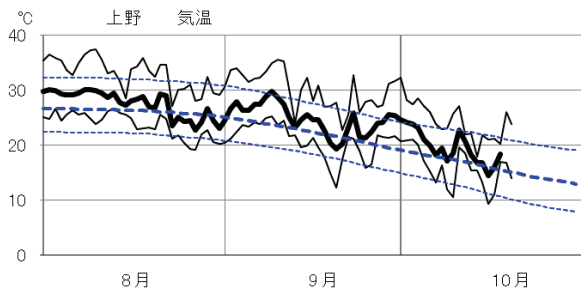
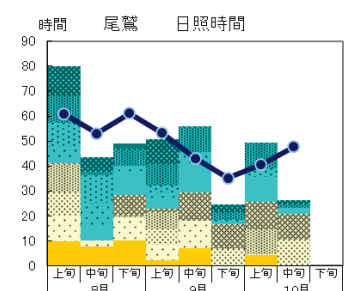
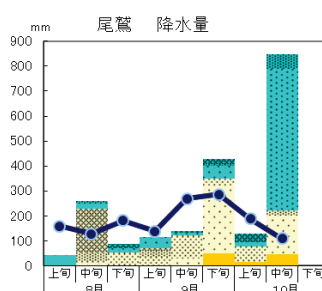
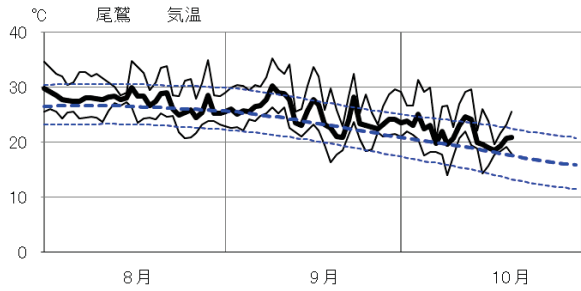
降水量は、平年よりかなり多いでしょう。

気象の日別推移(気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/ctrn/index.php> から作成) (10月21日まで)



9

三重県病害虫防除所



- 凡例
- 平均
 - 最高
 - 最低
 - - - 平年平均
 - 平年最高
 - 平年最低

- 凡例
- 31日
 - 旬10日目
 - 旬9日目
 - 旬8日目
 - 旬7日目
 - 旬6日目
 - 旬5日目
 - 旬4日目
 - 旬3日目
 - 旬2日目
 - 旬1日目
 - 旬平年値

- 凡例
- 31日
 - 旬10日目
 - 旬9日目
 - 旬8日目
 - 旬7日目
 - 旬6日目
 - 旬5日目
 - 旬4日目
 - 旬3日目
 - 旬2日目
 - 旬1日目
 - 旬平年値

10

県病害虫防除所

6. おしらせ (前回と異なる項目には NEW の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生しないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 第1回 4月25日(木)(済み) | 第2回 5月23日(木)(済み) |
| 第3回 6月20日(木)(済み) | 第4回 7月19日(金)(済み) |
| 第5回 8月22日(木)(済み) | 第6回 10月24日(木)(今回) |
| 第7回 3月19日(木) | |

3) 利用方法

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただけると幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000835764.pdf>

5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

11

三重県病害虫防除所

防除第47号
令和2年3月19日

各位

三重県病害虫防除所長

令和元年度病害虫発生予報第7号

このことについて、下記のとおり発表します。

1. 向こう1か月の予報と対策

1) 作物

イネ(注1)では、イネミズゾウムシの発生量は平年並と予想されます。

コムギ(注2)では、赤かび病の発生量は平年並と予想されます。

注1:4月中旬までに移植する圃場を対象。

注2:11月下旬までに播種した圃場を対象。

2) 果樹

カンキツでは、そうかび病の発生量はやや多と予想されます。発生が認められる場合は速やかに防除してください。かいよう病(温州みかん、中晩柑)、ミカンハダニの発生量は平年並と予想されます。

ナシでは、赤星病の発生量は平年並、黒星病はやや少と予想されます。

3) 茶

チャでは、カンザワハダニの発生量は、やや多と予想されます。今後の発生状況に注意し、早期防除に努めてください。チャノホソガの発生時期は早と予想されます。

4) 野菜

イチゴでは、灰色かび病の発生量はやや多と予想されます。施設内の温湿度管理に注意し、早期防除に努めてください。ハダニ類は平年並、うどんこ病はやや少と予想されます。

キャベツでは、菌核病はやや多と予想されます。発生株は速やかにほ場外へ持ち出し、ほ場外で処分してください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

三重県病害虫防除所

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項		
						3月		4月				
						下旬	下旬	中旬	下旬			
イネ	イネミズゾウムシ	—	平年並	小	普通				成虫誘殺数	<ul style="list-style-type: none"> 1) 近年、実害は少ないので、移植後の発生状況に応じて防除してください。 2) 常発圃場では、箱施用剤による予防を行ってください。 		
コムギ	赤かび病	—	平年並	小	普通		出穂期	開花期	感染	発病	<ul style="list-style-type: none"> 1) 圃場ごとに出穂及び開花状況を把握し、開花始めから開花盛期に予防散布してください。 	
カンキツ	そうか病	—	やや多	小	普通		葉枝の発病	発芽				<ul style="list-style-type: none"> 1) 昨年に果実での発病がみられた圃場では、発芽期防除を実施してください。 2) 春葉が感染する期間は発芽直後から伸長停止期までです。 3) 越冬病斑の見られる枝葉は剪除して、圃場より持ち出して処分してください。
	かいよう病	—	温州平年並	温州小	温州低					発病密度		<ul style="list-style-type: none"> 1) 越冬病斑が認められる中晩柑圃場では、発芽前防除を実施してください。 2) 夏秋梢等の発病枝葉は早く剪除し、圃場より持ち出してください。 3) ボルドー液とマシン油乳剤の近接散布による葉害に注意してください。
	ミカンハダニ	—	平年並	中	普通					成ダニ密度		<ul style="list-style-type: none"> 1) 成虫が1葉当たり1頭前後になったら防除してください。 2) マシン油乳剤を散布していない圃場や現在発生が認められる圃場では、今後の増加に注意してください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項	
						3月		4月			
						下旬	下旬	中旬	下旬		
ナシ	黒星病	—	やや少	小	普通		発病密度				<ul style="list-style-type: none"> 1) りん片や新梢基部に発病が確認されたら、すぐに防除を実施してください。なお、発病したりん片は、基部から切除して圃場外で処分してください。 2) 例年発生が多い圃場では、早くから樹体の観察を怠らないようにしてください。
	赤星病	—	平年並	小	普通		ビャクシン類の冬胞子発芽				<ul style="list-style-type: none"> 1) 赤星病の防除時期は、黒星病の防除適期と重なります。 2) 特に開花期前後の防除が重要なので、各薬剤の特性を理解して両方に登録のある薬剤を使用してください。
チャ	カンザワハダニ	—	やや多	中	普通		成ダニ密度				<ul style="list-style-type: none"> 1) 2月下旬～3月上旬に産卵します。 2) 裾葉裏に生息しているので、薬剤が付着するよう丁寧に散布してください。 3) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統の薬剤使用は年1回に止めてください。
	チャノホソガ	早	—	—	—		成虫密度				<ul style="list-style-type: none"> 1) 新芽の葉裏に産卵します。 2) 萌芽は例年4月上旬です。萌芽後は新芽への産卵や幼虫発生に注意してください。
イチゴ	灰色かび病	—	やや多	中	普通		発病密度				<ul style="list-style-type: none"> 1) 病勢が進行すると防除が困難になります。圃場をよく観察し、早期発見・早期防除に努めてください。 2) 20℃前後の温度と多湿条件で発生が多くなります。ハウス内の温度・湿度管理に注意してください。 3) 発病部位は伝染源となるため、こまめに取り除いて圃場外に持ち出し適切に処分してください。 4) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統薬剤の連用は避けてください。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量		要防除 圃場率 平年比	発生活消長の一例				防除の注意事項
			平年比	程度		3月		4月		
						下旬	中旬	下旬	中旬	
イチゴ	うどんこ病	—	やや少	小	普通					1) 軟弱徒長すると発生が多くなります。適切な温湿度管理、灌水管理に努めてください。 2) 発病部位は伝染源となるため、見つけ次第速やかに取り除いてください。 3) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
	ハダニ類	—	平年並	中	普通					1) 葉液がかかりやすくなるよう下葉を除去し、葉裏までしっかりと散布してください。 2) 薬剤抵抗性が発達しやすいため、同一系統薬剤の連用は避けてください。また、抵抗性の発達しにくい気門封鎖剤や天敵製剤を活用してください。 3) 薬剤散布では、天敵やミツバチに対する影響も十分考慮して薬剤の選択を行ってください。
キャベツ	菌核病	—	やや多	中	普通					1) 発病株は伝染源となるため、菌核が形成される前に抜き取って圃場外へ持ち出し、処分してください。 2) 葉の傷口や生育の衰えた下葉から病原菌が感染し、結球期頃から発生が目立ち始めます。結球初期の予防散布を基本としてください。 3) 薬剤散布は、初発部位である株元を中心に丁寧に行ってください。

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	イネミズゾウムシ	—	平年並	要因 1) 1か月予報(3月12日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 (+) 2) 県予察灯(令和元年7月第1半旬~9月第2半旬 松阪市水田位置)では、誘殺数は92頭(平年154頭)と少 (-) 3) 巡回調査圃場(令和元年8月)では、発生圃場率11.0%(平年10.3%)と平年並、払い落とし虫数0.19頭(平年0.20頭)と平年並 (±) 考察: 昨年の子察灯の誘殺数と巡回調査の結果から、越冬虫数はやや少と考えますが、今後の気象条件を加味し、予想発生量は平年並と考えます。
コムギ	赤かび病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(3月12日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並みの予想 (+) 2) 農業研究所作況試験田(11月13日播種・あやひかり)によると、葉齢の進展は早 (-) 3) 生育予測システム(11月10日播種・あやひかり・松阪市嬉野3月3日現在)によると、予想出穂期は3月31日頃(平年4月10日)と早 (-) 考察: 今後の気象条件および現在の生育状況から、予想発生量は平年並と考えます。
カンキツ	そうか病	—	やや多	要因 1) 1か月予報(3月12日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 (-) 2) 県予察圃(無防除圃場)では、昨年7月上旬の春葉発病率95.3%(平年76.8%)と多 (+) 3) 巡回調査圃場(3月第1週)では、発病率0.15%(平年0.02%)と多の傾向、発病度0.03(平年0.01)と多の傾向 (+) 考察: 気象条件と県予察圃の状況から、予想発生量はやや多と考えます。
	かいよう病	—	温州 平年並 中晩柑 平年並	要因 1) 1か月予報(3月12日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 (±) 2) 県予察圃(無防除圃場、中晩柑、2月14日調査)では、越冬病斑の発病率27.6%(平年29.2%)とやや少、発病度4.3(平年7.1)とやや少の傾向 (-) 3) 巡回調査圃場(3月第1週)では、温州みかん旧葉での発病率1.14%(平年0.09%)と多、発病度0.46(平年0.02)と多(+), 中晩柑類旧葉での発病率5.3%(平年8.8%)と平年並の傾向、発病度2.7(平年4.0)と平年並の傾向 (±) 4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±) 考察: 一般圃場での結果を重視して、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	ミカンハダニ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(3月12日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃(3月上旬)では、寄生頭数は無防除区 2.2 頭/葉(平年 17.9 頭/葉)と少、慣行防除区 0.0 頭/葉(平年 0.8 頭/葉)とやや少 (-)</p> <p>3) 巡回調査圃場(3月第1週)では、寄生頭数 0.28 頭/葉(平年 0.15 頭/葉)とやや多の傾向、寄生葉率 5.9%(平年 4.5%)とやや多 (+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少 (-)</p> <p>考察: 県予察圃と一般圃場の結果を重視して、現状の発生量はやや少と考えられますが、今後の気象条件等を考慮して予想発生量は平年並と考えます。</p>
	黒星病	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(3月12日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場では、昨年9月の発病率 0.3%(平年 1.1%)と少 (-)</p> <p>3) 一般圃場では、昨年10月の発生量はやや少 (-)</p> <p>考察: 昨年秋の調査結果はやや少であり、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
ナシ	赤星病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(3月12日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場では、昨年6月の発病率 0.6%(平年 0.3%)と平年並に少の傾向 (±)</p> <p>3) 一般圃場では昨年5月の発生量は少 (-)</p> <p>考察: 昨年の状況と気象条件から、予想発生量は平年並と考えます。</p>
チャ	カンザワハダニ	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(3月12日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並みの予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃(3月上旬)では、寄生率 2.0%(平年 5.1%)と平年並の傾向、寄生頭数 0.07 頭/葉(平年 0.12 頭/葉)と平年並の傾向、産卵確認は2月27日 (±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(3月第1週)では、発生圃場率 77.8%(平年 36.2%)と多、寄生率 4.9%(平年 1.7%)と多、寄生頭数 0.13 頭/葉(平年 0.05 頭/葉)と多 (+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや多 (+)</p> <p>考察: 今後の気象条件、県予察圃、巡回調査圃場、一般圃場の状況から、予想発生量はやや多と考えます。</p>
	チャノホソガ	早	—	<p>要因</p> <p>1) 県予察圃フェロモントラップでは、初飛来は2月27日(平年の初飛来は3月18日) (発生時期-)</p> <p>2) 巡回調査圃場(3月第1週)では、成虫を確認 (発生時期-)</p> <p>考察: 現状の発生状況から予想発生時期は早と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イチゴ	灰色かび病	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(3月12日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(3月第1週)では、発病株率 0.2%(平年 3.5%)と少、発病果率 0.3%(平年 0.8%)と少 (-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少～やや多(概してやや多) (+)</p> <p>考察: ほ場間差が大きいが、一般圃場での状況や今後の気象条件を考慮して、予想発生量はやや多と考えます。</p>
	うどんこ病	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(3月12日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(3月第1週)では、発病株率 0%(平年 0.2%)とやや少、発病果率 0%(平年 0.04%)と少 (-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無～少(概して少) (-)</p> <p>考察: 現状の発生量は少と考えられるが、今後の気象条件を考慮して予想発生量はやや少と考えます。</p>
	ハダニ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(3月12日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(3月第1週)では、寄生株率 7.5%(平年 14.5%)と少、発生程度 4.1%(平年 6.7%)と少 (-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並～やや多(概して平年並) (±)</p> <p>考察: ほ場間差が大きいが、一般圃場での状況を重視して、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
キャベツ	菌核病	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(3月12日発表)によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並の予想 (+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(3月第1週)では、発病株率 1.0%(平年 1.0%)と平年並 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量はやや多 (+)</p> <p>考察: 一般圃場での状況を重視して、現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。</p>

4. 予察項目の見方

1) 「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比)： 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早		やや早				平年並				やや遅			遅

発生量(平年比)： 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

	平年値 ↓					
度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並	やや多	多	

発生量(程度)： 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率(平年比)： 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例： 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項： 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2) 「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

- (±)：平年並の要因
- (+)：発生量増加または発生時期遅延の要因
- (-)：発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

東海地方1か月予報(令和2年3月12日 名古屋地方気象台発表)

暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高く、2週目の気温は、かなり高くなる見込みです。

1週目 3月14日～ 20日	低気圧や湿った空気の影響で雲が広がりやすく、雨の降る日があるでしょう。	津の降水日数・晴れ日数の平年値 2.3日・4.3日
2週目 3月21日～ 27日	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	同 2.5日・4.0日
3～4週目 3月26日～ 4月10日	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	同 4.5日・8.3日

東海地方週間天気予報(令和2年3月16日10時35分名古屋地方気象台発表)

予報期間 3月17日～3月23日

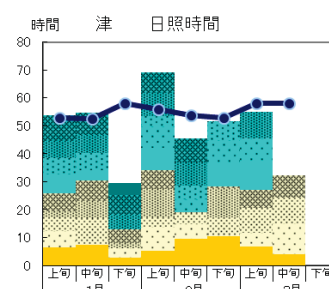
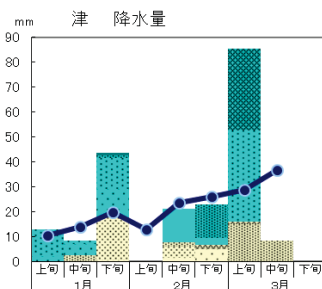
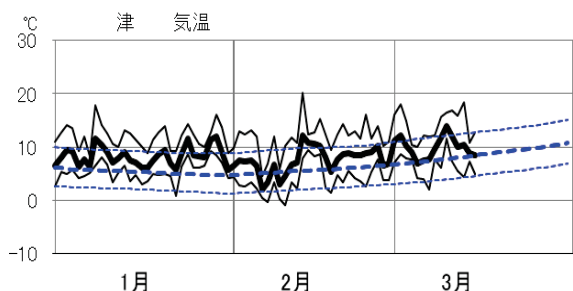
向こう一週間は、高気圧に覆われて晴れる日もありますが、低気圧や湿った空気の影響で雲が広がりやすく、雨の降る日があるでしょう。

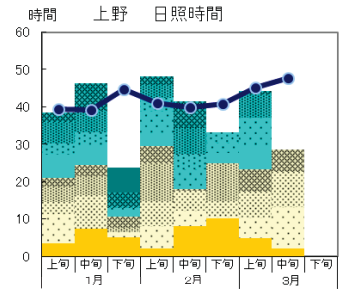
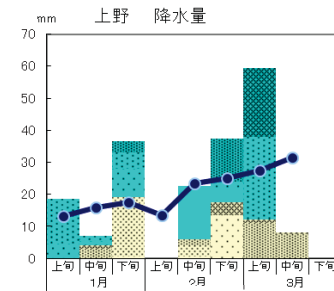
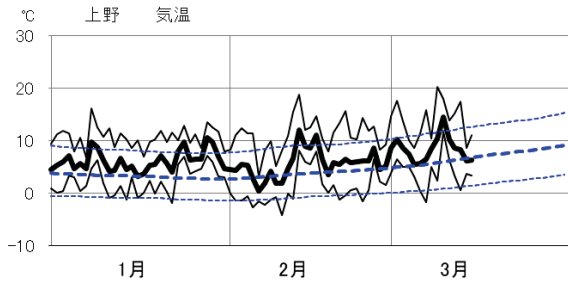
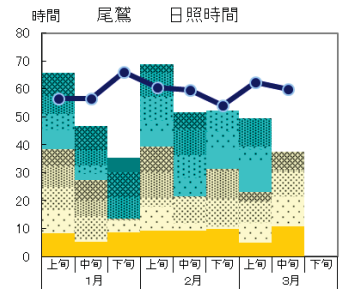
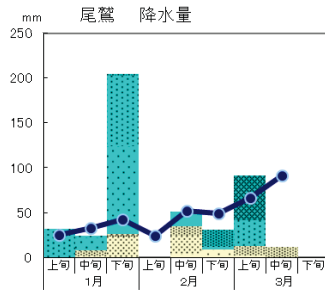
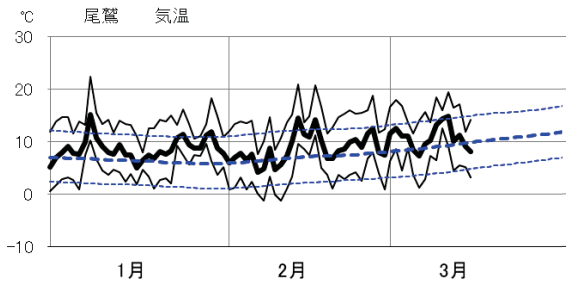
最高気温と最低気温はともに、平年並か平年より高いですが、期間の中頃は平年より低い日があるでしょう。最低気温は、平年並か平年より高いでしょう。

降水量は、平年並か平年より少ないでしょう。

気象の日別推移(気象庁発表データ)

<http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/ctrn/index.php> から作成) (3月15日まで)





凡例
 — 平均
 — 最高
 - - 最低
 - - - 年平均
 - - - 年最高
 - - - 年最低

凡例
 ■ 31日
 ■ 10日
 ■ 9日
 ■ 8日
 ■ 7日
 ■ 6日
 ■ 5日
 ■ 4日
 ■ 3日
 ■ 2日
 ■ 1日
 — 年平均値

凡例
 ■ 31日
 ■ 10日
 ■ 9日
 ■ 8日
 ■ 7日
 ■ 6日
 ■ 5日
 ■ 4日
 ■ 3日
 ■ 2日
 ■ 1日
 — 年平均値

6. おしらせ (前回と異なる項目には NEW の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 第1回 4月25日(木)(済み) | 第2回 5月23日(木)(済み) |
| 第3回 6月20日(木)(済み) | 第4回 7月19日(金)(済み) |
| 第5回 8月22日(木)(済み) | 第6回 10月24日(木)(済み) |
| 第7回 3月19日(木)(今回) | |

3) 利用方法

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000835764.pdf>

5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

(3)特殊報

病害虫発生予察特殊報第1号

平成 31 年 4 月 25 日
三重県病害虫防除所

本県のネギにおいて、ジャガイモクロバネキノコバエの寄生が確認されましたので、**特殊報**として発表します。

連作を避け、植物体残渣などは適切に処分しましょう。

- 病害虫名： ジャガイモクロバネキノコバエ
学名: *Phytia scabiei* (Hopkins)
- 発生確認作物： ネギ
- 発生確認地域： 三重県北勢地域
- 発生確認の経過
平成 30 年 12 月 27 日、県内のネギ露地栽培ほ場において、生育不良株が見られたため株を引き抜き確認したところ、地下の葉鞘部、茎盤部に寄生するハエ目幼虫が確認された。
この幼虫を農林水産省名古屋植物防疫所へ種の同定を依頼したところ、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業研究センターの有本誠氏の遺伝子解析による同定により、ジャガイモクロバネキノコバエであることが確認された。
これまでにジャガイモクロバネキノコバエの寄生は、県内で確認されていない。
他県においては、北海道でゆり、ネギ、千葉県でサツマイモ、長野県でヒメユリ、群馬県でネギ、神奈川県ではヤマノイモで本種の発生がそれぞれ確認されている。
このため、ネギ以外にも根菜類(イモ類など)を中心とした他作物への寄生にも注意する必要がある。
- 本種の特徴
雌成虫は無翅で体長 2.2mm 程度、雄成虫は翅が短く、体長 1.5mm 程度である。
幼虫は白色を帯びた透明の体で黒色の硬い頭部を持ち、老齢幼虫の体長は 4mm 程度で、肉眼でも確認ができる大きさである。
- 被害
ネギでは、幼虫が地下部の葉鞘部や茎盤部に寄生し、食害やネギの組織内部に食

1 / 2

病害虫発生予察特殊報第 2 号

令和元年 9 月 6 日
三重県病害虫防除所

- 病害虫名： ツマジロクサヨトウ(チョウ目、ヤガ科)、*Spodoptera frugiperda*
- 発生確認作物： ソルガム
- 発生確認の経過
令和元年 9 月 3 日、鈴鹿市の圃場において、緑肥用のソルガムからツマジロクサヨトウの疑義幼虫による食害が確認され、被害株から幼虫を採集し農林水産省名古屋植物防疫所に同定依頼をしたところ、令和元年 9 月 4 日に本県未発生のツマジロクサヨトウと判明しました。
国内では、令和元年 7 月 3 日に鹿児島県の飼料用トウモロコシで初めて確認され、その後、熊本県、宮崎県、長崎県、沖縄県、大分県、佐賀県、高知県、茨城県、福岡県、岡山県、千葉県、山口県、愛媛県、福島県の 15 県で発生が確認されています。
これまでのところ、国内では飼料用トウモロコシでの発生が主ですが、スイートコーンやソルガムでも確認されています。
- 本種の特徴
(1) 形態
成虫は開張約 37mm、雌雄で外観が大きく異なり、雄のみ前翅中央部に黄色い斜めの斑紋を持ちます(図 1)。終齢幼虫は体長約 40mm で、頭部の逆 Y 字が淡色で(図 2~3)、尾部の刺毛基盤(黒色斑点)が隆起している(図 4)のが特徴です。卵は寄主植物に塊状に産み付けられ、雌の体毛で覆われます。
(2) 生態
本種は、暖地に適応した種(南北アメリカ大陸の熱帯~亜熱帯原産)であり、熱帯では年 4~6 世代発生します。南北アメリカでは毎年夏季に成虫が移動・分散しますが、暖地を除く地域では越冬することはできないとされています。
- 被害
幼虫が植物の茎、葉、花並びに果実を加害します(図 5)。若齢幼虫は葉を裏側から集団で加害し、成長すると加害しながら分散します。摂食量が多く、食害部には多量の糞が散在します。

1 / 2

入る被害が確認されている。(図 1)

このため、被害株を地上部から見ると、付近の株と比べて被害株は黄化がみられ、外葉がしおれたりすることが多い。(図 2)

被害株は、排水不良などでの湿害による生育不良と酷似し、株を引き抜いてみると、幼虫の寄生とともに、葉鞘部の硬さがなくなり軟らかくなっていることが多い。

寄生頭数が少ない場合は、地上部からは被害に気がつきにくい。

冬期に被害が多くなると言われており、気温が低下しても本種の被害はなくならない。



図 1 幼虫の加害状況



図 2 被害株の地上部の様子(円内)

7 防除対策及び注意事項

- 本種の被害が確認された場合は、登録農業での防除を実施してください。
- 幼虫の寄生が確認されたり、または生育不良などで抜き取ったネギなどの植物残渣は、ほ場外での処分を行ってください。
- ほ場内に植物体を放置したり、植物体ごとすき込むことは避けてください。
- 出荷調整時に出る植物体残渣についても同様の処置をとってください。
- 連作は、発生を助長するので、極力避けてください。
- 本種が多発した場合は、可能な限り、ネギ類または根菜類以外の作物への転換を検討してください。
- また、ネギ以外の周辺ほ場についても、根菜類を作付けする場合は、ネギと同様の対策に努めてください。

8 問い合わせ先

三重県病害虫防除所

電話番号：0598-42-6365

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

2 / 2

6 防除対策及び注意事項

- 多発すると被害が拡大する恐れがあることから、圃場をよく見回り、幼虫の早期発見に努めてください。
- 県は、発生圃場においては、植物防疫法第 29 条第 1 項に基づく措置を行うこととし、国との協議により選定した薬剤(表 1~3)の散布を指導します。薬剤散布が困難な場合は、早期に刈取りするとともに、幼虫の分散を防ぐため、圃場への残渣のすきこみを行ってください。
- 農業の使用にあたっては、散布は無風又は風が弱い時に行うなど、近隣に影響が少ない天候や時間帯を選び、風向き、防除器具のノズルの向きにも十分注意するとともに、隣接圃場の農作物の栽培者に対して、散布予定農薬の種類や散布時期等を事前に連絡するなど、農薬の飛散(ドリフト)に留意してください。



図 1 ツマジロクサヨトウ雄成虫(左)と雌成虫(右)農林水産省植物防疫所 HP より



図 2 幼虫



図 3 幼虫の頭部



図 4 幼虫の尾部



図 5 ソルガムの被害

表1 ソルガム(飼料用)に使用できる農薬一覧

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布流量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
アセチリド水剤	散布	収穫45日前まで	100~300L/10a	6000倍	3回以内
アセフト水剤	散布	収穫30日前まで	100~300L/10a	1000倍	3回以内

表2 未成熟トウモロコシに使用できる農薬一覧

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布流量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
B T水剤 (農薬登録番号19616, 19618, 19899, 21694, 21695, 23884)	散布	発生初期 ただし、収穫前日まで	100~300L/10a	1000倍	—
B T水剤 (農薬登録番号19885, 20653, 21944)	散布	発生初期 ただし、収穫前日まで	100~300L/10a	2000倍	—
B T水剤 (農薬登録番号14459)	散布	発生初期 ただし、収穫前日まで	60~150L/10a	1000倍	—
ME P乳剤	散布	収穫7日前まで	100~300L/10a	1000倍	4回以内
NA C粒剤	散布	雄穂抽出期~雌穂抽出期 ただし収穫21日前まで	4~6kg/10a	—	2回以内
P A P乳剤	散布	収穫14日前まで	100~300L/10a	1000倍	4回以内
ネトフェンプロックス乳剤	散布	収穫7日前まで	100~300L/10 a	1000倍	4回以内
ネトフェンプロックス粉剤	散布	収穫7日前まで	4kg/10a	—	4回以内
エマメクテン安息香酸塩乳剤	散布	収穫3日前まで	100~300L/10a	1000~2000倍	2回以内
カルタップ水剤	散布	収穫21日前まで	100~300L/10a	700倍	2回以内
カルタップ水剤	散布	収穫21日前まで	100~300L/10a	1000倍	2回以内
カルタップ粒剤	株の上から均一に撒く	収穫7日前まで	6kg/10a	—	2回以内
クロマフェンジド水剤	散布	収穫前日まで	100~300L/10a	2000倍	3回以内
クロラントラニプロール水剤	散布	収穫前日まで	100~300L/10a	2000倍	3回以内
タロルアピナビル水剤	散布	収穫前日まで	100~300L/10a	2000倍	2回以内
シベルメリン水剤	散布	収穫7日前まで	100~300L/10a	3000倍	3回以内
シベルメリン乳剤	散布	収穫7日前まで	100~300L/10a	1000倍	3回以内
シベルメリン乳剤	散布	収穫7日前まで	100~300L/10a	1000~2000倍	3回以内
ヒリダリル水剤	散布	収穫前日まで	100~300L/10a	1000倍	2回以内
ウィゴコロ水剤	散布	収穫14日前まで	100~300L/10a	2000倍	2回以内
フェンバレート・ME P水剤	散布	収穫7日前まで	100~300L/10a	1000~2000倍	4回以内
フルフェノクスロン乳剤	散布	収穫7日前まで	100~300L/10a	2000~4000倍	2回以内
フルフェノクスロン乳剤	散布	収穫7日前まで	100~300L/10a	4000倍	2回以内
フルベンジアミド水剤	散布	収穫前日まで	100~300L/10a	2000~4000倍	2回以内

バルメトリン乳剤	散布	収穫14日前まで	100~300L/10a	2000倍	4回以内
メタフルミゾン水剤	散布	収穫前日まで	100~300L/10a	1000~2000倍	3回以内
レピメクテン乳剤	散布	収穫前日まで	100~300L/10a	1000倍	3回以内

表3 飼料用トウモロコシに使用できる農薬一覧

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布流量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
B T水剤(農薬登録番号14459, 21694, 21695)	散布	発生初期 ただし収穫前日まで	100~300L/10a	1000倍	—
B T水剤(農薬登録番号19885, 20653, 21944)	散布	発生初期 ただし、収穫前日まで	100~300L/10a	2000倍	—
カルタップ水剤	散布	収穫21日前まで	100~300L/10a	1000倍	2回以内
アセチリド水剤	散布	収穫90日前まで	100~300L/10a	6000倍	3回以内
ME P乳剤	散布	収穫30日前まで	100~300L/10a	2000倍	2回以内

※上記の農薬はツマジロクサヨトウに対して登録はありませんが、植物防疫法第29条第1項の規定による防除を行うために使用する農薬として、使用が可能です。

※上記使用方法、使用時期、散布流量、希釈倍数使用量、使用回数を守ることで、出荷停止等、流通に支障が出ることもありません。

※上記の作物以外で使用可能な農薬については、下記の農林水産省HPを参照してください。

http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/tumajiro.html

7 問い合わせ先

三重県病害虫防除所

電話番号：0598-42-6365

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病虫害発生予察特殊報第3号

令和元年11月15日
三重県病害虫防除所

本県のネギにおいて、ネギハモグリバエの別系統の発生を確認しましたので、**特殊報として発表します。**

ネギの葉が著しく白化する被害を引き起こすネギハモグリバエの別系統の発生が確認されました。早期発見と早期防除が重要です。

1 病虫害名：ネギハモグリバエ 別系統
学名：*Liriomyza chinensis* Kato

2 発生確認作物：ネギ

3 発生確認の経過

令和元年10月、三重県松阪市、鈴鹿市のネギ栽培圃場において、ネギの葉がネギハモグリバエに著しく摂食され、白化する被害を三重県病害虫防除所職員が確認した。

従来の被害の様相とは異なるため、農業・食品産業技術総合研究機構東北農業研究センターに同定を依頼した結果、遺伝子解析によって従来の系統(以下、A系統と略記)とは異なる別系統(以下、B系統と略記)であることが判明した。

B系統の発生は、平成28年頃から京都府で、その後、茨城県、富山県、千葉県、長野県、埼玉県、新潟県及び栃木県で確認され、特殊報が発表されている。

4 本種の特徴

A系統とB系統の形態による識別は困難である。両系統とも成虫の体長は約2mmであり、胸部と腹部が黒く、その他の部分は淡黄色である。(図1)

幼虫は、うじ虫状で、成長すると約4mmに達する。蛹は、体長約3mmの褐色、俵状である。

両系統とも成虫は葉の組織内に産卵し、孵化した幼虫は葉の内部に潜り込み葉肉を食害する。幼虫は成長すると葉から脱出し、地表または土中で蛹となる。

5 被害

B系統はA系統と比較して、1葉あたりの幼虫数が多い傾向がある。

初期の食害痕は、A系統と同様に不規則な白線状であるが、進展すると近接した食害痕同士が癒合し、葉全体が白化したようになる。(図2)

葉肉は食い尽くされ、表皮が浮いた状態になり表皮を剝離すると、多数の幼虫が確認される。



図1 ネギハモグリバエ成虫



図2 B系統による葉の著しい白化被害(矢印)

6 防除対策及び注意事項

- (1) 早期発見に努め、発生を確認したら、ただちに防除を実施することが重要である。
- (2) 防除を行う場合は、ネギハモグリバエまたはハモグリバエ類に登録のある殺虫剤で防除を行う。
- (3) 被害葉及び収穫残さは本種の発生源となるので、ほ場内に放置せず、一か所にまとめて積み上げ、ビニール等で覆い、裾部分を土で埋めるなど適切に処分する。

7 問い合わせ先

三重県病害虫防除所

電話番号：0598-42-6365

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫発生予察特殊報第4号

令和元年 11月21日
三重県病害虫防除所

本県のサツマイモにおいて、ヨツモンカメノコハムシの発生を確認しましたので、
特殊報として発表します。

次年度のサツマイモの生育初期に本種の発生に注意しましょう。

1 病害虫名：ヨツモンカメノコハムシ

学名：*Lacoppera quadrimaculata* (Thunberg)

2 発生確認作物：サツマイモ

3 発生確認地域：三重県東紀州地域

4 発生確認の経過

令和元年5月28日、三重県東紀州地域のサツマイモ栽培ほ場において、定植後間もないサツマイモの葉を食害するハムシ科甲虫が確認されたため、本虫を農林水産省名古屋植物防疫所へ同定を依頼したところ、ヨツモンカメノコハムシであることが確認された。

その後の当所による本種の県内全域の分布域調査において、東紀州地域の数地点のサツマイモ、ノアサガオで確認されたが、現時点では東紀州地域以外では確認されていない。

本種は主に沖縄本島以南の熱帯～亜熱帯に分布していたが、平成11年に長崎県で確認されて以降、これまでに鹿児島県、宮崎県、静岡県、東京都(大島、三宅島)、愛媛県、山口県、大分県、高知県、神奈川県、和歌山県の11都県から病害虫発生予察特殊報が発表されている。

5 本種の特徴

成虫は扁平な円形で、体長7.5～9mm程度である。

体の中央部はやや艶のある茶褐色、周縁部は半透明かつ黄褐色で、鞘翅の前方と後方の縁に黒褐色の大型斑紋がある(図1)。

幼虫は扁平な紡錘形で、周囲体側にトゲ(樹枝)状突起を有し、背面に脱皮殻や糞を背負う。

成虫は、4月～11月頃まで野外で観察されている。

1/2

本種はヒルガオ科植物を食草とし、特にサツマイモとノアサガオを好んで食害する。

6 被害

成虫、幼虫が葉を食害し、直径数mm～10mmほどの円形～不整形の穴を点々と空ける。(図2)。

定植直後などの葉数が少ない生育初期に、食害によって葉がほとんどなくなることもあり、その後の生育に影響を及ぼす場合には、再定植が必要となることもある。

食害は葉に限られており、サツマイモのイモは食害しない。



図1 成虫の形態



図2 食害痕

7 防除対策及び注意事項

(1)サツマイモでは、生育初期に発生が多いと被害が大きくなるので、適期をとらえて防除を行う。

(2)周辺のヒルガオ科雑草は発生源になることがあるので、除去に努める。

(3)防除をする場合は下記の登録農薬を使用する。

商品名	希釈倍数・使用量	使用方法	使用時期	本剤の使用回数
スミチオン乳剤	1000倍	散布	収穫7日前まで	5回以内
コテツフロアブル	2000～4000倍	散布	収穫前日まで	2回以内
アクセルフロアブル	1000～2000倍	散布	収穫前日まで	3回以内
ベネビアOD	4000倍	散布	収穫7日前まで	3回以内

(2019年10月17日現在)

8 問い合わせ先

三重県病害虫防除所

電話番号：0598-42-6365

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

2/2

(4)技術情報

病害虫防除技術情報第1号

令和元年5月13日
三重県病害虫防除所

クワシロカイガラムシの第一世代孵化時期です。

- 対象作物: チャ
- 対象病害虫名: クワシロカイガラムシ
- 発生時期: 平年並(～やや遅)
- 発生状況: やや少
 - 1か月予報(5月9日発表)によると、天気は平年同様晴れの日が多く、平均気温は高い見込みです。
 - 有効積算温度による予測式(5月10日)では、発生時期は平年並(～やや遅)と予想されます(表)。
 - 本年4月の巡回調査圃場では、雌成虫寄生株率4.3%(平年13.4%)と少の状況でした。
 - 一般圃場(4月)では、発生量は平年並でした。
- 防除対策
 - 1)防除適期は幼虫孵化最盛日の2日後から3日程度です。歩行型幼虫が固着して白色のロウ物質に覆われると薬剤の効果が著しく低下します。
 - 2)実際の孵化状況に関する情報や、自圃場の孵化状況をルーペ等で確認して適期に防除しましょう。
 - 3)薬液を十分用意して、樹冠内の枝幹にかかるよう丁寧に散布してください。
 - 4)防除の実施にあたっては、周辺の一番茶未摘採圃へのドリフトに十分注意して行ってください。

表 有効積算温度による第一世代幼虫孵化最盛期予測日
(計算日:5月10日)

年度	地点	予測日	亀山実測	防除適期
2018	亀山	-	5月10日	-
	四日市	5月20日	-	5月22～24日
2019	亀山	5月20日	-	5月22～24日
	粥見	5月20日	-	5月22～24日
平年(10年平均)			5月17日	

※ 第一世代幼虫孵化期に防除できない場合は、第二世代幼虫孵化期に防除を行ってください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第2号

令和元年6月5日
三重県病害虫防除所

茶園においてカンザワハダニが多い状況です。

- 対象作物: チャ
- 対象病害虫名: カンザワハダニ
- 発生状況
 - (1)1か月予報(5月30日発表)によると、平年に比べ曇りや雨の日が少なく、気温は高い予想です。
 - (2)巡回調査圃場(県内18圃場、6月第2週)では、発生圃場率88.9%(平年36.8%)と多、寄生葉率11.1%(平年3.5%)と多、寄生虫数0.36頭/葉(平年0.07頭/葉)と多の状況です。南勢地域での発生が前月から多い状況です。

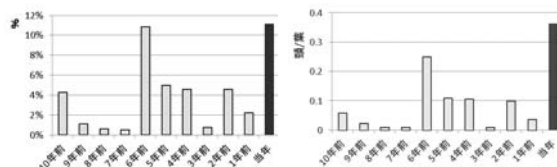


図1 巡回調査圃場における寄生葉率(6月)

図2 巡回調査圃場における寄生虫数(6月)

- 防除対策
 - (1)圃場を確認して、多発状況であれば適宜防除しましょう。
 - (2)葉裏に生息しているため、薬剤は丁寧に散布してください。
 - (3)世代交代が早く、薬剤抵抗性を獲得しやすいため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
 - (4)ケナガカブリダニやハダニアザミウマなどの土着天敵が活動している圃場では、これらに影響の小さい薬剤で防除して下さい。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第3号

令和元年6月7日
三重県病害虫防除所

スクミリンゴガイの発生と被害が増加しています。 浅水管理とあわせて薬剤で防除しましょう。

- 対象作物: 水稻
- 対象病害虫名: スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)
- 発生状況等

近年、スクミリンゴガイによるイネの被害(食害による欠株)が急激に増加しています。県内の被害発生圃場率は地域ごとに異なるものの、毎年増加し令和元年6月現在9.7%(、病害虫防除所巡回調査結果)となっています(表1)。

本年は暖冬傾向で推移したため、スクミリンゴガイの越冬個体数が多いことから、被害の増加が予想されます。

また、移植時期が比較的小さい、飼料用米や業務用米の作付面積拡大に伴い、被害の拡大傾向は今後も続くと考えられます。

- 生態と被害状況
 - (1)柔らかい植物を好んで食べます。イネへの被害は、田植え直後～20日後までのイネが柔らかい時期に集中しています。
 - (2)水温が高い(15～35℃)と活発に活動し、被害が増加する一方、14℃以下では活動を休止します。
 - (3)圃場内の浅水管理ができる部分では被害が少ないですが、水深の深い部分や深水管理の圃場では被害が大きくなります。田面が低い取水口やマクラ周辺は、特に被害が目立ちます。
 - (4)大型の貝ほど食害量は大きく、1cm以下の幼貝は食害しません。
 - (5)水稻収穫後、貝は水田や水路の土の中で越冬します。冬期に耕うんして貝を傷つけたり、寒さにあてておくことで圃場内の貝は減らせますが、水路で越冬した貝は排水口等からほ場に侵入し被害を拡大します。

- 防除対策
 - (1)適期防除に努めましょう

田植え後20日後までは特に注意して、できるだけ5cm以上の深水をさけるとともに、スクミリンゴガイを見つけた場合は、すみやかに薬剤防除を行きましょう。(表2)

特に、水温が高くなる5月中旬以降に田植えの圃場は、貝の発生に注意して適期に防除して

- くさい。
- (2) 用水路からの侵入を防止し、圃場内の貝を減らしましょう。

取水口や排水口からの侵入を防ぐため、水路に卵塊は早めに水面下へ払い落とすことで、水中で卵が孵化できず死滅します。

個人個人での捕殺は、なかなか効果がありません。地域ぐるみでの実施を検討しましょう。また、ほ場の排水口等に目合い5～10mmの網を設置すると侵入を防ぐことができます。

表1 スクミリンゴガイによる被害発生圃場率(H26～R1年の6月調査、三重県病害虫防除所)

地区	調査月日 (令和元年)	調査圃場数	スクミリンゴガイの被害発生率(%)					
			平成26年	27年	28年	29年	30年	令和元年
桑名	6/6	32	0	2.8	3.1	9.4	12.5	9.4
四日市鈴鹿	6/4	48	0	0	4.2	4.2	4.2	4.2
津	6/6	36	0	2.3	5.6	5.6	8.3	11.1
松阪	5/31	36	0	0	8.3	5.6	5.6	27.8
伊勢志摩	6/3,7	40	0	0	0	2.5	2.5	0
伊賀	6/7	28	0	0	0	0	0	0
紀州	5/31	16	0	0	0	25.0	25.0	25.0
県全体		236	0.0	0.6	3.4	5.9	6.8	9.7

注意: 県内の水田のうち、限られた圃場における調査結果のため、参考資料としてください。
(発生圃場率が「0」の地域においても、被害のある圃場があります)

表2 スクミリンゴガイに登録のある薬剤例(令和元年6月5日時点)

薬剤名	有効成分	使用量	使用時期	備考
ジャンボたにしくん スクミン	メタアルデヒド	1～2kg/10a	収穫60日前まで	殺貝剤
スクミンペイトS	燐酸第2鉄	2～4kg/10a	発生時	殺貝剤
パダン4	カルタップ	4kg/10a	収穫30日前まで	食害防止剤

※食害防止剤は貝の活動を抑制して食害を防止するため、殺貝剤を施用する前に使用しないでください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第4号

令和元年 7月5日
三重県病害虫防除所

クワシロカイガラムシ第2世代幼虫を防除しましょう。

- 対象作物： チャ
- 対象病害虫名： クワシロカイガラムシ第2世代幼虫
- 発生状況
有効積算温度による第2世代幼虫孵化最盛予測日（7月4日予測）は、四日市では7月16日（平年7月20日）、亀山市では7月17日（平年7月21日）、松阪市飯南町粥見では7月21日（平年7月24日）と予想されます（表）。
- 防除対策
(1) 孵化最盛日から2日～4日後頃が防除適期です。枝幹につく歩行型幼虫を確認して防除してください。
(2) この時期は土着天敵の活動が盛んになる時期ですので、天敵に影響の小さい薬剤を選択してください。

表 クワシロカイガラムシ第2世代幼虫孵化最盛予測日と防除適期(7月4日予測)

	孵化最盛予測日	平年比(日)	防除適期
四日市	7月16日	-4	7月18～20日
亀山	7月17日	-4	7月19～21日
粥見	7月21日	-3	7月23～25日

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

- 防除上注意すべき事項
(1) Qol 剤耐性イネいもち病菌の発生が確認されているので、Qol 剤は同一作期内の連用を避けましょう。
(2) 防除に当たっては、農薬使用基準(使用時期、使用回数)を守りましょう。
(3) 今後の感染好適日の状況については、三重県病害虫防除所のホームページ (<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>) を参照してください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第5号

令和元年 7月12日
三重県病害虫防除所

水稲いもち病の感染好適日が続いています。

葉いもちの発生状況を確認し、適期防除を徹底してください。

- 対象作物 水稲
- 対象病害虫名 いもち病
- 発生状況
6月下旬から、葉いもちの感染好適日(表1)が続き、県内各地で葉いもちが発生しています。圃場を確認して葉いもちの発生状況を把握するとともに、適期防除を徹底してください。
特に、いもち病に弱い品種や、窒素肥料の施用量が過多であるほ場では今後、穂いもちの発生予防を徹底しましょう。

表1 B L A S T A M (アメダスデータ利用) による、いもち病感染好適日の予測結果

令和元年	桑名	四日市	亀山	上野	津	小浜	伊賀	鳥羽	紀伊長島	尾鷲	熊野	新宮
6/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

- : 葉面の湿潤時間中の平均気温が15～25℃であり、湿潤時間が十分に、当日を含めてその日以前5日間の日平均気温の平均値が20～25℃の範囲
- △: 湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が20℃未満
- ▲: 湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が25℃以上
- : 湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤期間中の平均気温が15～20℃の範囲外
- ◎: 湿潤時間が、湿潤期間中の平均気温ごとに必要な時間数より短い。
- : 上記のいずれにも該当しない場合

- 防除対策
(1) 出穂始め～穂揃期に穂いもちへの感染を防ぐため、薬剤を散布しましょう。
(2) 多発時は、使用時期に注意して追加防除を行いましょう。

病害虫防除技術情報第6号

令和元年 7月26日
三重県病害虫防除所

三重県内でクビアカツヤカミキリの発生が確認されました。

三重県北部のサクラの木でクビアカツヤカミキリの成虫が発見されたことが、三重県みどり共生推進課より7月24日付けで県ホームページにて公開されました。
特定外来生物であるクビアカツヤカミキリが県内で確認されたのは初めてで、7月22日までに雌雄あわせて計16頭が確認されています。現在のところ県内の果樹園での発生は確認されていませんが、発生の拡大が懸念されますので警戒をお願いします。

- 対象作物： モモ、ウメ、スモモ、カキ等
- 対象病害虫名： クビアカツヤカミキリ
- 国内での発生状況
国内では平成24年に愛知県海部地域で初めて発見されて以来、東京都、栃木県、群馬県、埼玉県、愛知県、大阪府、奈良県、徳島県で発生が確認されています。
発生地では公園等のサクラで枯死する被害、また空き家の庭など放任のウメで被害が大きい傾向があります。また、一部の府県では果樹園のモモ、スモモ、ウメなどで被害が出ています。
- 本種の特徴
(1) 成虫は全体に光沢のある黒色で、赤い胸部が特徴です。また、体長は2.5～4cmで、長い触角(雌に比べ雄の触角が特に長い)が特徴です。
(2) 幼虫が果樹の樹木の内部を摂食し、2～3年かけて成長し蛹を経て、6月中旬～8月上旬に成虫となり樹木の外へ出ます。
(3) 幼虫が入り込んだ樹木からは、ひき肉状につながったフラス(糞と木くず)が排出されます。クビアカツヤカミキリに被害された樹木は内部が空洞となり、樹勢が低下して枯死する傾向があります。



ひき肉状のフラス

雄成虫

(写真提供 徳島県)

5. 防除対策

- 成虫を発見した場合は、直ちに捕殺してください。**特定外来生物法により、生きたまま持**

も選ぶことは違法とされています。

- 被害樹は、株元から1~2m程度の高さまで4mm目合いのネットを巻き付けて、羽化した成虫が分散するのを防ぎます。この際、樹木とネットを密着させると食い破ってしまうため、ある程度余裕を持たせて巻いてください。
- 樹木の被害が小さい場合は、薬剤を食入孔から樹幹に注入して樹木内部の幼虫を駆除します。駆除が遅れ幼虫が成長すると効果が劣ります。針金などで食入孔からフラスをかき出し(薬剤を樹木の内部まで浸透させるため)、食入孔にノズルを差し込んで薬剤を噴射してください。また被害が大きい樹木の付近の樹木を重点的に防除すると効果的です。
- 被害が大きい樹木の場合、樹木内の幼虫を完全に駆除することが困難なため伐採します。伐採後も幼虫は木の中で生き続けるため、伐採した材は速やかに粉砕のうえ焼却してください。
- 薬剤のうち散布剤は、成虫の駆除を目的とする殺虫剤です。成虫が活動する6~8月に、登録内容に従い、樹冠全面または樹幹部に散布してください。
- 栽培園地内で上記の被害等を見つけた場合には、直ちに病害虫防除所(0598-42-6365)までご連絡ください。

病害虫防除技術情報第7号

令和元年7月26日
三重県病害虫防除所

**コブノメイガの飛来・発生が確認されています。
普通期水稲では、発生状況に応じて防除してください。**

- 対象作物 普通期水稲(9月下旬~10月収穫予定)
- 対象病害虫名 コブノメイガ
- 発生状況
 - JPP-NETの飛来予測によると、飛来日は6月7~8日及び6月15~16日と予測されます。
 - 早期水稲では、発生圃場率は3.4%(平年2.5%)とやや多の状態です(7月第1半旬調査)。
 - 普通期水稲では、発生圃場率は25.6%(7月第5半旬調査)、被害株率は3.3%であり、圃場や地域によっては、次の世代が増殖し被害が発生する恐れがあります。
 - このうち、紀北町における調査圃場(7月25日)では、蛹と多くの第1世代成虫を確認しました。また、他の調査地でも、老齢幼虫が確認できたことから、県内への飛来は6月15~16日が中心と推測されます。
- 生態と被害
 - 本州では越冬できませんが、成虫が6月以降に飛来します。
 - 雌1頭につき平均1,000個を産卵し、約5日で孵化します。
 - 幼虫期間は約20日、イネの葉身を縦に巻いて糸でとめた「つと状」の巣をつくり、内側から摂食します。
 - 若齢幼虫は巻かれた葉に数頭、老齢幼虫は1葉に1頭のみ寄生します。平年は、1か月あまりで世代を経過します。
 - 幼虫の発生密度が高いとイネの光合成能力が低下します。特に8月中下旬に出穂期を迎える普通期水稲で被害が大きく、止葉の被害葉率が20~30%で10%の減収になることがあります。
- 防除対策
 - 防除適期は幼虫の孵化揃い期です。幼虫が若齢のうちの防除が効果的です。

有効成分名(薬剤名)	作物名	希釈倍数	取種前使用日数	使用回数	散布液量
ジフルベンゾリン25%水和剤(アクトセルフロアブル)	うめ	1000倍	前日まで	3回以内	200~700L/10a
ジフルベンゾリン10%水溶液(アクトラ顆粒水溶液)	もも	2000倍	前日まで	3回以内	200~700L/10a
	ネクタリン				
	おうとう	2000倍	前日まで	2回以内	200~700L/10a
	小粒核果類	2000倍	7日前まで	2回以内	200~700L/10a
DMTP30%乳剤※(スプラサイドM)	もも	200倍	60日前まで	2回以内	100~180L/10a
DMTP36%水和剤(スプラサイド水和剤)	うめ	1500倍	14日前まで	2回以内	200~700L/10a
	もも	1500倍	21日前まで	2回以内	200~700L/10a
	すもも	1500倍	14日前まで	2回以内	200~700L/10a
シテニアロウ4.5%液剤(デッパン液剤)	もも	2000倍	前日まで	2回以内	200~700L/10a
	すもも	2000倍	前日まで	2回以内	200~700L/10a
アピマリッド20%水溶液(モスピラン顆粒水溶液)	小粒核果類	2000倍	前日まで	3回以内	200~700L/10a
	もも	2000倍	前日まで	3回以内	200~700L/10a

※樹幹部及び支柱に散布

有効成分名(薬剤名)	作物名	希釈液量	使用方法	取種前使用日数	使用回数	使用量
フェンプロパトリン0.020%(ロビンフッド)	うめ	—	樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射	前日まで	5回以内	—
	もも					
	かき					
カチンネーゼ47水和剤(バイオセーフ)	うめ	25L	木層排出孔を中心に薬剤が滴るまで樹幹注入	(使用時期) 幼虫発生期	—	2500万頭(約10g)
	もも					

農薬に関する情報は、令和元年7月1日現在の登録内容に基づいて記載しています。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

- 現地調査及び発生予測から、孵化揃い期は8月第1旬と推測されます。
- 成虫の飛来や幼虫の密度は圃場ごとに異なるので、必ず発生状況を確認してください。
- 特に、これまで激しく被害された圃場では、防除が必要となります。また、コブノメイガは、葉色が濃いイネに被害が集中する傾向があるため、コシヒカリ等の早期栽培水稲に比べ、葉色が濃い普通期水稲では、コブノメイガの発生に注意してください。

6. 防除上注意すべき事項

- 薬剤防除を行う際は、早期水稲などの周辺作物の栽培状況に留意し、周辺へのドリフト防除に努めましょう。
- 防除に当たっては、農薬使用基準(使用時期、使用回数等)を守りましょう。

表1 コブノメイガの発生圃場率の推移(7月第1半旬に早期水稲で調査)

調査年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
発生圃場率(%)	0.0	21.9	1.3	0.3	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4

年月日	6月				7月				8月				9月			
	発生	発生	発生	発生	発生	発生	発生	発生	発生	発生	発生	発生	発生	発生	発生	
6月1日																
6月15日																
6月15日																
6月15日																

図1 飛来予測及び有効積算温度に基づくコブノメイガの発生予測(令和元年7月25日作成) コブノメイガの飛来予測から、JPP-NETの有効積算温度計算シミュレーションを用いて算出

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第8号

令和元年9月20日
三重県病害虫防除所

**トビイロウンカの発生量が増加しています。
普通期水稲では、坪枯れの発生に注意してください。**

- 対象作物 普通期水稲
- 対象病害虫名 トビイロウンカ
- 発生状況
 - 予察灯(60w白熱灯、水田位置)で5月第1半旬から8月第6半旬にかけて、松阪市で3頭(平年0.2頭)、紀北町で5頭(平年0頭)、御浜町で11頭(平年0.9頭)のトビイロウンカが誘殺されました。
 - 9月19日、津市内の水田において、坪枯れした水稲でトビイロウンカを確認しました。
 - 名古屋地方気象台9月19日発表の1か月予報では気温が高く、特に期間前半はかなり高くなると予報されており、今後も本種の発生に好適な条件が続くと予測されます。
- 防除対策
 - 収穫期が迫り、薬剤防除ができない水田は、収穫適期の範囲で早めに収穫してください。
 - 早期落水は坪枯れの発生を助長するので、適期落水に努めてください。
 - 薬剤防除を行う場合は、収穫期に近い時期となるため、特に使用時期(収穫前日数)等の使用基準に注意してください。
 - 本種は株元に生息するので、薬剤を散布する場合は株元に十分かかるよう散布してください。
 - 薬剤の使用にあたっては、散布は無風又は風が弱い時に行うなど、近隣に影響が少ない天候や時間帯を選び、風向き、防除器具のノズルの向きにも十分注意するとともに、隣接圃場の農作物の栽培者に対して、薬剤の種類や散布時期等を事前に連絡するなど、薬剤の飛散(ドリフト)に留意してください。

農薬(薬剤)はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

茶園においてクワシロカイガラムシが多い状況です。

- 1 対象作物: チャ
- 2 対象病害虫名: クワシロカイガラムシ
- 3 発生状況

今年の雄繭寄生株率は低く経過していましたが、秋期に高くなっています。
巡回調査圃場(県内18圃場、10月第2週)では、雄繭寄生株率24.0%(平年9.5%)と多、雌寄生株率5.4%(平年3.1%)と多の状況です。

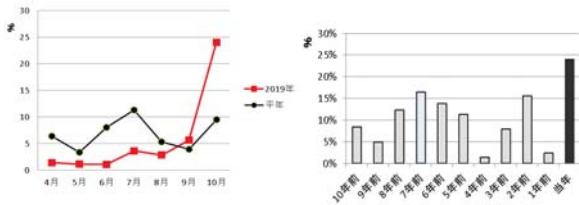


図1 巡回調査圃場におけるクワシロカイガラムシ雄繭寄生株率

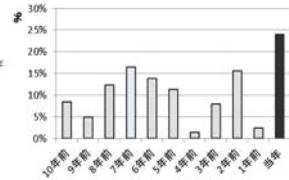


図2 巡回調査圃場におけるクワシロカイガラムシの雄繭寄生株率(10月第2週)年次推移

- 4 防除対策
 - (1) 圃場を確認して、多発状況であれば防除を行います。
 - (2) ビリプロキシフェンマイクロカプセル剤(商品名 プルートMC)は、成虫越冬休眠期に散布します。本剤は葉に対して強毒性を示すため、メーカーおよび販売店の指示に従ってください。
 - (3) 希釈倍数、散布液量、使用時期を遵守し、薬剤が枝幹に充分かかるよう丁寧に散布してください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

- 5 防除上注意すべき事項
 - (1) 耕起する時期が早いと、寒くなる前に地表面の貝を土中に埋め込み効果が低下します。
 - (2) また、時期が遅いと温度が上昇し効果が低下します。低温が予想されるうちに耕起しましょう。
- 6 その他

詳しい防除対策について、三重県病害虫防除所のホームページ
http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/59482007443_00002.htmを参考にしてください。

キーワード、**三重県**、**スクミリンゴガイ対策** で簡単に検索できます。

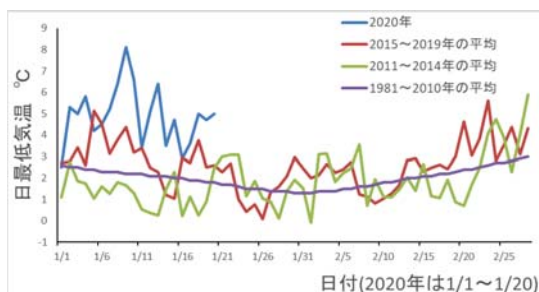


図1 年別の日最低気温(津市、1月~2月)

- 6 問い合わせ先

三重県病害虫防除所 電話番号: 0598-42-6365

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

**暖冬により、多くのスクミリンゴガイの越冬が予想されます。
圃場を耕起して低温にさらし、貝を破碎して防除しましょう。
厳冬期が適期です。また、土が乾いて固く、破碎しやすくなります。**

- 1 対象作物 水稲
- 2 対象病害虫名 スクミリンゴガイ

3 発生状況
令和元年産水稲は、スクミリンゴガイによる被害(食害による欠株)が急激に増加しました。低温に弱いスクミリンゴガイは、冬季の低温と田起こし(耕起)により、越冬中にその多くが凍死しますが、昨年以前に比較して本年は気温が高く(図1)、越冬した貝による移植直後の食害増加が予想されます。
さらに、今後1か月は気温の高い確率が70%(1か月予報、令和2年1月16日、名古屋気象台発表)と暖冬年になる予報です。そのため、寒さに弱いスクミリンゴガイの越冬率が高くなり、令和2年産水稲の被害の増加が予想されます。

- 4 防除対策
 - (1) 耕起による貝の破碎
本田でスクミリンゴガイは田面のヒビの中やわらの下にもぐりこんで、深さ0~5cmの浅い土の中で越冬します。水田の土が乾いて固くなる厳冬期に、①ロータリの尾輪を下げて耕起を浅くし、②回転数を上げ、③速度はゆっくり運転して耕起しましょう。
 - (2) 貝を掘り出して寒さにさらす
乾燥に強く、水がなくても半年以上生きますが、寒さに弱く3℃でほとんどの貝が2日で死滅するとされています。そこで、耕起して貝を掘り出し、厳冬期の寒さにあてて越冬率を低下させましょう。
 - (3) 本田以外の越冬場所の管理
水の中は温度が下がらず越冬しやすくなります。特に、取水口を通して本田に侵入の恐れがある用水路では、貝の除去や泥あげを集落ぐるみで実施しましょう。

IV 事業関係の試験成績

1. 診断対策

(1) 灰色かび病菌に対する殺菌剤感受性検定

2019年度調査結果
三重県農業研究所農産物安全安心研究課
採取作物 トマト、イチゴ、ナス、キュウリ

FRAC コード	農薬名	検定結果	検定方法	防除効果	備考
2	イプロジオン剤 (ジカルボキシイミド系)	中程度耐性菌 18.9% 感受性菌 81.1%	5ppmの薬剤を添加したPDA培地に、供試菌株の菌そう面を下にして置床し、20°C48時間培養後に菌そう生育があれば中程度耐性菌、無処理比80%以上の菌そう生育があれば高度耐性菌として判定した。	感受性菌が多いものの中程度耐性菌が検出されたので、防除には注意が必要である。	
12	フルジオキシニル剤 (フェニルピロール系)	感受性低下菌 0.6% 感受性菌率 98.8% 再検定 0.6%	0.2ppmの薬剤を添加したPDA培地に、供試菌株の菌そう面を下にして置床し、25°C48時間培養後に菌そう生育の有無により判定した。生育が認められた菌株について、生物検定を行い、実用濃度での病斑抑制率が60%未満の菌株を耐性菌、1/10濃度での病斑抑制率が60%未満の菌株を感受性低下菌として判定した。	わずかに感受性低下菌が検出されたが即座に防除効果への影響はないと考えられる。	
11	アゾキシストロビン剤 (QoI-殺菌剤)	耐性菌 47.7% 感受性菌 52.3%	100ppmの薬剤とSHAM1mMを添加したPDA培地に、供試菌株の菌そう面を下にして置床し、20°C72時間培養後の菌系生育抑制率80%未満の菌株を耐性菌として判定した。	耐性菌が高頻度で検出されたので、防除には注意が必要である。	
11	ピリベンカルブ剤 (QoI-殺菌剤)	耐性菌 2.8% 弱耐性菌 41.5% 感受性菌 55.7%	アゾキシストロビン剤耐性菌であり、かつピリベンカルブ100ppmとSHAM1mMを添加したPDA培地に、供試菌株の菌そう面を下にして置床し、20°C72時間培養後の菌系生育抑制率80%未満の菌株について生物検定を行った。実用濃度で病斑抑制率が60%未満を耐性菌、アゾキシストロビンの菌系生育抑制率50%未満を弱耐性菌とした。	耐性菌、弱耐性菌が高頻度で検出されたことから、防除には注意が必要である。	10地域48地点における 果実・茎・葉の標微部から分離した180菌株の 検定結果
9	メバニピリム剤 (アニリニピリミジン系)	耐性菌 6.6% 感受性菌 90.6% 再検定 2.8%	3ppmの薬剤を添加したFGA培地に、供試菌株の胞子懸濁液を含ませたペーパーディスクを置床し、20°C4日間培養後に菌そう生育がある菌株について生物検定を行った。実用濃度で病斑抑制率が60%未満の菌株を耐性菌と判定した。	耐性菌が確認されたことから注意が必要であるが、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行えば、防除効果は期待できると考えられる。	
17	フェンヘキサミド剤 (ヒドロキシアニリド系)	耐性菌 8.8% 感受性菌 90.6% 再検定 0.6%	1ppmの薬剤を添加したFGA培地に、供試菌株の胞子懸濁液を含ませたペーパーディスクを置床し、20°C4日間培養後に菌そう生育がある菌株について生物検定を行った。実用濃度で病斑抑制率が60%未満の菌株を耐性菌と判定した。	耐性菌が確認されたことから注意が必要であるが、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行えば、防除効果は期待できると考えられる。	
7	ベンチオピラド剤 (SDHI系)	耐性菌 13.4% 感受性菌 86.0% 再検定 0.6%	1ppmの薬剤を添加したYBA培地に、供試菌株の胞子懸濁液を含ませたペーパーディスクを置床し、20°C7日間培養後に菌そう生育がある菌株について生物検定を行った。実用濃度で病斑抑制率が60%未満の菌株を耐性菌と判定した。	耐性菌が確認されたことから注意が必要であるが、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行えば、防除効果は期待できると考えられる。	
	ピラジフルミド剤 (SDHI系)	耐性菌 0.6% 感受性菌 98.3% 再検定 1.1%		わずかに耐性菌が確認されたが、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行えば、防除効果は期待できると考えられる。	
防除対策 前提条件			①換気、暖房、循環扇等を利用し、湿度を高めないことで、感染に適した環境にしない ②着果後の花卉の除去、わき芽かきの傷跡を大きくしない、葉先枯れする管理をしない等、感染場所をつくらない ③被害茎葉や果実を施設外に出すことで、施設内の伝染源を徹底除去する(多発後困難、初発前に行なう)		
薬剤防除			①耐性菌の確認されていない薬剤を使用する ②耐性菌の出現を避けるため、薬剤の選定にあたっては、系統の異なるものをローテーション散布する ③灰色かび病の発生前から予防的に散布する ④初発がみられたら直ちに散布する ⑤葉かび、すすかび病発生の予測される場合は、葉かび、すすかび病に登録のある薬剤を散布する ⑥生物農薬(バチルスズブチリス)のダクト散布は発病予防を期待するものであり、発病時は化学農薬を散布する		

野菜類灰色かび病菌に対する各種殺菌剤の感受性検定 2019年度試験結果

農業研究所 農産物安全安心研究課

表 1 地域毎の感受性検定の結果 (2019)

FRAC コード	供試薬剤	判定	木曽岬	長島	いなべ	四日市	鈴鹿	津	松阪	伊勢	伊賀	紀州	全体	2018年	
2	イプロジオン剤	MR	6.8%	2.6%	0%	0%	50.0%	100%	40.0%	17.6%	0%	66.7%	18.9%	30.2%	
		S	93.2%	97.4%	100%	100%	50.0%	0%	60.0%	82.4%	100%	33.3%	81.1%	69.8%	
検定菌株数			44	39	12	8	8	1	35	17	4	12	180	163	
12	フルジオキシニル剤	LS	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	6.3%	0%	0%	0.6%	3.7%	
		再	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	6.3%	0%	0%	0.6%	0.6%
		S	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	87.4%	100%	100%	98.8%	95.7%
検定菌株数			44	39	12	8	8	1	35	17	4	12	180	164	
11	アゾキシストロピン剤	R	41.9%	43.2%	58.3%	0%	75.0%	100%	57.1%	68.8%	25.0%	33.3%	47.7%	73.6%	
		S	58.1%	56.8%	41.7%	100%	25.0%	0%	42.9%	31.2%	75.0%	66.7%	52.3%	26.4%	
	ピリベンカルブ剤	R	2.3%	8.1%	0%	0%	0%	0%	0.0%	6.3%	0%	0%	2.8%	6.7%	
		WR	32.6%	29.7%	58.3%	0%	75.0%	100%	54.3%	62.5%	25.0%	33.3%	41.5%	50.6%	
		再検定	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0.6%	
	検定菌株数			44	39	12	8	8	1	35	17	4	12	180	163
	9	メバニピリム剤	R	0%	0%	8.3%	0%	0%	0%	17.1%	5.9%	0%	33.3%	6.6%	14.6%
再検定			0%	2.6%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	23.5%	0%	0%	2.8%	0.6%
S			100%	97.4%	91.7%	100%	100%	100%	82.9%	70.6%	100%	66.7%	90.6%	84.8%	
17	フェンヘキサミド剤	R	2.3%	0%	8.3%	62.5%	0%	0%	14.3%	17.6%	0%	8.3%	8.8%	9.8%	
		再検定	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	5.9%	0%	0%	0.6%	0.0%
		S	97.7%	100%	91.7%	37.5%	100%	100%	85.7%	76.5%	100%	91.7%	90.6%	90.2%	
7	ベンチオピラド剤	R	18.2%	12.8%	0%	0%	50.0%	100%	0%	6.3%	25.0%	33.3%	13.4%	14.0%	
		再検定	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	6.3%	0%	0%	0.6%	2.5%
	検定菌株数			44	39	12	8	8	1	35	17	4	12	180	164
	ピラジフルミド剤	S	81.8%	87.2%	100%	100%	50.0%	0.0%	100%	87.5%	75.0%	66.7%	86.0%	83.5%	
		R	0%	0%	0%	0%	0%	100%	0%	0.0%	0%	0%	0.6%	-	
再検定		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	12.5%	0%	0%	1.1%	-	
検定菌株数			44	39	12	8	8	1	35	17	4	12	180	164	

※R: 耐性菌 MR: 中程度耐性菌 WR: 弱耐性菌 LS: 感受性低下菌 S: 感受性菌

R、MRは防除効果が劣る恐れあり、WR、LSは実用上問題ないが今後注意が必要、Sは問題なし

※再検定: 薬剤添加培地で生育したが、生物検定で感受性程度の判定ができなかった菌(感受性低下の可能性あり)

表2 作目毎の感受性検定の結果 (2019)

FRAC コード	供試薬剤	判定	トマト	イチゴ	ナス	キュウリ	全体	2018年
2	イブプロジオン剤	MR	15.7%	26.8%	0%	100%	18.9%	30.2%
		S	84.3%	73.2%	100%	0%	81.1%	69.8%
検定菌株数			115	56	8	1	180	163
12	フルジオキシニル剤	LS	0.9%	1.8%	0%	0%	0.6%	3.7%
		再	0.9%	1.8%	0%	0%	0.6%	0.6%
		S	98.2%	96.4%	100%	100%	98.8%	95.7%
検定菌株数			115	56	8	1	180	164
11	アゾキシストロピン剤	R	47.3%	50.9%	25.0%	100%	47.7%	73.6%
		S	52.7%	49.1%	75.0%	0%	52.3%	26.4%
	ピリベンカルブ剤	R	3.6%	1.8%	0%	0%	2.8%	6.7%
		WR	39.3%	47.3%	25.0%	100%	41.5%	50.6%
		再検定	0%	0.0%	0%	0%	0%	0.6%
S	57.1%	50.9%	75.0%	0%	55.7%	42.1%		
検定菌株数			115	56	8	1	180	163
9	メバニピリム剤	R	3.4%	14.3%	0%	0%	6.7%	14.6%
		再検定	2.6%	5.3%	0%	0%	2.7%	0.6%
		S	94.0%	80.4%	100%	100%	90.6%	84.8%
17	フェンヘキサミド剤	R	1.7%	23.2%	12.5%	0%	8.9%	9.8%
		再検定	0%	1.8%	0%	0%	0.5%	
		S	98.3%	75.0%	87.5%	100%	90.6%	90.2%
7	ペンチオピラド剤	R	16.5%	3.6%	25.0%	100%	13.4%	14.0%
		再検定	0%	3.6%	0%	0%	0.6%	2.5%
		S	83.5%	92.8%	75.0%	0%	86.0%	83.5%
	ピラジフルミド剤	R	0%	0%	0%	100%	0.6%	-
		再検定	0%	5.4%	0%	0%	1.1%	-
S	100%	94.6%	100%	0%	98.3%	-		
検定菌株数			115	56	8	1	180	164

※R：耐性菌 MR：中程度耐性菌 WR：弱耐性菌 LS：感受性低下菌 S：感受性菌

R、MRは防除効果が劣る恐れあり、WR、LSは実用上問題ないが今後注意が必要、Sは問題なし

※再検定：薬剤添加培地で生育したが、生物検定で感受性程度の判定ができなかった菌(感受性低下の可能性あり)

(2)ミカンハダニの薬剤感受性検定

担 当:三重県農業研究所紀南果樹研究室

ミカンハダニ雌成虫の薬剤感受性

供試薬剤名	一般名	希釈倍率	補正死虫率 (%)
			紀南果樹
スターマイトプラスフロアブル	シエノピラフェン・ピリダベン水和剤	× 1,000	72
カネマイトフロアブル	アセキノシル水和剤	× 1,000	72
バロックフロアブル	エトキサゾール水和剤	× 2,000	49
ダニゲッターフロアブル	スピロメシフェン水和剤	× 2,000	18.4
マイトコーネフロアブル	ビフェナゼート水和剤	× 1,000	48
ダニコングフロアブル	ピフルブミド水和剤	× 2,000	78
オマイト水和剤	B P P S 水和剤	× 750	96
ニッソラン水和剤	ヘキシチアゾクス水和剤	× 2,000	26
コロマイト水和剤	ミルベメクチン水和剤	× 2,000	100
サンマイト水和剤	ピリダベン水和剤	× 2,000	70

ミカンハダニ卵の薬剤感受性

供試薬剤名	一般名	希釈倍率	補正死卵率 (%)
			紀南果樹
スターマイトプラスフロアブル	シエノピラフェン・ピリダベン水和剤	× 1,000	100
カネマイトフロアブル	アセキノシル水和剤	× 1,000	100
バロックフロアブル	エトキサゾール水和剤	× 2,000	86
ダニゲッターフロアブル	スピロメシフェン水和剤	× 2,000	100
マイトコーネフロアブル	ビフェナゼート水和剤	× 1,000	0
ダニコングフロアブル	ピフルブミド水和剤	× 2,000	100
オマイト水和剤	B P P S 水和剤	× 750	75
ニッソラン水和剤	ヘキシチアゾクス水和剤	× 2,000	0
コロマイト水和剤	ミルベメクチン水和剤	× 2,000	0
サンマイト水和剤	ピリダベン水和剤	× 2,000	0

※補正死虫率 = (蒸留水区の生存虫率 - 処理区の生存虫率) / 蒸留水区の生存虫率 × 100

補正死卵率 = (蒸留水区のふ化卵率 - 処理区のふ化卵率) / 蒸留水区のふ化卵率 × 100

※調査日

<紀南果樹研究室場内>

雌成虫試験;9/5 採取および処理(判定は処理 48 時間後)

殺卵試験;9/9 採取、9/10 処理(判定は処理 7 日後)

<試験方法概要>

サンプル採取場所	紀南果樹研究室圃場 8号圃(ネーブルオレンジ、慣行)
方 法	<p>成虫感受性</p> <p>寒天培地の上に、約3cm角に切ったカンキツの葉(無防除区)を乗せ、周囲に逃亡防止の蒸留水を薄く撒いた。そこに、採取した雌成虫を約20頭接種して薬剤を散布し、25℃、16時間明期・8時間暗期(高温長日条件)で飼育した。24、48時間後に生存・苦悶・死亡虫数を調査した。</p> <p>卵感受性</p> <p>成虫感受性試験と同様にディスクを作り、採取した雌成虫を約20匹接種して25℃・16時間明記条件で飼育し産卵させた。24時間後に雌成虫を取り除いて薬剤を散布し、同様の条件下で飼育した。7日後に幼虫数と死卵数を調査した。</p>

V 農薬の指導に関する業務

1. 農薬危害防止対策

農薬の適正な使用を促すとともに使用に係る事故を防止するため、農薬危害防止運動の実施と農薬取締法に基づきゴルフ場等農薬使用者に対して農薬安全使用パトロール等を実施し、農薬の適正使用と使用簿、施錠、保管管理の徹底等について指導した。

農薬取扱業者に対しては、農薬管理指導士の育成と資質向上を図るため、農薬管理指導士特別研修会を開催し農薬を取り巻く法律、情勢、安全使用の基本的事項について解説した。また、県内外農薬関係者、農業者等を対象として、植物防疫技術研修会を開催し三重県農業における病害虫発生に関するトピックスを講演し、農薬使用を含めた効率防除について啓発を行った。

農薬の危害防止、農薬使用の適正指導、総合防除の推進を図るため、正確かつ適正な情報を、農薬使用の指導者向けに提供するため、指導機関向けに「三重県病害虫防除の手引き」を作成配布提供した。農水省植物防疫課、日本植物防疫協会から提供される使用制限のある変更登録情報は、電子メール、FAXにより県内の農薬流通業者へ提供するとともに、県庁内関係者には、病害虫防除所イントラネットホームページに掲載し、最新の登録情報とともに情報共有を図った。

(1) 農薬危害防止運動の実施

①実施期間 令和元年 6月1日～8月31日までの3か月間

②実施内容 「三重県農薬適正使用啓発強化運動」として、各市町等の関係機関に「農薬の適正使用」についてのパンフレット等を配布し、本運動の啓発宣伝を行った。農薬取扱者へは農薬の保管管理方法及びポジティブリスト制度に伴う危被害防止について、研修会、講習会で啓発した。

(2) 農薬安全使用講習会の開催状況

項目	時期 開催場所	内容	対象者
農薬安全使用等講習会	令和元年 11/26 津市	本年度の病害虫発生概況について	農薬販売者等
農薬管理指導士 特別研修(新規)	令和元年 11/18～19 松阪市	関係法令、農薬安全使用、危害防止等	農薬販売者、農薬使用者、 農薬管理責任者
植物防疫技術研修会	令和2年 1/31 松阪市	スクミリンゴガイの発生状況と耕種的防除について スクミリンゴガイの薬剤防除について 三重県におけるクビアカツヤカミキリの発生状況 クビアカツヤカミキリの生態および今後の防除対策	病害虫防除員等

(3) ゴルフ場の調査点検実施状況

ゴルフ場の維持管理に関する指導要綱及びゴルフ場の調査・点検パトロール実施要領に基づき、下記ゴルフ場における農薬使用状況や保管管理状況等について、調査・点検を行った。

調査・点検年月日	ゴルフ場名	所在地
令和元年11月20日	伊勢中川カントリークラブ CRC 白山ヴィレッジゴルフコース CRC 三重白山ゴルフコース 名松ゴルフクラブ	津市一志町井生 1743-2 津市白山町川口 6262 津市白山町川口 4979 津市一志町波瀬 5992-2
令和元年11月21日	バードウイングカントリークラブ ジャパクラシックカントリー倶楽部 名阪チサンカントリークラブ 阿山カントリー倶楽部	伊賀市槇山 1321 伊賀市槇山下田 17-1 伊賀市田中 1029 伊賀市円徳院 1636
令和元年11月27日	松阪カントリークラブ 西日本セブンスリーカントリー倶楽部 エクセレントクラブ一志温泉コース ORC 三重フェニックスゴルフコース	松阪市下村町 2160 松阪市嬉野島田町 1242-1 津市一志町波瀬字長谷 581 松阪市嬉野滝ノ川町 354

(調査・点検項目)

- 1.帳簿(作業日報、農薬台帳等)の整理状況
- 2.農薬の使用状況
- 3.危害防止対策、
- 4.病虫害雑草安全防除指針の遵守状況
- 5.農薬の保管管理の状況

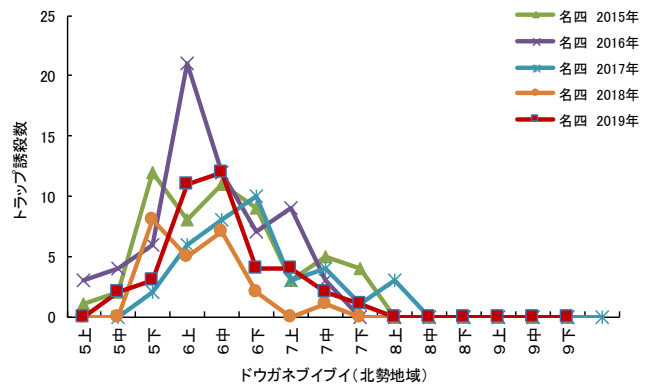
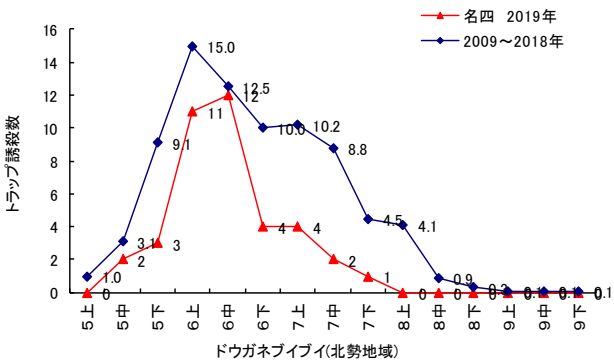
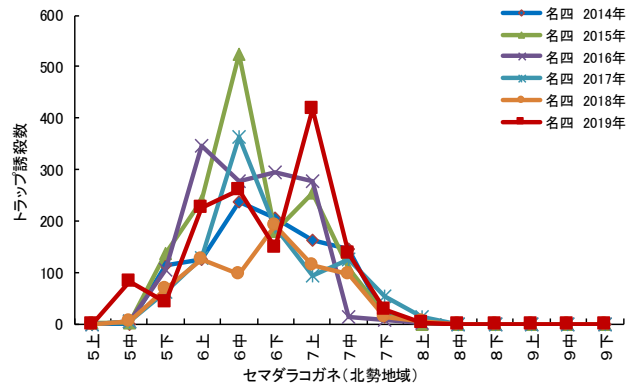
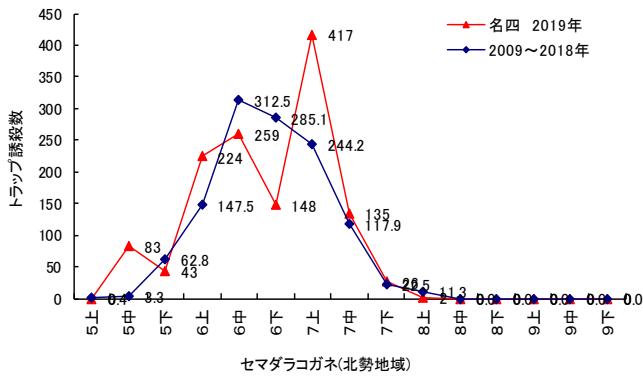
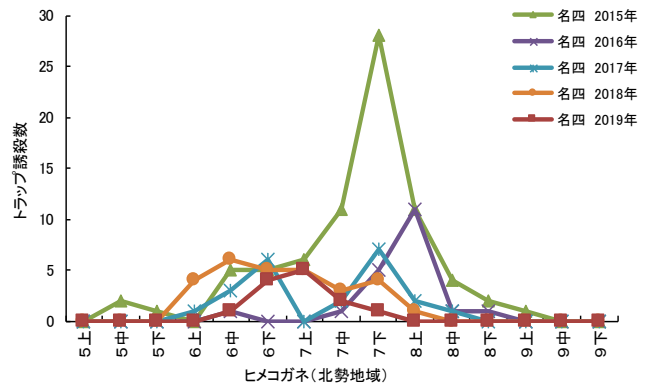
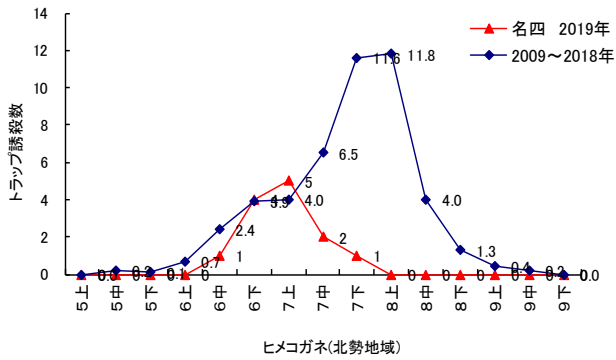
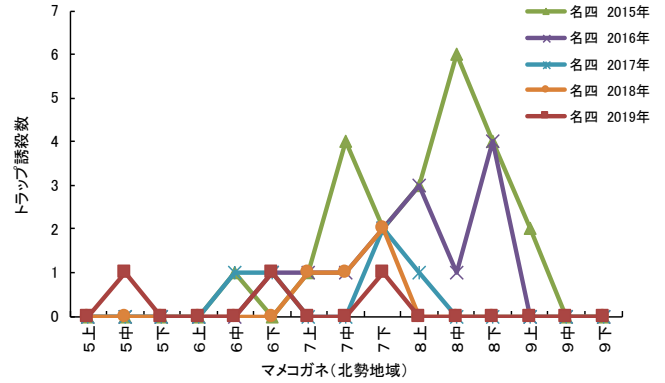
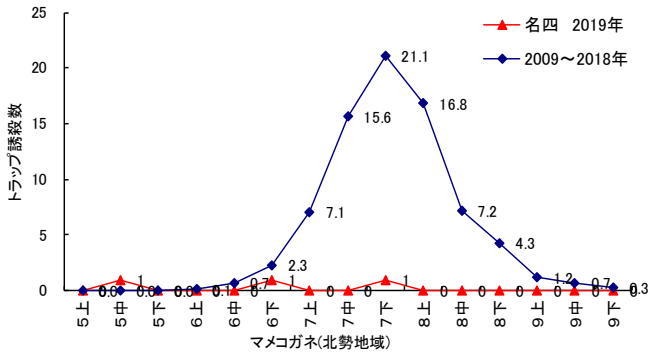
(調査・点検結果の概要)

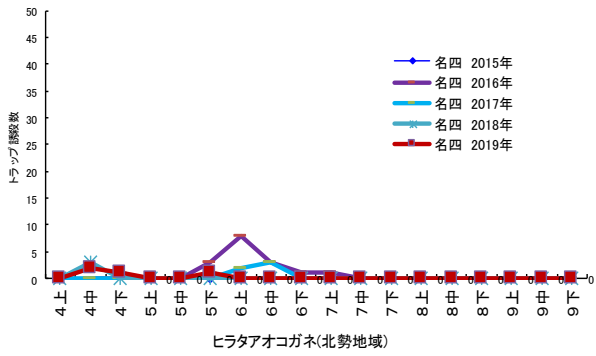
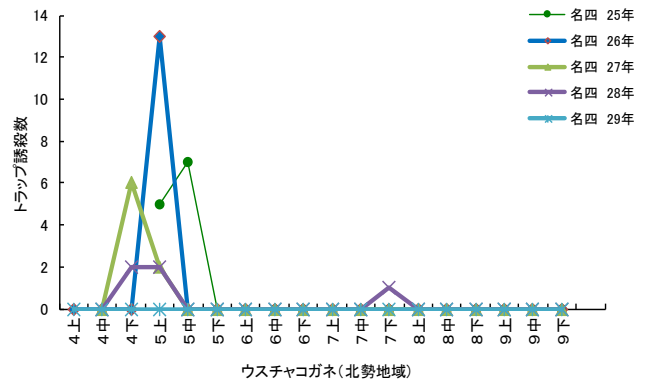
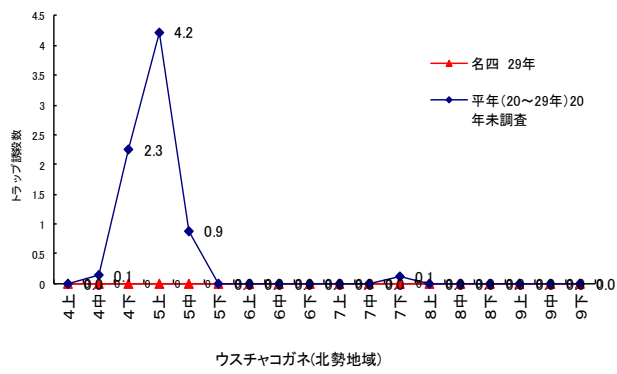
農薬台帳の在庫量と実際の在庫量が違うゴルフ場があり、記帳間違いしないようあるいは在庫確認を正確に行うよう指示した。指針外農薬をあらかじめ県に申請せずに使用した事例があったので、あらかじめ県に届出るよう指示した。その他の項目については、概ね適正に管理されていた。

(4) ゴルフ場におけるコガネムシ類発生状況

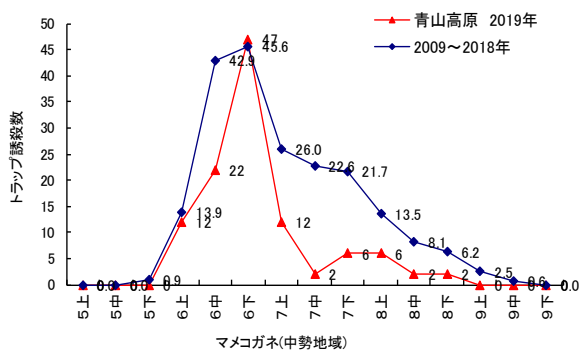
北勢地域

名四カントリークラブ

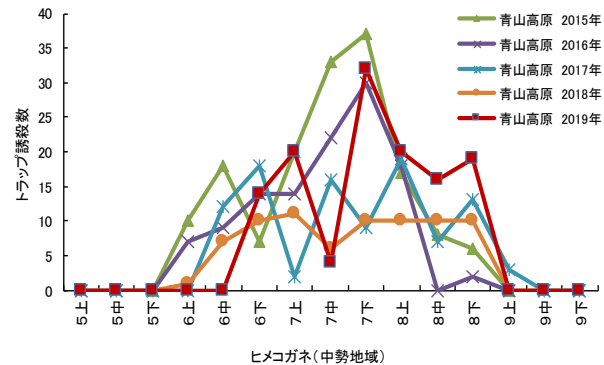
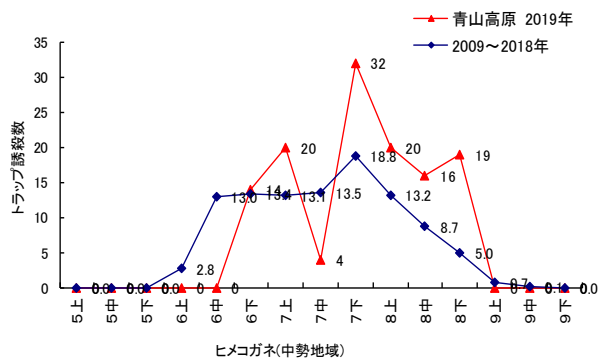
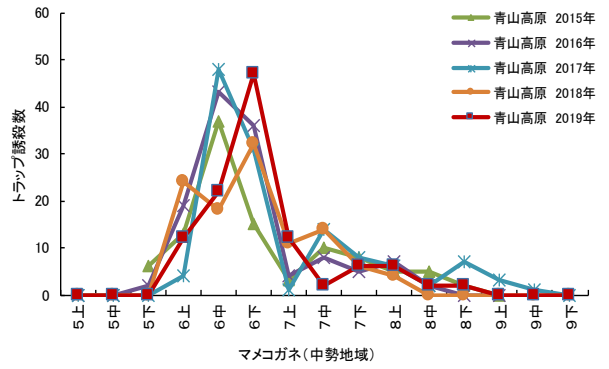


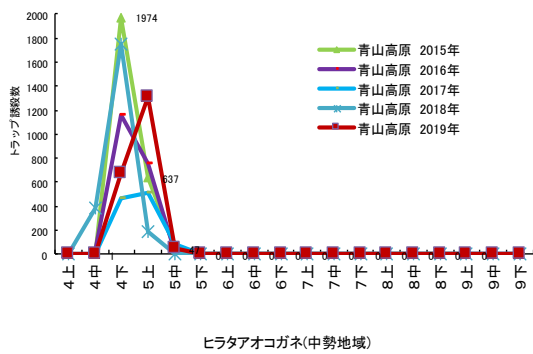
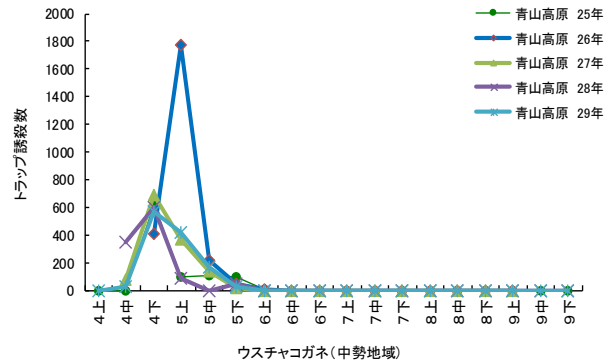
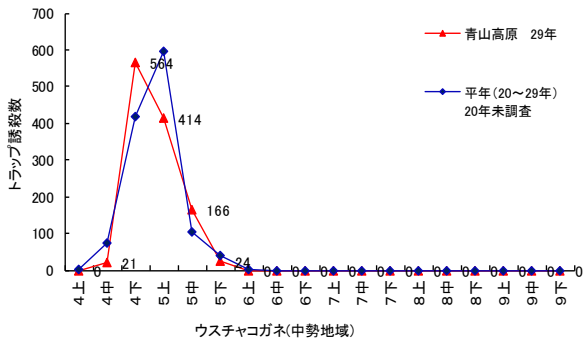
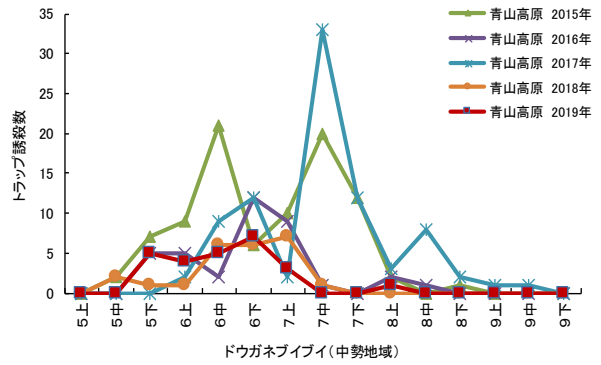
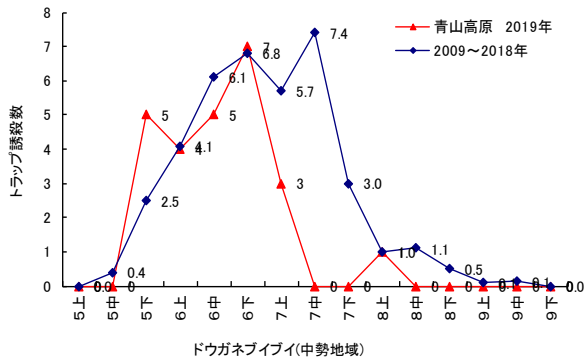
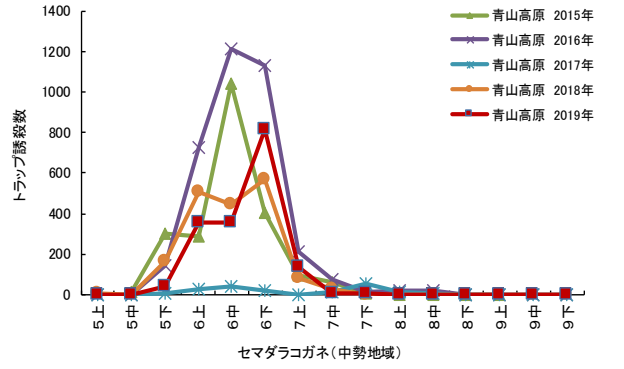
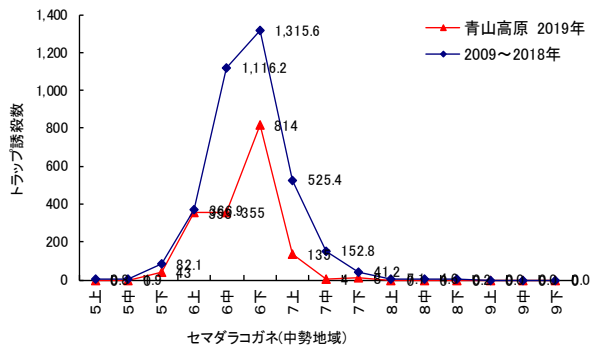


中勢地域



青山高原カントリークラブ





2. 令和元年度 無人航空機による空中散布の実施状況

防除内容	総散布面積 (ha)	
		合計
水稲	前年実績	10,226
	前年対比 (%)	98.8
	合計	2,262
麦類	前年実績	2,222
	前年対比 (%)	101.8
	合計	747
大豆	前年実績	1,125
	前年対比 (%)	66.4
	合計	112
その他	前年実績	73
	前年対比 (%)	153.4
	合計	13,221
合計	前年実績	13,646
	前年対比 (%)	96.9

VI 各種データ

1.トラップ等データ

(1)予察灯

a 県予察灯・水田設置（松阪市嬉野川北町； 60ワット白熱灯）

水田 2019年	ツマ グロヨ コバイ	イナ ズマヨ コバイ	ヒメ トビウ ンカ	セジ ロウン カ	トビ イロウ ンカ	イネ ミズゾ ウムシ	ホソ ハリカ メムシ	シラ ホシカ メムシ	イネ カメム シ	イネ クロカ メムシ	クモ ヘリカ メムシ	アカ ヒゲホ ソミド リカス ミカメ	アカ スジカ スミカ メ	ニカ メイガ	コブ ノメイ ガ	フタ オビコ ヤガ	アワ ヨトウ	イチ モンジ カメム シ	クサ ギカメ ムシ	ホソ ヘリカ メムシ	ツヤ アオカ メムシ	
4月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

水田 2019年	ツマグロヨコバイ	イナズマヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネカメムシ	イネクロカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ニカメイガ	コブノメイガ	フタオビコヤガ	アワヨトウ	イチモンジカメムシ	クサギカメムシ	ホソハリカメムシ	ツヤアオカメムシ
	5月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	2	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	4	1	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	4	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	2	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	1	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	5	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	5	0	0	6	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	6	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	10	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	4	0	0	0	0
6月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	4	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3	0	0	3	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	5	0	0	1	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	12	5	0	0	0	0	1	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	3	4	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	2	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	0	0	0	0	1	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	16	0	0	1	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1

水田 2019年	ツマダグロヨコバイ	イナズマヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネカメムシ	イネクロカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ニカメイガ	コブノメイガ	フタオビコヤガ	アワヨトウ	イチモンジカメムシ	クサギカメムシ	ホソハリカメムシ	ツヤアオカメムシ
	7月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4	1	0	0	1	1	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	1
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	1	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	1	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	1	12	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	3	0	0	7	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	9	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0
25日	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	5	0	0	0	0	2	0	0	0	0
8月1日	0	0	1	0	0	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	1	0	0	1	0	0	3	0	2	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	2	0	2	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	1	0	5	0	4	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	1	0	4	0	19	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	1	0	0	0	0	0	5	1	14	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	1	0	5	12	2	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

水田 2019年	ツマダグロヨコバイ	イナズマヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネカメムシ	イネクロカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ニカメイガ	コブノメイガ	フタオビコヤガ	アワヨトウ	イチモンジカメムシ	クサギカメムシ	ホソハリカメムシ	ツヤアオカメムシ
	9月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
4日	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	13	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

b 県予察灯・畑地設置(松阪市嬉野川北町; 100ワット水銀灯)

畑地 2019年	アオクサカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ	クサギカメムシ	ドウガネブイブイ	ヒメコガネ	アオドウガネ	イチモンジカメムシ	ホソヘリカメムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネクロカメムシ	ミナミアオカメムシ	イネカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ツマグロヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ
4月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
13日	0	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
15日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0
16日	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
19日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	17	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
23日	0	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	0	0	0
24日	0	55	1	0	0	0	0	2	0	0	0	2	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0
25日	0	97	8	0	0	0	2	0	0	0	0	3	2	0	0	2	21	0	0	0	0	0
26日	0	231	3	0	0	0	1	0	0	0	0	29	6	0	0	23	0	0	0	0	0	1
27日	0	57	8	0	0	0	3	3	0	0	0	28	0	0	0	3	57	0	0	0	0	0
28日	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0
29日	0	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	5	4	0	1	0	1	0	0	0	0	2	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0

畑地 2019年	ア オ ク サ カ メ ム シ	チ ヤ バ ネ ア オ カ メ ム シ	ツ ヤ ア オ カ メ ム シ	ク サ ギ カ メ ム シ	ド ウ ガ ネ ブ イ ブ イ	ヒ メ コ ガ ネ	ア オ ド ウ ガ ネ	イ チ モ ン ジ カ メ ム シ	ホ ソ ヘ リ カ メ ム シ	ホ ソ ハ リ カ メ ム シ	シ ラ ホ シ カ メ ム シ	イ ネ ク ロ カ メ ム シ	ミ ナ ミ ア オ カ メ ム シ	イ ネ カ メ ム シ	ク モ ヘ リ カ メ ム シ	ア カ ヒ ゲ ホ ソ ミ ド リ カ ス ミ カ メ	ア カ ス ジ カ ス ミ カ メ	ツ マ グ ロ ヨ コ バ イ	ヒ メ ト ビ ウ ン カ	セ ジ ロ ウ ン カ	ト ビ イ ロ ウ ン カ	イ ネ ミ ズ ソ ウ ム シ
6月1日	0	11	0	0	0	0	6	0	0	0	0	7	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0
2日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
3日	0	5	3	0	2	0	3	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
4日	0	4	3	0	3	0	2	0	0	0	0	15	3	0	0	4	8	0	0	0	0	9
5日	0	70	15	0	0	0	7	0	0	0	0	5	2	1	0	14	6	0	0	0	0	0
6日	0	15	5	0	1	0	10	0	0	0	0	0	1	0	0	15	15	2	0	0	0	0
7日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0
8日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
9日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	3	3	0	0	0	0	0
12日	0	9	3	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	1	0	0	0	0
13日	0	1	6	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2	12	0	0	0	0
14日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0
18日	0	16	8	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	10	0	0	0	0
19日	0	1	8	0	3	1	4	1	0	0	0	0	0	0	0	7	2	29	1	0	0	0
20日	0	8	7	0	10	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	11	21	117	4	0	0	0
21日	0	5	2	0	4	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	6	24	79	6	0	0	0
22日	0	1	0	0	4	1	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0
23日	0	2	1	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	18	3	0	0	0	0
24日	0	6	1	0	9	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	9	10	1	0	0	0	0
25日	0	0	3	0	5	0	6	1	0	0	0	0	0	0	0	3	7	3	1	0	0	0
26日	0	2	1	0	9	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	5	13	60	0	0	0	0
27日	0	11	2	0	4	0	13	1	0	0	0	0	0	0	0	5	0	1	0	0	0	0
28日	0	29	7	0	12	3	8	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	8	88	6	0	0
29日	0	38	3	0	7	1	27	9	0	3	2	0	0	0	1	5	38	150	4	0	0	0
30日	0	37	0	0	4	2	13	4	1	0	0	0	2	0	0	5	8	12	2	0	0	0
7月1日	0	11	1	0	5	1	12	0	0	0	0	4	0	1	5	2	4	3	0	0	0	0
2日	0	14	3	0	5	0	13	2	0	0	0	0	1	0	0	3	11	25	0	0	0	0
3日	0	1	0	0	6	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	4	6	1	0	0	0	0
4日	0	3	0	0	2	4	15	1	0	0	0	0	2	0	0	1	14	27	1	0	0	0
5日	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
6日	0	9	0	0	0	0	20	1	0	0	0	0	1	0	0	1	3	4	0	0	0	0
7日	0	23	0	0	5	1	32	0	0	0	0	0	1	0	0	8	18	37	1	0	0	0
8日	0	1	3	0	4	0	14	1	0	0	0	1	1	0	0	2	2	1	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	2	0	14	0	0	0	0	0	1	0	0	3	2	10	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	2	0	7	0	0	0	0	0	2	0	0	0	6	1	3	0	0	6
11日	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
12日	0	12	0	0	3	4	10	1	0	2	0	0	3	0	0	7	9	11	1	1	0	0
13日	0	2	0	0	1	1	13	1	0	0	0	0	1	0	0	3	3	1	0	2	0	0
14日	0	3	0	0	3	4	24	5	0	1	0	0	1	0	0	10	6	11	5	0	0	35
15日	0	2	0	0	5	3	18	0	0	0	0	0	0	0	0	12	3	4	9	0	1	9
16日	0	0	0	0	1	2	14	0	0	0	0	0	1	0	1	5	4	0	23	0	0	4
17日	0	4	0	1	9	4	7	3	1	0	0	0	8	0	2	3	4	11	38	0	0	40
18日	0	4	0	1	6	1	13	0	0	0	0	0	1	0	3	5	8	12	1	0	0	3
19日	0	5	1	0	2	0	19	4	0	0	0	1	1	0	0	0	3	3	0	0	0	0
20日	0	6	0	1	6	0	27	17	2	2	0	0	6	2	0	0	21	245	26	0	0	1095
21日	0	3	0	1	11	0	0	4	0	0	0	0	3	1	0	1	19	48	18	0	0	172
22日	0	4	0	0	2	5	21	0	0	0	0	0	0	0	0	2	10	3	36	1	0	20
23日	0	9	0	0	8	15	13	4	0	0	0	2	2	0	0	0	0	4	0	0	0	23
24日	0	6	0	2	13	2	22	0	0	0	0	0	2	0	0	0	4	10	14	0	0	90
25日	0	0	0	0	8	10	23	0	0	0	0	0	1	4	1	0	2	40	0	0	0	4
26日	0	0	0	0	1	3	9	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1
27日	0	10	0	2	10	10	17	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	11	1	0	0	7
28日	0	9	0	2	10	15	22	2	0	1	0	2	0	0	0	0	6	6	2	0	0	1
29日	0	5	1	2	20	7	34	3	0	0	0	1	3	4	1	0	3	129	1	0	0	77
30日	0	3	0	2	13	22	13	2	0	0	0	1	0	0	1	0	1	24	0	1	0	2
31日	0	8	0	1	17	22	31	5	0	0	0	0	3	0	0	0	0	17	0	0	0	0

畑地 2019年	ア オ ク サ カ メ ム シ	チ ヤ バ ネ ア オ カ メ ム シ	ツ ヤ ア オ カ メ ム シ	ク サ ギ カ メ ム シ	ド ウ ガ ネ ブ イ ブ イ	ヒ メ コ ガ ネ	ア オ ド ウ ガ ネ	イ チ モ ン ジ カ メ ム シ	ホ ソ ヘ リ カ メ ム シ	ホ ソ ハ リ カ メ ム シ	シ ラ ホ シ カ メ ム シ	イ ネ ク ロ カ メ ム シ	ミ ナ ミ ア オ カ メ ム シ	イ ネ カ メ ム シ	ク モ ヘ リ カ メ ム シ	ア カ ヒ ゲ ホ ソ ミ ド リ カ ス ミ カ メ	ア カ ス ジ カ ス ミ カ メ	ツ マ グ ロ ヨ コ バ イ	ヒ メ ト ビ ウ ン カ	セ ジ ロ ウ ン カ	ト ビ イ ロ ウ ン カ	イ ネ ミ ズ ソ ウ ム シ
10月1日	0	11	9	0	0	0	1	0	0	0	0	0	26	0	0	2	6	0	0	0	0	0
2日	0	9	6	0	0	0	3	0	0	0	0	0	26	0	0	0	5	0	1	0	0	0
3日	0	10	4	0	0	0	3	0	0	0	0	0	18	0	0	0	11	3	0	0	0	0
4日	0	2	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
6日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
7日	0	2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	4	0	0	1	1	0
8日	0	3	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0
9日	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	61	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	1	0	7	0	0	0	0	0
11日	0	53	163	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	1	2	2	9	0	1	0	0	0
12日	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
14日	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	1	1	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	67	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

c 地区予察灯 (60ワット白熱灯)

地区 2019年	ウンカ・ヨコバイ類											カメムシ類												
	紀北町				御浜町				伊賀市			紀北町				御浜町			伊賀市					
	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他
4月1日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
2日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
3日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
4日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
5日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
6日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
7日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
8日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
9日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
10日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
11日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
12日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
13日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
14日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
15日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
16日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
17日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
18日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
19日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
20日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
21日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
22日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
23日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
24日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
25日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
26日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
27日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
28日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
29日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
30日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
5月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

地区 2019年	ウンカ・ヨコバイ類											カメムシ類												
	紀北町				御浜町				伊賀市			紀北町				御浜町			伊賀市					
	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他
6月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	1	3	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月1日	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	1	0	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—
5日	0	0	0	0	0	0	1	0	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	1	1	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	2	13	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	1	0	2	11	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0
23日	1	0	1	15	0	0	0	1	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	2	13	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
25日	2	0	3	18	3	0	0	4	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	3	13	2	1	1	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
27日	0	0	1	8	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	3	0	5	28	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
29日	4	0	6	35	2	0	2	1	0	0	0	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
30日	6	0	3	38	0	0	0	1	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—
31日	3	0	5	26	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0

地区 2019年	ウンカ・ヨコバイ類												カメムシ類											
	紀北町				御浜町				伊賀市				紀北町				御浜町				伊賀市			
	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他
8月1日	7	0	4	32	1	0	0	5	0	0	2	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0
2日	7	0	7	36	1	0	0	8	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	1	4	0	0
3日	4	0	6	39	0	1	0	2	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	5	0	7	13	3	1	1	0	0	0	2	3	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
5日	13	0	12	48	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	8	0	4	111	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
7日	12	0	18	29	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
8日	4	0	7	13	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
9日	18	0	13	15	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
10日	6	0	8	18	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	13	0	16	15	0	0	1	1	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
12日	7	0	11	3	0	0	0	0	0	0	2	9	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
13日	2	0	1	4	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	2	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	1	0	2	0	0	0	3	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	4	0	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
17日	8	0	10	3	0	1	1	0	0	0	2	0	0	11	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0
18日	3	0	6	4	1	1	0	0	0	0	2	2	0	17	0	0	9	0	0	0	3	0	0	0
19日	2	0	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
20日	7	0	9	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	24	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
21日	8	2	9	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	79	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0
22日	2	1	4	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0	12	0	0	17	0	0	1	0	0	0	0
23日	1	0	3	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	6	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0
24日	4	2	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
25日	1	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
26日	2	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	1	0	3	0	4	1	3	0	0	0	0	0	0	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
28日	2	0	2	1	1	0	2	0	0	5	0	0	0	4	0	0	3	0	0	0	2	0	0	0
29日	2	0	3	2	1	1	3	0	0	10	6	2	0	1	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0
30日	1	0	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	8	0	6	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
9月1日									0	0	3	0								0	0	0	0	0
2日									0	0	1	0								0	2	0	0	0
3日									0	0	0	0								0	0	0	0	0
4日									0	1	0	0								0	0	0	0	0
5日									0	0	0	0								0	1	0	0	0
6日									0	1	0	0								0	0	0	0	0
7日									0	3	2	0								0	0	0	0	0
8日									0	2	2	0								0	1	0	0	0
9日									0	0	0	0								0	0	0	0	0
10日									0	0	0	0								0	0	0	0	0
11日									0	3	0	0								0	0	0	0	0
12日									0	0	2	0								0	0	0	0	0
13日									0	0	2	0								0	0	0	0	0
14日									0	2	1	0								0	0	0	0	0
15日									0	0	0	0								0	0	0	0	0
16日									0	2	0	0								0	0	0	0	0
17日									0	0	1	0								0	0	0	0	0
18日									0	0	0	0								0	0	0	0	0
19日									0	0	0	0								0	0	0	0	0
20日									0	0	0	0								0	0	0	0	0
21日									0	0	0	0								0	0	0	0	0
22日									0	0	0	0								0	0	0	0	0
23日									0	0	0	0								0	0	0	0	0
24日									0	0	0	1								0	0	0	0	0
25日									0	0	0	0								0	0	0	0	0
26日									0	1	0	0								0	0	0	0	0
27日									0	1	0	0								0	0	0	0	0
28日									0	2	0	0								0	0	0	0	0
29日									0	0	0	0								0	0	0	0	0
30日									0	5	2	0								0	0	0	0	0

d 県予察灯・畑地設置(南牟婁郡御浜町農業研究所紀南果樹研究室; 100ワット水銀

畑地 2019年	ア オク サカ メム シ	ミ ナ ミ ア オカ メム シ	チ ヤ バ ネ ア オカ メム シ	ツ ヤ ア オカ メム シ	ク サ ギ カ メム シ	コ カ ク モ ン ハ マ キ	チ ヤ ハ マ キ	ア カ エ グ リ バ	ヒ メ エ グ リ バ
4月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	1	2	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	1	2	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	1	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	1
18日	0	0	1	3	0	1	0	0	0
19日	0	0	2	10	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	5	31	0	2	1	0	0
22日	0	0	9	50	0	0	4	0	0
23日	0	0	4	184	0	1	5	0	1
24日	0	0	0	116	0	0	1	0	0
25日	0	0	19	730	0	0	1	0	1
26日	0	0	148	615	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	4	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	1	0	0	0
30日	0	0	8	134	0	0	1	0	0
5月1日	0	0	0	41	0	1	0	0	0
2日	0	0	8	67	0	0	0	0	0
3日	0	0	3	129	0	1	1	0	0
4日	0	0	3	84	0	0	0	0	0
5日	0	0	8	146	0	0	1	0	0
6日	0	0	5	63	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	1	0	0	1	0	0
9日	0	0	2	41	0	0	0	0	0
10日	0	0	2	22	0	0	1	0	0
11日	0	0	3	15	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	51	0	0	1	0	0
13日	0	0	1	79	0	0	1	0	0
14日	0	0	7	74	0	0	1	0	0
15日	0	0	0	2	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	73	0	0	0	0	0
17日	0	0	121	2	0	0	0	0	0
18日	0	0	78	4	0	0	0	0	0
19日	0	0	72	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	4	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	52	13	0	0	1	0	0
22日	0	0	17	5	0	0	0	0	0
23日	0	0	40	8	0	0	2	0	0
24日	0	0	109	34	0	1	1	0	0
25日	0	0	74	28	0	0	2	0	0
26日	0	0	95	35	2	0	3	0	0
27日	0	0	45	25	0	0	0	0	0
28日	0	0	3	3	0	1	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	1	0	0	0
31日	0	0	11	1	0	6	1	0	0

畑地 2019年	ア オク サカ メム シ	ミ ナ ミ ア オカ メム シ	チ ヤ バ ネ ア オカ メム シ	ツ ヤ ア オカ メム シ	ク サ ギ カ メム シ	コ カ ク モ ン ハ マ キ	チ ヤ ハ マ キ	ア カ エ グ リ バ	ヒ メ エ グ リ バ
6月1日	0	0	7	1	0	1	4	0	0
2日	-	-	-	1	-	-	-	-	-
3日	0	0	3	6	0	1	0	0	0
4日	0	0	10	9	0	0	5	0	0
5日	0	0	24	3	0	0	3	0	0
6日	0	0	58	3	0	3	3	0	0
7日	0	0	24	6	0	4	5	0	0
8日	0	0	5	7	0	3	2	0	0
9日	0	0	11	0	0	3	14	0	0
10日	0	0	0	0	0	1	3	0	0
11日	0	0	0	0	0	1	1	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	1	0	1	7	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	1	1	0	0	0	0	0
16日	0	0	22	4	0	0	0	0	0
17日	0	0	5	0	0	0	3	0	0
18日	0	0	12	1	0	1	5	0	0
19日	0	0	17	0	0	2	8	0	0
20日	0	0	30	1	1	0	2	0	0
21日	0	0	9	0	0	0	4	0	0
22日	0	0	22	0	0	3	1	0	0
23日	0	0	0	0	0	2	5	0	0
24日	0	0	3	1	0	4	0	0	0
25日	0	0	7	0	0	1	3	0	0
26日	0	0	10	1	0	2	6	0	0
27日	0	0	9	1	0	3	7	0	0
28日	0	0	107	6	0	1	4	0	0
29日	0	0	42	2	0	0	11	0	0
30日	0	0	72	2	0	1	4	0	0
7月1日	0	0	6	0	0	1	6	0	0
2日	0	0	14	0	0	5	10	0	0
3日	0	0	6	1	0	3	6	0	0
4日	0	0	25	0	1	5	8	0	0
5日	0	0	5	0	0	1	1	0	0
6日	0	0	8	0	1	0	4	0	0
7日	0	0	8	0	6	0	4	0	0
8日	0	0	5	0	0	0	4	0	0
9日	0	0	0	0	0	1	5	0	0
10日	0	0	2	1	0	1	9	0	0
11日	0	0	5	0	0	0	4	0	0
12日	0	0	7	1	0	0	4	0	0
13日	0	0	1	1	0	0	7	0	0
14日	0	0	4	0	4	0	8	0	0
15日	0	0	3	2	0	0	2	0	0
16日	0	0	0	2	0	0	2	0	0
17日	0	0	0	3	8	0	3	0	0
18日	0	0	3	1	0	1	11	0	0
19日	0	0	2	0	2	0	0	0	0
20日	0	0	1	1	1	0	1	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	2	0	0
22日	0	0	3	1	1	0	2	0	0
23日	0	0	1	0	2	0	1	0	0
24日	0	0	2	0	4	0	3	0	0
25日	0	0	2	0	3	0	4	0	0
26日	0	0	1	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	2	0	1	0	5	0	0
28日	0	0	2	0	5	0	0	0	0
29日	0	0	3	0	1	1	0	0	0
30日	0	0	3	0	1	0	1	0	0
31日	0	0	11	0	1	0	4	0	0

畑地 2019年	ア オ ク サ カ メ ム シ	ミ ナ ミ ア オ カ メ ム シ	チ ヤ バ ネ ア オ カ メ ム シ	ツ ヤ ア オ カ メ ム シ	ク サ ギ カ メ ム シ	コ カ ク モ ン ハ マ キ	チ ヤ ハ マ キ	ア カ エ グ リ バ	ヒ メ エ グ リ バ
8月1日	0	0	0	0	2	0	2	0	0
2日	0	0	1	0	2	0	3	0	0
3日	0	0	3	0	3	2	9	0	0
4日	0	0	2	0	1	1	3	0	0
5日	0	0	8	1	1	1	4	0	0
6日	0	0	1	0	2	2	9	0	0
7日	0	0	4	0	3	0	6	0	0
8日	0	0	3	0	4	3	7	0	0
9日	0	0	7	0	7	0	1	0	0
10日	0	0	0	3	1	0	3	0	0
11日	0	0	11	0	8	1	3	0	0
12日	0	0	11	1	0	0	0	0	0
13日	0	0	1	2	0	0	0	0	0
14日	0	0	2	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	7	1	1	1	1	0	0
16日	0	0	38	2	8	1	1	0	0
17日	0	0	36	2	4	0	1	0	0
18日	0	0	10	0	2	0	0	0	0
19日	0	0	15	1	1	0	0	0	0
20日	0	0	33	2	3	0	0	0	0
21日	0	0	61	0	5	0	0	0	0
22日	0	0	15	0	4	1	1	0	0
23日	0	0	11	2	0	0	2	0	0
24日	0	0	19	0	0	1	4	0	0
25日	0	0	15	1	0	0	1	0	0
26日	0	1	27	1	0	0	2	0	0
27日	0	0	27	2	0	0	3	0	0
28日	0	0	33	1	3	0	4	0	0
29日	0	1	67	5	1	1	9	0	0
30日	0	0	14	1	0	0	2	0	0
31日	0	1	19	2	4	0	3	0	0
9月1日	0	0	53	5	0	0	4	0	0
2日	0	0	56	3	3	0	0	0	0
3日	0	0	25	2	1	2	0	0	0
4日	0	0	39	5	1	0	3	0	0
5日	0	0	13	4	1	0	5	0	0
6日	0	1	43	5	1	0	4	0	0
7日	0	0	48	4	0	0	3	0	0
8日	0	1	28	3	3	0	0	0	0
9日	0	0	16	11	0	2	1	0	0
10日	0	0	11	29	2	1	2	0	0
11日	0	0	29	41	0	2	3	0	0
12日	0	0	26	19	0	0	1	0	0
13日	0	0	2	6	0	0	0	0	0
14日	0	0	21	17	0	0	0	0	0
15日	0	2	7	4	0	0	1	0	0
16日	0	0	11	19	0	0	0	0	0
17日	0	0	8	118	0	2	0	0	0
18日	0	0	1	5	0	0	0	0	0
19日	0	0	1	11	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	17	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	185	0	0	0	0	0
22日	0	0	6	73	0	0	0	0	0
23日	0	0	5	28	0	0	0	0	0
24日	0	1	2	0	0	0	1	0	0
25日	0	0	1	17	0	0	0	0	0
26日	0	0	9	395	0	0	0	0	0
27日	0	0	3	175	0	0	1	0	0
28日	0	0	2	171	0	0	0	0	0
29日	0	0	11	223	0	0	0	0	0
30日	0	1	10	10	0	0	0	0	0

畑地 2019年	ア オ ク サ カ メ ム シ	ミ ナ ミ ア オ カ メ ム シ	チ ヤ バ ネ ア オ カ メ ム シ	ツ ヤ ア オ カ メ ム シ	ク サ ギ カ メ ム シ	コ カ ク モ ン ハ マ キ	チ ヤ ハ マ キ	ア カ エ グ リ バ	ヒ メ エ グ リ バ
10月1日	0	0	8	518	1	0	1	0	0
2日	0	1	28	402	0	0	2	0	0
3日	0	0	3	80	0	0	0	0	0
4日	0	0	1	9	0	0	1	0	0
5日	0	0	0	29	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	18	0	0	1	0	0
7日	0	0	3	40	1	0	1	0	0
8日	0	0	1	26	0	0	1	0	0
9日	0	0	1	42	0	1	0	0	0
10日	0	0	8	267	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	3	0	2	1	0	0
12日	0	0	0	17	0	0	2	0	0
13日	0	0	1	9	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	3	1	0	0	0	0
15日	0	0	4	64	0	0	0	0	0
16日	0	0	3	5	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	5	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	304	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	27	0	0	1	0	0
20日	0	0	0	3	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	4	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	2	0	0	1	0	0
23日	0	0	1	15	0	2	0	0	0
24日	0	0	0	5	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	1	1	0	0
26日	0	0	0	3	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	2	0	0	1	0	0
29日	0	0	0	4	0	0	1	0	0
30日	0	0	0	2	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
11月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	2	0	1	0	0	0
3日	0	0	1	1	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	1
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	1	1	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	1	1	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	1	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2)フェロモントラップ

a ガ類(フェロモントラップ) 粘着板式

2019年

月	半 旬	チャノココク モンハマキ	チャハマキ	ナシヒメ シンクイ
1月	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
2月	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
3月	1			0
	2			0
	3			1
	4			0
	5			6
	6			5
4月	1	0	0	1
	2	0	7	20
	3	6	9	2
	4	7	7	5
	5	23	14	12
	6	16	15	0
5月	1	24	20	11
	2	8	4	3
	3	12	12	4
	4	3	11	1
	5	2	2	1
	6	1	2	11
6月	1	1	3	16
	2	1	3	17
	3	4	1	3
	4	16	4	5
	5	52	5	9
	6	6	2	0
7月	1	5	2	3
	2	4	8	5
	3	1	4	6
	4	0	2	15
	5	0	1	9
	6	3	2	8
8月	1	8	1	2
	2	1	1	0
	3	1	0	3
	4	1	5	9
	5	1	2	10
	6	1	5	7
9月	1	2	10	18
	2	4	5	10
	3	3	2	19
	4	5	8	12
	5	1	4	28
	6	12	1	18
10月	1	4	1	7
	2	13	4	18
	3	41	17	7
	4	2	4	0
	5	17	8	0
	6	23	6	1
11月	1	7	4	0
	2	1	3	0
	3	3	5	0
	4	1	2	0
	5	0	2	0
	6	3	2	0
12月	1	0		
	2	0		
	3	1		
	4	0		
	5	0		
	6	0		

b コガネムシ類(フェロモントラップ)

		ヒメコガネ		マメコガネ		ドウガネブイブイ	
		2019年	平年値	2019年	平年値	2019年	平年値
5月	上旬	0	0.0	0	0.0	0	0.4
	中旬	0	0.1	0	0.2	0	1.1
	下旬	0	0.0	0	2.2	0	5.4
6月	上旬	0	0.0	1	14.1	15	8.0
	中旬	1	0.4	1	53.7	2	9.0
	下旬	0	1.3	2	27.5	8	8.7
7月	上旬	2	2.4	3	17.1	7	4.5
	中旬	0	6.2	0	17.7	1	1.7
	下旬	4	15.2	3	32.2	1	0.9
8月	上旬	25	22.4	1	24.1	0	0.7
	中旬	37	11.9	7	24.4	0	0.0
	下旬	54	6.1	9	14.8	0	0.0
9月	上旬	10	2.6	1	11.3	0	0.0
	中旬	8	1.0	1	4.3	0	0.0
	下旬	0	0.7	1	2.1	0	0.0
10月	上旬	0	0.1	1	2.8	0	0.0
	中旬	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	下旬	0	0.0	0	0.0	0	0.0
11月	上旬	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	中旬	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	下旬	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計		141	70.4	31	248.6	34	40.4

c 果樹カメムシ類(フェロモントラップ誘殺数)

チャバネアオカメムシ

月・週	津市白山町川口	
	平年	2019年
4月.1		0.7
2	5.9	2.5
3	17.8	15.9
4	25.2	67.5
5月.1	46.2	91.8
2	50.3	81.8
3	58.9	101.9
4	54.6	204.8
6月.1	52.4	76.3
2	129.4	109.7
3	156.3	223.3
4	191.9	425.1
7月.1	307.1	613.9
2	385.2	294.2
3	344.4	85.6
4	283.6	47.2
8月.1	311.9	21.7
2	191.5	2.7
3	94.1	2.8
4	62.2	1.5
9月.1	67.7	5.3
2	73.4	20.0
3	85.2	68.0
4	70.0	55.0
10月.1	69.9	55.0
2	50.8	24.9
3	22.8	19.7
4	10.1	14.4
11月.1	9.5	7.0
2	4.4	0.8
3	0.2	2.5
4	0.1	0.8

月・週	津市白山町二本木	
	平年	2019年
4月.1		1.3
2	4.8	6.4
3	19.3	37.3
4	25.7	67.0
5月.1	75.6	96.5
2	81.5	114.8
3	133.8	166.7
4	126.8	137.0
6月.1	153.4	109.5
2	269.0	154.2
3	308.0	269.3
4	315.2	542.6
7月.1	433.5	424.4
2	495.2	92.0
3	550.6	40.4
4	524.4	29.9
8月.1	530.9	15.0
2	407.4	5.3
3	290.3	4.4
4	140.1	0.8
9月.1	94.9	1.3
2	59.5	11.2
3	33.5	7.8
4	17.9	13.0
10月.1	17.9	11.0
2	12.1	0.2
3	5.4	0.6
4	1.9	0.7
11月.1	2.0	0.5
2	0.9	0.0
3	0.1	0.8
4	0.0	0.3

月・週	松阪市嬉野川北町	
	平年	2019年
4月.1		0.0
2	0.1	0.0
3	1.4	6.0
4	1.9	12.9
5月.1	21.2	17.8
2	50.4	18.3
3	86.9	59.0
4	34.1	59.0
6月.1	20.5	14.0
2	19.1	17.0
3	26.5	22.0
4	28.6	67.0
7月.1	58.9	48.9
2	120.3	14.4
3	147.5	9.8
4	112.1	4.0
8月.1	98.3	0.4
2	87.1	0.6
3	59.3	4.3
4	29.3	14.2
9月.1	28.1	30.5
2	22.7	23.0
3	14.8	8.0
4	8.0	7.1
10月.1	8.8	8.9
2	4.7	4.0
3	2.3	7.1
4	1.6	3.4
11月.1	1.0	1.8
2	0.4	0.7
3	0.0	0.0
4	0.0	0.0

ツヤアオカメムシ

月・週	津市白山町川口	
	平年	2019年
4月.1		0.0
2	0.1	0.0
3	0.1	0.0
4	0.4	1.0
5月.1	1.6	2.3
2	2.3	3.8
3	4.2	0.9
4	2.8	3.1
6月.1	3.0	2.5
2	5.8	6.5
3	4.5	9.0
4	2.5	5.1
7月.1	3.4	4.9
2	2.8	0.9
3	3.1	0.1
4	3.5	0.0
8月.1	1.7	0.0
2	1.6	0.0
3	0.6	0.0
4	1.1	0.0
9月.1	2.3	0.0
2	3.7	0.8
3	5.1	3.2
4	6.0	5.0
10月.1	7.6	4.0
2	8.4	4.5
3	5.2	1.8
4	2.7	2.2
11月.1	3.3	1.5
2	1.4	0.0
3	0.1	0.0
4	0.1	0.0

月・週	津市白山町二本木	
	平年	2019年
4月.1		0.0
2	0.2	0.0
3	1.1	1.0
4	1.0	2.5
5月.1	2.1	2.8
2	3.2	1.3
3	5.4	2.9
4	6.9	3.0
6月.1	8.0	3.5
2	10.1	2.7
3	4.4	1.3
4	1.5	1.7
7月.1	1.1	0.3
2	1.0	0.0
3	0.7	0.0
4	0.5	0.0
8月.1	0.6	0.0
2	0.9	0.0
3	0.8	0.0
4	0.3	0.0
9月.1	1.0	0.0
2	1.0	0.0
3	1.3	1.0
4	1.3	0.0
10月.1	2.0	0.0
2	1.9	0.0
3	1.1	0.0
4	0.6	0.0
11月.1	0.7	0.0
2	0.3	0.0
3	0.1	0.0
4	0.1	0.0

月・週	松阪市嬉野川北町	
	平年	2019年
4月.1		0.0
2	0.1	0.0
3	0.7	0.0
4	0.7	1.4
5月.1	3.2	2.6
2	4.2	7.4
3	6.1	10.6
4	3.8	7.5
6月.1	1.3	0.5
2	0.9	0.0
3	1.1	0.0
4	0.6	1.0
7月.1	0.4	0.0
2	0.4	0.0
3	0.8	0.0
4	0.7	0.0
8月.1	0.3	0.0
2	0.3	0.0
3	0.2	0.0
4	0.4	0.0
9月.1	1.1	0.0
2	1.5	2.0
3	4.8	2.0
4	4.7	2.1
10月.1	9.9	0.9
2	8.8	7.7
3	11.4	6.6
4	6.6	7.0
11月.1	4.7	4.1
2	2.2	0.7
3	0.4	0.0
4	0.0	0.0

クサギカメムシ

月・週	津市白山町川口	
	平年	2019年
4月.1		0.0
2	0.0	0.0
3	0.2	0.0
4	1.0	0.0
5月.1	4.7	0.0
2	7.0	0.3
3	8.7	2.2
4	5.7	3.9
6月.1	7.1	0.7
2	12.2	0.0
3	6.4	2.0
4	3.7	2.6
7月.1	4.9	0.4
2	9.6	0.0
3	8.9	0.0
4	5.5	0.0
8月.1	5.7	0.0
2	3.4	0.0
3	2.3	0.0
4	2.5	0.0
9月.1	3.6	1.0
2	4.7	0.0
3	8.3	0.0
4	9.6	6.0
10月.1	24.1	8.0
2	21.9	17.2
3	6.5	12.9
4	3.6	6.8
11月.1	1.1	2.0
2	0.2	0.0
3	0.0	0.8
4	0.0	0.3

月・週	津市白山町二本木	
	平年	2019年
4月.1		0.0
2	0.0	0.0
3	0.3	0.0
4	1.9	0.5
5月.1	11.8	0.8
2	23.3	3.3
3	36.1	14.9
4	41.8	15.5
6月.1	51.6	16.0
2	73.2	15.7
3	38.7	11.3
4	15.2	5.1
7月.1	10.6	0.9
2	10.0	0.0
3	7.6	0.0
4	4.1	0.0
8月.1	3.5	0.0
2	2.7	0.0
3	1.7	0.0
4	1.4	0.0
9月.1	1.9	0.0
2	1.7	0.0
3	2.0	0.0
4	1.9	1.0
10月.1	2.0	0.0
2	1.6	1.0
3	0.6	0.0
4	0.3	0.0
11月.1	0.1	0.0
2	0.0	0.0
3	0.0	0.0
4	0.0	0.0

月・週	松阪市嬉野川北町	
	平年	2019年
4月.1		0.0
2	0.0	0.0
3	0.1	0.0
4	0.0	0.0
5月.1	0.1	0.0
2	0.1	0.0
3	0.1	0.0
4	0.2	0.0
6月.1	0.2	0.0
2	0.2	0.0
3	0.3	0.0
4	2.0	0.0
7月.1	1.6	0.0
2	0.7	0.0
3	1.6	0.0
4	2.0	0.0
8月.1	1.0	0.0
2	0.3	0.0
3	0.1	0.0
4	0.1	0.0
9月.1	0.2	0.0
2	0.3	0.0
3	0.3	0.0
4	1.0	0.0
10月.1	1.4	0.0
2	0.2	0.0
3	0.1	0.0
4	0.0	0.0
11月.1	0.1	0.0
2	0.0	0.0
3	0.0	0.0
4	0.0	0.0

(3) ウメ輪紋ウイルス (PPV) に関する調査

2009年4月、東京都青梅市でウメにおいて、ウメ輪紋ウイルス(以下 PPV)の感染が確認された。PPVは我が国のモモやスモモなどの果樹に重大な被害を与えるウイルスとして、これまでも特に侵入を警戒していたものである。このことから、全国的な発生状況調査が実施されることとなった。

三重県では、平成28年度に感染植物が確認され廃棄処分を受けた観光園地と、その一定範囲における全ての宿主植物について感染の有無を調査し、感染の再発・広がり等を確認する発生監視調査を実施した。

a 調査方法

感染が確認された観光園地および感染樹から半径500mを含む範囲において、2019年6月12日に調査を実施した。目視にて感染によると思われる病徴の有無を確認し、ウメは病徴が認められた樹、その他の宿主植物は病徴の有無にかかわらず全ての樹から、検定試料を採取した。試料は1樹当たり5葉とし、全国発生状況調査と同様に、検定実施のため名古屋植物防疫所へ送付した。

b 調査地点

感染樹発生園地は単独で1調査地点とし、2019年6月12日に調査を実施した。

感染樹発生園地を除く調査地域については、2019年6月12日に10地点を調査した。

c 調査結果

感染樹発生園地では、調査対象となる宿主植物としてウメ470本、モモ9本を確認した。このうち、モモ9本から試料を採取し名古屋植物防疫所が検定した結果、新たな感染は確認されなかった。

感染樹発生園地を除く調査地域では、ウメ、モモなどの宿主植物計36本を調査した。このうちモモ、スモモなどウメ以外の宿主で計10本から試料を採取し、名古屋植物防疫所が検定した結果、全て感染は確認されなかった。

(4) キウイフルーツかいよう病 Psa3 系統に関する調査

キウイフルーツかいよう病 Psa3 系統は、2014年5月に国内で最初の発生が確認され、2017年10月時点で13都県において発生が確認されている。

本病は、国内にまん延した場合に有用な植物に重大な被害を与えるおそれがある重要病害虫に該当することから、全国的な発生状況調査が実施されることとなった。三重県においても、県内のキウイフルーツ生産園地を対象に発生状況を把握するため、調査を実施した。

a 調査方法

キウイフルーツを対象樹種とし、6月20日に各調査園地内の全樹を対象に目視にて感染によると思われる病徴の有無を確認した。

b 調査地点

地域等	市町名	調査地点数	調査本数	調査日
中勢	津市	1	12	2019年6月20日
南勢	多気町	1	30	2019年6月20日
計		2	42	

c 調査結果

全ての調査区において感染と思われる症状は確認されなかった。

(4)ミバエ類等侵入警戒調査

ミカンコミバエ種群、ウリミバエ、チチュウカイミバエは、果樹、果菜類の重要害虫である。これら害虫の海外からの侵入防止に万全を期するため、都道府県と農林水産省植物防疫所では、地域を分担協力し、侵入警戒調査を実施している。三重県では、ミカンコミバエ種群、ウリミバエ、チチュウカイミバエを対象に、県内 6 か所にミバエ類誘引トラップを設置し、侵入警戒調査を実施している。

a 調査方法： スタイナー型トラップにミバエ類誘引用資材(メドフライコールあるいはユーゲルア)を装填し、2019年4月12日に桑名市多度町小山、4月10日に津市大里窪田および南伊勢町船越、4月9日に紀北町海野および紀南果樹研究室町、4月12日に多気町五桂、に各1器ずつ設置した。1か月に2回程度(原則として、第2週及び第4週)、11月9日まで調査した。

b 調査結果： 対象種の侵入は確認されなかった。

誘引頭数

調査月	桑名市多度町小山					津市大里窪田町					多気町五桂					南伊勢町船越					紀北町海野					御浜町志原							
	ユーゲルア		メドフライコール			ユーゲルア		メドフライコール			ユーゲルア		メドフライコール			ユーゲルア		メドフライコール			ユーゲルア		メドフライコール			ユーゲルア		メドフライコール					
	ミカン コミバエ 群	ウリ ミバエ	ミス ジミバ エ	チチュ ウカイ ミバエ	ミ スジ ミバ エ	ミ カン コ ミ バ エ 群	ウリ ミバ エ	ミス ジミバ エ	チチュ ウカイ ミバ エ	ミ スジ ミバ エ	ミ カン コ ミ バ エ 群	ウリ ミバ エ	ミス ジミバ エ	チチュ ウカイ ミバ エ	ミ スジ ミバ エ	ミ カン コ ミ バ エ 群	ウリ ミバ エ	ミス ジミバ エ	チチュ ウカイ ミバ エ	ミ スジ ミバ エ	ミ カン コ ミ バ エ 群	ウリ ミバ エ	ミス ジミバ エ	チチュ ウカイ ミバ エ	ミ スジ ミバ エ	ミ カン コ ミ バ エ 群	ウリ ミバ エ	ミス ジミバ エ	チチュ ウカイ ミバ エ	ミ スジ ミバ エ	ミ カン コ ミ バ エ 群		
4月			0					0					2	1				1							0						0		
5月			3					4					19	3				5							5						1		
6月			2					0					0	0				0							0						0		
7月			7					2					0	0				0							3						0		
8月			0					16					4	0				0							11						0		
9月			2					6					15	0				0							35						0		
10月			0					1					0	0				0							5						0		
合計			14					29					40	4				6							59						1		

(5)火傷病侵入警戒調査

りんご、なしなどに被害をもたらす火傷病菌は、国内で発生・まん延した場合に農業生産に与える影響が極めて大きく、また、その宿主植物の輸入時における発見が困難であることから、植物防疫法で輸入禁止植物の対象病菌として取り扱われている重要病菌である。三重県においても、火傷病防疫指針にのっとり、侵入警戒調査を実施している。

a 調査方法

宿主植物のなかで、本県の果樹・花木を生産する目的で栽培される主要な植物として「日本なし」、「かなめもち」を選定し、調査対象植物とした。「日本なし」については主要な5産地にそれぞれ1~2か所ずつ調査地を設定した。また、「かなめもち」については農業研究所鈴鹿市駐在(旧花植木センター)に1か所の調査地を設定した。

火傷病の症状について、枝、葉、果実等で目視により確認した。

日本なしについては、2019年4月から9月まで、1か月に1回(第2~3週)調査した。

かなめもちについては、2019年4月から8月まで、1か月に1回(第2~3週)調査した。

b 調査樹種および地点

○日本なし(幸水、豊水)

調査圃場	調査樹数
四日市市下海老町	60
津市久居小野辺町	63
津市香良洲町	60
松阪市嬉野川北町	30
玉城町富岡	60
伊賀市羽根 1	33
伊賀市羽根 2	55

○かなめもち(レッドロビン)

調査圃場:鈴鹿市高塚町 農業研究所鈴鹿市駐在圃場

調査本数:40本(植栽本数6本、34本の2か所)

c 調査結果

対象病害の発生は確認されなかった。

2. 巡回等データ

(1) 水稻

a ブラスタムによる葉いもちの感染好適条件判定結果

- : 好適条件 (いもち病発生の好条件が全て満たされた。)
- ◎ : 準好適条件(湿潤時間の平均気温が比較的低いが湿潤時間10時間以上)
- : 準好適条件(湿潤時間の平均気温は15~25℃でないが湿潤時間10時間以上)
- ▲ : 準好適条件(前5日の平均気温は25℃以上だが湿潤時間10時間以上)
- △ : 準好適条件(前5日の平均気温は20℃未満だが湿潤時間10時間以上)
- : 好適条件・準好適条件は満たされなかった。

2019年	桑名	四日市	亀山	津	上野	粥見	小俣	南伊勢	鳥羽	紀伊長島	尾鷲	熊野新鹿	新宮(参考)	備考
5/01	◎	◎	△	◎	-	-	◎	-	-	◎	-	◎	◎	
5/02	-	-	-	-	-	-	○	-	◎	◎	-	-	◎	
5/03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/07	-	○	-	-	-	-	○	-	-	○	◎	-	-	
5/08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/15	△	◎	○	-	-	-	○	-	△	-	△	-	-	
5/16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	-	-	-	
5/19	-	-	-	-	-	-	◎	◎	◎	△	-	-	-	
5/20	-	-	-	-	-	-	△	-	-	△	◎	△	-	
5/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/24	-	-	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5/31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/03	-	-	△	-	◎	△	△	△	△	△	●	●	-	
6/04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	東海地方梅雨入り
6/08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/10	●	●	●	-	-	-	●	◎	◎	◎	-	-	-	
6/11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●	●	
6/12	◎	-	-	-	●	●	-	△	-	-	-	●	●	
6/13	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	●	●	-	
6/14	-	-	-	-	-	-	-	△	-	△	-	-	●	
6/15	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	
6/23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/24	-	-	-	-	●	●	●	-	-	●	●	-	-	
6/25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/27	-	-	-	-	-	●	-	●	●	-	-	●	●	
6/28	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	
6/29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6/30	●	-	●	-	○	○	●	-	-	●	-	-	-	

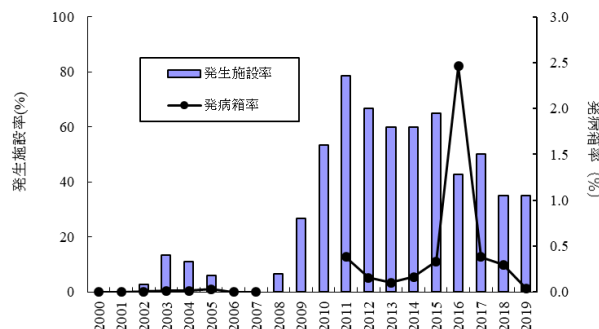
2019年	桑名	四日市	亀山	津	上野	粥見	小俣	南伊勢	鳥羽	紀伊 長島	尾鷲	熊野 新鹿	新宮 (参考)	備考
7/01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	▲	▲	
7/02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲	-	-	
7/03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/04	-	●	●	-	-	-	●	-	●	-	●	-	●	
7/05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/06	-	●	●	-	-	-	●	-	●	●	-	-	◎	
7/07	-	-	-	◎	-	●	●	-	-	-	-	●	-	
7/08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	
7/09	-	-	-	●	-	●	●	●	-	-	-	-	-	
7/10	-	-	-	-	-	-	●	-	-	●	-	●	-	
7/11	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	●	●	-	
7/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/15	●	●	●	-	●	●	●	●	-	-	-	●	-	
7/16	●	-	●	-	-	●	●	●	●	-	●	-	●	
7/17	-	-	●	-	-	-	-	●	-	-	●	●	●	
7/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/19	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	
7/20	●	●	●	●	●	●	-	-	●	●	●	-	●	
7/21	-	-	-	-	-	-	-	▲	-	-	●	-	▲	
7/22	-	-	-	-	-	-	-	-	▲	-	-	-	-	
7/23	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○	
7/24	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	東海地方梅雨明け
7/25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/27	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/31	-	▲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/06	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	
8/07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲	▲	▲	
8/08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/12	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	▲	-	
8/13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲	-	
8/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/20	▲	▲	-	-	-	-	-	▲	-	-	-	-	-	
8/21	-	-	-	-	▲	-	-	-	▲	-	-	-	-	
8/22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/23	-	○	▲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/24	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	○	-	
8/25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	
8/26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/28	-	●	●	-	-	○	-	●	●	●	○	-	-	
8/29	-	●	●	-	-	-	●	-	●	-	-	-	-	
8/30	▲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/31	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	

b 5月データ

水稻育苗施設巡回調査における、ばか苗病の発生状況(2019年4月)

調査日	JA育苗施設	ばか苗病(コシヒカリ)			その他の品種			種子消毒 床土消毒 播種時散布剤	培土	
		発生箱率(%)	発生箱数	調査箱数	発生箱数	調査箱数	品種			
4/9	紀宝	0.3	2	720	0	100	三重23号	温湯消毒 タチガレエースM液剤	クリーン2号	
		-	-	-	0	720	あきたこまち			
	三重南紀	御浜	0.2	2	1085	0	120	あきたこまち	紀宝で実施、播種翌日移動 タチガレエースM液剤	クリーン2号
		熊野	0.0	0	720	0	150	キヌヒカリ		
			-	-	-	0	150	あきたこまち	紀宝で種子消毒のみ実施 タチガレエースM液剤	クリーン2号
	伊勢	紀北	0.0	0	880	0	50	キヌヒカリ	テクリードC・スミチオン タチガレエースM液剤	クリーン2号
-			-	-	0	100	あゆみもち			
4/10	鳥羽志摩	鵜方	0.0	0	500	0	500	あきたこまち	温湯消毒 タチガレンM液剤	クリーン2号
			-	-	-	0	300	あゆみもち		
	伊勢	北部	0.0	0	1,000	-	-	-	モミガード・スミチオン タチガレエースM液剤	クリーン2号
	多気郡	兄国	0.0	0	180	0	120	あゆみもち	温湯消毒 タチガレエースM液剤	サンバイド
松阪	大足	0.0	0	720	-	-	-	温湯消毒 タチガレエースM液剤	サンバイド	
	機殿	0.0	0	1,240	0	240	三重23号			
4/11	津安芸	櫛形	0.2	1	500	2	450	みえのえみ	温湯消毒 タチガレエースM液剤	クリーン2号
	鈴鹿	南部	0.0	0	1,000	0	500	あきたこまち	テクリードC・スミチオン タチガレエースM液剤	クリーン2号
		南部	0.1	1	2,000	0	50	キヌヒカリ	温湯消毒 モミガードC・スミチオン タチガレエースM液剤	クリーン2号
みえきた	員弁	0.1	1	2,000	0	50	キヌヒカリ	温湯消毒 テクリードC・スミチオン ナエファインF	クリーン2号 覆土三菱軽量	
	桑名	0.0	0	2,000	1	1,000	みつひかり	温湯消毒 ナエファインF	クリーン2号	
いがほくぶ	阿山	0.0	0	1,000	0	1000	キヌヒカリ	温湯消毒 タチガレエースM液剤	クリーン2号 一部城南培土	
	上野南	0.0	0	1,500	0	1000	キヌヒカリ	温湯消毒 タチガレエースM液剤	クリーン2号	
4/12	伊賀南部	名張	0.0	0	1,000	0	1000	キヌヒカリ	温湯消毒 タチガレエースM液剤	クリーン2号
	三重中央	白山	0.0	0	2,000	-	-	-	種子消毒:酸性水 床土消毒:酸性水	クリーン2号
一志東部	嬉野	0.0	0	1,200	-	-	-	温湯消毒 タチガレエースM液剤	クリーン2号	
	三雲	0.0	0	500	-	-	-	温湯消毒 タチガレエースM液剤	クリーン2号	

県全体平均(コシヒカリ) 0.04 (昨年0.3%) 発生施設率 5/20=25% (昨年35%)



JA育苗施設におけるばか苗病の発生状況の推移(2000年～2018年。巡回調査結果、コシヒカリのみ。2008～2010年は発生箱率未調査)

水稲病害虫の発生状況(2019年5月)

地区	調査 月日	調査 圃場数	イネミズゾウムシ								薬いもち		
			被害程度別圃場割合(%)					株当たり 成虫数 (頭)	被害 株率 (%)	被害度	本田 発生 圃場率 (%)	補植苗を 確認した 圃場の 割合(%)	
			発生圃場率 (%)	甚	多	中	少						無
桑名	5/13	29	41.4	0.0	0.0	0.0	41.4	58.6	0.02	5.1	1.4	0	17.2
四日市鈴鹿	5/8、5/9	44	40.9	0.0	0.0	0.0	40.9	59.1	0.02	4.5	1.2	0	36.4
津	5/7	36	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0	30.6
松阪	5/8、5/9	36	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.01	10.0	2.5	0	22.2
伊勢志摩	5/7、5/8、5/10	40	47.5	0.0	0.0	0.0	47.5	52.5	0.03	6.2	1.6	0	35.0
伊賀	5/10	26	3.8	0.0	0.0	0.0	3.8	96.2	0.00	0.5	0.1	0	30.8
紀州	5/13	16	56.3	0.0	0.0	0.0	56.3	43.8	0.06	11.8	3.2	0	12.5
県全体		227	33.9	0.0	0.0	0.0	33.9	66.1	0.02	8.2	1.4	0	28.2
平年値(10年平均)			55.5	0.6	1.9	7.3	45.6	41.8	0.04	20.7	6.3	0	41.1

その他病害虫:津、松阪地区でスクミンゴガイを確認

定点におけるイネミズゾウムシ発生状況(2019年5月)

地区	調査場所	品種	移植(予定)日	移植時の殺虫剤・殺菌剤施用等	被害株率(%)	被害度	被害程度	株当たり田数(頭)
桑名	いなべ市北勢町廻下喜	コシヒカリ	4/28	エバーゴールド箱粒剤	0	0	無	0
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町	ミルククイン	5/9	エバーゴールド箱粒剤			未定植のため調査不能	
	菰野町竹成	コシヒカリ	4/16	エバーゴールド箱粒剤	20	5	少	0
	鈴鹿市矢橋町	神の穂	5/7	ツインターボ箱粒剤	0	0	無	0
	鈴鹿市御薗町	コシヒカリ	4/24	ツインターボ箱粒剤	0	0	無	0
	亀山市山下町	コシヒカリ	4/19	ツインターボ箱粒剤	20	5	少	0
津	津市安東町	コシヒカリ	4/23	なし	0	0	無	0
	津市安濃町草生	コシヒカリ	4/29	バリアード箱粒剤	0	0	無	0
	津市一志町井生	コシヒカリ	4/29	バリアード箱粒剤	0	0	無	0
松阪	松阪市美濃田町	コシヒカリ	5/1	ツインターボ箱粒剤	0	0	無	0
	多気町兄国	コシヒカリ	5/1	フルサボート箱粒剤	0	0	無	0
	明和町坂本	コシヒカリ	5/3	ツインターボ箱粒剤	0	0	無	0
伊勢 志摩	伊勢市円座町	コシヒカリ	5/5	オリゼメートオンコロ粒剤	4	1	少	0
	玉城町蚊野	みえのえみ	4/29	フジワンフェルテラ箱粒剤	4	1	少	0.04
	志摩市磯部町匠之郷	コシヒカリ	4/18	バリアード箱粒剤	8	2	少	0
伊賀	伊賀市大野木	コシヒカリ	5/5	ツインターボ箱粒剤	0	0	無	0
	伊賀市甲野	コシヒカリ	5/3	ツインターボ箱粒剤	0	0	無	0
紀州	紀北町赤羽	コシヒカリ	5/4	ファーストオリゼプリンス箱粒剤	0	0	無	0
	熊野市飛鳥町	コシヒカリ	4/29	ブイゲットバリアード箱粒剤	0	0	無	0
県予察圃	農業研究所	コシヒカリ	4/25	なし	35	9	少	0.04
定点平均		—	—	—	4.8	1.2	少	0.00
平年値(10年平均)		—	—	—	21.8	7.1	少	0.04

※イネミズゾウムシ被害度に対する被害程度:0(無)、1~20(少)、21~40(中)、41~70(多)、71以上(甚)

c 6月データ

本田および置き苗における葉いもちの発生状況(2019年6月)

地区	調査 月日	本田調査							置き苗調査	
		発生程度別圃場割合(%)					発生無	発病度	放置率 (置き苗が放置されて いたほ場の割合%)	発生圃場率 (全調査圃場に対する 割合%)
		発生有								
計	甚	多	中	少						
桑名	6/6	0	0	0	0	0	100	0	12.5	3
四日市鈴鹿	6/4	0	0	0	0	0	100	0	4.2	0
津	6/6	0	0	0	0	0	100	0	8.3	0
松阪	5/31	0	0	0	0	0	100	0	2.8	0
伊勢志摩	6/3,7	0	0	0	0	0	100	0	5.0	0
伊賀	6/7	0	0	0	0	0	100	0	10.7	0
紀州	5/31	0	0	0	0	0	100	0	6.3	0
県全体		0	0	0	0	0	100	0	6.8	0.4
10年平均		0	0	0	0	0	100	0	4.5	0.3

広域病害虫防除員によるいもち病初発調査(2019年6月) 10圃場について100m2条見歩き調査。

地区	調査 月日	調査場所	本田調査		置き苗調査		備考
			発生 圃場率 (%)	放置率 (置き苗が放置されて いたほ場の割合%)	発生圃場率 (全調査圃場に対する いもち病の発生割合%)		
桑名	6/1	桑名市上ノ輪 桑名市長島町下坂手 いなべ市北勢町畑毛	0 0 0	0 50.0 10.0	0 0 0	0 0 0	移植日:5月25日 品種:キヌヒカリ、生育良好 移植日:4月10日頃 一部でイネミズゾウムシ被害有り 移植日:4月30日～5月25日 品種:コシヒカリ、キヌヒカリ、イネミズ食害多い
鈴鹿	6/3	鈴鹿市林崎 鈴鹿市算所 鈴鹿市西富田	0 0 0	40.0 10.0 10.0	0 0 0	0 0 0	害虫被害が散見され、雑草多い 一部圃場で、ホタルイ多い
津市	6/4	一志町井生 一志町八太 白山町二本木	0 0 0	10.0 30.0 10.0	0 10.0 0	0 0 0	一部圃場の畦畔沿いで、キシュウスズメヒエ多い
松阪	6/4	美濃田町北蔵 小阿坂町野中 小野町字車	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	スクミリンゴガイ多、一部圃場でヒエ多発している 畦畔除草されており、管理良好 スクミリンゴガイ多、一部圃場でヒエ多発している
伊勢	6/7	伊勢市上地町 玉城町上田辺 度会町大野木	0 0 0	20.0 0 0	0 0 0	0 0 0	
伊賀	6/6	猪田地区 森寺地区 比自岐地区	0 0 0	10.0 20.0 30.0	0 0 0	0 0 0	品種:コシヒカリ 深水管理の圃場で欠株が見られた 各ほ場とも今年は雑草が多い 初期生育良好 初期生育良好
東紀州	6/7	熊野市金山 御浜町下市木 紀宝町井内	0 0 0	10.0 20.0 20.0	0 0 0	0 0 0	草丈:40cm 草丈:30～45cm 草丈:35cm
県全体			0.0	14.3	0.5		-
平年			0.1	14.5	2.4		

水稲病害虫発生状況(2019年6月)

地区	調査 月日	調査 圃場数	はらい落とし調査(虫数/10株)							イネ ゾウムシ 発生 圃場率(%)	イネ ゾウムシ 被害度	イネ ゾウムシ 発生 圃場率(%)	イネクロ カメムシ 発生 圃場率(%)	フタオビコ ヤガ 発生 圃場率(%)	イナゴ類 発生 圃場率(%)	その他病害虫 (10株はらい落とし調査 および10m見取り調査)
			セジロウンカ		ヒトヘビウンカ		ツマグロヨコバイ		イネミズ ゾウムシ							
			成虫	成虫	成虫	幼虫	発生 圃場率(%)									
桑名	6/6	32	0	0.22	0.31	0.47	0.41	0	0	0	0	0	0	34.4	アカスジカスミカメ、アカヒゲホソドリカスミカメ、スクミリンゴガイ イネミズゾウムシ、イネゾウムシ	
四日市鈴鹿	6/4	48	0	0	0.04	0.19	0.79	2	0.02	0	0	2.1	31.3	アカスジカスミカメ、スクミリンゴガイ、イネミズゾウムシ、 イネゾウムシ		
津	6/6	36	0	0.03	0.14	0	0.42	0	0	0	0	0	16.7	アカスジカスミカメ、アカヒゲホソドリカスミカメ、スクミリンゴガイ イネミズゾウムシ		
松阪	5/31	36	0	0	0	0	0.64	3	0.03	0	0	0	33.3	アカスジカスミカメ、スクミリンゴガイ、イネミズゾウムシ、 イネゾウムシ		
伊勢志摩	6/3,7	40	0	0	0.15	0.08	0.18	0	0	0	0	0	40.0	アカスジカスミカメ、イネミズゾウムシ、		
伊賀	6/7	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46.4			
紀州	5/31	16	0	0	0	0	0.13	0	0	0	0	6.3	37.5	スクミリンゴガイ、イネミズゾウムシ		
県全体		236	0	0.03	0.05	0.09	0.42	0.8	0.01	0	0	0.8	33.5			
10年平均(※8年平均)			0.002	0.02	0.05	0.11	0.47	4.4	0.1	20.9	2.7	0.9	24.8			

圃場周辺の雑草地における斑点米カメムシ類の発生状況(2019年6月)

地区	調査 月日	調査 地点数	ホソハリカメムシ 成幼虫		クモヘリカメムシ 成幼虫		シラホシカメムシ類 成幼虫		アカスジカスミカメ 成虫		アカヒゲホソドリカスミカ メ成虫		その他 斑点米カメムシ成幼虫
			発生地点率 (%)	虫数	発生地点率 (%)	虫数	発生地点率 (%)	虫数	発生地点率 (%)	虫数	発生地点率 (%)	虫数	
桑名	6/6	16	0	0	0	0	0	0	37.5	0.8	12.5	0.13	
四日市鈴鹿	6/4	24	12.5	0.2	0	0	0	0	75.0	8.8	4.2	0.04	イチモンジカメムシ(1)
津	6/6	18	0	0	0	0	0	0	22.2	0.7	11.1	0.11	
松阪	5/31	18	5.6	0.1	0	0	0	0	83.3	3.9	0	0	
伊勢志摩	6/3,7	20	5	0	0	0	5.0	0.05	30.0	1.2	0	0	
伊賀	6/7	14	0	0	0	0	0	0	21.4	0.9	7.1	0.07	
紀州	5/31	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県全体		118	4.2	0.1	0	0	0.8	0.01	44.1	2.9	5.1	0.05	
10年平均			8.3	0.1	0.0	0.00	3.9	0.07	40.6	2.4	10.8	0.28	

※畦畔、のり面、休耕地等における20回振りすくい取り調査

定点圃場(または畦畔、のり面)における病害虫発生状況(2019年6月)

地区	調査場所	葉いもち		はらい落とし調査(虫数/10株)				イネドロオイムシ		イネクロカメムシ		その他病害虫 (見取り調査および圃場内(または畦畔、のり面)すくい取り虫数)	
		発病度	発病 程度	セジロウシ カ成虫	ヒトヒウ シカ成虫	ツマグロヨコバイ 成虫	イネミス ソウムシ 幼虫	被害度	発生 程度	成虫数 (/25株)	被害株 率(%)		
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	0	無	0	0	0	0	0	無	0	0		
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町	0	無	0	0	0	0	0	無	0	0	ホソハリカメムシ成虫(2)、アカスジカスミカメ成虫(4)、ツヤアオカメムシ成虫(1)、イナゴ幼虫(3)	
	菰野町竹成	0	無	0	0	0	0	0	無	0	0	アカスジカスミカメ成虫(1)、イナゴ類幼虫(1)	
	鈴鹿市矢橋	0	無	0	0	0	0	0	無	0	0		
	鈴鹿市御園町	0	無	0	0	0	0	1	少	0	0	アカスジカスミカメ成虫(3)	
	亀山市山下町	0	無	0	0	0	2	15	0	無	0	0	アカスジカスミカメ成虫(1)、イナゴ類幼虫(4)
津	津市安東町	0	無	0	0	0	0	0	無	0	0	アカスジカスミカメ成虫(2)	
	津市安濃町草生	0	無	0	0	0	1	0	無	0	0		
	津市一志町井生	0	無	0	0	0	2	0	無	0	0		
松阪	松阪市美濃田町	0	無	0	0	0	0	0	無	0	0	アカスジカスミカメ成虫(3)、スクミリンゴガイ被害	
	多気町兄国	0	無	0	0	0	0	0	無	0	0	アカスジカスミカメ成虫(3)、ニカメイガ成虫(1)	
	明和町坂本	0	無	0	0	0	1	0	無	0	0	アカスジカスミカメ成虫(1)	
伊勢 志摩	伊勢市円座町	0	無	0	0	1	1	0	無	0	0	アカスジカスミカメ成虫(1)、イナゴ類幼虫(3)、ニカメイガ成虫(2)	
	玉城町蚊野	0	無	0	0	0	0	0	無	0	0	アカスジカスミカメ成虫(1)	
	志摩市磯部町下之郷	0	無	0	0	0	0	0	無	0	0	アカスジカスミカメ成虫(3)、イナゴ類幼虫(3)	
伊賀	伊賀市大野木	0	無	0	0	0	0	0	無	0	0	イナゴ類幼虫(1)	
	伊賀市甲野	0	無	0	0	0	0	0	無	0	0	イナゴ類幼虫(3)	
紀州	紀北町赤羽	0	無	0	0	0	0	0	無	0	0	イナゴ類幼虫(1)	
	熊野市飛鳥町	0	無	0	0	0	0	0	無	0	0		
県予察團	農業研究所	0	無	0	1	0	2	9	0	無	0	0	アカスジカスミカメ成虫(1)、ミナミアオカメムシ(1)、イチモンジカメムシ(1)、イナゴ類幼虫(14)

葉いもち発病度(発病程度):0(無)、1-20(少)、21-40(中)、41-70(多)、71以上(甚)。イネドロオイムシ被害度(発生程度):0(無)、1-20(少)、21-50(中)、51-70(多)、71以上(甚)

スクミリンゴガイによる被害の発生状況(2019年6月)

地区	調査月日 (令和元年)	調査 圃場数	スクミリンゴガイの被害発生ほ場率(%)					
			平成26年	27年	28年	29年	30年	令和元年
桑名	6/6	32	0	2.8	3.1	9.4	12.5	9.4
四日市鈴鹿	6/4	48	0	0	4.2	4.2	4.2	4.2
津	6/6	36	0	2.3	5.6	5.6	8.3	11.1
松阪	5/31	36	0	0	8.3	5.6	5.6	27.8
伊勢志摩	6/3,7	40	0	0	0	2.5	2.5	0
伊賀	6/7	28	0	0	0	0	0	0
紀州	5/31	16	0	0	0	25.0	25.0	25.0
県全体		236	0.0	0.6	3.4	5.9	6.8	9.7

d 7月データ

水稲病害発生状況(2019年7月)

地区	調査 月日	調査 圃場 数	葉いもち								紋枯病		
			程度別発生圃場率(%)					発生 無	発病度	発病 株率 (%)	上位葉 進展率 (発病株 に対する 割合%)	発生 圃場率 (%)	発病 株率 (%)
			発生有										
計	甚	多	中	少									
桑名	6/27	32	3.1	0	0	0	3.1	96.9	0.03	0.1	0	0	0
四日市鈴鹿	6/28,7/2,5	48	0	0	0	0	0	100.0	0	0	0	0	0
津	6/26,28	36	0	0	0	0	0	100.0	0	0	0	0	0
松阪	6/28,7/1	36	0	0	0	0	0	100.0	0	0	0	0	0
伊勢志摩	6/27,7/1,2	40	5.0	0	0	0	5.0	95.0	0.08	0.3	0	0	0
伊賀	7/3	28	0	0	0	0	0	100.0	0	0	0	0	0
紀州	6/26,7/5	16	0	0	0	0	0	100.0	0	0	0	0	0
県全体		236	1.3	0.0	0.0	0.0	1.3	98.7	0.02	0.1	0	0	0
平年(10年平均)			17.1	0.0	0.0	1.7	15.3	72.9	1.6	4.4	4.2	5.7	0.5

水稲害虫発生状況(2019年7月)

地区	調査 月日	調査 圃場 数	はらい落とし調査(10株当たり)										見取り調査							
			セジロウンカ		トビイロウンカ		ヒメトビウンカ		ツマグロヨコバイ		イネミズゾウムシ		フタオビコヤガ		イネクロカメムシ		ニカメイガ		イネヨトウ	
			発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	成虫数	幼虫数	発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	成虫数	被害発生圃場率(%)	被害株率(%)	被害発生圃場率(%)	被害株率(%)	
桑名	6/27	32	0	0	0	0	12.5	0.16	28.1	1.03	0.00	0	0	0	0	28.1	1.4	0	0	
四日市鈴鹿	6/28,7/2,5	48	0	0	2.08	0.063	6.3	0.06	18.8	0.21	0.00	8	0	0	0	6.3	0.3	2.1	2.1	
津	6/26,28	36	0	0	0	0	13.9	0.14	25.0	0.39	0.14	11.1	0.14	0	0	5.6	0.2	2.8	2.8	
松阪	6/28,7/1	36	0	0	0	0	11.1	0.14	30.6	0.67	0	5.6	0	0	0	19.4	1.0	0	0	
伊勢志摩	6/27,7/1,2	40	0	0	0	0	2.5	0.03	30.0	0.33	0	0	0	0	0	5.0	0.2	0	0	
伊賀	7/3	28	0	0	0	0	3.6	0.04	4	0	0	0	0	0	0	3.6	0.1	0	0	
紀州	6/26,7/5	16	6.3	0.063	0	0	6.3	0.06	0	0	0	0	0	0	0	25.0	1.0	0	0	
県全体		236	0.4	0.004	0.42	0.013	8.1	0.09	21.6	0.40	0.04	4.2	0.05	0	0	11.9	0.5	0.8	0.8	
平年(10年平均)			2.6	0.041	0.03	0.001	11.5	0.17	25.9	0.18	1.14	6.1	0.08	5.6	0.07	18.4	2.2	14.0	1.6	

虫数は調査圃場あたり

定点圃場における水稲病害発生状況(2019年7月)

地区	調査場所	葉いもち		紋枯病		すくい取り20回調査			すくい取り調査・斑点米カメムシ類 (見取り調査・その他病害虫)
		発病 株率(%)	発病度	発病 株率(%)	発病度	セジロ ウンカ	トビイロ ウンカ	ツマグロヨコバイ 成虫 幼虫	
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	0	無	0	無				イナゴ類 2
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町	0	無	0	無				アカスジカスミカメ 3, ミナミアオカメムシ 1
	菰野町竹成	0	無	0	無				アヒゲホソミドリカスミカメ 2
	鈴鹿市矢橋町	0	無	0	無				アカスジカスミカメ 1
	鈴鹿市御園町	0	無	0	無				
津	亀山市山下町	0	無	0	無		1		ホソハラカメムシ1, ツマグロヨコバイ1, イナゴ類1, ササネリ2
	津市安東町	0	無	0	無				ササネリ 1
	津市安濃町草生	0	無	0	無				イナゴ類1, ヒメトビウンカ1(脱落)
松阪	津市一志町井生	0	無	0	無				ツマグロヨコバイ1, ササネリ1(若)
	松阪市美濃田町	0	無	0	無				アカスジカスミカメ9, アヒゲホソミドリカスミカメ2, イナゴ類1
	多気町兄国	0	無	0	無				ツマグロヨコバイ1
伊勢 志摩	明和町坂本	0	無	0	無				ホソハラカメムシ1, アカスジカスミカメ1, ツマグロヨコバイ1(脱落)
	伊勢市円座町	0	無	0	無				
	玉城町蚊野	8	2	少	0				トゲシラホシカメムシ1, イナゴ類(脱落)
伊賀	志摩市磯部町下之郷	0	無	0	無				
	伊賀市大野木	0	無	0	無				イナゴ類 1
紀州	伊賀市甲野	0	無	0	無				クモハラカメムシ1, イナゴ類 2
	紀北町赤羽	0	無	0	無				クモハラカメムシ1, ササネリ 2
熊野市飛鳥町	0	無	0	無					
県予察圃 農業研究所(無防除)		0	無	0	無				ホソハラカメムシ2, イナゴ類4, ササネリ1, ツマグロヨコバイ1

葉いもちおよび紋枯病発病度(発病程度):0(無)、1-20(少)、21-40(中)、41-70(多)、71以上(甚)

畦畔イネ科雑草における、斑点米カメムシ類の発生状況(20回振りすくい取り)(2019年7月)

地区	調査月日	調査地点数	ホソハリカメムシ 成幼虫		クモヘリカメムシ 成幼虫		シラホシカメムシ類 成幼虫		アカスジカスミカメ 成虫		アカヒゲホソミドリカ スミカメ成虫		ミナミアオカメムシ 成幼虫		その他 斑点米 カメムシ類
			発生 地点率(%)	虫数	発生 地点率(%)	虫数	発生 地点率(%)	虫数	発生 地点率(%)	虫数	発生 地点率(%)	虫数	発生 地点率(%)	虫数	
桑名	6/27	16	6.3	0.1	0	0	6	0	50.0	1.1	18.8	0.2	0	0	
四日市鈴鹿	6/28,7/2,5	24	25.0	0.4	0	0	12.5	0.1	50.0	6.7	25.0	0.6	4.2	0.13	イチモンジカメムシ、ケブカヒメハ リカメムシ、ツヤオカメムシ
津	6/26,28	17	0	0	0	0	0	0	29.4	4.1	11.8	0.2	0	0	-
松阪	6/28,7/1	17	0	0	11.8	1.6	0	0	17.6	1.5	11.8	0.4	0	0	-
伊勢志摩	6/27,7/1,2	20	0	0	5.0	0.1	0	0	40.0	4.4	5.0	0.1	0	0	-
伊賀	7/3	14	0	0	0	0	0	0	71.4	5.9	21.4	0.7	0	0	イチモンジカメムシ
紀州	6/26,7/5	8	25.0	1.1	13	0.3	0	0	50.0	3.5	12.5	0.3	0	0	-
県全体		116	7.8	0.2	3.4	0.3	3.4	0.0	43.1	4.1	15.5	0.3	0.9	0.03	-
平年(10年平均)			21.1	0.5	6.9	0.5	10.5	0.2	35.1	3.9	10.2	0.3	2.3	0.06	-

定点は場以外の畦畔、のり面等で調査したもの。

畦畔および圃場内における、斑点米カメムシ類(中型種成虫)の発生状況・広域病害虫防除員による調査(2019年7月)

地区	調査月日	調査場所	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	シラホシカメムシ類	備考
			成虫数	成虫数	成虫数	
桑名	7/1	桑名市上ノ輪	0	0	0	スクミリンゴガイの被害多。出穂前
		桑名市長島町下坂手	0	0	0	一部ほ場でウリカワ、ミズガヤツリ、ヒエ多。出穂前
		いなべ市北勢町畑毛	1.0	0	0.4	生育良好。出穂前
鈴鹿	7/5	鈴鹿市算所	0	0	0	イナゴ類、ササキが多い。調査時強風。雑草多い。
		鈴鹿市中富田	0	0	0.2	アカシカスミカメ0.8頭(平均)。イナゴ類、ササキ、クモ多い。調査時強風
		鈴鹿市林崎	1.2	0	0	アカシカスミカメ2頭(平均)。イナゴ類、ササキ、クモ多い。調査時強風
津市	7/2	津市一志町井生	0	0.6	0	アカシカスミカメ0.2頭、イチモンジカメムシ0.6頭(平均)。ヨコバエ成幼虫が散見される
		津市一志町八太	0	0	0	アカシカスミカメ4.6頭(平均)。イナゴ類幼虫とヨコバエ成幼虫が散見される
		津市白山町川口	1.6	7.6	0	アカシカスミカメ0.2頭(平均)。1筆でその他カメムシ類(ケガレ)2頭
松阪飯多		松阪市美濃田町北蔵	0.8	4.2	0	一部ほ場でヒエ多発
		松阪市小阿坂町野中	1.8	0	0	
		松阪市小野町字車	0.8	4.2	0	スクミリンゴガイが多発している
伊勢	7/7	伊勢市上地町	0	0	0	
		度会町大野木	1	0	0	
		玉城町上田辺	0	0	0	
伊賀	7/4	伊賀市猪田	0	0	0	ミゾカメムシ0.2頭(平均)。イナゴ類、クモ多い。雑草は少ない。中干し期
		伊賀市森寺	0	0	0	イナゴ類少ない。雑草は少ない。中干し期
		伊賀市比自岐	0.2	0	0	イナゴ類、クモ少ない。雑草は少ない。中干し期
東紀州	7/5	熊野市金山	1.8	0	0.8	出穂前、畦畔雑草あり。草丈70cm
		御浜町下市木	0	0	0	出穂前、畦畔除草良好。草丈65cm
		紀宝町井内	2.2	2.8	0.2	出穂初期、畦畔除草済み、一部管理不足。畦畔にイナゴ類多い。草丈65~70cm
県全体			0.59	0.92	0.08	-
平年値(10年平均)			0.44	0.47	0.08	-

すくいとり調査(各調査場所において、5ほ場×20回振り)、成虫数は1ほ場当りの頭数

e 8月データ

水稲病害発生状況(2019年8月)

地区	調査 月日	調査 圃場 数	穂いもち			葉いもち			紋枯病					白葉枯 病	ごま葉枯 病	(参考) 縮葉枯 病	(参考) ばか苗 病	(参考) 萎縮病	(参考) もみ枯 細菌病	(参考) 稲こじ 病		
			発生 圃場 率(%)	発病 株率 (%)	発病 穂率 (%)	発生 圃場 率(%)	発病 株率 (%)	上位葉 進展率 (発病株 に対する 割合)	程度別発生圃場率(%)												発病 度 率(%)	発病 株率 (%)
									計	甚	多	中	少									
桑名	7/30	32	0	0	0	0	0	0	56.3	0	0	0	56.3	2.0	6.8	0	0	0	6.25	0	0	0
四日市鈴鹿	7/29,8/5	48	0	0	0	4.5	0.7	0	34.1	0	0	0	34.1	1.1	3.1	0	0	0	0	0	0	0
津	8/2,5	36	0	0	0	13.9	0.6	0	33.3	0	0	0	33.3	1.2	3.2	0	5.6	0	0	0	0	0
松阪	7/31,8/1,2	36	0	0	0	13.9	1.1	0.6	50.0	0	0	0	50.0	1.8	5.6	0	0	0	0	0	0	0
伊勢志摩	7/29,30,31	40	0	0	0	7.5	0.3	0	7.5	0	0	0	7.5	0.4	0.9	0	0	0	2.50	0	0	0
伊賀	8/1	28	0	0	0	0	0	0	10.7	0	0	0	10.7	0.1	0.4	0	0	0	0	0	0	0
紀州	7/31,8/2	16	6.3	0.50	0.021	12.5	0.8	66.7	31.3	0	0	0	31.3	0.8	2.3	0	0	0	0	0	0	0
県全体		236	0.4	0.03	0.001	7.2	0.5	31.0	31.8	0	0	0	31.8	1.1	3.3	0	0.8	0	1.27	0	0	0
平年値(10年平均)			8.9	1.58	0.091	14.1	2.8	23.9	28.5	0	0.03	1.5	26.9	1.6	4.6	0.2	3.1	0	0.13	0	0	0.09

穂いもち発生状況・広域病害虫防除員による調査(2019年8月)

地区	調査 月日	調査場所	発病 株率(%) ^a	発病穂率(%)		備考		
				計	穂首 ^a 枝穂 ^a			
桑名	8/3	桑名市上ノ輪	0	0	0	出穂前(8/3現在):キヌヒカリ		
		桑名市長島町下坂手	0	0	0	一部倒伏被害		
		いなべ市北勢町畑毛	0	0	0	穂揃い期、昨年よりコシヒカリは6日遅い、キヌヒカリは4日遅い		
鈴鹿	8/7	鈴鹿市算所	0	0	0	紋枯病が発生		
		鈴鹿市中富田	0.8	0.03	0.03			
		鈴鹿市林崎	0.8	0.03	0.03	一部ほ場で紋枯病が発生		
津市	8/1	一志町井生	0	0	0	一部ほ場で、紋枯病		
		一志町八太	0	0	0	一部ほ場で、イネクロカメムシによる被害		
		白山町川口	0	0	0	一部ほ場で、紋枯病		
松阪飯多	8/2	松阪市小阿坂町野中	0	0	0	出穂前(8/2現在)		
		松阪市小野町車	0	0	0			
		松阪市美濃田町内浦	0	0	0			
伊勢	8/3	伊勢市上地町	0	0	0			
		度会郡度会町大野木	1.6	0.08	0.04	0.041		
		度会郡玉城町上田辺	0.8	0.04	0.04	0	イナゴ類多発	
伊賀	8/6	伊賀市猪田地区	0	0	0	イナゴ類多発		
		伊賀市森寺地区	0	0	0	0	一部ほ場で紋枯病が発生、ニカメイガの被害を確認した。イナゴ類多発	
		伊賀市比自岐地区	0	0	0	0	イナゴ類多発	
東紀州	8/3	熊野市金山	0	0	0	0	草丈85cm、イナゴ類多い、斑点米カメムシを確認	
		御浜町下市木	0.8	0.08	0.08	0	0	草丈85~90cm、穂首いもちの発生は1株のみ
		紀宝町井内	0	0	0	0	0	草丈80cm、イナゴ類多い
県全体			0.2	0.01	0.01	0.002		
平年値(10年平均)			5.0	0.36	0.16	0.199		

水稲害虫発生状況(2019年8月)

地区	10株払い落とし調査												見取り調査による被害発生圃場率(%)										
	セジロウンカ		トビロウンカ		ヒメトビウンカ		ウンカ類幼虫		ツマゴロヨコバイ		イネミズノウムシ		フタオビコヤガ		イネ ヨトウ	ニカ メイガ	イチ モンジ セセリ	アワ ヨトウ	コブ メイガ	イネク ロカメ ムシ	ササ キリ 類	イナゴ 類	
	発生 圃場 率(%)	成虫 数	発生 圃場 率(%)	成虫数	発生 圃場 率(%)	成虫 数	発生 圃場 率(%)	幼虫 数	発生 圃場 率(%)	成虫 数	発生 圃場 率(%)	成虫 数	発生 圃場 率(%)	成幼 虫数									
桑名	0	0	0	0	9.4	0.09	34.4	0.78	40.6	2.7	1.7	25.0	0.4	12.5	0.2	0	28.1	0	0	0	12.5	3.1	21.9
四日市鈴鹿	0	0	0	0	18.2	0.23	25.0	0.41	59.1	1.9	2.1	6.8	0.1	11.4	0.2	0	18.2	0	0	2.3	0.0	9.1	25.0
津	0	0	0	0	2.8	0.03	8.3	0.22	72.2	2.5	5.0	0	0	0	0	0	13.9	0	0	22.2	0	0	27.8
松阪	0	0	0	0	22.2	0.36	41.7	2.03	33.3	0.8	0.8	13.9	0.3	8.3	0.1	0	13.9	0	0	0	0	2.8	11.1
伊勢志摩	0	0	0	0	20.0	0.23	27.5	1.00	25.0	1.6	1.0	22.5	0.4	5.0	0.1	0	10.0	0	0	22.5	0	0	15.0
伊賀	0	0	0	0	0	0	3.6	0.04	25.0	0.2	0.1	0	0	14.3	0.3	0	10.7	0	0	0	3.6	7.1	60.7
紀州	0	0	0	0	12.5	0.19	18.8	0.63	43.8	0.4	0.6	0	0	12.5	0.3	0	6.3	0	0	87.5	0	0	25.0
県全体	0	0	0	0	13.6	0.17	24.2	0.78	42.8	1.6	1.7	11.0	0.2	8.5	0.1	0	14.8	0	0	13.6	2	3.4	25.0
平年値(10年平均)	6.3	0.11	0.1	0.001	24.3	0.46	52.8	3.08	37.7	1.0	3.2	10.3	0.2	18.7	0.5	1.1	14.7	0.7	5.1	7.5	2.9	11.8	17.7

圃場内の斑点米カメムシ類の発生状況(2019年8月、20回振りすくい取り調査)

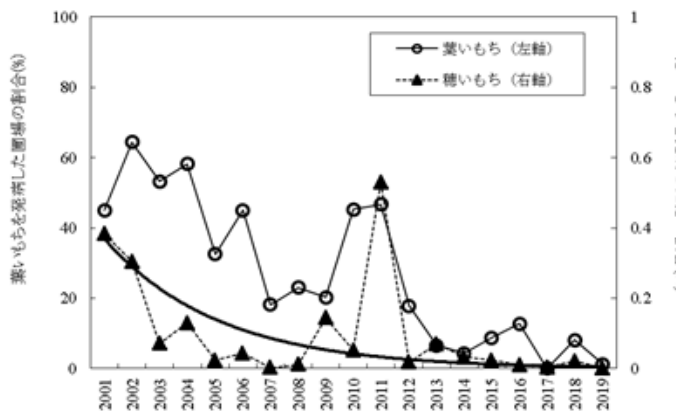
地区	調査 月日	調査 圃場 数	斑点米カメムシ類 発生程度別発生圃場率(%)					ホソハリ カメムシ 成幼虫		クモヘリ カメムシ 成幼虫		シロホシ カメムシ類 成幼虫		アカスジ カスミカメ 成虫		ミナミアオ カメムシ 成幼虫		その他 斑点米カメムシ類
			計	甚	多	中	少	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	
桑名	7/30	32	31.3	0	0	6.3	25.0	12.5	0.2	0	0	6.3	0.19	21.9	0.4	0	0	アカヒゲ'ホソドリ'リカスミカメ
四日市鈴鹿	7/29,8/5	48	56.3	0	0	8.3	47.9	16.7	0.3	4.2	0.04	0	0	50.0	0.9	2.1	0.02	アカヒゲ'ホソドリ'リカスミカメ
津	8/2,5	36	55.6	0	0	0	55.6	19.4	0.3	11.1	0.14	5.6	0.08	22.2	0.3	2.8	0.03	イネカメムシ、アカヒゲ'ホソドリ'リカスミカメ
松阪	7/31,8/1,2	36	47.2	0	0	13.9	33.3	30.6	0.6	25.0	0.53	5.6	0.06	11.1	0.1	0	0	
伊勢志摩	7/29,30,31	40	40.0	0	0	2.5	37.5	12.5	0.1	12.5	0.38	2.5	0.03	10.0	0.1	0	0	アカヒゲ'ホソドリ'リカスミカメ
伊賀	8/1	28	50.0	0	0	0	50.0	17.9	0.2	17.9	0.25	10.7	0.11	14.3	0.1	0	0	アカヒゲ'ホソドリ'リカスミカメ
紀州	7/31,8/2	16	25.0	0	0	0	25.0	12.5	0.1	0	0	6.3	0.06	6.3	0.1	0	0	イネカメムシ
県全体		236	45.8	0	0	5.1	40.7	17.8	0.3	10.6	0.20	4.7	0.07	22.0	0.4	0.8	0.01	
平年値(10年平均)			39.8	0.4	1.6	8.1	29.6	16.5	0.3	11.0	0.92	5.9	0.08	18.6	0.5	1.8	0.04	

発生程度別基準・すくい取り虫数(20回振)：(甚)31以上、(多)11~30、(中)4~10、(少)1~3、(無)0

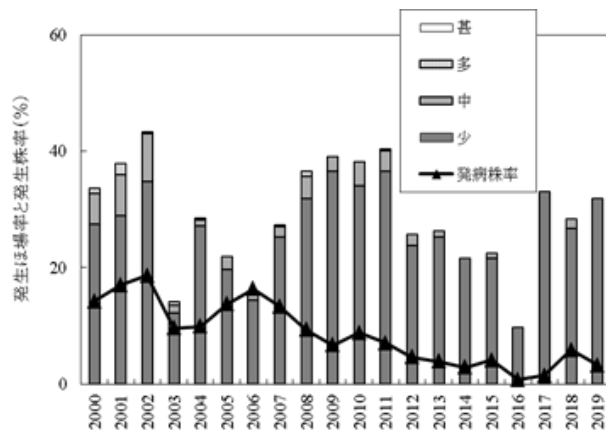
定点圃場における水稲病害虫発生状況(2019年8月)

地区	調査場所	穂いもち				紋枯病				すくい取り虫数20回				斑点米カメムシ類ほか	その他病害虫 (払落し、見取り)	
		発病 総率(%)	発病 程度	発病 程度	発病 程度	セジロ ウカ	トビイロ ウカ	ヒメトビ ウカ	ウカ類 幼虫	ツマグロヨコバイ 成虫	ツマグロヨコバイ 幼虫	ツマグロヨコバイ 成虫	ツマグロヨコバイ 幼虫			
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	0	無	0	無	0	0	1	0	0	0	0	0		ニカメイガ'被害	
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町	0	無	0	無	0	0	1	0	0	0	0	0		ホソハリカメムシ幼虫、ササチ類幼虫	
	菰野町竹成	0	無	1	無	0	0	0	0	1	0	0	0		コブノメイガ'被害、ツマグロヨコバイ成虫、イナゴ'類	
	鈴鹿市矢橋町	0	無	0	無	0	0	2	0	0	0	0	0	ホソハリカメムシ成虫3	コブノメイガ'被害、ツマグロヨコバイ成虫、イナゴ'類	
	鈴鹿市御園町	0	無	0	無	0	0	2	0	4	0	4	0	アカスジカスミカメ成虫2	ヒメトビ'ウカ成虫	
	亀山市山下町	0	無	1	少	0	0	1	0	10	20	0	0		カスミカメシ類幼虫、ウカ類幼虫、イナゴ'類、ササチ類	
津	津市安東町	0	無	1	少	0	0	0	0	25	10	0	0	クモヘリカメムシ幼虫1	ウカ類幼虫	
	津市安濃町草生	0	無	4	少	0	0	0	0	2	2	0	0		ツマグロヨコバイ成虫	
	津市一志町井生	0	無	3	少	0	0	0	0	35	60	0	0	クモヘリカメムシ成虫1、アカスジカメムシ成虫1	イナゴ'類幼虫	
松阪	松阪市美濃田町	0	無	2	少	0	0	2	1	2	1	0	0	クモヘリカメムシ幼虫1、ササチ'イ成虫2	ウカ類幼虫	
	多気町兄国	0	無	1	少	0	0	0	0	0	0	0	0	ホソハリカメムシ幼虫1、クモヘリカメムシ成虫2	ウカ類幼虫	
	明和町坂本	0	無	0	無	0	0	0	0	5	0	0	0		ツマグロヨコバイ成虫	
伊勢 志摩	伊勢市円座町	0	無	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0		コブノメイガ'被害、ツマグロヨコバイ幼虫	
	玉城町蚊野	0	無	0	無	0	0	7	3	0	0	0	0	ホソハリカメムシ成虫1	コブノメイガ'被害、ニカメイガ'被害 ヒメトビ'ウカ成虫、ウカ類幼虫、イネスズメシ	
	志摩市磯部町下之郷	0	無	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	アカスジカスミカメ成虫1	ウカ類幼虫	
伊賀	伊賀市大野木	0	無	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	アカスジカスミカメ成虫1	クモヘリカメムシ幼虫	
	伊賀市甲野	0	無	0	無	0	0	1	0	0	0	0	0	ホソハリカメムシ成虫1、クモヘリカメムシ成虫1、 シロホシカメムシ成虫1	アカスジカスミカメ成虫	
	紀北町赤羽	0	無	0	無	1	0	1	2	0	0	0	0		コブノメイガ'被害、ニカメイガ'被害 ホソハリカメムシ成虫、ツマグロヨコバイ成虫、フタホシ'コバ'幼虫	
紀州	熊野市飛鳥町	0	無	1	少	0	0	2	0	0	0	0	0		コブノメイガ'被害	
	平均	0		0.7		0.1		1.1		0.3		4.4		4.9		
平年値(10年平均)		0.2		2.5		0.8		3.0		11.1		9.0		6.3		
県予察圃	農業研究所(無防除)	0	無	2	少	0	0	0	0	0	0	2	1			ニカメイガ'被害、 ホソハリカメムシ成虫幼虫

穂いもち発病総率(発病程度)：0(無)、1~10(少)、11~30(中)、31~60(多)、61以上(甚) 紋枯病発病度(発病程度)：0(無)、1~20(少)、21~40(中)、41~70(多)、71以上(甚)



7月上旬における穂いもち発生状況の推移および
8月上旬における穂いもち発生状況の推移
(2001~2019年巡回調査結果)



8月上旬における紋枯病発生状況の推移
(2000~2019年巡回調査結果)

f 9月データ

水稲(普通期)病害発生状況(2019年9月)

地区	調査 月日	調査 圃場数	穂いもち		紋枯病			ごま葉枯病		白葉枯病	稲こじ病
			発生 圃場率 (%)	発病 穂率 (%)	発生 圃場率 (%)	発病度	発病 株率 (%)	発生 圃場率 (%)	発病度	発生 圃場率 (%)	発生 圃場率 (%)
桑名	9/2	8	0	0	75.0	9.5	31.0	0	0	0	0
四日市鈴鹿	9/3	4	0	0	75.0	6.3	16.0	0	0	0	0
津	9/5	4	75.0	15.0	0	0	0	0	0	0	0
県全体		16	18.8	3.8	56.3	5.9	19.5	0	0	0	0
10年平均			8.9	0.1	47.6	4.5	12.5	37.8	4.6	4.7	3.2

(7年平均)

圃場内の斑点米カメムシ類の発生状況(2019年9月、20回振りすくい取り調査)

地区	調査 圃場 数	ホソハリカメムシ 成幼虫		クモヘリカメムシ 成幼虫		シラホシカメムシ類 成幼虫		イネカメムシ 成幼虫		アカスジカスミカメ 成虫		ミナミアオカメムシ 成幼虫	
		発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数
桑名	8	0	0	12.5	0.6	25.0	0.3	12.5	0.1	0	0	0	0
四日市鈴鹿	4	50	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津	4	0	0	75.0	1.3	25.0	0.8	25.0	0.3	0	0	75.0	1.5
県全体	16	7.1	1.7	28.6	0.7	21.4	0.4	14.3	0.1	0	0	21.4	0.4
10年平均		26.7	0.4	29.5	1.8	9.3	0.1	14.0	0.3	14.1	0.4	27.0	0.6

(9年平均)

水稲(普通期)害虫発生状況(2019年9月)

地区	調査 月日	調査 圃場 数	10株払い落とし調査												見取り調査による被害発生圃場率(%)							
			セジロウンカ		トビイロウンカ		ヒメトビウンカ		ウンカ類幼虫		ツマグロヨコバイ		フタオビヨコバ		イネヨトウ	ニカメイ	ササキリ	イナゴ	アワヨトウ	イチモンジセセリ	コブメ	
		発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	幼虫数	発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	成虫数	発生圃場率(%)	成虫数	
桑名	9/2	8	0	0	0	0	0	13	0.1	62.5	0.1	0.6	0	0	0	0	0	12.5	100.0	0	0	12.5
四日市鈴鹿	9/3	4	0	0	0	0	0	0	0	100	43.0	1.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津	9/5	4	0	0	0	0	0	0	0	25.0	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県全体		16	0	0	0	0	0	6.3	0.1	62.5	11.1	0.6	0	0	0	0	0	6.3	50.0	0	0	6.3
10年平均			13.3	0.2	0	0	31.0	1.2	53.7	4.5	66.9	6.1	4.0	6.8	0.1	3.5	26.9	25.5	28.4	9.2	0.6	12.4

2019年 巡回調査結果・作物(水稲)

定点圃場における斑点米および斑点米カメムシ類発生状況(2019年)

地区	調査場所	品種	移植日	採取日	斑点米発生率(%)					斑点米カメムシ類 20回振りすくいとり虫数
					精玄米調査(1.85mm)					
				カメムシ被害粒発生率	斑紋型変色	くさび型加害	頂部の黒変	側部加害・鉤合部の黒点		
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	コシヒカリ	4/28	8/22	0.4	0.1	0.1	0.1	0	
四日市鈴鹿	四日市市下海老町	シネケイーン	5/9	8/28	0.3	0	0.2	0.1	0	
	菰野町竹成	コシヒカリ	4/16	8/28	0.2	0.1	0	0	0.1	
	鈴鹿市矢橋町	神の穂	5/7	9/3	0.6	0.1	0.3	0.2	0	
津	鈴鹿市御園町	コシヒカリ	4/24	8/23	0.8	0.1	0.1	0.5	0.1	
	津市安濃町草生	コシヒカリ	4/29	8/23	0.6	0.1	0.2	0.2	0.1	
	津市一志町井生	コシヒカリ	4/29	8/22	0.8	0.3	0.1	0.2	0.1	
松阪	松阪市美濃田町	コシヒカリ	5/1	8/22	0.8	0.1	0.4	0.2	0	
	多気町見国	コシヒカリ	5/1	8/22	0.9	0.2	0.2	0.3	0.1	
	明和町坂本	コシヒカリ	5/3	8/22	0.3	0	0.1	0.1	0.1	
伊勢志摩	伊勢市円座町	コシヒカリ	5/5	8/23	0.9	0.2	0.1	0.3	0.2	
	玉城町蚊野	みえのえみ	4/29	8/22	1.0	0.2	0.2	0.4	0.1	
伊賀	志摩市磯部町下之郷	コシヒカリ	4/18	8/23	0.5	0.2	0.1	0.1	0.1	
	伊賀市大野木	コシヒカリ	5/5	8/29	0.5	0.1	0.1	0.1	0.2	
	伊賀市甲野	コシヒカリ	5/3	8/29	0.5	0	0.2	0.1	0.2	
紀州	紀北町赤羽	コシヒカリ	5/4	8/23	0.9	0.3	0.2	0.2	0.1	
	熊野市飛鳥町	コシヒカリ	4/29	8/23	0.3	0.1	0	0.1	0.1	
県予察圃	松阪市磯野川北町・無防除	コシヒカリ	4/25	8/26	0.8	0.3	0.1	0.2	0.2	
定点平均		-	-	-	0.6	0.1	0.2	0.2	0.1	
平年値(10年平均)		-	-	-	0.4	0.2	0.1	0.1	0.05	

斑点米カメムシ類成幼虫数・定点平均0.9頭
同上・平年1.8頭

(2) 麦類

コムギ病害虫の発生状況(2019年4月)

地区	調査地点	調査日	さび病類 発病程度	うどんこ病 発病程度	黒節病 発病率(%)	縞萎縮病 発病率(%)	アブラ ムシ類 寄生程度	ハモグリ ハエ類 寄生率(%)	品種	生育状況
桑名	いなべ市大安町片種	4/12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	あやひかり	草丈60cm(昨年45cm)、出穂始まり、イネトウ幼虫散見
四日市	四日市市江村町	4/11	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	あやひかり	草丈50cm(昨年69cm)、出穂期、湿害
鈴鹿	鈴鹿市下大久保		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	あやひかり	草丈70cm(昨年60cm)、出穂期
津	津市殿村	4/10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	あやひかり	草丈65cm(昨年40cm)、出穂始まり、湿害
松阪	松阪市藤之木	4/9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	あやひかり	草丈65cm(昨年70cm)、出穂前
	多気町兄国		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	ニシノカオリ	草丈75cm(昨年68cm)、出穂期圃場と出穂前圃場あり
伊勢志摩	伊勢市西豊浜	4/5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	ニシノカオリ	草丈45cm(昨年45cm)、出穂前、生育ムラ
伊賀	伊賀市西之澤	4/5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	タマイズミ	草丈37cm(昨年32cm)、出穂前、獣害
	伊賀市畑村		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	タマイズミ	草丈55cm(昨年30cm)、出穂前
県全体			0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0		-
平年(10年平均)			0.2	0.0	0.4	0.0	1.6	0.1	0.4	-

各地点4圃場において、1圃場あたり25茎を調査。

コムギ病害虫の発生状況(2019年5月)

地区	調査地点	調査日	さび病類 発病程度	うどんこ病 発病程度	黒穂病 発病率 (%)	アブラム シ類 寄生程度	ムギアカ タマバエ 寄生率 (%)	赤かび病		品種	備考
								発生 圃場率 (%)	発病 穂率(%)		
桑名	いなべ市大安町片種	5/13	0	0	0	0	0	0	0.000	あやひかり	
四日市	四日市市江村	5/8	0	0	0	0	0	0	0.000	あやひかり	
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	5/9	0	0	0	0	0	0	0.000	あやひかり	
津	津市殿村	5/7	0	0	0	0	0	0	0.000	あやひかり	区外で赤かび病あり
松阪	松阪市藤之木	5/9	0	0	0	0	0	0	0.000	あやひかり	区外でアブラムシ類
	多気町兄国	5/9	0	0	0	0	0	0	0.000	ニシノカオリ	
伊勢志摩	伊勢市西豊浜	5/10	0	0	0	0	0	0	0.000	ニシノカオリ	開花期
伊賀	伊賀市西之澤	5/10	0	0	0	0	0	0	0.000	タマイズミ	開花期
	伊賀市畑村		0	0	0	1.0	0	0	0.000	タマイズミ	開花期
県全体			0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.00	-	-
平年値(10年平均)			0.3	0.2	0.0	0.8	0.0	32.2	0.37	-	-

各地点4圃場を調査。赤かび病:50m見取り調査。平年値は追加調査時の最終結果を示す。

1圃場あたり25茎調査。

コムギ巡回調査圃場における赤かび病の発生状況(2019年、発生穂率(%))

地区	調査地点	品種	5月第3週	5月第4週	備考
桑名	いなべ市大安町片種	あやひかり	0.000	0.003	5月22日晴れ
四日市	四日市市江村	あやひかり	0.000	0.000	5月22日晴れ
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	あやひかり	0.000	0.017	5月22日晴れ
津	津市殿村	あやひかり	0.000	0.000	5月22日晴れ
松阪	松阪市藤之木	あやひかり	0.000	0.004	5月22日晴れ
	多気町兄国	ニシノカオリ	0.000	0.004	5月22日晴れ
伊勢志摩	伊勢市西豊浜	ニシノカオリ	0.000	0.023	5月23日晴れ
伊賀	伊賀市西之澤	タマイズミ	0.000	0.000	5月23日晴れ
	伊賀市畑村	タマイズミ	0.000	0.000	5月23日晴れ
県全体			-	0.006	
平年値			-	0.370	

各地点4圃場において50m見取り調査。(サーモンピンクの胞子が確認された穂のみカウント)

<参考>西豊浜追加調査(調査日:5月29日 晴れ)

赤かび病発生穂率% 0.400%

淡褐色穂率% 1.085%

*5月23日5月第4週調査において、穂変種が多数見られたため追加調査

コムギ縞萎縮病の発生状況(2020年3月)

地区	調査地点	調査日	被害率(%)	品種	草丈(cm)	備考
桑名	いなべ市大安町片種	3/6	0	あやひかり	45cm(昨年35cm)	茎立期、幼穂5mm
四日市	四日市市江村	3/2	0	あやひかり	57cm(昨年35cm)	茎立期、幼穂10mm
	鈴鹿市下大久保		0	あやひかり	47cm(昨年50cm)	茎立期、幼穂5mm、チルト散布
津	津市殿村	3/2	0	あやひかり	40cm(昨年29cm)	茎立期
松阪	松阪市藤之木	3/3	0	あやひかり	46cm(昨年25cm)	茎立期、幼穂10mm
	多気町兄国		0	ニシノカオリ	44cm(昨年35cm)	茎立期、幼穂7mm
伊勢志摩	伊勢市西豊浜	3/4	0	ニシノカオリ	40cm(昨年15cm)	茎立期、幼穂20mm
伊賀	伊賀市西之澤	3/3	0	タマイズミR	25cm(昨年15cm)	茎立期、やや生育ムラ
	伊賀市畑村		0	タマイズミR	33cm(昨年33cm)	茎立期、やや湿害
県全体平均			0	伊賀タマイズミ・平均0.0%		
平年値(10年平均)			1.1	伊賀タマイズミ・平年値0.7%		

各地点4圃場にて、1圃場当たり25茎を調査。

(3) 大豆

ダイズ虫害発生状況(2019年8月)

地区	調査地点	調査 月日	アブラムシ類	ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウ		コガネムシ類	カメムシ類	草丈および備考
			寄生株率(%)	葉食害度	白変か所数(1/a)	葉食害度	寄生虫数(25株)	
桑名	いなべ市大安町大井田	7/30	0.0	0.0	0.0	0.0	0	25cm (仮圃場)
四日市	四日市市江村町	8/5	-	-	-	-	-	未播種
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	7/31	0.0	0.0	0.0	0.0	0	26cm、区外で白変葉あり
津	津市白山町川口	8/2	-	-	-	-	-	発芽
松阪	松阪市藤之木町	8/2	-	-	-	-	-	未発芽
	松阪市保津町	8/1	-	-	-	-	-	未発芽
伊賀	伊賀市木興	8/1	0.0	0.0	0.0	0.0	0	20cm (発芽1圃場のみ、仮圃場)
	伊賀市千戸	8/1	0.0	0.0	0.0	0.0	0	23cm (仮圃場)
	県全体	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-
	平年値(10年平均)	-	0.0	0.2	0.4	0.7	0.0	-

ダイズ病害虫発生状況(2019年9月)

地区	調査地点	調査 月日	ダイズア ブラムシ発生 程度	ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウ		コガネムシ 類	吸蜜性カメムシ類			その他 病害虫
				白変か所数(1/a)	葉 食害度	葉食害度	寄生株率 (%)	寄生虫数 (頭/25株)	種類	
桑名	いなべ市大安町大井田	9/2	0.0	0.0	0.0	0.3	5.0	1.5	ミナミアオ、ホソハリ	草高88cm(開花期)、マメハンミョウ、マダクガ
四日市	四日市市江村町	9/4	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0		草高35cm(開花前 蕾あり)、シロイチモジヨトウ
	鈴鹿市下大久保	9/3	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0		草高90cm(開花期)、マメハンミョウ、フタスジハムシ
津	津市白山町川口	9/5	0.0	0.4	0.0	0.3	2.0	0.5	ミナミアオ	草高75cm(開花期)、獣害
松阪	松阪市藤之木町	9/6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		草高65cm(開花期)、オオタバコガ、ヨモギエダシヤク
	松阪市保津町		0.0	0.4	0.3	0.3	1.0	0.3	ミナミアオ	草高40cm(開花前 蕾あり)、オオタバコガ、ウワバ類
伊賀	伊賀市木興	9/3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		圃場1:草高70~80cm(開花期)、 圃場2:3・4:草高30cm(開花前)、べと病あり
	伊賀市千戸		0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0		草高50~60cm(開花期)、フタスジハムシ多、播種 7/29~8/5
	県全体		0.0	0.1	0.1	0.2	1.0	0.3	-	-
	10年平均		1.1	1.2	3.0	0.4	2.5	1.6	-	-

ハスモンヨトウ発生状況・広域病害虫防除員による調査(2019年9月)

地区	調査 月日	調査場所	白変か所数 (1/a)	備考
桑名	9/5	桑名市下深谷町	0.0	30cm、播種時期が遅い
		桑名市志知	0.2	50cm、生育良好、一部大雨で冠水
		いなべ市北勢町治田外面	6.6	80cm、生育良好、青カメムシ多い
鈴鹿	9/13	鈴鹿市中富町	0.0	畦畔雑草多
		鈴鹿市算所町	4.6	白変ごく小さいもの、アサガオ繁茂
		鈴鹿市須賀町	2.2	縮葉・食害痕のある葉が多くみられた、白変ごく小さいもの
津市	9/2	津市南河路	0.0	一部の圃場で湿害
		津市一志町其村	0.0	食害少ない
		津市安濃町荒木	0.0	食害少ない
松阪 飯多	9/7	小阿坂町前田	0.0	生育若く未発生
		美濃田地蔵	0.0	播種が遅く花が咲いていない、病害虫も少ない
		深長町須畑	0.0	花がちらほら咲いている、生育は遅れぎみ、病害虫発生は少ない
伊勢	9/10	伊勢市村松町	0.0	草高50~70cmで生育良好、開花期
		伊勢市小俣町明野	0.0	草高50~70cmで生育良好、開花期
		玉城町山岡	0.0	草高60~70cm、開花期、食害痕散見
伊賀	9/10	猪田(大東)	0.0	草高50~70cm、花が付き始めている、中耕培土等除草対策あり、イナゴ多
		依那具地区	0.0	草高30~50cm、播種お盆前後、イナゴ多
		比自岐(摺見地区)	0.0	播種お盆前後と遅く発芽不能圃場も多い、イナゴ多
		県全体	0.8	
		10年平均	2.2	

ダイズ病害虫発生状況(2019年10月)

地区	調査地点	調査月 日	ダイズ アブラムシ 発生程度	ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウ		吸実性カメムシ類		種類
				白麥か所数 (/1a)	葉食害度※	寄生 株率(%)	寄生虫数 (/25株)	
桑名	いなべ市大安町大井田	10/8	6.3	0.0	0.3	29.0	16.8	ミナミアオ成幼、イチモンジ幼
四日市	四日市市江村町	10/4	0.0	1.8	1.0	2.0	0.5	ミナミアオ成(シャクガ類)
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	10/9	0.0	0.7	0.5	11.0	5.8	ミナミアオ幼(フタスジヒメハムシ)
津	津市白山町川口	10/3	10.3	0.4	0.0	14.0	16.0	ミナミアオ成幼、(ウワバ類多、フタスジヒメハムシ等)
松阪	松阪市藤之木町	10/4	1.3	0.0	0.3	0.0	0.0	
	松阪市保津町		6.7	0.0	0.3	0.0	0.0	
伊賀	伊賀市木興	10/9	0.3	2.1	1.0	2.0	0.5	アオクサまたはミナミアオ幼、イチモンジ幼
	伊賀市千戸		0.0	0.7	0.3	9.0	3.8	アオクサまたはミナミアオ幼
県全体			3.0	0.7	0.4	8.4	5.4	—
10年平均			3.0	1.4	3.5	12.8	9.0	—

葉食害度※:25株中の被害度

ダイズ成熟期における莢および子実の被害発生状況(2019年12月)

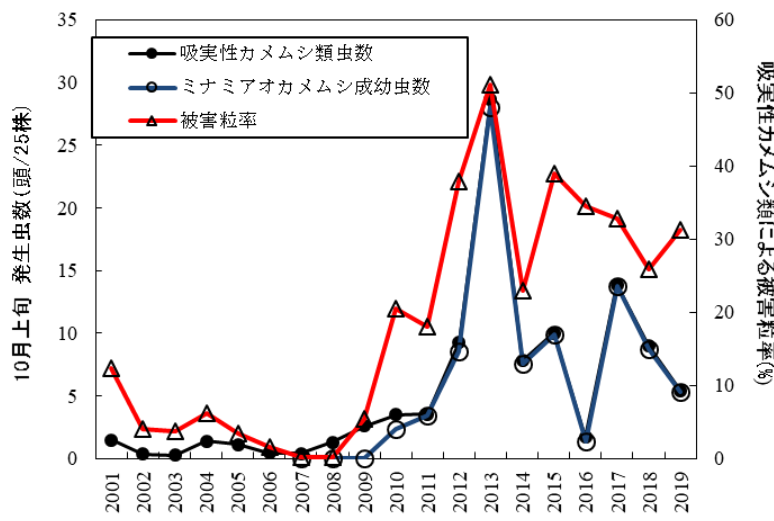
地区	調査地点	採取 月日	*実調査 被害率(%)		被害粒調査(著しい未熟粒を除く)											その他 被害粒 (腐敗粒) (%)	
			虫害1	虫害2	フタスジヒメハムシ				吸実性カメムシ類				9月		10月		
					紫斑 粒率 (%)	褐斑 粒率 (%)	黒斑 粒率 (%)	腐敗 粒率 (%)	合計	萎縮粒 (しぼみ粒)	変形粒 (へこみ粒)	変色粒 (しみ粒)	寄生株 率(%)	寄生虫数 (/25株)	寄生株 率(%)		寄生虫数 (/25株)
桑名	いなべ市大安町大井田	11/18	0.4	1.8	0	0	5.5	1.9	85.9	13.4	47.2	25.2	5.0	1.5	29.0	16.8	1.7
四日市	四日市市江村町	11/18	0	0	0	0	0.9	0	3.6	0	0.9	2.7	0	0	2.0	0.5	0.7
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	11/14	0	0	0.2	0	3.0	1.2	47.9	2.2	20.3	25.3	0	0	11.0	5.8	1.0
津	津市白山町川口	11/13	0	0.9	0	0	2.2	1.4	42.3	3.1	11.4	27.8	2.0	0.5	14.0	16.0	0
松阪	松阪市藤之木	11/13	0	0	0	0	0.2	0	3.8	0.6	0.8	2.3	0	0	0	0	0.4
	松阪市保津町	11/13	0	0	0	0.7	0.2	20.5	0.2	5.2	15.0	1.0	0.3	0	0	0.5	
伊賀	伊賀市木興	11/14	0.9	0	0	0	3.4	2.0	11.8	0.7	4.1	7.0	0	0	2.0	0.5	0
	伊賀市千戸	11/14	0	0	1.2	0	4.2	4.0	34.9	4.7	12.9	17.3	0	0	9.0	3.8	0.5
県全体平均			0.2	0.3	0.2	0.1	2.5	1.4	31.3	3.1	12.9	15.3	1.0	0.3	8.4	5.4	0.6
10年平均			1.0	1.8	0.3	0.3	1.7	0.4	28.8	3.3	13.2	16.2	2.5	1.6	12.8	9.0	3.0

1地点あたり4圃場を調査。1圃場あたり任意の10株を選定し、それぞれ上位5莢ずつを採取(200莢程度)。

*被害率はフタスジヒメハムシ被害莢を含まず集計

被害莢調査・虫害1:莢外部からの食害および被害、タバコガ類等。

同・虫害2:莢内部における食害、シロイチモジマダラメイガ、ダイズサヤムシガ、マメシクイガ等。



10月上旬のダイズ圃場における吸実性カメムシ類発生状況と、ダイズ被害粒発生状況の推移(2001~2019年・病害虫防除所巡回調査)

(4) 果樹

県予察圃(カンキョウ・紀南果樹研究室)における発生消長

そうか病発病率 葉

	4月			5月			6月			7月		
	初発	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年		1.7	22.1	50.0	63.3	70.3	72.7	74.6	76.3	76.8	77.3	77.7
2019年		0.0	3.6	68.3	77.2	87.1	91.4	94.3	94.7	95.3	95.3	95.3

そうか病発病率 果実

	5月			6月			7月			8月		
	初発	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年		7.4	43.8	61.1	76.1	84.0	88.0	88.6	93.8	95.3	97.3	97.8
2019年		0.0	11.7	64.2	84.2	93.3	98.3	100.0	100.0	95.0	100.0	97.5

黒点病発病率

	6月			7月			8月			9月			10月		
	初発	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年発病率		22.7	45.7	79.1	93.3	94.3	96.5	99.9	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
2019年発病率		27.5	88.3	90.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
平年果実発病率		3.6	10.9	23.3	32.5	39.9	43.9	52.7	62.0	68.1	69.9	71.6	75.5	81.6	82.9
2019年果実発病率		3.9	24.3	27.4	42.6	54.0	69.8	82.9	85.7	83.3	84.5	89.8	87.1	91.9	93.6

かいよう病発病率 葉

	5月			6月			7月			8月		
	初発	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年		0.0	0.1	1.1	1.6	1.9	2.2	2.3	2.6	2.8	2.8	3.0
2019年		0.0	4.2	7.2	9.2	10.9	12.2	13.8	14.6	15.9	15.9	16.1

かいよう病発病率 果実

	5月			6月			7月			8月			9月			10月		
	初発	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年		0.0	0.2	0.4	0.6	0.6	1.3	4.8	12.7	16.4	15.6	16.8	16.6	17.2	17.4	18.3	19.7	19.2
2019年		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.2	44.2	50.0	82.5	88.3	59.2	55.8	66.7	65.0	78.3	75.0	72.5

果実外観調査

無防除区	そうか病		黒点病		かいよう病		横行防除区		そうか病		黒点病		かいよう病	
	発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)
平年	86.2	53.5	100.0	79.5	11.7	6.1	0.3	0.1	57.3	13.0	5.7	2.1	2.1	11.1
2019年	99.0	80.1	100.0	97.8	55.3	30.1	3.5	0.0	94.1	36.0	29.7	11.1	11.1	11.1

ハダニ発生消長調査結果(無防除区・雌成虫100葉当たり寄生虫数) ※6月上旬調査から新葉による調査

	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	96.5	83.0	30.9	31.1	31.1	28.9	48.3	53.2	43.5	10.1	4.5	4.1	6.3	9.0	27.7	54.0	45.1	36.3
2019年	116.7	102.2	341.1	81.1	56.7	58.9	120.0	34.4	47.8	6.7	0.0	0.0	0.0	1.1	1.1	2.2	2.2	3.3
平年	23.6	20.6	26.7	18.5	9.4	18.6	15.4	18.6	17.9	20.3	21.3	—	23.2	31.8	—	17.9	24.2	—
2019年	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	—	0.0	0.0	—	2.2	—	—

ハダニ発生消長調査結果(横行防除区・雌成虫100葉当たり寄生虫数)

	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	3.6	0.4	0.6	1.1	0.8	3.2	15.0	14.9	5.3	8.3	7.3	15.5	32.0	93.0	19.3	143.9	50.7	58.7
2019年	0.0	0.0	1.1	5.6	3.3	5.6	64.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	38.9	12.2
平年	28.7	80.1	186.6	81.3	61.8	52.4	62.2	72.3	52.2	6.6	5.4	—	4.7	1.9	—	0.8	0.4	—
2019年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—

チャパネアオカメムシ発生消長調査結果 予祭灯誘殺数

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		
	上	下	中	下	上	下	中	下	上	下	上	下	
平年	5.0	83.7	18.9	4843.4	923.2	1069.2	8934.5	3371.3	1269.9	871.2	744.6	656.2	1921.0
2019年	0.0	193.0	4.0	286.0	157.8	87.0	26.0	30.0	29.0	164.0	308.0	332.0	106.0
	11月												
	上	下	中	下	上	下	中	下	上	下	上	下	
平年	1918.6	116.9	15.2	2.1	0.0	0.2							
2019年	53.0	8.0	1.0	1.0	0.0	0.0							

ソヤアオカメムシ発生消長 予祭灯誘殺数

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		
	上	下	中	下	上	下	中	下	上	下	上	下	
平年	30.7	91.8	277.8	1038.5	783.3	404.0	97.8	95.3	66.7	18.6	73.3	121.2	1488.7
2019年	0.0	15.0	1865.0	595.0	300.0	152.0	36.0	8.0	13.0	1.0	1.0	4.0	257.0
	11月												
	上	下	中	下	上	下	中	下	上	下	上	下	
平年	3565.0	1115.8	310.1	92.7	11.9	5.9							
2019年	1431.0	440.0	38.0	8.0	1.0	3.0							

チャノキイロアザミウマ発生消長調査結果 100果実あたり寄生数調査

	6月		7月		8月		9月		10月		
	上	下	中	下	上	下	中	下	上	下	
平年	1.1	0.4	3.9	6.9	10.6	12.5	6.0	9.8	3.4	10.9	0.9
2019年	5.0	2.0	5.0	2.0	1.7	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0	0.0

チャノキイロアザミウマ発生消長調査結果 黄色粘着板誘殺数

	5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	上	下	中	下	上	下	中	下	上	下	上	下
平年	0.9	0.6	0.6	1.5	2.1	1.9	2.8	3.5	7.1	10.4	12.2	11.5
2019年	0.4	9.2	3.1	12.5	10.3	4.9	2.1	1.5	1.0	2.7	6.2	9.4
	9月											
	上 <td>下 <td>中 <td>下 <td>上 <td>下 <td>中 <td>下 <td>上 <td>下 <td>上 <td>下</td> </td></td></td></td></td></td></td></td></td></td>	下 <td>中 <td>下 <td>上 <td>下 <td>中 <td>下 <td>上 <td>下 <td>上 <td>下</td> </td></td></td></td></td></td></td></td></td>	中 <td>下 <td>上 <td>下 <td>中 <td>下 <td>上 <td>下 <td>上 <td>下</td> </td></td></td></td></td></td></td></td>	下 <td>上 <td>下 <td>中 <td>下 <td>上 <td>下 <td>上 <td>下</td> </td></td></td></td></td></td></td>	上 <td>下 <td>中 <td>下 <td>上 <td>下 <td>上 <td>下</td> </td></td></td></td></td></td>	下 <td>中 <td>下 <td>上 <td>下 <td>上 <td>下</td> </td></td></td></td></td>	中 <td>下 <td>上 <td>下 <td>上 <td>下</td> </td></td></td></td>	下 <td>上 <td>下 <td>上 <td>下</td> </td></td></td>	上 <td>下 <td>上 <td>下</td> </td></td>	下 <td>上 <td>下</td> </td>	上 <td>下</td>	下
平年	4.9	1.6	0.6	1.7	1.2	0.2						
2019年	8.8	3.5	4.0	1.7	1.2	0.2						

県予察圃(ナシ・農業研究所)における発生消長
ナシヒバシクイ

月・半旬	トランプ勝殺数		2019年
	月・半旬	トランプ勝殺数	
4月・1	4月・1	37.9	1
	2	36.6	20
	3	28.5	2
	4	33.9	5
	5	16.6	12
	6	9.2	0
5月・1	5月・1	9.9	11
	2	6.9	3
	3	4.2	4
	4	5.0	1
	5	8.7	1
	6	17.6	11
6月・1	6月・1	18.1	16
	2	23.5	17
	3	16.4	3
	4	9.9	5
	5	7.3	9
	6	6.4	0
7月・1	7月・1	14.3	3
	2	27.2	5
	3	32.6	6
	4	33.0	15
	5	25.8	9
	6	30.5	8
8月・1	8月・1	39.6	2
	2	42.5	0
	3	37.3	3
	4	29.0	9
	5	26.6	10
	6	42.6	7
9月・1	9月・1	37.5	18
	2	52.8	10
	3	65.0	19
	4	36.2	12
	5	21.3	28
	6	13.4	18
10月・1	10月・1	7.1	7
	2	3.3	18
	3	1.2	7
	4	1.2	0
	5	0.6	0
	6	0.4	1
11月・1	11月・1	0.0	0
	2	0.0	0
	3	0.3	0
	4	0.2	0
	5	0.1	0
	6	0.0	0

チャノコカクモクソノハマキ

月・半旬	トランプ勝殺数		2019年
	月・半旬	トランプ勝殺数	
4月・1	4月・1	4.9	0
	2	7.9	0
	3	14.6	6
	4	29.3	7
	5	43.0	23
	6	40.2	16
5月・1	5月・1	47.4	24
	2	28.1	8
	3	19.0	12
	4	7.5	3
	5	5.2	2
	6	5.2	1
6月・1	6月・1	15.6	1
	2	21.0	1
	3	41.4	4
	4	35.8	16
	5	34.5	52
	6	23.8	6
7月・1	7月・1	13.2	5
	2	10.3	4
	3	5.6	1
	4	7.8	0
	5	9.8	0
	6	12.7	3
8月・1	8月・1	10.5	8
	2	7.3	1
	3	5.3	1
	4	4.1	1
	5	2.0	1
	6	2.7	1
9月・1	9月・1	2.8	2
	2	7.3	4
	3	9.7	3
	4	15.6	5
	5	16.4	1
	6	12.8	12
10月・1	10月・1	16.8	4
	2	23.0	13
	3	23.5	41
	4	16.8	4
	5	16.7	17
	6	8.2	23
11月・1	11月・1	10.0	7
	2	10.1	1
	3	4.3	3
	4	3.6	1
	5	2.0	0
	6	2.9	3
12月・1	12月・1	2.4	0
	2	1.1	0
	3	1.1	1
	4	0.7	0
	5	0.3	0
	6	0.0	0

予察灯(畑・農業研究所)における発生消長
ツヤアオカメムシ

月・半旬	予察灯勝殺数		2019年
	月・半旬	予察灯勝殺数	
4月・1	4月・1	0.0	0
	2	0.0	0
	3	0.0	0
	4	0.4	0
	5	1.8	1
	6	0.6	0
5月・1	5月・1	12.8	3
	2	46.7	3
	3	438.3	7
	4	112.0	4
	5	333.8	198
	6	477.4	298
6月・1	6月・1	175.3	92
	2	119.3	17
	3	78.2	13
	4	295.4	25
	5	107.0	14
	6	78.0	117
7月・1	7月・1	127.2	29
	2	128.7	33
	3	232.4	19
	4	234.7	19
	5	263.6	22
	6	182.9	35
8月・1	8月・1	114.8	6
	2	101.4	28
	3	239.9	10
	4	169.1	174
	5	354.9	96
	6	306.5	687
9月・1	9月・1	128.4	728
	2	187.8	734
	3	123.9	74
	4	163.6	26
	5	119.2	30
	6	57.4	442
10月・1	10月・1	43.3	33
	2	106.5	67
	3	22.0	58
	4	0.3	0
	5	0.2	0
	6	0.0	0

クサギカメムシ

月・半旬	予察灯勝殺数		2019年
	月・半旬	予察灯勝殺数	
4月・1	4月・1	0.0	0
	2	0.0	0
	3	0.0	0
	4	0.1	0
	5	0.0	0
	6	0.0	0
5月・1	5月・1	0.1	0
	2	0.0	0
	3	0.2	0
	4	0.0	0
	5	0.6	0
	6	2.3	0
6月・1	6月・1	0.5	0
	2	1.3	0
	3	2.3	0
	4	5.1	0
	5	6.0	0
	6	13.3	0
7月・1	7月・1	13.6	0
	2	32.2	0
	3	71.7	0
	4	106.5	3
	5	140.6	3
	6	119.2	9
8月・1	8月・1	42.7	1
	2	24.0	5
	3	27.4	3
	4	24.2	10
	5	20.1	5
	6	11.3	9
9月・1	9月・1	3.7	14
	2	2.4	8
	3	1.5	1
	4	0.7	0
	5	0.2	4
	6	0.3	1
10月・1	10月・1	0.0	0
	2	0.3	0
	3	0.0	0
	4	0.0	0
	5	0.0	0
	6	0.0	0

カンキツ巡回調査結果

4月

地区	調査場所	調査月日	そうか病		かいじょう病		ミカンハダニ		カイガラムシ類 寄生枝率(%)	ヤノネ カイガラムシ 寄生葉率(%)	カメムシ類 叩き落し数	品 種	生育状況等
			旧葉発病度	温州(旧葉) 発病率(%)	温州(旧葉) 発病度	中晩柑(旧葉) 発病率(%)	中晩柑(旧葉) 発病度	寄生葉数/葉					
津	桑名市多度町小山	4月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	
	津市大里窪田	4月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	区外(旧葉)にかいじょう病あり
	多気町五桂(定)	4月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	
松阪	松阪市小阿波町	4月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	区外(旧葉)にかいじょう病あり
	南伊勢町船越(定)	4月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	新葉2cm
伊勢	南伊勢町泉	4月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノール	袋掛けあり
	南伊勢町五ヶ所浦	4月10日	0	0	0	10	5.2	0	0	0	0	カラ	
紀州	紀北町海野	4月9日	0	0	0	10	2.0	0	0	0	0	新甘夏	萌芽期。
	熊野市久生屋	4月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	区外にツノコロムシあり
	御浜町下市木	4月9日	0	0	0	40	16.0	10	0.38	2	0	カラ	落葉多い
	御浜町阿田和	4月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	
	御浜町中立	4月9日	0	0	0	0	0	0	0.36	0	0	新甘夏	防除直後
	紀宝町大里	4月9日	0	0	0	8	3.2	0	0	0	0	セミノール	
平 均		0	0	0	11.3	4.4	3.5	0.20	0.5	0	0		
平 年(10年平均)		0.003	0.2	0.04	8.8	3.8	5.5	0.25	1.2	0.2	0		

5月

地区	調査場所	調査月日	新葉		旧葉		カキよう病		セウカ病		品 種	
			発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)		
桑名	桑名市多度町小山	5月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	
	津市大里窪田	5月7日	0.4	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	
松阪	多気町五柱(定)	5月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	
	松阪市小阿坂町	5月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	5月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	
	南伊勢町泉	5月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノール	
紀州	南伊勢町五カ所浦	5月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	カラ	
	紀北町海野	5月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏	
紀州	熊野市久生屋	5月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	
	御浜町下市木	5月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	カラ	
紀州	御浜町阿田和	5月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	
	御浜町中立	5月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	
紀州	紀宝町大里	5月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏	
	平均		0.03	0	0	0	0	0	0	0	0	2.4
平年(10年平均)			0.02	0.006	0.1	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	3.0
平年(10年平均)			0.02	0.006	0.1	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	7.6
平年(10年平均)			0.02	0.006	0.1	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	2.5

(5月続き)

地区	調査場所	調査月日	ミカンハダニ		ヤブカイガラムシ		カメムシ類		カイガラムシ類		品 種	生育状況等
			寄生率(%)	寄生虫数/葉	寄生率(%)	寄生虫数/葉	叩き落とし虫数	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)		
津	桑名市多度町小山	5月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	春葉3.5~4cm つぼみ1.5cm 着花数少
	津市大里窪田	5月7日	0	0	0	0	0	1	0	0	早生温州	春葉4cm つぼみ1cm 着花数少
松阪	多気町五柱(定)	5月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	着花数少
	松阪市小阿坂町	5月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	春葉5~10cm つぼみ0.5~1cm 着花数~中
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	5月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	春葉15cm つぼみ1cm 着花数やや少 収穫終了
	南伊勢町泉	5月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノール	春葉8cm 着花数バラツキ大
紀州	南伊勢町五カ所浦	5月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	カラ	春葉9.5cm 着花数多 新梢多 果実直径7mm
	紀北町海野	5月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏	春葉7cm 着花数少
紀州	熊野市久生屋	5月13日	8	0.44	2	0.02	0	0	0	2	早生温州	春葉9cm 着花数多
	御浜町下市木	5月13日	4	0.18	18	0.36	0	0	0	0	カラ	春葉9cm 着花数多
紀州	御浜町阿田和	5月13日	2	0.02	0	0	0	0	0	0	早生温州	着花数バラツキ大
	御浜町中立	5月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏	春葉6.5cm 着花数多
紀州	紀宝町大里	5月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノール	
	平均	1.1	0.05	1.5	0.03	0	0.08	0.2	0.2	0.2	0.2	
平年(10年平均)			8.3	0.78	5.8	0.19	0.05	0.02	0.2	1.3	1.3	

6月

地区	調査場所	調査月日	ソコカ病		カマヨウ病		黒点病		アブラムシ類		品 種
			春葉発病度	春葉発生率(%)	発病度	発病葉率(%)	春葉発病度	寄生率(%)	寄生虫数(ノ葉)	新梢寄生率(%)	
桑名	桑名市多度町小山	6月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	30
	津市大里窪田町	6月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	多気町五柱(定)	5月31日	0.4	0	0	0	0	0	0	0	2
松阪	松阪市小阿坂町	6月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南伊勢町船越(定)	6月7日	0	0	0	0	0	0	2	0.02	0
	南伊勢町泉	6月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊勢志摩	南伊勢町五ヶ所浦	6月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	紀北町海野	5月31日	0	0	0	0	1.6	0	10	0.10	0
	熊野市久生屋町	5月31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紀州	御浜町下市木	5月31日	0	0	0	0	2.8	0	20	0.22	0
	御浜町阿田和	5月31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	御浜町中立	5月31日	0	0	0	0	0.4	0	22	1.02	0
平均	紀宝町大里	5月31日	0	0	0	0	0.8	4	0	0	0
平均			0.03	0	0	0	3.3	0.9	4.2	0.10	2.6
平均(10年平均)			0.02	0.1	0.08	3.4	1.4	1.3	9.8	0.41	2.8

(6月 続き)

地区	調査場所	調査月日	チャンキイロ		ヤノネカイガラムシ		カメムシ類		アカマル		カイガラムシ類		品 種	生育状況等
			アザミウマ	被害果率(%)	春葉寄生率(%)	春葉寄生率(%)	アカマル	カイガラムシ	カイガラムシ	新梢寄生率(%)				
桑名	桑名市多度町小山	6月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	果実直径1cm 夏枝数並
	津市大里窪田町	6月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	果実直径1~1.5cm 夏枝数並
	多気町五柱(定)	5月31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	果実直径0.5cm 夏枝数並
松阪	松阪市小阿坂町	6月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州
	南伊勢町船越(定)	6月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州
	南伊勢町泉	6月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノール
伊勢志摩	南伊勢町五ヶ所浦	6月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	カラ
	紀北町海野	5月31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏
	熊野市久生屋町	5月31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州
紀州	御浜町下市木	5月31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	カラ
	御浜町阿田和	5月31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州
	御浜町中立	5月31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏
平均	紀宝町大里	5月31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノール
平均			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
平均(10年平均)			0.5	0	0.07	0.2	0.3	0.7	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	新葉にハモグリガ被害痕多 果実直径1.5~2cm 新葉にハモグリガ被害痕散見 果実無 夏枝数多 新葉にハモグリガ被害痕散見 果実直径1.5cm 果実直径1cm

7月

地区	調査場所	調査月日	そとが病		かいよう病(春葉)		かいよう病(果実)		黒点病	果実発病度	品 種	
			果実発病度	温州	中晩柑	温州	中晩柑					
			発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度				
伊勢志摩	桑名市多度町小山	6月27日	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	
	津市大里窪田	6月26日	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	
	松阪	多気町五桂	6月26日	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州
		松阪市小阿坂町	6月28日	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州
	南伊勢町船越(定)	6月27日	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	
	南伊勢町泉	6月27日	0	0	2	0.4	0	0	0	0	0	セミノール
	南伊勢町五方所浦	6月27日	0	0	2	0.4	0	0	0	0	0	カラ
	紀北町海野	6月26日	0	0	8	1.6	0	0	0	0	0	新甘夏
	熊野市久生屋	7月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州
	御浜町下市木	7月5日	0	0	14	6.0	0	0	0	0	0	カラ
御浜町阿田和	7月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	
御浜町中立	7月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏	
紀宝町大里	7月5日	0	0	6	2.8	0	0	0	0	0	セミノール	
平均			0	0	5.3	1.9	0	0	0	0		
平年(10年平均)			0.04	0.2	0.03	0.03	3.8	0.06	1.6	1.2		

(7月続き)

地区	調査場所	調査月日	ミカンハダニ		チャノキイロ		カメシシ類		ハマキムシ類		品 種	生育状況等
			寄生率(%)	寄生虫数/葉	アザミウマ	被害果率(%)	アカマル	カイガラムシ	被害新梢率(%)	被害新梢率(%)		
			寄生率(%)	寄生虫数/葉	被害果率(%)	被害果率(%)	被害果率(%)	被害果率(%)	被害果率(%)	被害果率(%)		
津	桑名市多度町小山	6月27日	10	0.22	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実長径1cm 夏枝数並
	津市大里窪田	6月26日	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実長径2~2.5cm 区外の葉にそつが病あり
	6月28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実長径1.5cm 夏枝数少
松阪	松阪市小阿坂町	6月28日	6	0.08	0	0	0	0	0	0	普通温州	果実長径2~3cm 果実数少
	南伊勢町船越(定)	6月27日	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	果実長径2.5~3cm
伊勢志摩	南伊勢町泉	6月27日	2	0.02	0	0	0	0	0	0	セミノール	果実長径2cm 区外の葉にそつが病あり
	南伊勢町五方所浦	6月27日	0	0	0	0	0	0	0	0	カラ	果実長径1.5cm
紀北町海野	紀北町海野	6月26日	4	0.10	0	0	0	0	0	0	新甘夏	果実長径1cm 夏枝数少
	熊野市久生屋	7月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実長径4cm
	御浜町下市木	7月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	カラ	区外の新葉にハマキムシ類の被害あり
紀州	御浜町阿田和	7月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実長径1cm
	御浜町中立	7月5日	14	0.26	0	0	0	0	0	0	新甘夏	果実長径4cm
	紀宝町大里	7月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノール	果実長径2.5~3cm
平均			2.8	0.05	0	0	0	0	0	0		
平年(10年平均)			8.6	0.32	1.0	0.03	0	0.2	0.1	0.1		(8年平均)

8月

地区	調査場所	調査月日	そら病		かいよう病(春葉)		かいよう病(果実)		黒点病				
			果実発病度	発病率(%)	温州	発病度	中晩柑	発病度	温州	発病度	中晩柑	発病度	果実発病度
桑名	桑名市多度町小山	7月30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州
	津市大里窪田町	8月5日	0.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州
	多気町五桂(定)	8月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州
松阪	松阪市小阿坂町	8月2日	0	2	0.4	0	0	0	0	0	0	0	普通温州
	南伊勢町船越(定)	7月30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州
	南伊勢町泉	7月30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.4
伊勢志摩	南伊勢町五カ所浦	7月30日	0.8	0	0	0	6	2.8	0	0	0	0	カラ
	紀北町海野	7月31日	0	0	0	0	10	2.0	0	0	6.0	8.0	新甘夏
	熊野市久生屋町	8月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州
紀州	御浜町下市木	8月2日	0	0	0	0	10	5.2	0	0	0	0	カラ
	御浜町阿田和	8月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州
	御浜町中立	8月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏
紀宝町大里	8月2日	0	0	0	0	10	5.2	0	0	2.8	0	0	セミノール
平均			0.1	0.3	0.06	6.0	2.5	0	0.006	1.5	0.6	4.1	
平年(10年平均)			0.05	0.2	0.04	8.6	3.3	0	0.006	3.9	0.6	4.1	

(8月続き)

地区	調査場所	調査月日	ミカンハダニ		チャノキ/ロアザミウマ		ミカンハモクリガ		カメムシ類		カイワタムシ		アカナル		ハマキムシ類		ハモキムシ類		品 種	備 考
			寄生率(%)	寄生虫数/葉	寄生率(%)	被害果率(%)	被害新梢率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)		
桑名	桑名市多度町小山	7月30日	4	0.06	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実直径4cm 夏枝数並
	津市大里窪田町	8月5日	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実直径4.5cm
	多気町五桂(定)	8月1日	4	0.04	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	
松阪	松阪市小阿坂町	8月2日	0	0	0	0	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	果実直径3cm 夏枝数多
	南伊勢町船越(定)	7月30日	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	果実直径4cm
	南伊勢町泉	7月30日	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノール	果実直径3.5~4cm 夏枝数少 葉に黒点病散見
伊勢志摩	南伊勢町五カ所浦	7月30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	カラ	果実直径3.5~4cm 区外の果実にかんじょう病散見
	紀北町海野	7月31日	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏	果実直径5cm 夏枝数少
	熊野市久生屋町	8月2日	4	0.04	0	0	12	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実直径5.5cm 夏枝数少 区外にチャノキ/ロアザミウマ被害散見
紀州	御浜町下市木	8月2日	4	0.10	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	カラ	果実直径2cm 夏枝数少 果実数少
	御浜町阿田和	8月2日	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実直径4.5cm 夏枝数少
	御浜町中立	8月2日	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏	果実直径6cm 夏枝数少
紀宝町大里	8月2日	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノール	果実直径3.5cm 夏枝数少	
平均			1.2	0.02	0.8	8.0	0	0	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
平年(10年平均)			6.3	0.35	1.0	41.5	0.008	0.2	0.08	0	0.08	0	0	0	0	0	0	0		(8年平均)

9月

地区	調査場所	調査月日	かいよう病(春葉)		かいよう病(果実)		黒点病	褐色腐敗病	品 種
			温州	発病率(%)	温州	発病率(%)			
津	桑名市多度町小山	9月2日	0	0	0	0	0	0	早生温州
	津市大里窪田町	9月5日	0	0	0	0	0	0	早生温州
	多気町五桂(定)	9月5日	0	0	0	0	0.4	0	早生温州
松阪	松阪市小阿坂町	9月6日	0	0	0	0	0	0	普通温州
	南伊勢町船越(定)	9月2日	0	0	0	0	0	0	普通温州
伊勢志摩	南伊勢町泉	9月2日	0	0	0	0	24.0	0	セミノール
	南伊勢町五カ所浦	9月2日	0	0	0.8	0.4	0	0	カラ
紀州	紀北町海野	9月6日	0	0	7.2	16.0	24.0	0	新甘夏
	熊野市久生屋町	9月6日	0	0	0	0	1.2	0	早生温州
	御浜町下市木	9月6日	0	0	48.0	0	0.4	0	カラ
	御浜町阿和	9月6日	0	0	0	0	0	0	早生温州
	御浜町中立	9月6日	0	0	0	0	0.4	0	新甘夏
	紀宝町大里	9月6日	0	0	14	2.4	0.8	0	セミノール
平 均		0	0.3	10.3	4.4	0	3.9	0	
平年(10年平均)			0	0.2	11.1	0.05	4.8	7.8	0

(9月続き)

地区	調査場所	調査月日	ミカンハダニ		チャムキイロ		ミカンハモグリガ		カメムシ類		カイガラムシ類		アカマル	品 種	生育状況等
			発生果率(%)	発生虫数/葉	アザミウマ	被害果率(%)	被害新梢率(%)	叩き落とし虫数	カイガラムシ類	発生葉率(%)	発生果率(%)	発生葉率(%)			
津	桑名市多度町小山	9月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	区外にミカンハダニあり
	津市大里窪田町	9月5日	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実直径5.5cm 夏枝数少 新芽にアラムシあり
松阪	多気町五桂(定)	9月5日	60	2.40	0	0	6	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実直径4cm 夏枝数並
	松阪市小阿坂町	9月6日	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	普通温州	果実直径4~6cm
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	9月2日	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	普通温州	果実直径7cm
	南伊勢町泉	9月2日	0	0	0	0	6	1	0	0	0	0	0	セミノール	果実直径5~5.5cm 葉に黒点病散見
	南伊勢町五カ所浦	9月2日	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	カラ	果実直径8cm ハモグリガ被害痕にかいよう病発生
	紀北町海野	9月6日	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	新甘夏	夏枝数並
紀州	熊野市久生屋町	9月6日	6	0.18	0	2	8	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実直径6~7cm 夏枝数少
	御浜町下市木	9月6日	4	0.04	0	0	20	0	0	0	0	0	0	カラ	果実直径4cm 夏枝数多
	御浜町阿和	9月6日	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実直径6~7cm 夏枝数少
	御浜町中立	9月6日	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	新甘夏	果実直径8cm 夏枝数少
	紀宝町大里	9月6日	16	0.58	0	4	6	0	0	0	0	0	0	セミノール	果実直径5.5cm 夏枝数少
平 均		6.6	0.25	0.8	8.0	0.08	0	0	0	0	0	0			
平年(10年平均)			7.1	0.18	2.3	40.6	0.03	0.3	0.07	0.1					

10月

地区	調査場所	調査月日	かんよう病(春葉)			かんよう病(果実)			黒点病	褐色腐敗病	品 種
			温州	中晩柑	温州	中晩柑	果実発病度	発病率			
			発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	発生果数	発生果率		
桑名	桑名市多度町小山	10月8日	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	
	津市大里窪田	10月3日	2	0.4	-	-	-	0	0	早生温州	
松阪	多気町五相(定)	10月1日	0	0	-	-	-	2.0	0	早生温州	
	松阪市小阿坂町	10月8日	0	0	-	-	-	0	0	普通温州	
伊勢 志摩	南伊勢町船越(定)	10月3日	0	0	-	-	-	14.8	0	普通温州	
	南伊勢町泉	10月3日	-	-	0	0	0	66.0	0	セミノール	
	南伊勢町五カ所浦	10月3日	-	-	14	2.8	-	0	0	カラ	
	紀北町海野	10月1日	-	-	34	10.0	-	22.0	0	新甘夏	
紀州	熊野市久生屋	10月7日	0	0	-	-	-	0.4	0	早生温州	
	御浜町下市木	10月7日	-	-	80	48.0	-	0	0	カラ	
	御浜町阿田和	10月7日	0	0	-	-	-	0	0	早生温州	
	御浜町中立	10月7日	-	-	0	0	-	0.4	0	新甘夏	
	紀宝町大里	10月7日	-	-	20	8.8	-	0	0	セミノール	
平 均		0.3	0.06	24.7	11.6	0	6.3	8.1	0		
平年(10年平均)		0.06	0.01	9.2	4.5	0.06	5.3	14.4	0		

(10月続き)

地区	調査場所	調査月日	ミカンハダニ		チャンキイロ アザミクマ 被害果率(%)		カメムシ類 叩き落とし 虫数		カイガラムシ類 寄生率(%)		アカマル カイガラムシ 寄生果率(%)		品 種	生育状況等
			寄生率(%)	寄生虫数/葉	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)						
桑名	桑名市多度町小山	10月8日	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実直径7cm 夏秋梢数少 新芽にハモグリガ被害多
	津市大里窪田	10月3日	12	0.30	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実直径5.5~7.5cm 夏秋梢数少 日焼け果散見
松阪	多気町五相(定)	10月1日	30	2.50	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	夏秋梢数少
	松阪市小阿坂町	10月8日	8	0.08	2	1	0	0	0	0	0	0	普通温州	果実直径8cm
伊勢 志摩	南伊勢町船越(定)	10月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	果実直径5cm 夏秋梢数並
	南伊勢町泉	10月3日	16	0.44	4	0	0	0	0	0	0	0	カラ	果実直径6cm 夏秋梢数並
紀州	南伊勢町五カ所浦	10月3日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	カラ	果実直径6cm 夏秋梢数並
	紀北町海野	10月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏	夏秋梢数少 新芽にアブラムシ多
	熊野市久生屋	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実直径6cm 夏秋梢数少 日焼け果散見
	御浜町下市木	10月7日	4	0.04	0	0	0	0	0	0	0	0	カラ	果実直径6cm 夏秋梢数多
紀州	御浜町阿田和	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実直径6cm 夏秋梢数少 区外の果実に黒点病あり
	御浜町中立	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏	果実直径8cm 夏秋梢数少 区外の果実にかんよう病あり
	紀宝町大里	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノール	果実直径6cm 夏秋梢数少 区外の果実にアザミクマ被害あり
平 均		5.4	0.26	0.9	0.08	0	0	0	0	0	0			
平年(10年平均)		4.6	0.12	2.5	0.06	0.7	0.1	0.2						

3月

地区	調査場所	そわか病		かいよう病		中晩柑(旧薬)		ミカンハダニ		カイガラムシ類		ヤノネカイガラムシ		生育状況等	調査月日
		旧薬発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	寄生枝数/葉	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)		
桑名市	多度町小山	0	0	0	0	—	—	0	0	0	0	0	0	早生温州	3月16日
	津市大里種田	0.4	4	2.4	—	—	—	0	0	0	0	0	0	早生温州	3月2日
松阪	多気町五柱(定)	0	0	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	早生温州	3月5日
	松阪市小阿坂町	0	0	0	—	—	—	2	0.02	0	0	0	0	普通温州	3月5日
伊勢 志摩	南伊勢町船越(定)	0	2	0.4	—	—	—	0	0	0	0	0	0	普通温州	3月4日
	南伊勢町泉	0	—	—	2	0.4	—	0	0	0	0	0	0	セミノール	3月4日
	南伊勢町五ヶ所浦	0	—	—	4	2.4	—	0	0	0	0	0	0	カラ	3月4日
	紀北町道瀬	0	—	—	14	6.0	—	52	3.20	0	0	0	0	新甘夏	3月5日
紀州	熊野市久生屋	0	0	0	—	—	—	20	0.46	2	2	0	0	早生温州	3月5日
	御浜町下市木	0	0	—	8	4.8	—	2	0.02	2	2	0	0	カラ	3月5日
	御浜町阿田和	0	0	0	—	—	—	0	0	2	2	0	0	早生温州	3月5日
	御浜町中立	0	—	—	0	0	—	0	0	0	0	0	0	新甘夏	3月5日
	紀宝町大里	0	—	—	4	2.4	—	0	0	2	2	0	0	セミノール	3月5日
平均	0.03	0.9	0.4	5.3	2.7	3.7	5.8	0.28	0.6	1.2	0.2	0			
平均(10年平均)	0.003	0.1	0.02	7.9	3.7	4.2	4.2	0.13	1.2	1.2	0.2	0			

ナシ巡回調査結果

4月

地区	調査場所	調査月日	黒星病		黒星病		赤星病		ハダニ類		アブラムシ類		生育状況等	
			発病芽率(%)	発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	寄生率(%)	寄生枝数/葉	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)				
四日市 鈴鹿	四日市市下海老	4月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水 つぼみへ満開期までバラツキあり	
	津市久居小野辺町(定)	4月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水 開花始 展葉始め	
津	津市香良洲町(定)	4月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水 開花始め 展葉始め	
	松阪市笹川町	4月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水 満開期	
伊勢志摩	王城町富岡(定)	4月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水 つぼみ ほぼ未展葉	
	伊賀市羽根1	4月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	
伊賀	伊賀市羽根2	4月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
平均(10年平均)			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.2		
													(6年平均)	(8年平均)

5月

地区	調査場所	調査月日	黒星病	赤星病	ハダニ類		アブラムシ類		品 種	生育状況等
			発病葉率(%)	発病葉率(%)	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	寄生枝率(%)	寄生虫数/葉		
四日市	四日市市下海老	5月8日	0	0	0	0	0	0	幸水	果実直径1.5cm
鈴鹿	津市久居小野辺町(定)	5月7日	0	0	0	0	0	0	幸水	果実直径1.5~2cm 葉に擦れ傷が散見される
	津市香良洲町(定)	5月7日	0	0	0	0	0	0	幸水	果実直径1cm 縁が黒変した葉が散見される
松阪	松阪市嬉野川北町(場内)	5月8日	0	2	0	0	0	0	幸水	果実直径1.5cm
伊勢志摩	玉城町富岡(定)	5月10日	2	0	0	0	0	0	幸水	果実直径1cm
伊賀	伊賀市羽根1	5月10日	0	0	0	0	0	0	幸水	果実直径1.5cm 新芽にアブラムシ有り(区外)
	伊賀市羽根2	5月10日	0	0	0	0	0	0	幸水	果実直径1.5cm
	平均		0.3	0.3	0	0	0	0		
	平年(10年平均)		0.4	0.6	0.04	0.0004		1.2		

6月

地区	調査場所	調査月日	黒星病	赤星病	ハダニ類		アブラムシ類		品 種	生育状況等
			発病葉率(%)	発病葉率(%)	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	寄生枝率(%)	寄生虫数		
四日市	四日市市下海老	6月4日	0	0	2	0.02	0	0	幸水	区外にアブラムシあり 袋掛け
鈴鹿	津市久居小野辺町(定)	6月6日	0	0	0	0	0	0	幸水	果実直径4cm
	津市香良洲町(定)	6月6日	0	0	0	0	2	0	幸水	果実直径3cm 区外にハダニあり
松阪	松阪市嬉野川北町	6月4日	0	4	0	0	0	0	幸水	
伊勢志摩	玉城町富岡(定)	6月3日	2	0	0	0	0	0	幸水	区外に赤星病あり
伊賀	伊賀市羽根1	6月7日	0	0	0	0	0	0	幸水	区外にアブラムシあり
	伊賀市羽根2	6月7日	0	0	0	0	0	0	幸水	
	平均		0.3	0.6	0.3	0.003	0.3	0		
	平年(10年平均)		2.0	0.3	0.05	0.0005	3.3	0		

7月

地区	調査場所	調査月日	黒星病 発病薬率(%)	うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		カメムシ類		品 種	生育状況等
				発病薬率(%)	発病薬率(%)	寄生薬率(%)	寄生虫数/葉	寄生枝率(%)	被害果率(%)	見取の虫数			
四日市	鈴鹿	6月28日	0	0	0	0	0	2	0	0	0	幸水	果実直径4~5cm 区外にハダニあり
津	津市久居小野辺町(定)	6月26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	果実直径5cm 袋掛け 葉に赤星病散見
	津市香良洲町(定)	6月26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	果実直径5cm 袋掛け
松阪	松阪市嬉野川北町	6月28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	果実直径5.5cm 袋掛け 葉に赤星病散見
伊勢志摩	玉城町富岡(定)	7月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	果実直径5cm 区外の葉に黒星病あり
伊賀	伊賀市羽根1	7月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	果実直径6cm 区外の葉に黒星病あり
	伊賀市羽根2	7月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	果実直径5cm
平 均			0	0	0	0	0	0.3	0	0	0		
平年(10年平均)			2.1	0.1	2.0	0.07	0.2	0.04	0				

8月

地区	調査場所	調査月日	黒星病 発病薬率(%)	うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		カメムシ類		品 種	備 考
				発病薬率(%)	発病薬率(%)	寄生薬率(%)	寄生虫数/葉	寄生枝率(%)	被害果率(%)	見取の虫数			
四日市	鈴鹿	8月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	果実直径7cm
津	津市久居小野辺町(定)	8月5日	0	0	4	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	果実直径9cm
	津市香良洲町(定)	8月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	果実直径8cm
松阪	松阪市嬉野川北町	7月31日	0	0	0	2	0.40	0	0	0	0	幸水(有袋)	
伊勢志摩	玉城町富岡(定)	7月29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(無袋)	果実直径7.5cm
伊賀	伊賀市羽根1	8月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(無袋)	果実直径8~9cm
	伊賀市羽根2	8月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(無袋)	果実直径7cm
平 均			0	0	0.6	0	0.06	0	0	0	0		
平年(10年平均)			1.7	1.3	0.5	3.1	0.16	0.1	1.4	0			

9月

地区	調査場所	調査月日	黒星病 発病薬率(%)	うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		カメムシ類		品 種	生育状況等
				発病薬率(%)	発病薬率(%)	寄生薬率(%)	寄生虫数/葉	寄生枝率(%)	被害果率(%)	見取の虫数			
四日市	鈴鹿	9月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	
津	津市久居小野辺町(定)	9月5日	0	42	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	収穫期
	津市香良洲町(定)	9月5日	0	2	0	6	0.44	0	0	0	0	幸水(有袋)	収穫済
松阪	松阪市嬉野川北町	9月4日	0	10	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	収穫済
伊勢志摩	玉城町富岡(定)	9月2日	2	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	収穫前 枝枯れあり 管理不足
伊賀	伊賀市羽根1	9月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(無袋)	収穫は終了 区外の葉に黒星病有り
	伊賀市羽根2	9月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(無袋)	収穫前
平 均			0.3	7.7	0	0.9	0.06	0	0	0	0		
平年(10年平均)			1.1	4.8	0	3.3	0.12	1.3	0.2	0.1			

カキ巡回調査結果

4月

地区	調査場所	調査月日	炭疽病 発病枝率(%)	備考
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	4月5日	0	萌芽期
	松阪市嬉野川北町1	4月5日	0	萌芽期
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	4月5日	0	萌芽期
	玉城町蚊野1	4月5日	0	萌芽期
平均			0	
平年(10年平均)			0	
				(9年平均)

5月

地区	調査場所	調査月日	炭疽病		生育状況等
			うどんこ病 発病葉率(%)	発病新梢率(%)	
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	5月8日	0	0	0
	松阪市嬉野川北町1	5月8日	0	0	0
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	5月10日	0	0	0
	玉城町蚊野1	5月10日	0	0	0
平均			0	0	0
平年(10年平均)			0	0.05	0.0005

6月

地区	調査場所	調査月日	うどんこ病		炭疽病		カメムシ類		生育状況等
			発病葉率(%)	発病新梢率(%)	発病新梢率(%)	発病新梢率(%)	叩き落とし虫数	叩き落とし虫数	
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	6月4日	0	0	0	0	0	0	
	松阪市嬉野川北町1	6月4日	0	0	0	0	0	0	
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	6月3日	2	0	0	0	0	0	
	玉城町蚊野1	6月3日	0	0	0	0	0	0	
平均			0.5	0	0	0	0	0	
平年(10年平均)			1.5	0.05	0.05	0.1			

7月

地区	調査場所	調査月日	うどんこ病		炭疽病		カメムシ類		生育状況等
			発病葉率(%)	発病新梢率(%)	発病新梢率(%)	発病新梢率(%)	叩き落とし虫数	叩き落とし虫数	
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	6月28日	2	0	0	0	2	0	0 果実3.5cm
	松阪市嬉野川北町1	6月28日	4	0	0	0	0	0	0 果実3.5cm
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	7月2日	0	0	0	0	0	0	0 果実4cm
	玉城町蚊野1	7月2日	0	0	0	0	0	0	0 果実4cm
平均			1.5	0	0	0	0.5	0	
平年(10年平均)			9.7	0	0	0	0.3	0.8	0

8月

地区	調査場所	調査月日	うどんこ病		炭疽病		カメムシ類		備考
			発病葉率(%)	発病新梢率(%)	発病新梢率(%)	発病新梢率(%)	叩き落とし虫数	叩き落とし虫数	
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	7月31日	2	0	0	0	0	0	0 果実長径6cm
	松阪市嬉野川北町1	7月31日	14	0	0	0	0	0	0 無防除 果実長径6cm
伊勢	玉城町蚊野(定)	7月29日	0	0	0	0	0	0	0 果実長径5~6cm
	玉城町蚊野1	7月29日	0	0	0	0	0	0	0 果実長径6cm
平均			4.0	0	0	0	0	0	
平年(10年平均)			8.5	0	0	0	0.7	0.03	0.05

9月

地区	調査場所	調査月日	うどんこ病		炭疽病		カメムシ類		カキノヘタムシガ		生育状況等
			発病葉率(%)	発病新梢率(%)	発病果率(%)	被害果率(%)	見取り虫数	被害果率(%)	被害果率(%)	被害果率(%)	
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	9月4日	4	0	0	0	0	0	2	果実長径7cm	
	松阪市嬉野川北町1	9月4日	80	0	0	0	0	30	果実長径6.5cm		
伊勢	玉城町蚊野(定)	9月2日	0	0	0	0	0	0	0	果実長径7cm 葉に炭素病散見	
	玉城町蚊野1	9月2日	0	0	0	0	0	0	0	果実長径7cm	
平均			21.0	0	0	0	0	0	8.0		
平年(10年平均)			16.3	0	0	1.8	0	0	0.4		

10月

地区	調査場所	調査月日	うどんこ病		炭疽病		カメムシ類		カキノヘタムシガ		生育状況等
			発病葉率(%)	発病果率(%)	発病果率(%)	被害果率(%)	見取り虫数	被害果率(%)	被害果率(%)		
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	10月2日	2	0	0	0	0	0	2		
	松阪市嬉野川北町1	10月2日	26	0	0	0	0	10	カキノヘタムシガによる落果多		
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	角斑落葉病あり	
	玉城町蚊野1	10月7日	0	0	0	0	0	0	0		
平均			7.0	0	0	0	0	0	3.0		
平年(10年平均)			18.1	0.2	6.2	0	0	0.2			

ブドウ巡回調査結果

5月

地区	調査場所	調査月日	べと病		黒じょう病		ハダニ類		品種	生育状況等
			発病葉率(%)	発病葉率(%)	発病葉率(%)	発病葉率(%)	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉		
津	津市久居明神町	5月7日	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン	花穂生育中
	玉城町勝田	5月10日	0	0	0	0	0	0	デラウェア	平年より7～10日遅れ
伊賀	伊賀市森寺(定)	5月10日	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン	花穂4cm 葉先の枯れ、巻き散見
	伊賀市森寺1	5月10日	0	0	0	0	0	0	巨峰	花穂4cm
	伊賀市上ノ庄(定)	5月10日	0	0	0	0	0	0	巨峰	花穂3～4cm
	伊賀市上ノ庄1	5月10日	0	0	0	0	0	0	巨峰	葉数少ない
	名張市下小波田1	5月10日	0	0	0	0	0	0	デラウェア	花穂2.5cm
	名張市下小波田2	5月10日	0	0	0	0	0	0	巨峰	花穂4～5cm
平均			0	0	0	0	0			
平年(10年平均)			0	0.9	0.03	0.03	0.003			

6月

地区	調査場所	調査月日	べと病		黒じょう病		ハダニ類		品種	生育状況等
			発病葉率(%)	発病葉率(%)	発病葉率(%)	発病葉率(%)	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉		
津	津市久居明神町	6月6日	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン	果房15cm
	玉城町勝田	6月3日	0	0	0	0	0	0	デラウェア	区外にアザミウマ類あり
伊賀	伊賀市森寺(定)	6月7日	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン	
	伊賀市森寺1	6月7日	0	2	0	0	0	0	巨峰	無散布
	伊賀市上ノ庄(定)	6月7日	0	0	0	0	0	0	巨峰	
	伊賀市上ノ庄1	6月7日	0	0	0	0	0	0	巨峰	
	名張市下小波田1	6月7日	0	0	0	0	0	0	デラウェア	
	名張市下小波田2	6月7日	0	0	0	0	0	0	巨峰	
平均			0	0.3	0	0	0			
平年(10年平均)			0.05	1.4	0.1	0.0009	0			

7月

地区	調査場所	調査月日	べと病		黒とう病		ハダニ類		品種	生育状況等
			発病葉率(%)	発病葉率(%)	発病葉率(%)	発病葉率(%)	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉		
津	津市久居明神町	6月26日	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン	果房数多
	伊勢志摩 玉城町勝田	7月2日	0	0	0	0	0	0	デラウェア	袋掛け
伊賀	伊賀市森寺(定)	7月3日	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン	
	伊賀市森寺1	7月3日	0	2	0	0	0	0	巨峰	
	伊賀市上ノ庄(定)	7月3日	0	0	0	0	0	0	巨峰	
	伊賀市上ノ庄 1	7月3日	0	0	0	0	0	0	巨峰	
	名張市下小波田1	7月3日	0	0	0	0	0	0	デラウェア	
	名張市下小波田2	7月3日	0	0	0	0	0	0	巨峰	
平均			0	0.3	0	0	0	0		
平年(10年平均)			4.2	1.4	1.2	0.02				

8月

地区	調査場所	調査月日	べと病		黒とう病		ハダニ類		晩疫病		カラムシ類	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	ハダニ類	カラムシ類	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	品種	備考
			発病葉率(%)	発病葉率(%)	発病葉率(%)	発病葉率(%)	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉									
津	津市久居明神町	8月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン	袋掛け 日焼けによる葉枯れ多
	伊勢志摩 玉城町勝田	7月29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	デラウェア	区外の葉にべと病の疑いあり。袋掛け
伊賀	伊賀市森寺(定)	8月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン	べと病の取除後のため全体的に葉枯れ・落葉あり(進行形病斑なし)
	伊賀市森寺1	8月1日	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	巨峰	5月 末以降通常防除
	伊賀市上ノ庄(定)	8月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	巨峰	袋掛け
	伊賀市上ノ庄1	8月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	巨峰	袋掛け
	名張市下小波田1	8月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	デラウェア	袋掛け
	名張市下小波田2	8月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	巨峰	袋掛け
平均			0.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
平年(10年平均)			8.7	1.6	11.6	0.10	2.6	0.10	4.7	0.1	(6年平均)	(8年平均)							

9月

地区	調査場所	調査月日	べと病		黒とう病		ハダニ類		チャノキイロアザミウマ		生育状況等
			発病葉率(%)	寄生葉率(%)	発病葉率(%)	寄生葉率(%)	寄生虫数(葉)	被害穂軸率(%)	寄生虫数(葉)	被害穂軸率(%)	
津	津市久居明神町	9月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	収穫前 全体的に葉の傷み多
	玉城町勝田	9月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	収穫終了 区外の葉にべと病あり べと病試験により激発のため、隣接の刈エンタスターを調査
伊賀	伊賀市森寺(定)	9月3日	2	0	0	0	0	0	0	0	巨峰
	伊賀市森寺1	9月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	収穫期 晩腐病多発
	伊賀市上ノ庄(定)	9月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	巨峰
	伊賀市上ノ庄1	9月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	巨峰
	名張市下小波田1	9月3日	0	0	0	8	0.50	0	0	0	デラウエア
	名張市下小波田2	9月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	巨峰
平均			0.3	0	1.0	0.06					
平年(10年平均)			7.1	1.6	0.8	0.01					27.3 (3年平均)

10月

地区	調査場所	調査月日	べと病		黒とう病		ハダニ類		品種	生育状況等	
			発病葉率(%)	寄生葉率(%)	発病葉率(%)	寄生葉率(%)	寄生虫数(葉)	寄生虫数(葉)			
津	津市久居明神町	10月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン 収穫中 樹勢弱 着色不足
	玉城町勝田	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	デラウエア 葉に褐斑散見
伊賀	伊賀市森寺(定)	10月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン 収穫済
	伊賀市森寺1	10月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	巨峰 葉に褐斑散見
	伊賀市上ノ庄(定)	10月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	巨峰 収穫済
	伊賀市上ノ庄1	10月9日	0	0	2	0	0	0	0	0	巨峰 収穫済
	名張市下小波田1	10月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	デラウエア 収穫済
	名張市下小波田2	10月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	巨峰 収穫済 葉に褐斑散見
平均			0	0	0.3	0	0	0	0	0	
平年(10年平均)			8.8	0.1	0.9	0.02					

ウメ巡回調査結果

4月

地区	調査場所	調査月日	黒星病		かいよう病		アブラムシ類		ウメシロカイガラムシ		生育状況等
			果実発病度	葉発病度	果実発病度	葉発病度	葉発病度	寄生枝率(%)	葉発病度	寄生枝率(%)	
津	津市片田中町	4月10日	0	0	0	0	0	0	0	2	白加賀 果実は大豆粒程度
	南伊勢町五ヶ所浦	4月10日	0	0	0	0	0.7	0	0	2	五ヶ所小梅 ハダニあり
紀州	御浜町中立	4月9日	0	0.3	0.3	0	0	0	0	2	南高 果実縦径2cm 果実数少ない
	紀宝町大里	4月9日	0	0	0	0	0	0	0	2	南高 果実縦径2~2.5cm
平均			0	0.07	0.07	0.2	0	0	0	2.0	
平年(10年平均)			0	0.05	0.01	0	0	0	0	13.3	(9年平均)

5月

地区	調査場所	調査月日	黒星病		かいよう病		アブラムシ類		ウメシロカイガラムシ		生育状況等
			果実発病度	葉発病度	果実発病度	葉発病度	葉発病度	寄生枝率(%)	葉発病度	寄生枝率(%)	
津	津市片田中町	5月7日	0	0	0	0	0	0	0	2	白加賀 葉先の巻きが散見される 果実数少
	南伊勢町五ヶ所浦	5月7日	0	0	0	0	0	0	0	2	五ヶ所小梅 赤ダニ有り 樹齢35年以上
紀州	御浜町中立	5月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	南高 果実縦径3.5cm 区外に葉のちぢれ有り
	紀宝町大里	5月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	南高 果実縦径3cm 区外に果のかいよう病有り
平均			0	0	0	0	0	0	0	1.0	
平年(10年平均)			2.1	0.3	0.1	0	0.3	0	0	10.8	

6月

地区	調査場所	調査月日	黒星病		かいよう病		アブラムシ類		ウメシロカイガラムシ		生育状況等
			果実発病度	葉発病度	果実発病度	葉発病度	葉発病度	寄生枝率(%)	葉発病度	寄生枝率(%)	
津	津市片田中町	6月6日	1.1	0	0	0	0	0	0	2	白加賀 果実長径4.5cm
	南伊勢町五ヶ所浦	6月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	五ヶ所小梅 果実収穫済
紀州	御浜町中立	5月31日	0.3	0	0	0	0	0	0	0	南高 区外にアブラムシあり
	紀宝町大里	5月31日	0	0	0	0	0	0	0	0	南高 果実長径3~3.5cm
平均			0.4	0	0	0	0	0	0	0.5	
平年(10年平均)			10.6	1.1	0.04	0.5	6.0				

果樹カメシ類越冬個体数調査

a. チャバナネアオカメシ越冬冬量調査

調査年	単位:頭											
	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	10年平均
津市白山町二本木	4	0	1	0	1	1	0	0	5	2	1	1.4
津市白山町川口(スギ、ヒノキ林)	9	0	17	1	13	9	0	0	3	0	1	5.2
松阪市大阿坂町(広葉樹林)	0	0	4	1	27	1	0	1	14	1	0	4.9
松阪市小阿坂町(ヒノキ林)	6	3	2	2	36	28	0	6	11	0	1	9.4
松阪市嬉野川北町	0	0	2	0	3	0	0	7	3	1	0	1.6
平均	3.8	0.6	5.2	0.8	16.0	7.8	0.0	2.8	7.2	0.8	0.6	4.5
採集地点率(%)	60	20	100	60	100	100	0	60	100	60	60	66.0

※1地点あたり1㎡範囲内の落葉を3カ所採取し(計3㎡)、捕獲した数を計測。

※調査地点は津市白山町二本木、津市白山町川口、松阪市大阿坂町、松阪市小阿坂町の4地点。

※調査は、2017年までは1月～3月に実施。2018、2019年は12月に実施。

b. クサギカメシ越冬冬量調査

調査年	単位:頭											
	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	10年平均
津市白山町二本木	14	3	17	1	12	9	7	4	4	6	9	7.7
津市白山町川口(スギ、ヒノキ林)	174	23	294	8	658	543	46	38	38	50	152	187.2
南伊勢町船越(カンキツ園)	33	0	5	0	55	5	4	30	30	1	2	16.3
御浜町志原(カンキツ園)	1	0	1	0	3	10	1	0	0	0	0	1.6
平均	55.5	6.5	79.3	2.3	182.0	141.8	14.5	18.0	18.0	14.3	40.8	53.2
採集地点率(%)	100	50	100	50	100	100	100	75	75	75	75	82.5

※越冬小屋(0.6m×0.6m×1m)に入った数を計測。

※例年小屋の設置は10月上旬。1月～2月に回収調査を実施。

※調査地点は津市白山町二本木、津市白山町川口、南伊勢町船越、御浜町志原の4地点。

※2008年までは志摩市磯部町堀切で調査。以降は、南伊勢町船越に、設置場所を西へ約7km移動して調査。

広域病害虫防除員調査結果
ブドウ 7月

地区	調査地点	品種	べと病		晩腐病		生育状況等	調査日
			発病葉数	発病葉率	発病房数	発病房率		
伊賀	伊賀市上之庄1	巨峰	0	0%	0	0%	5月8日の遅霜の影響で生育はやや遅れている。	7月4日
	伊賀市上之庄2	巨峰	0	0%	0	0%		7月4日
	伊賀市上之庄3	安芸クイーン	2	4%	0	0%		7月4日
	伊賀市予野1	巨峰	0	0%	0	0%		7月4日
	伊賀市予野2	安芸クイーン	0	0%	0	0%		7月4日
	平均		0.4	0.8%	0	0%		
	過去の平均値 (データ数)		1.6 (10)	3.0% (10)	0.8 (10)	1.7% (10)		

※べと病は1圃場当たり50葉、晩腐病は1圃場当たり50房調査。

広域病害虫防除員調査結果
ブドウ 8月

地区	調査地点	品種	べと病		晩腐病		生育状況等	調査日
			発病葉数	発病葉率	発病房数	発病房率		
伊賀	伊賀市上之庄1	巨峰	0	0%	0	0%	7月の長雨で酸抜けが悪く、収穫時期は3~5日程遅れている(ハウス)。現時点では発病は少ないが、7月の長雨で感染している可能性があり、今後の発病が懸念される。	8月2日
	伊賀市上之庄2	巨峰	0	0%	0	0%		8月2日
	伊賀市上之庄3	安芸クイーン	6	0%	0	0%		8月2日
	伊賀市予野1	巨峰	0	0%	0	0%		8月2日
	伊賀市予野2	安芸クイーン	0	0%	0	0%		8月2日
	平均		1	0%	0	0%		
	過去の平均値 (データ数)		5.7 (10)	11.0% (10)	7.5 (10)	14.8% (10)		

※べと病は1圃場当たり50葉、晩腐病は1圃場当たり50房調査。

広域病害虫防除員調査結果
ブドウ 9月

地区	調査地点	品種	べと病		晩腐病		生育状況等	調査日
			発病葉数	発病葉率	発病房数	発病房率		
伊賀	伊賀市上之庄1	巨峰	0	0%	25	50%	7月の日照不足のため、出荷開始は5日程遅れた。露地においては晩腐病が多発している。	9月2日
	伊賀市上之庄2	巨峰	0	0%	18	36%		9月2日
	伊賀市上之庄3	安芸クイーン	7	14%	24	48%		9月2日
	伊賀市予野1	巨峰	3	6%	4	8%		9月2日
	伊賀市予野2	安芸クイーン	5	10%	10	20%		9月2日
	平均		3.0	6.0%	16.2	32.4%		
	過去の平均値 (データ数)		10.2 (10)	20.7% (10)	15.2 (7)	21.5% (7)		

※べと病は1圃場当たり50葉、晩腐病は1圃場当たり50房調査。

(5) 茶

茶巡回調査結果(2019年4月)

地区	調査場所	炭疽病		カンザワハダニ		チャノミドリ		チャノキイロ		ハマキムシ類		クワシロカイ		チャトグコナジラミ		備考
		旧葉発 病数 /m ²	旧葉寄 生率(%)	旧葉寄 生虫数 /葉	たたき落と し虫数	たたき落と し虫数	たたき落と し虫数	たたき落と し虫数	たたき落と し虫数	幼虫数 (頭/葉)	雌成虫寄 生率(%)	寄生度	発生程度	調査月日		
四日市	水沢町(定)	0	0	0	1	0	1	0	0	0	6	26	10.0	少	4月11日	萌芽期
	水沢町1	0	4	0.04	0	0	0	0	0	0	6	20	7.3	少	4月11日	1.0葉期
	水沢町2	0	4	0.04	0	1	0	0	0	0	4	20	6.7	少	4月11日	0.5葉期
鈴鹿市	山本町(定)	1	2	0.02	0	0	0	0	0	0	6	18	7.3	少	4月11日	0.5葉期
	山本町1	0	2	0.02	0	0	0	0	0	0	4	22	8.7	少	4月11日	0.5葉期
	山本町2	1	6	0.30	0	0	0	0	0	0	4	16	6.0	少	4月11日	0.5葉期
鈴鹿市	山本町3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6	24	8.7	少	4月11日	0.5葉期
	太森町1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	18	6.7	少	4月11日	萌芽期
	太森町2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	10	4.0	少	4月11日	萌芽期
亀山市	太森町3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	10	3.3	少	4月11日	萌芽期
	飯南町粥見1	0	14	1.08	0	0	0	0	0	0	6	64	21.3	少	4月12日	0.5葉期
	飯南町粥見2	1	2	0.16	2	0	0	0	0	0	0	54	18.0	少	4月12日	萌芽期
松阪市	飯南町粥見3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	48	16.0	少	4月12日	0.5葉期
	大台町栃原(定)	0	14	2.28	0	0	2	0	0	2	2	42	14.0	少	4月12日	萌芽前
	大台町栃原1	2	32	2.48	0	0	0	0	0	0	0	14	4.7	少	4月12日	萌芽期
伊勢志摩	大台町栃原2	2	6	0.20	1	0	0	0	0	0	8	20	6.7	少	4月12日	萌芽期
	度会町棚橋	0	18	2.08	0	0	0	0	0	0	2	6	2.0	少	4月12日	萌芽前
	度会町牧戸	0	2	0.24	0	0	2	0	0	0	2	46	17.3	少	4月12日	萌芽前
平均		0.5	5.9	0.50	0.2	0.06	0.3	0	0	0	4.3	26.6	9.4	少		
前年(2018年)		0.1	11.0	0.66	0.1	0	0.1	0	0	0	9.8	34.7	12.3			
前年(10年平均)		2.2	4.4	0.17	0.3	1.8	0.4	0.1	0.1	0.1	13.4	41.5	17.6			
平年値計算データ数		10	10	10	10	10	10	10	10	9	10	10	9			

※チャトグコナジラミ被害率: A:51頭以上, B:26頭~50頭, C:1頭~25頭, E:0頭

寄生度= {(A×3)+(B×2)+(C×1)} / {3×(調査葉数)} ×100

発生程度のランク分けは右表による

チャトグコナジラミ	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

茶巡回調査結果(2019年5月)

地区	調査場所	炭疽病	もち病	カンザウハダニ	チャノミドリ ヒメヨコバイ	チャノキイロ アザミウマ	チャノボンガ	ハマキム シ類	クワシロカ イガラムシ	チャトゴコナジラミ		備考	
										寄生率%	発生程度		
		新葉発病 枚数/㎡	新葉病 枚数/㎡	寄生率 (%)	寄生虫数 /葉	たたき落し 虫数	たたき落し 虫数	巻葉数/ ㎡	幼虫数/ ㎡	巻葉数/ ㎡	雌成虫寄 生株率(%)	発生度	
	四日市市水沢町(定)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5月8日 被覆中
	四日市市水沢町1	0	0	0	0	0	0	0	4	16	5.3	少	5月8日 摘採後
	四日市市水沢町2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5月8日 被覆中
	鈴鹿市山本町(定)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5月8日 被覆中
	鈴鹿市山本町1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5月8日 被覆中
	鈴鹿市山本町2	0	0	0	0	1	0	0	6	24	10.0	少	5月8日 摘採前、霜害
	鈴鹿市山本町3	0	0	2	0.06	0	0	0	6	30	10.0	少	5月8日 摘採後
	亀山市太森町1	0	0	2	0.10	2	0	1	4	12	4.0	少	5月9日 摘採後
	亀山市太森町2	0	0	0	0	0	1	1	2	14	4.7	少	5月9日 摘採前
	亀山市太森町3	0	0	0	0	0	0	0	2	10	3.3	少	5月9日 摘採前
	松阪市飯南町粥見1	0	0	16	0.26	0	0	0	14	30	11.3	少	5月8日 摘採後
	松阪市飯南町粥見2	0	0	4	0.06	4	0	0	0	30	12.0	少	5月8日 摘採後
	松阪市飯南町粥見3	0	0	8	0.10	0	0	0	6	22	8.7	少	5月8日 摘採後、ヒナカキワタフキコナジラミ確認
	大台町栃原(定)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	10.0	少	5月8日 摘採前
	大台町栃原1	0	0	32	0.94	0	0	0	0	6	2.0	少	5月8日 摘採前
	大台町栃原2	0	0	10	0.14	0	0	0	8	8	2.7	少	5月8日 摘採後
	伊勢 志摩	0	0	12	0.28	0	0	0	2	16	5.3	少	5月8日 摘採前、霜害
	度会町牧戸	0	0	6	0.16	0	0	0	4	44	19.3	少	5月8日 摘採後
	平均	0	0	6.6	0.15	0.4	0.07	0.1	0.07	4.1	20.9	7.8	少
	前年(2018年)	0.07	0	2.9	0.08	0.4	1.6	4.4	2.5	0.1	10.3	6.2	
	平年(10年平均)	0.1	0	3.9	0.09	0.9	2.2	0.7	0.5	0.1	12.3	37.5	19.0
	データ数	10	10	10	10	10	10	8	6	10	10	9	

※炭疽病、もち病、ハマキムシ類、チャノボンガについては、枠調査(1/8㎡×8ヶ所=1㎡)による。
 ※チャトゴコナジラミ発生度(寄生率)は、A:51頭以上、B:26頭~50頭、C:1頭~25頭、E:0頭
 寄生度=(A×3)+(B×2)+(C×1)/(3×(調査葉数))×100
 発生度のランク分けは右表による。

チャトゴコナジラミ	
寄生率	発生程度
81以上	甚多
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

茶巡回調査結果(2019年6月)

地区	調査場所	炭疽病	もち病	カンザワハダニ	チャノミドリ ヒメコバエ	チャノキイロ アザミウマ	ハマキ ムシ類	チャノ ホソガ	ソマグロア オカスミカ メ	クワシロ カイガラムシ	チャトゴコノジラミ		備考		
											寄生度	発生度			
		(二番茶芽、一番 茶残葉) 発病枚 数/㎡	発病枚 数/㎡	寄生葉 率(%)	寄生虫数 /葉	たたき落と し虫数	たたき落と したたき落と し虫数	雄マユ寄 生株率(%)	雄マユ寄 生株率(%)	雌成虫寄 生株率(%)	蛹葉幼虫 寄生率(%)	寄生度	発生 程度		
四日市	四日市市水沢町(定)	0	0	0	0	0	0	0	1	6	6	14	5.3	少	6月3日 萌芽前
	四日市市水沢町1	0	0	4	0.06	1	0	0	0	2	2	10	3.3	少	6月3日 1.0葉期、チャノホンガ産卵
	四日市市水沢町2	0	0	4	0.10	0	0	2	3	0	2	10	3.3	少	6月3日 萌芽期
	鈴鹿市山本町(定)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	12	4.0	少	6月3日 0.5葉期
	鈴鹿市山本町1	0	0	6	0.08	1	0	0	4	0	0	16	6.0	少	6月3日 萌芽期
	鈴鹿市山本町2	1	0	4	0.10	0	12	1	2	0	2	14	4.7	少	6月3日 萌芽前
	鈴鹿市山本町3	0	0	14	0.34	1	0	0	0	0	0	10	3.3	少	6月3日 1.0葉期、カンザワハダニ多
	亀山市太森町1	0	0	6	0.38	0	0	0	1	4	2	4	1.3	少	6月4日 萌芽期、チャノホンガ産卵
	亀山市太森町2	0	0	4	0.04	1	0	0	1	0	0	4	1.3	少	6月4日 萌芽前
	亀山市太森町3	0	0	12	0.56	1	0	0	0	2	2	4	1.3	少	6月4日 萌芽前
	松阪市飯南町粥見1	0	0	30	1.28	5	0	0	0	4	0	24	8.0	少	6月3日 0.5葉期、カンザワハダニ多
	松阪市飯南町粥見2	0	0	24	0.96	17	0	0	0	0	0	22	8.0	少	6月3日 0.5葉期、カンザワハダニ多
	松阪市飯南町粥見3	0	0	20	0.66	0	1	0	0	2	0	12	4.0	少	6月3日 0.5葉期、カンザワハダニ多
	大台町栢原(定)	0	0	2	0.02	1	2	2	2	0	0	18	6.7	少	6月3日 萌芽前
	大台町栢原1	0	0	30	0.76	0	0	0	0	0	4	10	3.3	少	6月3日 0.5葉期、カンザワハダニ多
	大台町栢原2	0	0	6	0.08	1	0	0	0	0	2	14	4.7	少	6月3日 1.5葉期
伊勢	度会町柵橋	1	0	20	0.76	0	15	3	1	3	2	10	3.3	少	6月3日 0.5葉期、カンザワハダニ多
志摩	度会町牧戸	0	0	14	0.34	0	0	0	0	0	0	22	8.0	少	6月3日 1.0葉期
平均		0.1	0	11.1	0.36	1.6	1.7	0.4	0.3	1.4	1.1	14	12.8	4.4	少
前年(2018年)		0.1	0	2.2	0.04	2.4	1.4	0.4	0.7	0.1	14.7	6.6	11.8	4.0	
平年(10年平均)		0.2	0.01	3.5	0.07	2.0	9.7	0.6	0.2	2.2	8.0	6.8	25.8	9.8	
データ数		10	10	10	10	10	10	10	10	8	10	9	8	8	

※炭疽病、もち病、チャノホンガ、ハマキムシ類、ソマグロアオカスミカメは、株調査による。
 ※チャトゴコノジラミ蛹葉幼虫寄生程度:A:51頭以上、B:26頭~50頭、C:1頭~25頭、E:0頭
 寄生度=(A×3)+(B×2)+(C×1)/(3×(調査葉数))×100
 発生程度のランク分けは右表による。

チャトゴコノジラミ幼虫	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

茶巡回調査結果(2019年7月)

地区	調査場所	炭疽病		もたら病		輪斑病		カンザワハダニ		チャバシロヒメ		チャバシロア		ハマキム		チャヤホ		ツマグロカ		クワシロカイガラムシ		チャトゴコナジラミ幼虫		備考
		発病枚数 (新葉・残 葉)/㎡	発病枚数 (新葉・残 葉)/㎡	寄生率 (%)	寄生虫 数/葉	たたき落し 虫数	たたき落し 虫数	たたき落し 虫数	たたき落し 虫数	巻葉数 /㎡	巻葉数 /㎡	被書芽数 /㎡	雄マユ寄生 株率(%)	雌成虫寄生 株率(%)	寄生率 (%)	寄生率 (%)	発生程 度	発生程 度	調査月日					
	四日市市水沢町(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	24	8.0	少	7月2日	整枝後		
	四日市市水沢町1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	24	8.0	少	7月2日	整枝後		
	四日市市水沢町2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	46	15.3	少	7月2日	二番茶摘採後		
	四日市市水沢町(定)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7月2日	被覆中		
	四日市市錦鹿市山本町1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	44	18.7	少	7月2日	二番茶摘採後		
	四日市市錦鹿市山本町2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	26	11.3	少	7月2日	二番茶摘採前		
	四日市市錦鹿市山本町3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	38	16.7	少	7月2日	整枝後、ハダニ死亡		
	亀山市太森町1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	42	18.0	少	7月2日	二番茶摘採後、ハダニ死亡		
	亀山市太森町2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	42	17.3	少	7月2日	二番茶摘採前		
	亀山市太森町3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	46	22.0	少	7月2日	二番茶摘採前		
	松阪市飯南町粥見1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	28	9.3	少	7月1日	二番茶摘採前		
	松阪市飯南町粥見2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	4.7	少	7月1日	二番茶摘採後、ハダニ死亡		
	松阪市飯南町粥見3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	11.3	少	7月1日	二番茶摘採前、ハダニ死亡		
	大台町栃原(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	6.7	少	7月1日	二番茶摘採後、コカクモハダニ 成虫多		
	大台町栃原1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	4.0	少	7月1日	整枝後、ハダニ死亡		
	大台町栃原2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	16	5.3	少	7月1日	整枝後、ハダニ死亡		
	伊勢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	4.0	少	7月1日	整枝後、ハダニ死亡及び天敵多		
	志摩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	7.3	少	7月1日	二番茶摘採前、ハダニ死亡		
	平均	0.1	0.1	0.06	0.6	0.007	3.5	0.3	0.2	0.2	0.8	3.6	4.1	28.8	11.1	少								
	前年(2018年)	0.2	0	0.7	0.7	0.008	1.8	2.5	0.06	1.7	0.1	12.8	13.6	41.4	15.0									
	平年(10年平均)	1.3	0.009	1.2	1.1	0.07	2.1	16.0	0.1	0.6	0.9	11.3	15.8	41.0	16.6									
	データ数	10	7	10	10	10	10	10	10	10	10	7	10	10	9									

※炭疽病、輪斑病、ホナガ、ハマキムシ類については、特調査(1㎡)による。
 ※クワシロカイガラムシ寄生程度: A: 株の1/2以上かつ樹に露状、B: 株の1/4以上又は枝幹の一部に露状、
 C: 枝幹に露々、D: 寄生なし、寄生率=[(A×3)+(B×2)+(C×1)]/(3×(調査株数))×100
 ※チャトゴコナジラミ一葉当たり寄生程度: A: 5以上、B: 26~50頭、C: 1~25頭(採葉当年春葉~前年最終葉)、
 寄生率=[(A×3)+(B×2)+(C×1)]/(3×(調査葉数))×100

チャトゴコナジラミ	
寄生率	発生程度
8以上	被
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

茶巡回調査結果(2019年8月)

地区	調査場所	炭疽病 新葉発 病葉数/ m ²	もち病 新葉発病 葉数/m ²	輪斑病 新葉発病 葉数/m ²	カンザワハダニ 寄生虫数 /葉	チャ/ミドリヒ メヨコバイ たつき落と し虫数	チャ/キイロ アザミウマ たつき落と し虫数	ハマキムシ シ類 巻葉数/ m ²	チャ/ホソ ソノグロアオ カスミカメ 巻葉数/ m ²	クワシロカイガラムシ 雌マユ寄 生株率(%)	クワシロカイガラムシ 雌成虫寄 生株率(%)	チャ/トグロコナジラミ 寄生葉 率%	発生 寄生度 %	調査日	備考		
四日市	四日市市水沢町(定)	1	0	1	0	0	13	1	8	0	8	0	40	13.3	少	7月29日 4~5葉期	
	四日市市水沢町1	0	0	0	0	1	9	1	0	0	1	6	50	16.7	少	7月29日 2~4葉期	
	四日市市水沢町2	0	0	0	2	0.02	0	5	1	0	0	2	48	16.0	少	7月29日 萌芽期	
鈴鹿	鈴鹿市山本町(定)	0	0	0	0	0	8	2	0	0	2	6	30	10.0	少	7月29日 1~2葉期	
	鈴鹿市山本町1	0	0	0	0	1	3	1	0	0	0	2	32	10.7	少	7月29日 萌芽期	
	鈴鹿市山本町2	0	0	0	0	1	0	4	0	0	0	4	50	16.7	少	7月29日 2葉期、旧葉で輪斑病やや多	
亀山市	鈴鹿市山本町3	0	0	2	0	1	3	2	0	6	0	2	30	10.0	少	7月29日 4~5葉期	
	亀山市大森町1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	40	13.3	少	7月29日 2~3葉期	
	亀山市大森町2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	40	13.3	少	7月29日 2葉期	
松阪	亀山市大森町3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4	20	6.7	少	7月29日 萌芽期、旧葉で炭疽病やや多	
	松阪市飯南町粥見1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	4	50	17.3	少	7月31日 萌芽期、旧葉で炭疽病やや多
	松阪市飯南町粥見2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	34	11.3	少	2~3葉期、旧葉に炭疽病・輪斑病やや多	
伊勢 志摩	松阪市飯南町粥見3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	26	9.3	少	7月31日 萌芽期	
	大台町栲原(定)	0	0	0	0	3	2	1	0	0	4	4	44	17.3	少	7月31日 1~2葉期	
	大台町栲原1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	24	8.7	少	7月31日 3~4葉期	
伊勢 志摩	大台町栲原2	0	0	0	0	3	3	0	0	0	4	2	16	5.3	少	7月31日 3~5葉期	
	度会町柵棚	0	0	0	0	9	0	2	1	0	0	0	14	4.7	少	7月31日 2~4葉期	
	度会町牧戸	0	0	0	0	0	25	0	0	0	8	8	32	12.0	少	7月31日 1~2葉期	
平均		0.06	0	0.2	0.1	0.001	1.1	3.8	1.1	0.6	0.3	0.06	2.9	2.8	34.4	11.8	少
前年(2018年)		0	0	0.1	0.2	0.002	0.3	2.3	0.1	0.1	0.6	0.1	7.3	8.7	29.1	10.2	
平年(10年平均)		1.3	0.08	3.1	1.0	0.02	1.3	7.0	0.5	0.7	1.2	0.04	5.4	7.5	24.7	11.8	
データ数		10	7	10	10	10	10	10	10	10	10	8	7	10	9	10	

チャ/トグロコナジラミ	
寄生度	発生程度
8以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

※炭疽病、もち病、輪斑病、ハマキムシ類、チャ/ホソソノグロアオカスミカメ、ヨモギエダシヤクについては、幹調査(1m²)による。
 ※チャ/トグロコナジラミ：一葉当たり寄生程度(楕葉当年春葉)：A:51頭以上、B:26~50頭、C:1~25頭、E:0頭
 寄生度=[(A×3)+(B×2)+(C×1)]/(3×(調査葉数))×100、発生程度は右表によりランク分け

茶巡回調査結果(2019年9月)

地区	調査場所	炭疽病		輪斑病	カンザワハダニ	チャノミドリヒ ヌコハライ		アザミウマ	ハマキムシ類		チャノホ ソガ	クワシロカイガラムシ		チャトゲコナジラミ幼虫		備考	
		新葉発病葉 数/m ²	新葉発病葉 寄生葉率 (%)			寄生虫数 (頭/葉)	たたき落と し虫数(頭)		たたき落と し虫数(頭)	巻葉数 /m ²		巻葉数 /m ²	雄寄生 株率(%)	雌寄生 株率(%)	寄生葉 率(%)		寄生度
四日市市	水沢町(定)	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	2	6	12	4.0	少	抜根廃園につき近傍茶園を調査、三 番茶芽硬化・秋芽1葉
四日市市	水沢町1	1	0	2	0.08	0	0	0	0	1	0	12	22	20	6.7	少	三番茶芽硬化・秋芽1~2葉
四日市市	水沢町2	0	0	0	0	0	0	5	0	2	0	4	20	8	2.7	少	三番茶硬化期(3~6葉)
鈴鹿市	山本町(定)	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	16	6	10	4.0	少	三番茶芽硬化・秋芽萌芽
四日市	鈴鹿市山本町1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	6	6	8	2.7	少	三番茶芽硬化・秋芽萌芽~1葉
鈴鹿	鈴鹿市山本町2	0	1	0	0	1	0	0	1	1	1	8	2	28	10.0	少	整枝・秋芽萌芽
鈴鹿	鈴鹿市山本町3	0	15	0	0	2	0	0	2	3	14	8	8	22	9.3	少	三番茶芽硬化・秋芽1~3葉
	亀山市太森町1	0	3	0	0	8	0	0	1	1	6	6	6	28	10.0	少	三番茶芽硬化・秋芽2葉
	亀山市太森町2	1	0	0	0	6	0	0	1	1	14	10	24	8.7	少	三番茶芽硬化・秋芽萌芽	
	亀山市太森町3	1	0	0	0	10	0	20	1	1	12	20	24	8.7	少	三番茶芽硬化・秋芽1~2葉	
松阪	松阪市飯南町瀬見1	0	0	2	0.02	0	0	0	0	0	0	6	10	3.3	少	三番茶芽硬化期	
	松阪市飯南町瀬見2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	12	4.0	少	三番茶芽硬化・秋芽1~2葉	
	松阪市飯南町瀬見3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	12	4.0	少	三番茶芽硬化期
	大台町柳原(定)	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	20	7.3	少	三番茶芽硬化・秋芽萌芽
	大台町柳原1	0	1	0	0	7	0	0	0	0	0	2	0	14	4.7	少	三番茶芽硬化・秋芽1~2葉
	大台町柳原2	0	2	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	10	3.3	少	三番茶芽硬化・秋芽1~2葉
伊勢	度会町棚橋	1	23	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	14	4.7	少	三番茶芽硬化・秋芽萌芽
志摩	度会町牧戸	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	16	5.3	少	整枝・秋芽萌芽
平均		0.6	2.8	0.2	0.006	2.2	1.4	0.8	0.5	5.7	6.9	16.2	5.7	少			
前年(2018年)		0.1	0.4	0.3	0.003	0.6	6.9	0.3	0	1.9	3.8	12.7	4.8				
平年(10年平均)		1.4	3.3	2.1	0.04	1.6	5.4	1.3	3.1	4.0	5.3	17.6	6.4				
データ数		10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	9	

※炭疽病、もち病、輪斑病、ハマキムシ類、ホソガは、枠調査(1m²)による。

※輪斑病は新梢枯死症を含む。

※チャトゲコナジラミ:寄生程度:福葉当年春葉~前年最終葉一葉当たり:A:51頭以上、B:26~50頭、C:1~25頭、E:0頭、

寄生度=(A×3)+(B×2)+(C×1)/(3×(調査葉数))×100

発生程度:右表による。

チャトゲコナジラミ	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

茶巡回調査結果(2019年10月)

地区	調査場所	炭疽病		輪斑病		カンザワハダニ		チャノミドリ		チャノキイロ		ハマキムシ類		チャノホソガ		ツマグロアオ		クロシロカイガラムシ		チャトゴクノジラミ幼虫		備考			
		発病枚 数/㎡	発病枚 率(%)	寄生葉 数/㎡	寄生率 (%)	寄生虫 数/葉	寄生虫 数	叩き落し虫 数	叩き落し虫 数	アザミウマ	チャノキイロ アザミウマ	ハママキムシ類	ハママキムシ類 幼虫数/㎡	巻葉数/㎡	幼虫数/㎡	巻葉数/㎡	幼虫数/㎡	雌成虫寄生 株率(%)	雄マユ寄生 株率(%)	寄生率 (%)	寄生率 (%)		発生程 度		
四日市	四日市水沢町(定)	0	0	14	0.52	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	18	6	36	13.3	少	10月4日 摘採前	
	四日市水沢町1	4	0	14	0.18	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42	4	22	8.0	少	10月4日 摘採後	
	四日市水沢町2	0	0	12	0.14	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	30	8	36	13.3	少	10月4日 摘採前	
	鈴鹿市山本町(定)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	4	20	6.7	少	10月9日 摘採後	
	鈴鹿市山本町1	0	0	0	0	3	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	8	0	16	6	8	2.7	少	10月9日 摘採前	
	鈴鹿市山本町2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	20	6.7	少	10月9日 摘採後	
	鈴鹿市山本町3	0	20	0	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	44	6	10	3.3	少	10月9日 摘採後	
	亀山市大森町1	0	0	4	0.04	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	4	20	6.7	少	10月9日 摘採前	
	亀山市大森町2	0	2	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	4	28	9.3	少	10月9日 摘採前	
	亀山市大森町3	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	10	34	11.3	少	10月9日 摘採前	
	松阪市	松阪市飯南町粥見1	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	8	26	8.7	少	10月8日 摘採前
		松阪市飯南町粥見2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	8	14	4.7	少	10月8日 摘採後	
松阪市飯南町粥見3		14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	18	8	22	7.3	少	10月8日 摘採前		
大台町	大台町枋原(定)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	6	10	3.3	少	10月8日 摘採前	
	大台町枋原1	1	0	2	0.02	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	2	6	2.0	少	10月8日 摘採後	
	大台町枋原2	0	0	14	0.24	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	2	6	2.0	少	10月8日 摘採後	
伊勢志摩	伊勢志摩度会町柵橋	2	2	2	0.14	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	14	0	0	0	無	摘採前、マダカラカサハラハム	
	度会町牧戸	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58	12	50	16.7	少	10月8日 摘採前		
	平均	2.1	1.4	3.4	0.07	2.4	0.3	0.1	0.06	0.6	0.2	0.4	24.0	5.4	20.4	7.0	少								
前年(2018年)	0.2	0.5	0.1	0.001	0.8	0.3	0.06	0	0.2	0	0.06	2.4	3.1	19.7	6.7										
前年(10年平均)	1.9	2.1	1.5	0.03	1.2	2.5	0.09	0.02	2.3	1.0	0.8	9.5	3.1	18.9	9.1										
データ数	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	8	10	10	10	10	10									

※炭疽病、輪斑病、ハマキムシ類、チャノホソガについては、検調査(1㎡)による。

※チャトゴクノジラミ: 寄生程度: 罹葉当年春葉~周年最終葉一葉当たり; A: 51頭以上、B: 26~50頭、C: 1~25頭、E: 0頭、寄生率=(A×3)+(B×2)+(C×1)/(3×(調査葉数))×100

発生程度: 右表による。

チャトゴクノジラミ	発生程度
寄生率	81以上
	甚多
	61~80
	41~60
	中
	1~40
	少
	0
	無

茶巡回調査結果(2020年3月)

地区	調査場所	カンザワハダニ		クワンロカイ ガラムシ		チャトゴコナジラミ幼虫		調査月日	備考
		寄生葉率 (%)	寄生虫数/ 葉	雌成虫寄生 株率(%)	寄生葉 率(%)	寄生度	発生程度		
四日市	水沢町(定)	0	0	10	26	8.7	少	3月7日	
	水沢町1	8	0.14	24	24	8.0	少	3月7日	カンザワハダニ卵確認
	水沢町2	0	0	20	30	10.0	少	3月7日	
鈴鹿市	山本町(定)	10	0.18	24	22	7.3	少	3月7日	カンザワハダニ卵確認 コカクモンハマギ被害葉多し(幼虫確認)、カ ンザワハダニ卵確認
鈴鹿市	山本町1	4	0.06	16	16	5.3	少	3月7日	
	山本町2	0	0	18	26	8.7	少	3月7日	
	山本町3	6	0.08	22	26	8.7	少	3月7日	カンザワハダニ卵確認
亀山市	太森町1	8	0.14	20	60	20.0	少	3月7日	チャノホソガ成虫確認、カンザワハダニ卵確認
	太森町2	2	0.02	14	46	15.3	少	3月7日	カンザワハダニ卵確認
	太森町3	4	0.06	26	44	14.7	少	3月7日	カンザワハダニ卵確認
松阪市	飯南町粥見1	6	0.08	20	52	17.3	少	3月6日	
	飯南町粥見2	2	0.02	24	42	14.0	少	3月6日	カンザワハダニ卵確認
	飯南町粥見3	2	0.02	16	52	17.3	少	3月6日	
大台町	栃原(定)	8	0.40	6	26	8.7	少	3月6日	カンザワハダニ卵・幼虫確認
	栃原1	12	0.68	12	18	6.0	少	3月6日	カンザワハダニ卵確認
	栃原2	14	0.46	4	22	7.3	少	3月6日	カンザワハダニ卵確認
伊勢	度会町棚橋	2	0.04	6	6	2.0	少	3月6日	カンザワハダニ卵確認
志摩	度会町牧戸	0	0	28	38	14.0	少	3月6日	
平均		4.9	0.13	17.2	32.0	10.7	少		
前年(2019年)		3.2	0.15	5.4	20.1	6.7			
平年(10年平均)		1.8	0.05	11.1	37.1	13.8			
データ数		10	10	10	10	9			

チャトゴコナジラミ
寄生度
発生程度
81以上
甚
61~80
多
41~60
中
1~40
少
0
無

※チャトゴコナジラミ楕葉裏幼虫寄生程度;
A:51頭以上、B:26頭~50頭、C:1頭~25頭、E:0頭
寄生度 = $(3 \times NA + 2 \times NB + 1 \times NC) / (3N)$ $\times 100$
発生程度のランク分けは右表による。

広域防除員報告(茶)

調査方法

1圃場あたり炭疽病は1㎡を調査(1/8㎡枠調査×10カ所)

カンザワハダニは50葉の寄生葉率、寄生頭数を調査。

新葉がない場合は、旧葉を調査する。

生育状況、特記事項等を記録する。

調査結果

調査地点:松阪市飯南町粥見藤ヶ瀬 榎田川左岸下流(魚瀬橋付近)10圃場

調査日	令和1年5月8日						調査日	令和1年7月4日							
対象 病害 虫	カンザワハダニ					炭疽病	備 考	対象 病害 虫	カンザワハダニ					炭疽病	備 考
	圃場 NO.	寄生 虫数	頭数/ 葉	寄生 葉数	寄生 葉率 (%)				発病葉 数 (枚 /㎡)	圃場 NO.	寄生 虫数	頭数/ 葉	寄生 葉数		
	1	1	0.02	1	2	0		1	0	0	0	0	9		
	2	2	0.04	1	2	0		2	0	0	0	0	0	クワシロ多	
	3	0	0	0	0	0		3	0	0	0	0	6		
	4	0	0	0	0	0		4	0	0	0	0	6		
	5	0	0	0	0	0		5	0	0	0	0	3		
	6	0	0	0	0	0		6	0	0	0	0	0		
	7	0	0	0	0	0		7	0	0	0	0	0		
	8	0	0	0	0	0		8	0	0	0	0	0		
	9	0	0	0	0	0		9	0	0	0	0	3		
	10	0	0	0	0	0		10	0	0	0	0	0		
平均	0.3	0.01	0.2	0.4	0		平均	0	0	0	0	2.7			
7年平均	1.7	0.0	0.7	1.3	0.0		7年平均	0.9	0.0	0.5	1.0	13.4			
生育状況等 生育遅れぎみ 圃場によりチャトゲコナジラミ少々発生。							生育状況等 天候不安定のため二番茶刈取り遅れ気味、生育もやや遅い。								

(6)野菜

1. イチゴ

イチゴ《2019年4月》

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		アザミウマ類	コナシラミ類		備考			
			葉発病株率(%)	果実発病率(%)	葉発病株率(%)	果実発病率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	寄生率(%)	成虫寄生株率(%)	蛹寄生株率(%)		品種	栽培形式	その他
津	津市芸濃町椋本	4月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	H31年6月～調査対象から除外 管理不十分		
	津市一志町石橋	4月10日	2	2.5	0	0	2	0.5	2	0.5	30	0	0	0		かおり野	土耕
	津市雲出長常町	4月10日	0	0	0	0	4	1.5	0	0	0	0	0	0		かおり野	ハンチ
松阪	松阪市曽原町	4月9日	0	0	0	0	2	0.5	0	0	1	0	0	0	章姫	ハンチ	
	松阪市堀野権現前町	4月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	章姫	ハンチ	
	松阪市藤之木町	4月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	土耕	
	松阪市新開町	4月9日	0	0	0	0	2	0.5	0	0	1	0	0	0	かおり野	土耕	
伊勢	玉城町岩出	4月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	かおり野	ハンチ	
	伊勢市小俣町元町	4月5日	4	10.0	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	かおり野	ハンチ	
	玉城町勝田	4月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	章姫	ハンチ	
志摩	鳥羽市笠神町	4月10日	0	0	0	0	2	0.5	0	0	2	0	0	0	章姫	ハンチ	
	志摩市磯部町栗木広	4月10日	0	0	0	0	50	35.0	0	0	3	0	0	0	章姫	ハンチ	
平均			0.5	1.0	0	0	5.2	3.2	0.3	0.08	4.3	0	0				
平年(10年平均)			2.8	0.9	0.5	0.7	14.6	7.8	2.0	0.7	12.5	0.9	0.08				
											(5年平均)	(4年平均)					

イチゴ(親株床)《2019年6月》

地区	調査場所	調査月日	炭疽病	うどんこ病		萎黄病	ハダニ類		アブラムシ類		備考						
			発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	品種		生育状況	栽培形式	その他			
津	津市芸濃町椋本	6月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	区外：ハダニ類、アブラムシ類確認、カキヒメヨコバイ確認	
	津市雲出長常町	6月6日	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	区外：アブラムシ類確認	
松阪	松阪市曽原町	5月31日	0	0	0	0	0	10	2.5	章姫	育苗期	露地					
	松阪市堀野権現前町	5月31日	0	0	0	0	0	2	0.5	章姫	育苗期	露地			カキヒメヨコバイ、アザミウマ類確認		
	松阪市藤之木町	5月31日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	隠蔽	
	松阪市新開町	5月31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	ハウス	
伊勢	玉城町岩出	6月3日	0	0	0	0	0	82	34.0	かおり野	育苗期	露地					
	伊勢市小俣町元町	6月3日	0	0	0	0	0	4	1.0	かおり野	育苗期	露地					
	玉城町勝田	6月3日	0	0	0	0	0	2	0.5	章姫	育苗期	ハウス					
志摩	鳥羽市笠神町	6月7日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	育苗期	露地
	志摩市磯部町栗木広	6月7日	0	2	0	50	12.5	0	0	0	0	0	0	0	章姫	育苗期	ハウス
平均			0	0.4	0	5.2	1.3	10.0	3.9								
平年(10年平均)			0	6.2	0	7.6	3.0	4.4	1.1								
											(5年平均)						

イチゴ(親株床)《2019年7月》

地区	調査場所	調査月日	炭疽病	うどんこ病		萎黄病	ハダニ類		アブラムシ類		備考							
			発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	品種		生育状況	栽培形式	その他				
津	津市芸濃町椋本	6月26日	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	育苗期	露地・ハンチ
	津市雲出長常町	6月26日	0	0	0	10	2.5	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	育苗期	露地・ハンチ
松阪	松阪市曽原町	7月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	育苗期	露地・ハンチ
	松阪市堀野権現前町	6月28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	育苗期	露地・ハンチ
	松阪市藤之木町	7月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	育苗期	露地・ハンチ
	松阪市新開町	7月1日	0	0	0	4	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	育苗期	ハウス・地床
伊勢	玉城町岩出	7月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	育苗期	露地・ハンチ
	伊勢市小俣町相合	7月2日	0	0	0	2	0.5	6	1.5	かおり野	育苗期	露地・ハンチ						
	玉城町勝田	7月2日	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	育苗期	ハウス・ハンチ
志摩	鳥羽市笠神町	6月27日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	育苗期	露地・地床
	志摩市磯部町栗木広	6月27日	0	0	0	6	1.5	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	育苗期	ハウス・ハンチ
平均			0	2.9	0	2.2	0.5	0.5	0.1									
平年(10年平均)			0.1	3.1	0.1	6.6	2.3	1.6	0.4									
											(5年平均)							

イチゴ《2019年12月》

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		コナジラミ類		備考				
			葉発病株率(%)	発病果率(%)	葉発病株率(%)	発病果率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	成虫寄生株率(%)	蛹寄生株率(%)		品種	栽培形式	その他	
津	津市芸濃町椋本	12月3日	0	0	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	かおり野	土耕		
	津市雲出長常町	12月3日	0	0	0	0	40	22.5	0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ		
松阪	松阪市首原町	12月9日	0	0	0	0	20	11.5	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ		
	松阪市嬉野権現前町	12月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ		
	松阪市藤之木町	12月9日	0	0	0	0	30	20.0	0	0	0	0	0	章姫	土耕		
	松阪市新聞町	12月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	土耕		
	玉城町岩出	12月4日	0	0	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	かおり野	ベンチ	菌核病確認	
伊勢	伊勢市小俣町相合	12月4日	0	0	0	0	30	17.5	0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ		
	玉城町勝田	12月4日	0	0.5	0	0	20	10.0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	炭そ病確認	
志摩	鳥羽市堅神町	12月4日	0	0	0	0	30	15.0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ		
	志摩市磯部町栗木広	12月4日	0	0	0	0	30	15.5	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ		
平均			0	0.05	0	0	18.2	10.2	0.4	0.09	0	0					
平年(10年平均)			0.4	0.3	0.5	0.02	12.0	4.9	2.0	0.6	0.10	0.04					

イチゴ《2020年1月》

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		コナジラミ類		備考				
			葉発病株率(%)	発病果率(%)	葉発病株率(%)	発病果率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	成虫寄生株率(%)	蛹寄生株率(%)		品種	栽培形式	その他	
津	津市芸濃町椋本	1月10日	0	0	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	かおり野	土耕		
	津市雲出長常町	1月10日	4	0.5	0	0	0	70	62.5	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	ナミハダニ越冬型、菌核病確認	
松阪	松阪市首原町	1月9日	0	0	0	0	60	37.5	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	菌核病確認、天敵確認	
	松阪市嬉野権現前町	1月9日	4	0.5	0	0	10	2.5	0	0	2	0	0	章姫	ベンチ		
	松阪市藤之木町	1月9日	0	0	0	0	50	20.0	0	0	0	0	0	章姫	土耕	天敵確認	
	松阪市新聞町	1月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	土耕		
	玉城町岩出	1月15日	0	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	輪斑病確認	
伊勢	伊勢市小俣町相合	1月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	一部葉害確認	
	玉城町勝田	1月8日	2	0.5	0	0	20	7.5	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	天敵確認	
志摩	鳥羽市堅神町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	章姫	ベンチ	欠測	
	志摩市磯部町栗木広	1月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	一部葉害確認	
平均			1.0	0.3	0	0	21.0	13.0	0.2	0.05	0.2	0					
平年(10年平均)			0.9	0.5	0.8	0.01	15.5	7.5	0.5	0.1	0.1	0.1					

イチゴ《2020年2月》

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		コナジラミ類		備考				
			葉発病株率(%)	発病果率(%)	葉発病株率(%)	発病果率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	成虫寄生株率(%)	蛹寄生株率(%)		品種	栽培形式	その他	
津	津市芸濃町椋本	2月5日	0	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	土耕	菌核病確認	
	津市雲出長常町	2月5日	2.0	10.0	0	0	70.0	47.5	0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	越冬型ナミハダニ	
松阪	松阪市首原町	2月3日	0	0.5	0	0	50.0	25.0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ		
	松阪市嬉野権現前町	2月3日	4.0	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ		
	松阪市藤之木町	2月3日	0	0	0	0	10.0	2.5	0	0	0	0	0	章姫	土耕	天敵確認	
	松阪市新聞町	2月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	土耕		
	玉城町岩出	2月7日	0	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	炭そ病確認	
伊勢	伊勢市小俣町元町	2月7日	0	0.5	0	0	2.0	0.5	0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	天敵確認	
	玉城町勝田	2月6日	0	0.5	0	0	4.0	1.5	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	天敵確認	
	伊勢市二見町	2月6日	0	0	0	0	10.0	2.5	0	0	0	2.0	0	章姫	ベンチ	今月から新規調査ほ場、炭そ病確認	
志摩	志摩市磯部町栗木広	2月6日	0	0	0	0	40.0	20.0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ		
平均			0.5	1.3	0	0	16.9	9.0	0	0	0	0.2					
平年(10年平均)			1.4	0.6	0.6	0.06	16.3	6.9	1.0	0.3	0.5	0.1					

イチゴ《2020年3月》

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		コナジラミ類		アザミウマ類	備考				
			葉発病株率(%)	発病果率(%)	葉発病株率(%)	発病果率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	成虫寄生株率(%)	蛹寄生株率(%)	寄生花率(%)		品種	栽培形式	その他	
津	津市芸濃町椋本	3月2日	2.0	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	土耕	菌核病確認	
	津市雲出長常町	3月2日	0	2.5	0	0	6.0	3.0	0	0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	天敵多数確認	
松阪	松阪市首原町	3月3日	0	0	0	0	70.0	40.5	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ		
	松阪市嬉野権現前町	3月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ		
	松阪市藤之木町	3月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	土耕	天敵確認	
	松阪市新聞町	3月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	土耕		
	玉城町岩出	3月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ		
伊勢	伊勢市小俣町元町	3月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ		
	玉城町勝田	3月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.0	0	章姫	ベンチ	ヒラズハナアザミウマ	
	伊勢市二見町	3月4日	0	0	0	0	0	0	0	2.0	2.0	0	0	章姫	ベンチ			
志摩	志摩市磯部町栗木広	3月4日	0	0	0	0	6.0	2.0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ		
平均			0.2	0.3	0	0	7.5	4.1	0	0	0.2	0.2	0.09					
平年(10年平均)			3.5	0.8	0.2	0.04	14.5	6.7	0.8	0.3	0.4	0.1	2.6					

2. トマト

トマト《2019年4月》

地区	調査場所	調査月日	疫病		葉かび病		すすかび病		黄化葉巻病		灰色かび病		オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリハエ類	アブラムシ類	備考		
			発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	葉発病株率 (%)	果実発病株率 (%)	雌寄生率 (%)	雄寄生率 (%)	被害株率 (%)	寄生株率 (%)	品種	定植時期	その他				
桑名	木曽岬町源線輪中	4月12日	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	みそら64	11月上旬	
	木曽岬町見入	4月12日	0	2	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	11月5日	うどんこ病、タバココナジラミ成虫確認、黄化病疑いあり
	桑名市長島町	4月12日	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	桃太郎ネクスト	10月7日	うどんこ病確認、区外：アブラムシ類確認
四日市	四日市市貝家町	4月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	T109	9月29日	黄化病疑いあり
	松阪市端野一志町	4月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	11月24日	
松阪	明和町佐田	4月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ごほうび	1月12日	葉先の一部黄化確認
	伊勢市小俣町相合	4月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月1日	
平均			0	0.6	0	0.6	0.6	0	0	0	0.6	0	0	0	0	0			
平年(10年平均)			0	4.4	0.3	0.3	10.1	1.0	0.7	0.2	0.3	0.03							

トマト《2019年5月》

地区	調査場所	調査月日	疫病		葉かび病		すすかび病		黄化葉巻病		灰色かび病		オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリハエ類	アブラムシ類	備考		
			発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	葉発病株率 (%)	果実発病株率 (%)	雌寄生率 (%)	雄寄生率 (%)	被害株率 (%)	寄生株率 (%)	品種	定植時期	その他				
桑名	木曽岬町源線輪中	5月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	2	ハウス桃太郎	1月下旬	調査圃場変更
	木曽岬町見入	5月13日	0	80	0	2	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	10月7日	うどんこ病確認、管理不十分
	桑名市長島町	5月13日	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	桃太郎ネクスト	9月29日	うどんこ病確認
四日市	四日市市貝家町	5月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	T109	11月24日	黄化病疑い確認
	松阪市端野一志町	5月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	1月12日	区外：葉かび病確認
松阪	明和町佐田	5月9日	0	0	0	0	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	ごほうび	9月1日	
	伊勢市小俣町相合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ハウス桃太郎	9月1日	収穫終了
平均			0	13.3	0	0.3	0.7	1.3	0	2.3	0	0.3							
平年(10年平均)			0	4.2	2.4	1.4	12.8	1.7	0.03	0.7	4.4	0.09							

トマト《2019年9月》

地区	調査場所	調査月日	疫病		葉かび病		すすかび病		黄化葉巻病		アブラムシ類	オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリハエ類	ハスモンヨトウ	オオタバコガ	備考		
			発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	雌寄生率 (%)	雄寄生率 (%)	被害株率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	被害株率 (%)	被害株率 (%)	被害株率 (%)	品種	定植時期	その他	
桑名	木曽岬町源線輪中	9月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	みそら64	8月9日	
	木曽岬町見入	9月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	みそら586	8月16日	
	桑名市長島町	9月2日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	桃太郎プレミアム	未定植	
四日市	四日市市貝家町	9月4日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	はれそら	9月5日	
	松阪市端野一志町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ハウス桃太郎	未定植	
松阪	明和町佐田	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ごほうび	未定植	
	伊勢市小俣町相合	9月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	8月31日	黄色粘着病：コナジラミ類確認
平均			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
平年(10年平均)			0	0	0.9	0.03	0	0	0	0	0.08	0.1	0.2						

トマト《2019年10月》

地区	調査場所	調査月日	疫病		葉かび病		すすかび病		黄化葉巻病		アブラムシ類	オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリハエ類	ハスモンヨトウ	オオタバコガ	備考		
			発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	雌寄生率 (%)	雄寄生率 (%)	被害株率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	被害株率 (%)	被害株率 (%)	被害株率 (%)	品種	定植時期	その他	
桑名	木曽岬町源線輪中	10月8日	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	みそら64	8月10日	区外：コナジラミ類成虫確認、すすかび病確認
	木曽岬町見入	10月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	CFハウス桃太郎	8月16日	区外：コナジラミ類成虫確認
	桑名市長島町	10月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	りんか409	10月20日	調査ほ場の変更、区外：コナジラミ類成虫確認
四日市	四日市市貝家町	10月8日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	TYみそら586	8月下旬	防除中、圃場によるとコナジラミが平年より多い
	松阪市端野一志町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ハウス桃太郎	未定植	
松阪	明和町佐田	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ごほうび	未定植	
	伊勢市小俣町相合	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月2日	黄化葉巻病で1割程度除去
平均			0	0	0	0	0	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0			
平年(10年平均)			0	0	0.8	2.0	0	0	0.5	0.6	0	0.04	0.1						

トマト 《2019年11月》

地区	調査場所	調査月日	疫病	葉かび病	すすかび病	黄化葉巻病	灰色かび病		オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリハエ類	ハスモンヨトウ		オオタバコガ	備考		
			発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	葉発病株率 (%)	果実発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	被害株率 (%)	被害株率 (%)	品種	定植時期
桑名	木曾岬町源線輪中	11月7日	0	0	10	0	0	0	0	2	0	0	0	0	みそら64	8月10日	1月再定植予定、タバココナジラミ成虫確認
	木曾岬町見入	11月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	CFハウス桃太郎	8月16日	タバココナジラミ成虫確認
	桑名市長島町	11月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	りんか409	10月20日	タバココナジラミ成虫確認
四日市	四日市市員家町	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TYみそら86	8月下旬	タバココナジラミ成虫確認	
松阪	松阪市磯野一志町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ハウス桃太郎	-	未定植	
	明和町佐田	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ごほうび	-	未定植	
伊勢	伊勢市小俣町相合	11月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月2日	オンシツコナジラミ成虫確認	
	平均		0	0	2.0	0	0	0	0	0.4	0	0	0				
	平年(10年平均)		0	0.8	0.7	1.3	0.09	0.06	0	0.03	1.9	1.4	0	0.2			0.10 (5年平均)

トマト 《2019年12月》

地区	調査場所	調査月日	疫病	葉かび病	すすかび病	黄化葉巻病	灰色かび病		オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリハエ類	備考				
			発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	葉発病株率 (%)	果実発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	品種	定植時期	その他		
桑名	木曾岬町源線輪中	12月6日	0	0	50	2	0	0	0	4	0	みそら64	8月10日	コナジラミ類成虫確認		
	木曾岬町見入	12月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	CFハウス桃太郎	8月16日	コナジラミ類成虫確認		
	桑名市長島町	12月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	りんか409	10月20日			
四日市	四日市市員家町	12月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TYみそら86	8月下旬	コナジラミ類成虫確認		
松阪	松阪市磯野一志町	12月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	未定植	育苗中		
	明和町佐田	12月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ごほうび	未定植	育苗中		
伊勢	伊勢市小俣町相合	12月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月2日	コナジラミ類成虫確認		
	平均		0	0	7.1	0.3	0	0	0	0.6	0					
	平年(10年平均)		0	0.2	8.2	1.8	1.8	0.03	0.09	0.3	0.9					

トマト 《2020年1月》

地区	調査場所	調査月日	疫病	葉かび病	すすかび病	黄化葉巻病	灰色かび病		オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリハエ類	備考			
			発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	葉発病株率 (%)	果実発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	品種	定植時期	その他	
桑名	木曾岬町源線輪中	1月10日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	みそら64	8月10日	収穫終了	
	木曾岬町見入	1月10日	6	0	0	0	0	0	0	4	2	CFハウス桃太郎	8月16日		
	桑名市長島町	1月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	りんか409	10月20日		
四日市	四日市市員家町	1月14日	0	0	0	0	0	0	2	4	0	TYみそら86	8月下旬		
松阪	松阪市磯野一志町	1月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	12月中旬		
	明和町佐田	1月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ごほうび	1月上旬		
伊勢	伊勢市小俣町相合	1月8日	0	0	0	0	0	0	0	2	0	ハウス桃太郎	9月2日		
	平均		1.0	0	0	0	0	0	0.3	1.7	0.3				
	平年(10年平均)		0	3.4	6.8	0.5	5.5	0.06	0.03	0.7	0.5				

トマト 《2020年2月》

地区	調査場所	調査月日	疫病	葉かび病	すすかび病	黄化葉巻病	灰色かび病		オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリハエ類	備考		
			発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	葉発病株率 (%)	果実発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	品種	定植時期	その他
桑名	木曾岬町源線輪中	2月4日	0	0	0	2.0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	8月10日	
	木曾岬町見入	2月4日	0	0	2.0	0	4.0	0	0	30.0	2.0	CFハウス桃太郎	8月16日	
	桑名市長島町	2月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	りんか409	10月20日	
四日市	四日市市員家町	2月4日	0	0	0	0	0	0	0	2.0	0	TYみそら86	8月下旬	
松阪	松阪市磯野一志町	2月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	2.0	ハウス桃太郎	12月中旬	
	明和町佐田	2月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ごほうび	1月上旬	
伊勢	伊勢市小俣町相合	2月6日	0	0	0	0	0	0	0	2.0	0	ハウス桃太郎	9月2日	
	平均		0	0	0.3	0.3	0.6	0	0	4.9	0.6			
	平年(10年平均)		0.03	2.1	5.2	0.3	5.4	0.4	0.03	0.3	1.3			

トマト《2020年3月》

地区	調査場所	調査月日	疫病				葉かび病		すすかび病		黄化葉巻病		灰色かび病		オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリハエ類	備考		
			発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	葉発病株率 (%)	果実発病株率 (%)	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	品種	定植時期
桑名	木曾町源線中	3月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	8月10日		
	木曾町見入	3月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	CFハウス桃太郎	8月16日	区外:コナジラミ類補確認	
	桑名市長島町	3月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.0	0	0	りんか409	10月20日			
四日市	四日市市貝家町	3月2日	0	0	0	0	10.0	0	0	0	2.0	0	0	0	0	TYみそら86	8月下旬	うどんこ病確認		
松阪	松阪市嬉野一志町	3月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	12月中旬			
	明和町佐田	3月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	こほうび	1月上旬			
伊勢	伊勢市小保町相合	3月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.0	0	0	ハウス桃太郎	9月2日	コナジラミ類成虫確認		
平均			0	0	0	0	1.4	0	0	0	0.9	0								
平年(10年平均)			0.05	3.3	0.6	0.1	5.1	0.4	1.1	0.4	0.03									

3. ハクサイ

ハクサイ《2019年9月》

地区	調査場所	調査月日	軟腐病		白班病		ヘト病		アブラムシ類	コナガ		ヨトウガ	ハスモンヨトウ	モンシロチョウ	備考		
			発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	株当たり虫数(頭/株)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	品種	定植時期	生育状況
四日市	四日市市水沢町1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植
	四日市市水沢町2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植
	鈴鹿市国分町1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植
	鈴鹿市国分町2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植
津	津市一志町其村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植
	津市一志町高野	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植
松阪	明和町志貴	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植
	多気町丹生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植
平均			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平年(10年平均)			0	0	0	0	0	2.8	0	0	0.3	0.2	0				
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植

ハクサイ《2019年10月》

地区	調査場所	調査月日	軟腐病		白班病		ヘト病		アブラムシ類	コナガ		ヨトウガ	ハスモンヨトウ	モンシロチョウ	備考			
			発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	株当たり虫数(頭/株)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市	四日市市水沢町1	10月4日	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	結福90	9月14日	生育期
	四日市市水沢町2	10月4日	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	結福90	9月14日	生育期
	四日市市下海老町1	10月4日	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	結福78	9月13日	生育期
	四日市市下海老町2	10月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福055	9月25日	生育期
	鈴鹿市東庄内町1	10月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福90	9月18日	生育期
鈴鹿市東庄内町2	10月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ90	9月18日	生育期	しおれ株数見(不明)
津	津市一志町高野	10月3日	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	2	黄ごころ80	9月中旬	生育期	
	津市一志町八太	10月3日	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	晴黄85	9月中旬	生育期	
松阪	明和町志貴	10月4日	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	黄ごころ85	9月上旬	生育期	ツワリ(類数見)
	多気町丹生	10月4日	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	黄ごころ90	9月上旬	生育期	フタジジヒメハムシ成虫確認
平均			0	0	0	0	0	2.2	0	0	0	0	0	0.2				
平年(10年平均)			0.4	0.2	1.8	0.5	0.03	1.4	0.1	0.001	0.07	0.6	0.3(5年平均)	0.09				
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	10月2日	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	晴黄85	9月20日	生育期	無病跡

ハクサイ《2019年11月》

地区	調査場所	調査月日	軟腐病		白班病		ヘト病		アブラムシ類	コナガ		ヨトウガ	ハスモンヨトウ	モンシロチョウ	備考				
			発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	株当たり虫数(頭/株)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他	
四日市	四日市市水沢町1	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福90	9月14日	生育期	
	四日市市水沢町2	11月8日	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福90	9月14日	生育期	
	四日市市下海老1	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福78	9月13日	生育期	シロイチモジヨトウ確認
	四日市市下海老2	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福055	9月25日	生育期	黒腐病確認
	鈴鹿市東庄内町1	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福90	9月18日	生育期	タバコ確認
鈴鹿市東庄内町2	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ90	9月18日	生育期		
津	津市一志町高野	11月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ80	9月中旬	生育期	
	津市一志町八太	11月1日	20	5.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	晴黄85	9月中旬	生育期	
松阪	明和町志貴	11月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ85	9月上旬	生育期	
	多気町丹生	11月5日	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ90	9月上旬	生育期	
平均			2.4	0.6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
平年(10年平均)			2.1	0.8	8.5	2.3	0	3.0	0.1	0.001	0.1	0.4	0	0.07(5年平均)					
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	11月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	晴黄85	9月20日	生育期	

ハクサイ《2019年12月》

地区	調査場所	調査月日	軟腐病		白斑病		ペと病		コナガ		ハスモンヨトウ			備考				
			発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他			
四日市 鈴鹿	四日市市水沢町1	12月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福90	9月14日	収穫終了		
	四日市市水沢町2	12月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福90	9月14日	生育期		
	四日市市下海老1	12月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福78	9月13日	収穫終了	黒斑病確認	
	四日市市下海老2	12月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福055	9月25日	生育期	区外・軟腐病確認	
	鈴鹿市東庄内町1	12月5日	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	結福90	9月18日	生育期	タバコガ被害確認	
津	鈴鹿市東庄内町2	12月5日	4	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ90	9月18日	生育期	タバコガ被害確認	
松阪	津市一志町高野	12月3日	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ80	9月中旬	生育期		
	津市一志町八次	12月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	晴黄85	9月中旬	生育期	雑草種子の付着あり	
松阪	明和町志貴	12月9日	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ85	9月上旬	生育期	アブラムシ類確認	
	多気町丹生	12月9日	2	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	黄ごころ90	9月上旬	生育期	根こぶ病確認	
平均			1.2	0.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
平年(10年平均)			1.7	0.5	10.5	3.0	1.6	0	0	0	0	0	0	0				
											(5年平均)	(5年平均)						
泉予察ほ	松阪市瑞野川北町(場内)	12月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	晴黄85	9月20日	生育期	ヤガ科幼虫(不明)	

4. 冬キャベツ

冬キャベツ《2019年9月》

地区	調査場所	調査月日	黒腐病		アブラムシ類		コナガ		モンシロチョウ		ヨトウガ		ハスモンヨトウ		備考					
			発病株率 (%)	発病度	寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他			
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植				
	四日市市下海老町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植				
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植				
津	鈴鹿市国府町1	9月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	なみかぜ	8月17日	9葉期			
	鈴鹿市国府町2	9月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	藍天	8月17日	9葉期			
	津市芸濃町椋本	9月5日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	定植直後				
	津市芸濃町萩野	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植				
	津市久居野口町	9月5日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	定植直後				
松阪	津市新家町(久居)	9月5日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植					
松阪	松阪市瑞野森本町	9月6日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植					
伊勢	玉城町同出	9月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	8月15日	9葉期	区外：ハスモンヨトウ
平均			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
平年(10年平均)			0	0	3.5	2.9	0.2	0.002	0.3	0.004	0.4	0.2	0	0	0	0.1				
											(9年平均)	(5年平均)								
泉予察ほ	松阪市瑞野川北町(場内)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植				

冬キャベツ《2019年10月》

地区	調査場所	調査月日	黒腐病		アブラムシ類		コナガ		モンシロチョウ		ヨトウガ		ハスモンヨトウ		備考					
			発病株率 (%)	発病度	寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他			
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町1	10月4日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	冬のぼり	10月1日	定植直後		
	四日市市下海老町2	10月4日	0	0	0	0	0	0	2	0.02	0	0	0	0	0	こんごうYCR	9月6日	生育期	モンシロチョウ卵確認	
	四日市市下海老町3	10月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月10日	生育期		
	鈴鹿市国府町1	10月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	藍天	8月18日	生育期	タバコガ被害確認	
	鈴鹿市国府町2	10月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	なみかぜ	8月18日	生育期	タバコガ被害確認	
津	津市芸濃町椋本	10月3日	0	0	2	5.0	0	0	0	0	2	2	10	0	0	松波	9月5日	生育期		
	津市北河路町	10月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	松波	9月上旬	生育期	モンシロチョウ卵確認	
	津市久居野口町	10月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	9月上旬	生育期	ハイマダラノミガ幼虫確認	
	津市新家町(久居)	10月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	輝みさき	9月上旬	生育期		
松阪	松阪市瑞野森本町	10月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	冬福	9月中旬	生育期	モンシロチョウ卵確認	
伊勢	玉城町同出	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TCA-517	8月中旬	生育期		
平均			0	0	0.4	0.5	0	0	0.2	0.002	0.4	0.7	2.2	0	0	0	0			
平年(10年平均)			0.4	0.10	4.3	1.4	1.1	0.02	1.9	0.02	0.8	3.9	1.2	0	0	0	0			
											(5年平均)									
泉予察ほ	松阪市瑞野川北町(場内)	10月2日	0	0	30	7.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	彩ひかり	9月20日	生育期	無防除

冬キャベツ 《2019年11月》

地区	調査場所	調査月日	黒腐病		菌核病		アブラムシ類		コナガ		モンシロチョウ		ヨトウガ		ハスモンヨトウ		備考					
			発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他			
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町1	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬のほり	10月1日	生育期	シロイチモジヨトウ確認	
	四日市市下海老町2	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	こんごうYCR	9月6日	生育期		
	四日市市下海老町3	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月10日	生育期		
津	鈴鹿市国府町1	11月8日	4	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	藍天	8月18日	生育期	タバコが被害確認	
	鈴鹿市国府町2	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	なみかぜ	8月18日	収穫終了	タバコが被害確認	
	津市北河路町	11月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.02	0	2	0	0	0	松波	8月中旬	生育期	一部で鳥による食害の疑い	
	津市芸濃町椋本	11月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.02	0	0	0	0	0	松波	9月5日	生育期	シロイチモジヨトウ、タバコが確認	
	津市久居野口町	11月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	松波	9月上旬	生育期	シロイチモジヨトウ、アブラムシ確認	
	津市新家町(久居)	11月1日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	隣みさき	9月上旬	生育期	
松阪	松阪市嬉野森本町	11月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬藍	9月中旬	生育期	欠株1%程度(根朽病疑い)	
伊勢	玉城町岡出	11月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TCA-517	8月中旬	生育期		
平均			0.4	0.09	0.2	0	0	0	0	0	0.4	0.004	0	0.7	0.5							
平年(10年平均)			7.1	2.0	0.3	5.6	2.0	0.6	0.009	1.2	0.01	0.7	0.8	0.2								
			(5年平均)																			
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	11月7日	0	0	0	4	1.0	0	0	0	10	0.1	0	0	0	0	0	0	彩ひかり	9月20日	生育期	

冬キャベツ 《2019年12月》

地区	調査場所	調査月日	黒腐病		菌核病		コナガ		アブラムシ類		根こぶ病		備考					
			発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	寄生度	発病株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他				
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町1	12月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬のほり	10月1日	生育期		
	四日市市下海老町2	12月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	こんごうYCR	9月6日	生育期		
	四日市市下海老町3	12月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月10日	生育期	タバコが被害確認	
津	鈴鹿市国府町1	12月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	藍天	8月18日	生育期	タバコが被害確認	
	鈴鹿市国府町2	12月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	なみかぜ	8月18日	生育期	区外・菌核病確認	
	津市北河路町	12月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	8月中旬	収穫期	黒斑細菌病確認	
	津市芸濃町椋本	12月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	9月5日	生育期		
	津市久居野口町	12月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	9月上旬	生育期		
	津市新家町(久居)	12月3日	2	0.5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	隣みさき	9月上旬	生育期		
松阪	松阪市嬉野森本町	12月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬藍	9月中旬	生育期		
伊勢	玉城町岡出	12月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TCA-517	8月中旬	生育期		
平均			0.2	0.05	0.4	0	0	0	0	0	0	0	0					
平年(10年平均)			8.3	2.5	1.2	0.4	0.007	0.4	0.1	1.0								
			(5年平均)															
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	12月6日	0	0	0	2	0.02	2	0.5	0	0	0	0	0	彩ひかり	9月20日	生育期	

冬キャベツ 《2019年度 根こぶ病調査》

地区	調査場所	調査月日	根こぶ病		備考		
			発病株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市	四日市市下海老町1	3月2日	0	冬のほり	10月1日	生育期	未調査
	四日市市下海老町2	1月14日	0	こんごうYCR	9月6日	収穫中	
	四日市市下海老町3	1月14日	0	夢舞台	9月10日	収穫中	
鈴鹿	鈴鹿市国府町1	1月14日	0	藍天	8月18日	すき込み済み	調査不能
	鈴鹿市国府町2	1月14日	0	なみかぜ	8月18日	すき込み済み	調査不能
津	津市北河路町	1月10日	0	松波	8月中旬	収穫済み	鳥害確認
	津市芸濃町椋本	2月5日	0	松波	9月6日	収穫中	
	津市久居野口町	3月2日	0	松波	9月上旬	生育期	未調査
	津市新家町(久居)	3月2日	0	隣みさき	9月上旬	生育期	未調査
松阪	松阪市嬉野森本町	2月3日	0	冬藍	9月中旬	収穫中	
伊勢	玉城町岡出	1月8日	0	TCA-517	8月中旬	すき込み済み	調査不能
平均			0				
平年(10年平均)			1.2				
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	1月10日	0	彩ひかり	9月20日	収穫済み	

5.春キャベツ

春キャベツ 《2019年4月》

地区	調査場所	調査月日	菌核病		アブラムシ類		コナガ		モンシロチョウ		備考				
			発病株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	品種	定植時期	生育状況	その他			
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町	4月11日	2	0	0	0	0	0	0	0	0	石井中早生	11月中旬	生育期	
	四日市市赤水町	4月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	若女将	11月中旬	生育期	
津	津市川方町1(久居)	4月10日	4	0	0	0	0	0	0	0	0	味香	11月中旬	生育期	雑草:多
	津市川方町2(久居)	4月10日	2	0	0	0	0	0	0	0	0	味香	12月上旬	生育期	雑草:中
	津市新家町1(久居)	4月10日	2	0	0	0	0	0	0	0	0	味香	11月下旬	収穫中	
	津市新家町2(久居)	4月10日	2	0	0	0	0	0	0	0	0	味香	12月上旬	生育期	
平均			2.0	0	0	0	0	0	0	0	0				
平年(10年平均)			1.9	4.7	1.2	0.3	0.003	0.1	0.001						
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	4月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	味香	11月20日	生育期	

春キャベツ 《2019年5月》

地区	調査場所	調査月日	根こぶ病				備考	
			発病株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他	
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町	5月8日	-	石井中早生	11月中旬	耕起済み		
	四日市市赤水町	5月8日	-	若女将	11月中旬	耕起済み		
津	津市川方町1(久居)	5月7日	0	味春	11月中旬	収穫期		
	津市川方町2(久居)	5月7日	0	味春	12月上旬	収穫期		
	津市新家町1(久居)	5月7日	-	味春	11月下旬	耕起済み		
	津市新家町2(久居)	5月7日	-	味春	12月上旬	生育期		
	平均		0					
平年(10年平均)			0					
県予察ほ	松阪市磯野川北町(場内)	5月8日	-	味春	11月20日	生育期		

春キャベツ 《2019年12月》

地区	調査場所	調査月日	アブラムシ類			コナガ		備考		
			寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数(頭/株)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町	12月5日	0	0	0	0	若女将	11月下旬	生育期	
	四日市市下海老町	12月5日	0	0	0	0	若女将	11月下旬	生育期	
津	津市川方町1(久居)	12月3日	0	0	0	0	味春	12月上旬	定植直後	
	津市川方町2(久居)	12月3日	-	-	-	-	味春	-	未定植	
	津市新家町1(久居)	12月3日	0	0	0	0	味春	11月中旬	生育期	根朽病疑い
	津市新家町2(久居)	12月3日	0	0	0	0	若女将	11月下旬	生育期	
平均			0	0	0	0				
平年(10年平均)			2.6	0.7	0.1	0.001				
県予察ほ	松阪市磯野川北町(場内)	12月6日	30	7.5	0	0	味春	11月中旬	生育期	

春キャベツ 《2020年1月》

地区	調査場所	調査月日	菌核病 発病株率 (%)	アブラムシ類		コナガ		備考		
				寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数(頭/株)	品種	定植時期	生育状況
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町	1月14日	0	0	0	0	0	若女将	11月下旬	生育期
	四日市市下海老町	1月14日	0	0	0	0	0	若女将	11月下旬	生育期
津	津市川方町1(久居)	1月10日	0	0	0	0	0	味春	12月上旬	生育期
	津市川方町2(久居)	1月10日	0	0	0	0	0	味春	12月上旬	生育期
	津市新家町1(久居)	1月10日	0	0	0	0	0	味春	11月中旬	生育期
	津市新家町2(久居)	1月10日	0	0	0	0	0	若女将	11月下旬	生育期 鳥害確認
平均			0	0	0	0	0			
平年(10年平均)			0	1.4	0.4	0.1	0.001			
県予察ほ	松阪市磯野川北町(場内)	1月10日	0	30	7.5	0	0	味春	11月14日	生育期
平年(10年平均)			0	24	6.6	0	0.002			

春キャベツ 《2020年2月》

地区	調査場所	調査月日	菌核病 発病株率 (%)	アブラムシ類		コナガ		備考		
				寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数(頭/株)	品種	定植時期	生育状況
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町	2月4日	0	0	0	0	0	若女将	11月下旬	生育期
	四日市市下海老町	2月4日	0	0	0	0	0	若女将	11月下旬	生育期
津	津市川方町1(久居)	2月5日	0	0	0	0	0	味春	12月上旬	生育期
	津市川方町2(久居)	2月5日	0	0	0	0	0	味春	12月上旬	生育期
	津市新家町1(久居)	2月5日	0	0	0	0	0	味春	11月中旬	生育期 ヤガ類幼虫確認
	津市新家町2(久居)	2月5日	0	0	0	2.0	0.02	若女将	11月下旬	生育期 ヤガ類幼虫確認
平均			0	0	0	0.3	0.003			
平年(10年平均)			0	3.1	0.8	0.07	0.002			
県予察ほ	松阪市磯野川北町(場内)	2月3日	0	0	0	0	0	味春	11月14日	生育期 ハクサイダニ確認

春キャベツ《2020年3月》

地区	調査場所	調査月日	菌核病		アブラムシ類			コナガ			備考	
			発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	品種	定植時期	生育状況	その他	
四日市	四日市市平尾町	3月2日	0	0	0	0	0	0	若女将	11月下旬	生育期	
	四日市市下海老町	3月2日	2.0	0	0	0	0	0	若女将	11月下旬	生育期	
津	津市川方町1(久居)	3月2日	0	0	0	0	0	0	味春	12月上旬	生育期	
	津市川方町2(久居)	3月2日	0	0	0	0	0	0	味春	12月上旬	生育期	
	津市新家町1(久居)	3月2日	2.0	0	0	0	0	0	味春	11月中旬	生育期	
	津市新家町2(久居)	3月2日	2.0	0	0	0	0	0	若女将	11月下旬	生育期	
	平均		1.0	0	0	0	0	0				
平年(10年平均)			1.0	1.2	0.3	0.03	0.001					
県予察ほ	松阪市端野川北町(場内)	3月2日	0	0	0	0	0	0	味春	11月14日	生育期	

6.青ネギ

青ネギ《2019年4月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		へと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモクリハエ	ネギアザミウマ	備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	草丈	その他
松阪	松阪市柿木原町	4月9日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	収穫終了
伊勢	伊勢市東豊浜町	4月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30cm	黒斑病確認 (約1%程度)
	伊勢市小保町1	4月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40cm	クロハネコガ(ハエ)類の食害確認 (明)
	伊勢市小保町2	4月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50cm	
平均			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
平年(10年平均)			0.05	0.01	5.6	1.8	2.0	0.5	0.1	0.1	0	0.1	1.3		
(3年平均)															
県予察ほ	松阪市端野川北町(場内)	4月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40cm	

青ネギ《2019年5月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		へと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモクリハエ	ネギアザミウマ	備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	草丈	その他
松阪	松阪市柿木原町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	収穫終了
伊勢	伊勢市東豊浜町	5月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	3.3	30cm	アザミウマ類確認
	伊勢市小保町1	5月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60cm	区外：へと病確認
	伊勢市小保町2	5月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.3	13.3	20cm	アザミウマ類確認
平均			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	5.6		
平年(10年平均)			0	0	2.0	0.6	0.2	0.6	0.3	0.02	0.04	6.2	22.0		
(3年平均)															
県予察ほ	松阪市端野川北町(場内)	5月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.3	3.3	50cm	

青ネギ《2019年6月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		へと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモクリハエ	ネギアザミウマ	備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	草丈	その他
伊勢	伊勢市東豊浜町	6月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20.0	25cm	アザミウマ類確認	
	伊勢市小保町1	6月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13.3	40cm	アザミウマ類確認	
	伊勢市小保町2	6月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3	50cm		
平均			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12.2		
平年(10年平均)			0	0	10.3	3.7	0	0	0.05	0.3	0	7.2	39.5		
県予察ほ	松阪市端野川北町(場内)	6月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	15cm	無防除	
平年(10年平均)			0	0.07	13	3.6	0	0	7.4	3.1	0.2	7.1	83.7		

青ネギ《2019年7月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		へと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモクリハエ	ネギアザミウマ	備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	草丈	その他
伊勢	伊勢市東豊浜町1	7月2日	0	0	0	0	0	0	0.7	0	10.0	66.7	40cm		
	伊勢市小保町1	7月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10.0	60cm	収穫期	
	伊勢市小保町2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	欠測	
平均			0	0	0	0	0	0	0.3	0	5.0	38.3			
平年(10年平均)			0.7	0.5	7.2	2.0	0	0	2.0	0.1	5.7	23.0			
県予察ほ	松阪市端野川北町(場内)	6月28日	0	0	0	0	0	0	0	0	13.3	66.7	60cm		
平年(10年平均)			2.3	0.6	2.8	1.1	0	0	12.8	8.7	0	11.1	58.3		

青ネギ(2019年8月)

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミワム	ハスモンヨトウ		備考	
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	被害率(%)	被害率(%)	被害率(%)	被害率(%)	寄生株率(%)	被害率(%)		草丈
伊勢	伊勢市東豊浜町	7月29日	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	20.0	0	0	20cm	
	伊勢市小俣町1	7月29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10.0	0	0	20cm	
	伊勢市小俣町2	7月29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3	0	0	15cm	
	平均		0	0	0	0	0.7	0.2	0	0	0	0	11.1	0	0		
県下全域			0	0	0	0	0	0	0	0.07	0.7	9.8	24.8	0.2	0.2		
							(3年平均)		(3年平均)				(5年平均)		(5年平均)		
県予察ほ	松本市穂野川北町(場内)	7月31日	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	3.3	0	0	0	50cm	(露地・無防除)
	平均		0.6	0.2	0	0	0	0	0	9.3	0	8.9	63.0	0	0		
							(3年平均)		(3年平均)				(5年平均)		(5年平均)		

青ネギ(2019年9月)

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミワム	ハスモンヨトウ		備考	
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	被害率(%)	被害率(%)	被害率(%)	被害率(%)	寄生株率(%)	被害率(%)		草丈
松阪	松本市柿木原町	9月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	86.7	10.0	0	0	35cm	残存ネギ	
伊勢	伊勢市東豊浜町	9月4日	0	0	0	0	0	0	0	1	0.7	0	0	0	35cm		
	伊勢市小俣町1	9月2日	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0.7	0	0	40cm		
	伊勢市小俣町2	9月2日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	25cm		
	平均		0	0	0	0	0	0	0	1.2	21.8	2.7	0	0			
平年(10年平均)			0.03	0.008	0	0	0	0	0.02	0.2	3.4	21.5	17.3	0.3	0.2		
							(3年平均)		(3年平均)				(5年平均)		(5年平均)		
県予察ほ	松本市穂野川北町(場内)	9月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	50.0	0	0	0	60cm	葉の表面に多数のトゲ状突起(不明)	
	平均		1.1	0.4	0	0	0	0	0	0.4	0.3	31.7	52.6	0	0		

青ネギ(2019年10月)

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミワム	ハスモンヨトウ		備考	
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	被害率(%)	被害率(%)	被害率(%)	被害率(%)	寄生株率(%)	被害率(%)		草丈
松阪	松本市柿木原町	10月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	10	53	33	30	40	20cm	ハモグリバエ別系統疑い
伊勢	伊勢市東豊浜町	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7	0	0	0	30cm	
	伊勢市小俣町1	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	30cm	
	伊勢市小俣町2	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	30cm	
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	4.5	16.3	8.3	7.5	10.0		
平年(10年平均)			0.3	0.08	0	0	0	0	0	0.2	5.6	30.1	17.3	1.2	1.1		
													(4年平均)		(4年平均)		
県予察ほ	松本市穂野川北町(場内)	10月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	87	0	0	40cm	無防除、ハモグリバエ別系統疑い
	平均		1	0.1	0	0	0	0	0	1	1	36	37	1	2		

青ネギ(2019年11月)

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミワム	ハスモンヨトウ		備考	
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	被害率(%)	被害率(%)	被害率(%)	被害率(%)	寄生株率(%)	被害率(%)		草丈
松阪	松本市柿木原町1	11月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0.7	0	0	35cm	
伊勢	伊勢市東豊浜町1	11月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33.3	0	0	0	25cm	生育ムラあり
	伊勢市小俣町1	11月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.3	0	0	0	20cm	
	伊勢市小俣町2	11月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3	0	0	0	35cm	
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	9.7	0.2	0	0		
平年(10年平均)			0.2	0.06	0	0	0	0	0	0.09	0.8	5.6	9.6	0.07	0.2		
							(3年平均)		(3年平均)				(5年平均)		(5年平均)		
県予察ほ	松本市穂野川北町(場内)	11月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6.7	3.3	0	0	40cm	無防除
	平均		2	0.5	0	0	0	0	0	0	0.8	1	8.7	48.5	0	0	

青ネギ(2019年12月)

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ	ネギアザミワム	ハスモンヨトウ		備考	
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	被害率(%)	被害率(%)	被害率(%)	被害率(%)	寄生株率(%)	被害率(%)		草丈
松阪	松本市柿木原町	12月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	0	60cm	
伊勢	伊勢市東豊浜町	12月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	3.3	0	0	0	35cm	
	伊勢市小俣町1	12月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35cm	
	伊勢市小俣町2	12月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40cm	
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	0.2	0.8	0.2	0	0		
平年(10年平均)			0.3	0.09	0.8	0.2	0	0	0	0.1	0.2	1.1	5.6	0.07	0.07		
													(5年平均)		(5年平均)		
県予察ほ	松本市穂野川北町(場内)	12月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50cm	
	平均		0.8	0.2	0.9	0.02	0	0	0	0	0.1	0	1.2	5.9	0.08	0.08	

青ネギ《2020年1月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		バト病		ネギアザミウマ 被害率 (%)	草丈	備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度			その他	
松阪	松阪市柿木原町	1月9日	0	0	0	0	0	0	3.3	30cm		
	伊勢市東豊浜町	1月8日	0	0	0	0	0	0	0	35cm	シロイチモジヨトウ確認	
伊勢	伊勢市小俣町1	1月8日	0	0	0	0	0	0	0	40cm	シロイチモジヨトウ確認	
	伊勢市小俣町2	1月8日	0	0	0	0	0	0	0	30cm		
平均			0	0	0	0	0	0	0.8			
平年(10年平均)			0.07	0.02	1.9	0.5	0	0	1.9			
県予察ほ	松阪市堀野川北町(場内)	1月10日	0	0	0	0	0	0	0	50cm		
	平年(10年平均)		0	0	0	0	0	0	10			

青ネギ《2020年2月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		バト病		ネギアザミウマ 被害率 (%)	草丈	備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度			その他	
松阪	松阪市柿木原町	2月3日	0	0	0	0	0	0	10.0	40cm		
	伊勢市東豊浜町	2月6日	0	0	0	0	0	0	0	40cm		
伊勢	伊勢市小俣町1	2月6日	0	0	0	0	0	0	0	60cm		
	伊勢市小俣町2	2月6日	0	0	0	0	0	0	0	60cm		
平均			0	0	0	0	0	0	2.5			
平年(10年平均)			0	0	0.4	0.09	0	0	1.9			
			(3年平均) : (3年平均) †									
県予察ほ	松阪市堀野川北町(場内)	2月3日	0	0	0	0	0	0	0	0.7	30cm	
	平年(10年平均)		0	0	0	0	0	0	7.4			

青ネギ《2020年3月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		バト病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチモジヨトウ 被害率 (%)	ネギハモグリハエ 被害率 (%)	ネギアザミウマ 被害率 (%)	草丈	備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度							その他	
松阪	松阪市柿木原町	3月3日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	収穫終了	
	伊勢市東豊浜町	3月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30cm		
伊勢	伊勢市小俣町1	3月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40cm		
	伊勢市小俣町2	3月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	30cm	アザミウマ類成虫確認	
平均			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.2			
平年(10年平均)			0	0	1.2	0.4	0	0	0	0	0	0	0.4			
県予察ほ	松阪市堀野川北町(場内)	3月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60cm	アザミウマ類成虫確認	

7.白ネギ

白ネギ《2019年6月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		バト病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチモジヨトウ 被害率 (%)	ネギハモグリハエ 被害率 (%)	ネギアザミウマ 被害率 (%)	草丈	備考		
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度							定植日	品種	
鈴鹿	鈴鹿市橋一宮町	6月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33.3	25cm	5月9日 †	夏扇4号	
	鈴鹿市岸田町	6月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40.0	35cm	4月25日	関羽一本太	アザミウマ成虫確認
松阪	明和町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植	
	多気町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植	
平均			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36.7				
平年(2年平均)			0	0	0	0	0	0	0	3.3	0	0.8	16.2				
県予察ほ	松阪市堀野川北町(場内)	6月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	20cm	育苗床 †	石倉一本太	露地・無防除、ネキリムシ被害
	平年(2年平均)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50				

白ネギ《2019年7月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		バト病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチモジヨトウ 被害率 (%)	ネギハモグリハエ 被害率 (%)	ネギアザミウマ 被害率 (%)	草丈	備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度							品種	その他
鈴鹿	鈴鹿市橋一宮町	7月5日	2	5.0	0	0	0	0	0	0	0	0	20.0	50cm	夏扇4号	獣害確認
	鈴鹿市岸田町	7月5日	4	10.0	2	5.0	0	0	0	0	0	0.7	10.0	60cm	関羽一本太	
松阪	明和町	7月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3	50.0	20cm	夏扇3号・4号	
	多気町	7月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20cm	龍翔・福ひかり		
平均			1.5	3.8	0.5	1.3	0	0	0	0	0	1.0	20.0			
平年(2年)			0.7	1.8	0.5	1.1	0	0	0	7.7	0	1.8	29.4			
県予察ほ	松阪市堀野川北町(場内)	6月28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30.0	80.0	40cm	石倉一本太	無防除
	平年(2年)		1.0	1.0	0	0	0	0	0	6.0	0	5.0	85.0			

白ネギ(2019年8月)

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類		ネギコガ		シロイチモジヨトウ		ネギハモグリバエ		ネギアザミウマ		ハスモンヨトウ		備考	
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	被害率(%)	寄生株率(%)	被害率(%)	寄生株率(%)	被害率(%)	寄生株率(%)	被害率(%)	寄生株率(%)	被害率(%)	寄生株率(%)	被害率(%)	草丈	定植日
鈴鹿	鈴鹿市榑一宮町	7月31日	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0	0	65cm	5月9日	夏扇4号	散害10%程度(シカの食害・歩行者)
	鈴鹿市岸田町	7月31日	20	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3	6.7	0	0	70cm	4月25日	関羽一本太	
	明和町佐田	8月1日	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10.0	0	0	0	40cm	6月16日	夏扇3号-4号	
松阪	多気町多気	8月1日	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20cm	6月16日	龍翔・龍ひかり	軟腐病確認、肥料切れ
	平均		6	15	0	0	0	0	0.5	0	0	0	0.8	4.2	0	0	0	0				
県下全域	平均(10年平均)		0.6	1.5	0	0	0	0	0	0	0.7	8.1	25.5	0	0	0	0	0				
県予察ほ	松阪市榑野川北町(場内)	7月31日	2	5	0	0	0	0	0	0	0.7	0	0.7	0	0	0	0	0	60cm	6月25日	石倉一本太	(露地・無防除)
	平均(2年平均)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

白ネギ(2019年9月)

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類		ネギコガ		シロイチモジヨトウ		ネギハモグリバエ		ネギアザミウマ		ハスモンヨトウ		備考	
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	被害率(%)	寄生株率(%)	被害率(%)	寄生株率(%)	被害率(%)	寄生株率(%)	被害率(%)	寄生株率(%)	被害率(%)	寄生株率(%)	被害率(%)	草丈	定植日
鈴鹿	鈴鹿市榑一宮町	9月3日	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0	0	0	0	60cm	5月9日	夏扇4号	
	鈴鹿市岸田町	9月3日	2	5	0	0	0	0	0	0.0	3.3	80.0	80.0	0.0	0	0	0	0	70cm	4月25日	関羽一本太	
	明和町佐田	9月6日	2	5	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	80.0	0	0	0	0	0	40cm	6月16日	夏扇3号-4号	白腐病、軟腐病確認
松阪	多気町多気	9月6日	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.7	0.0	0	0	0	0	0	35cm	6月16日	龍翔・龍ひかり	
	平均		1	2.5	0	0	0	0	0	0	0.8	25.2	20	0	0	0	0	0				
県予察ほ	松阪市榑野川北町(場内)	9月4日	0	0	0	0	0	0	0	0.0	1.3	50.0	0.0	2	0	0	0	0	60cm	6月25日	石倉一本太	
	平均(2年平均)		1.0	2.5	0	0	0	0	0	3.3	0	34.0	76.7	0	0	0	0	0				

白ネギ(2019年10月)

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類		ネギコガ		シロイチモジヨトウ		ネギハモグリバエ		ネギアザミウマ		ハスモンヨトウ		備考	
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	被害率(%)	寄生株率(%)	被害率(%)	寄生株率(%)	被害率(%)	寄生株率(%)	被害率(%)	寄生株率(%)	被害率(%)	寄生株率(%)	被害率(%)	草丈	定植日
鈴鹿	鈴鹿市榑一宮町	10月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	60.0	0.0	0	0	0	0	60cm	5月22日	ハモグリバエ別系統疑い	
	鈴鹿市岸田町	10月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10.0	66.7	3.3	0	0	0	0	60cm	5月17日	ハモグリバエ別系統疑い	
	明和町佐田	10月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0	66.7	2	2	50cm	6月13日	軟腐病、白腐病、ネダニ確認			
松阪	多気町多気	10月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10.0	0	0	0	0	0	40cm	6月15日	軟腐病確認	
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.8	34.2	17.5	0.5	0.5	-	-				
県予察ほ	松阪市榑野川北町(場内)	10月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	93.3	80.0	0	0	0	0	50cm	6月15日	無防除	
	平均(2年平均)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	53.3	5.0	0	0	0	0				

白ネギ(2019年11月)

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類		ネギコガ		シロイチモジヨトウ		ネギハモグリバエ		ネギアザミウマ		ハスモンヨトウ		備考	
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	被害率(%)	寄生株率(%)	被害率(%)	寄生株率(%)	被害率(%)	寄生株率(%)	被害率(%)	寄生株率(%)	被害率(%)	寄生株率(%)	被害率(%)	草丈	定植日
鈴鹿	鈴鹿市榑一宮町	11月8日	20	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50.0	0	0	0	0	60cm	5月22日		
	鈴鹿市岸田町	11月8日	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10.0	0	0	0	0	60cm	5月17日		
	明和町佐田	11月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3	60.0	0	0	0	40cm	6月13日		
松阪	多気町多気	11月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10.0	0	0	0	0	50cm	6月15日		
	平均		5.5	13.75	0	0	0	0	0	0	0	0	18.3	15.0	0	0	0	0	-	-		
県予察ほ	松阪市榑野川北町(場内)	11月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10.0	50.0	0	0	0	50cm	6月15日	無防除	
	平均(2年平均)		2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	0	0	0	0				

白ネギ(2019年12月)

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類		ネギコガ		シロイチモジヨトウ		ネギハモグリバエ		ネギアザミウマ		ハスモンヨトウ		備考	
			発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	発病株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	被害率(%)	寄生株率(%)	被害率(%)	寄生株率(%)	被害率(%)	寄生株率(%)	被害率(%)	寄生株率(%)	被害率(%)	寄生株率(%)	被害率(%)	草丈	定植日
鈴鹿	鈴鹿市榑一宮町	12月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10.0	0	0	0	60	5月22日	関羽一本太	
	鈴鹿市岸田町	12月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	60	5月17日	関羽一本太	
	明和町佐田	12月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.3	66.7	0	0	0	40	6月13日	吉宗	
松阪	多気町多気	12月9日	20	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3	0	0	0	0	50	6月15日	龍翔	
	平均		5	12.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.7	16.7	0	0	0				
県予察ほ	松阪市榑野川北町(場内)	12月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3	33.3	0	0	0	60	6月15日	石倉一本太	
	平均(2年平均)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

白ネギ《2020年1月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		バと病		ネギアザミウマ 被害率 (%)	備考		
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度		草丈	品種	その他
鈴鹿	鈴鹿市椿一宮町	1月14日	-	-	-	-	-	-	-	60	関羽一本太	収穫終了
	鈴鹿市岸田町	1月14日	0	0	0	0	0	0	0	60	関羽一本太	
松阪	明和町佐田	1月9日	0	0	0	0	0	0	66.7	60	吉宗	
	多気町多気	1月9日	0	0	0	0	0	0	30	60	龍翔	
	平均		0	0	0	0	0	0	32.2			
	平均(2年平均)		0	0	0	0	0	0	8.2			
県予察ほ	松阪市織野川北町(場内)	1月10日	0	0	0	0	0	0	0	60	石倉一本太	
	平均(2年平均)		0	0	0	0	0	0	3.3			

白ネギ《2020年2月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		バと病		ネギアザミウマ 被害率 (%)	備考			
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度		草丈	定植日	品種	その他
鈴鹿	鈴鹿市椿一宮町	-	-	-	-	-	-	-	-	60	5月22日	関羽一本太	収穫終了
	鈴鹿市岸田町	2月5日	0	0	0	0	0	0	0	60	5月17日	関羽一本太	
松阪	明和町佐田	2月3日	0	0	0	0	0	0	50.0	60	6月13日	吉宗	ネギアザミウマ成虫多
	多気町多気	2月3日	0	0	0	0	0	0	0	60	6月15日	龍翔	
	平均		0	0	0	0	0	0	16.7				
	平均(2年平均)		0	0	0	0	0	0	1.10				
県予察ほ	松阪市織野川北町(場内)	2月3日	0	0	0	0	0	0	10.0	60	6月15日	石倉一本太	
	平均(2年平均)		0	0	0	0	0	0	0				

広域防除員聞き取り調査結果（野菜）

作物名：トマト
2019年10月

地区	圃場	調査日	調査地点	品種名	病害虫発生状況（平年比）					生育状況等
					疫病	灰色かび病	黄化葉巻病	ハスモンヨトウ	アブラムシ類	
桑名	1	10月3日	木曾岬町加路戸	ひなた	無	無	多 (前年比)	無	無	作型：抑制、定植日：8月20日 開花段数：4段目、 着果数：4果、収穫予定10月20日ごろ～ 生育良好、2本仕立て 黄化葉巻病多いがまだ品種を変えるまでは行かない
	2	10月3日	木曾岬町外平喜	みそら109	無	無	少 (前年比)	無	無	作型：促成、定植日：9月8日 開花段数：2段、着果数：4果 収穫予定：11月20日頃～ 抵抗性品種に変えたので、黄化葉巻病は少ない。
	3	10月3日	木曾岬町小和泉	みそら64	無	無	並 (前年比)	無	無	作型：抑制、定植日：8月9日 開花段数：6段目、着果数：4果 収穫初日：9月27日 ロックワール栽培のため収穫早い、11段まで収穫
	4	10月4日	木曾岬町中和泉	りんか409	無	無	少 (前年比)	少 (前年比)	無	作型：抑制、定植日：8月23日 開花段数：4段目、 収穫予定：11月上旬～ 1段目は暑さで花が飛んだ 長段取り（20段）、現在は生育良好
	5	10月4日	木曾岬町源緑輪中	りんか409はるか	-	-	-	-	-	作型：半促成、定植日：11月上旬以降 本ぼ未定植

作物名：トマト
2020年2月

地区	圃場	調査日	調査地点	品種名	病害虫発生状況（平年比）					生育状況等
					疫病	灰色かび病	黄化葉巻病	ハスモンヨトウ	アブラムシ類	
桑名	1	2月6日	木曾岬町加路戸	桃太郎ホープ	無	無	無	無	無	作型：半促成、定植日：10/25 開花段数：4段～5段目、収穫段数：1段目 着果数：4～5果 耐病性品種、樹勢強い
	2	2月6日	木曾岬町外平喜	みそら109	無	無	少	無	無	作型：促成、定植日：9/9 収穫段数：6段目 着果数：5果 黄化病多い
	3	2月6日	木曾岬町小和泉	CFハウス桃太郎	少	やや多	並	無	無	作型：促成、定植日：9/10 開花段数：10段目、収穫段数：5段目、 着果数：4～5果
	4	2月6日	木曾岬町中和泉	りんか409	無	並	やや多	少	無	作型：抑制、定植日：8/23 収穫段数：9～10段目、開花段数：15段目 着果数：4個、樹勢良い
	5	2月6日	木曾岬町源緑輪中	りんか409はるか	無	少	多	無	無	作型：半促成、定植日：11/2～3 開花段数8段、収穫段数1段目、 着果数：4果、終了予定6月末

3. 気象データ

(1) 気象概況(津地方気象台)

月	旬	気温	降水量	日照時間	備 考
2019 1	上	□	▲	□	冬型の気圧配置となり、気温が低い日が多かった。
	中	○	△	□	強い寒気が南下した日が少なく気温が高い日が多かった。
	下	□	○	△	高気圧と低気圧が交互に通過し曇りや雨の日が多かった。
2	上	○	□	□	暖かい空気に覆われ、平均気温が高い日が多かった。
	中	○	□	△	平均気温が高かったが、日照時間が平年より少なかった。
	下	●	○	○	暖かい空気に覆われ、平均気温が高い日が多かった。
3	上	●	○	□	平均気温は平年よりかなり高く、降水量は多かった。
	中	□	△	□	天気は周期的に変ったが降水量が平年より少なかった。
	下	○	▲	□	気温は平年より高く、降水量がかなり少なかった。
4	上	△	□	●	日照時間は多かったが、平均気温が低かった。
	中	△	△	●	天気は周期的に変わり、降水量が少なく晴天日が多かった。
	下	○	●	△	平均気温は高く、低気圧の影響で降水量が多かった。
5	上	□	▲	●	高気圧に覆われ晴天となり、降雨日数がかなり少なかった。
	中	○	□	○	高気圧に覆われ、気温が高く北中部は日照時間が多。
	下	●	□	●	日照時間が多く、23日に粥見で今年初めての真夏日。
6	上	○	○	□	高気圧に覆われ、晴れた日が多かった。
	中	△	△	●	高気圧に覆われ、晴れた日が多かった。
	下	○	□	○	暖かい空気の影響で、28日に尾鷲で今年初めての猛暑日。
7	上	□	○	▲	低気圧や湿った空気の影響で、雨や曇りの日が多かった。
	中	▲	●	▲	平年より降水量が多く、日照時間が少なかった。
	下	□	○	□	27日に台風が県内を通過し、翌日に梅雨明け。
8	上	●	▲	●	高気圧に覆われ、晴れた日が多かった。
	中	○	○	□	高気圧に覆われた日が多かったが、天気は周期的に変化。
	下	□	○	△	高気圧と前線の影響で、天気は周期的に変化。
9	上	●	□	○	曇りや雨が多く、各地で短時間に記録的な大雨があった。
	中	○	▲	○	湿った空気の影響により、ぐずついた天気が続いた。
	下	●	△	△	前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった。
10	上	●	△	○	前線や湿った空気の影響で、天気は周期的に変化。
	中	○	●	▲	台風や前線、湿った空気の影響で、雨の日が多かった。
	下	●	●	△	湿った空気の影響で、雨の日が多かった。
11	上	□	▲	●	高気圧に覆われ、晴れた日が多かった。
	中	○	□	●	高気圧に覆われ、晴れた日が多かった。
	下	○	□	△	前線や湿った空気の影響で、曇りや雨の日が多かった。
12	上	□	○	△	気圧の谷や湿った空気の影響で、曇りの日が多かった。
	中	●	□	▲	天気は周期的に変化し、曇りの日が多かった。
	下	●	●	△	天気は周期的に変化した。31日に津で初雪を観測した。

気 温: ▲かなり低い △低い □平年並 ○高い ●かなり高い

降 水 量: ▲かなり少ない △少ない □平年並 ○多い ●かなり多い

日 照: ▲かなり少ない △少ない □平年並 ○多い ●かなり多い

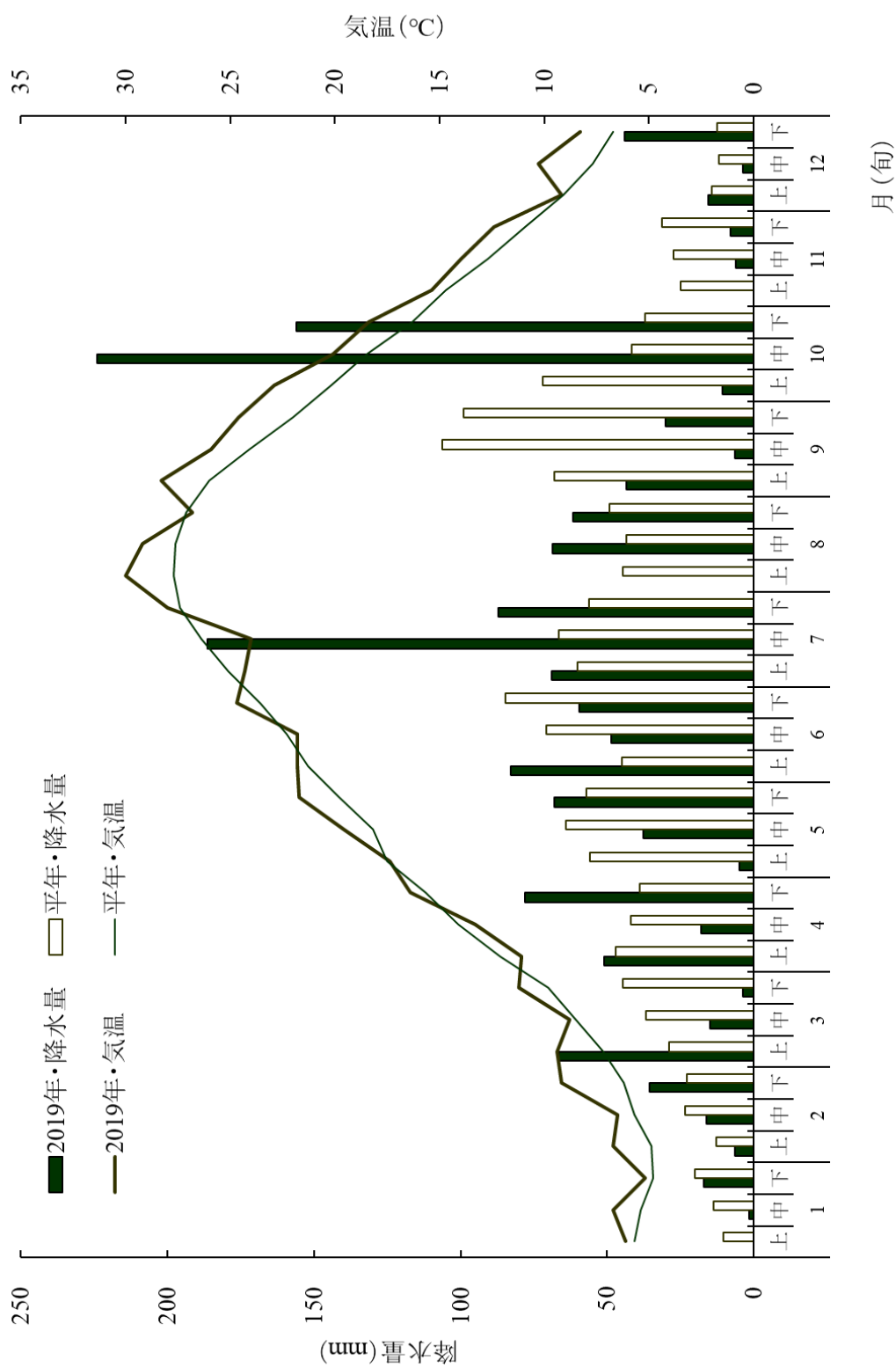
(2) 旬別気象表(津地方気象台)

月	旬	平均気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(h)	
		2019年	平年	2019年	平年	2019年	平年
1	上	6.1	5.7	0.0	10.3	53.1	53.7
	中	6.7	5.4	1.5	13.7	52.4	53.6
	下	5.2	4.8	17.0	19.9	53.7	59.2
2	上	6.7	4.9	6.5	12.7	51.7	52.1
	中	6.5	5.7	16.0	23.5	41.4	50.0
	下	9.2	6.2	35.5	22.9	48.2	43.9
3	上	9.4	7.2	66.5	28.8	57.8	59.1
	中	8.8	8.5	15.0	36.6	54.6	59.1
	下	11.2	9.8	3.5	44.6	59.3	61.1
4	上	11.1	12.1	51.0	47.0	86.3	60.1
	中	13.3	14.1	18.0	41.9	81.3	63.2
	下	16.4	15.7	78.0	38.9	42.9	65.8
5	上	17.4	17.5	5.0	55.9	94.0	58.2
	中	19.6	18.2	37.5	64.1	71.7	54.7
	下	21.7	19.8	68.0	57.2	96.4	72.4
6	上	21.8	21.3	83.0	44.9	50.7	59.1
	中	21.8	22.3	48.5	70.8	70.9	47.1
	下	24.7	23.6	59.5	84.8	48.4	36.5
7	上	24.3	25.1	69.0	60.0	21.5	52.7
	中	24.0	26.4	186.5	66.6	10.3	54.2
	下	28.0	27.4	87.0	56.2	71.5	81.9
8	上	30.0	27.7	0.0	44.5	102.3	72.8
	中	29.2	27.6	68.5	43.4	65.9	69.6
	下	26.8	27.1	61.5	49.1	50.0	72.4
9	上	28.3	26.0	43.5	67.9	77.5	66.0
	中	25.9	24.1	6.5	106.1	69.0	54.6
	下	24.6	22.0	30.0	99.1	37.8	48.2
10	上	22.9	20.2	10.5	71.9	55.8	47.7
	中	20.1	18.5	224.0	41.7	33.0	55.0
	下	18.4	16.3	156.0	37.1	48.2	62.1
11	上	15.4	14.7	0.0	24.8	90.9	54.8
	中	14.0	12.7	6.0	27.4	73.1	53.0
	下	12.4	10.9	8.0	31.4	43.0	55.6
12	上	9.2	9.1	15.5	14.4	47.5	58.9
	中	10.3	7.7	3.5	11.9	42.9	58.3
	下	8.3	6.7	44.0	12.3	55.7	62.7

※平年値は、1981年から2010年までの30年間による地上気象観測での値。

※気象庁発表「気象統計情報」より作成。

(3) 気象グラフ



令和元年 旬別気温と降水量(津地方気象台・地上気象観測)

令和元年度植物防疫年報

発行 2021年 2月 1日
三重県病虫害防除所

〒515-2316

三重県松阪市嬉野川北町 530

Tel 0598-42-6365

Fax 0598-42-7568